

平成20年度

新潟県中越沖地震
「被災者ことろと身体の健康調査」

報告書

平成21年8月

新潟県精神保健福祉協会 ことろのケアセンター
新 潟 県 柏 崎 市
新 潟 県 出 雲 崎 町
新 潟 県 刈 羽 村

はじめに

平成 19 年 7 月 16 日午前 10 時 13 分、新潟県中越沖を震源とする震度 6 強の強い地震が発生しました。平成 16 年 10 月 23 日に発生した中越大震災からわずか 2 年 9 カ月後のことで、短い期間に同じ地域でこのような大きな地震被害が 2 度も続いたこととなります。前の地震の記憶もいまだ消えぬ中で二重に被災した住民も多く、また地域内の柏崎刈羽原発にも大きな被害を受けるという特殊な事情もあって、住民の心身と生活基盤にもたらした被害ははかり知れないものでした。

心よりこの地震で被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、復興に向けて昼夜の別なく働いてこられた市町村及び関係機関の皆様に厚く感謝申し上げます。

新潟県精神保健福祉協会では、先の中越大震災に対してさまざまな被災者生活支援対策を行ってきました。現在も新潟市と小千谷市に開設した「こころのケアセンター」を核にこころのケアに関する事業の実施など、地域に密着した支援を続けています。中越沖地震ではそのノウハウを活かし、地震発生直後から柏崎市への「こころのケアセンター」の開設と、被災者のこころと身体 の健康調査を実施する計画を被災市町村と協力して進めてきました。中越沖復興基金によって平成 20 年 2 月 14 日、柏崎市役所前に柏崎地域こころのケアセンターが開所され、同年 6 月には柏崎市と刈羽村、10 月には出雲崎町にて「被災者こころと身体 の健康調査」を実施いたしました。

この調査は、平成 20 年から 3 年の間、地震がもたらした様々なストレスがこころと身体 の健康にどのような影響を与えるかを調べるためのもので、その結果は被災者の皆様に効果的な支援を行うために最大限活用されます。本調査が被災者の皆様のこころの痛手を癒し、元気を取り戻す一助になればと念願しております。

被災者の皆様がこころも身体も被災前の健康な状態に戻り、1 日も早く生活が再建されますことを心からお祈り申し上げます。

平成 21 年 8 月

新潟県精神保健福祉協会

こころのケアセンター長 染矢 俊幸

柏崎地域こころのケアセンター

事業運営委員長 松田 ひろし

目次

はじめに

I 中越沖地震被害概要	1
II 調査概要	3
III 柏崎市の調査内容と結果	
1. 柏崎市の概要と被害状況	7
2. 調査結果の分析と考察 (回収結果、調査参加者の属性、調査結果、調査結果の分析と考察)	9
3. まとめと今後のこころのケアの課題	59
IV 出雲崎町の調査内容と結果	
1. 出雲崎町の概要と被害状況	61
2. 調査結果の分析と考察 (回収結果、調査参加者の属性、調査結果、調査結果の分析と考察)	63
3. まとめと今後のこころのケアの課題	113
V 刈羽村の調査内容と結果	
1. 刈羽村の概要と被害状況	115
2. 調査結果の分析と考察 (回収結果、調査参加者の属性、調査結果、調査結果の分析と考察)	117
3. まとめと今後のこころのケアの課題	167
おわりに	168
巻末資料：	169

各市町村の中越沖地震「被災者こころと身体健康調査」関係書類

(調査の主旨とご協力をお願い、調査用紙、調査結果概要版、健康調査の結果お知らせ)

I 中越沖地震被害概要（※ 新潟県土木部 HP 公開資料より抜粋・編集）

平成 19 年 7 月 16 日午前 10 時 13 分に新潟県上中越沖（北緯 37.5°、東経 138.6°）の、深さ約 17km でマグニチュード 6.8 の地震が発生し、新潟県と長野県で最大震度 6 強を観測した。新潟県内では、長岡市、柏崎市、刈羽村で震度 6 強、上越市、小千谷市、出雲崎町で震度 6 弱を記録したほか、県内の広い地域で震度 5 強から 4 の強い揺れが観測された。

新潟県で震度 6 以上の地震を観測したのは、平成 16 年の新潟県中越地震（中越大震災）で震度 7 を記録して以来であり、気象庁は「平成 19 年（2007 年）新潟県中越沖地震」と命名した。今回の地震に伴い、柏崎市西山町池浦観測点で 1,000gal を超えるなど、大きな加速度の地震動が観測された。また 10 時 14 分に新潟県上中越と佐渡に津波注意報が発表され、柏崎と佐渡（小木）で高さ 0.3m など、新潟県沿岸を中心に弱い津波を観測したが、柏崎（新潟県管轄）では高さ約 1m の津波を観測した。

新潟県災害対策本部の報道資料（※ 下記転載参照）によると、死者 15 名（柏崎市 14 名・刈羽村 1 名）重軽傷者 2,316 名、被害を受けた住宅は 43,626 棟（43,430 世帯）に上った。

中越沖地震の被害の特徴は、個人住宅や中心市街地の商店街をはじめとして、多数の建築物が液状化等による地盤災害により被害を受けたことである。また、東京電力（株）柏崎刈羽原子力発電所が被災し、全号機の運転操業を停止した。



新潟県報道資料

平成 19 年 7 月 16 日に発生した新潟県中越沖地震による被害状況について(第 273 報)

新潟県中越沖地震による被害情報について、市町村等から報告のあったものを取りまとめましたのでお知らせします。住家被害の合計は 43,626 棟です。

○ 被害総数

新潟県災害対策本部 平成 21 年 7 月 13 日現在

区分	人的被害(人)		住家被害								非住家被害
	死者	重軽傷者	全壊		大規模半壊		半壊		一部損壊		公共施設+その他
単位	人	人	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数
新潟県計	15	2,316	1,331	1,199	856	835	4,853	4,739	36,586	36,657	31,523

○ 各市町村別の被害

区分	人的被害(人)		住家被害								非住家被害
	死者	重軽傷者	全壊		大規模半壊		半壊		一部損壊		公共施設+その他
単位	人	人	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数
新潟市		9			1	1			66	66	20
長岡市		243	10	12	25	25	434	434	6,873	6,873	2,268
三条市		32					1	1	125	125	1
柏崎市	14	1,664	1,121	986	676	655	3,907	3,785	22,719	22,719	24,359
小千谷市		40							251	251	69
十日町市		8	1	1			14	16	360	424	116
燕市		10	2	2	1	1	12	12	877	877	208
妙高市							2	2	33	34	12
上越市		158	14	15	1	1	62	68	2,707	2,706	1,776
魚沼市		6							9	9	21
南魚沼市		4							17	17	6
出雲崎町		10	17	17	16	16	115	115	1,383	1,390	348
川口町							1	1	8	8	
刈羽村	1	116	166	166	136	136	305	305	654	654	2,228
加茂市											7
湯沢町		1									
見附市		14							497	497	75
佐渡市											1
阿賀野市									1	1	1
糸魚川市		1							6	6	7

※ 数値については速報値であり、今後変更される可能性があります。

※ 被災者については、被災地別で計上(例:A町の住民がB町において被災及び発症した場合、B町における計上とする。)

○被害の詳細について

(1) 柏崎市

76歳男性が建物の下敷きになって死亡。

72歳女性が建物の下敷きになって死亡。

78歳女性が建物の下敷きになって死亡。

81歳女性が建物の下敷きになって死亡。

83歳男性が建物の下敷きになって死亡。

83歳男性が建物の下敷きになって死亡。

77歳女性が外傷性硬膜下血腫により死亡。

71歳女性が建物の下敷きになって死亡。

76歳男性が建物の下敷きになって死亡。

47歳男性が熱傷により死亡。

62歳男性が被災によるストレスのため

急性心筋梗塞で死亡。

70歳女性が被災によるストレスのため脳出血で死亡。

59歳男性が被災によるストレスのため胃潰瘍(大量

出血)で死亡。

59歳男性が地震や長期入院による

ストレスのため死亡。

(2) 刈羽村

79歳女性が建物の下敷きになって死亡。

○災害救助法の適用状況について

平成19年7月16日、以下の市町村に対し、災害救助法の適用を決定。

長岡市、柏崎市、小千谷市、上越市、出雲崎町、刈羽村
三条市、十日町市、燕市、南魚沼市(合計10市町村)

○市町村災害対策本部設置状況

県内13市町村において災害対策本部を設置

(設置中) 長岡市、柏崎市、出雲崎町、刈羽村

(解散済み) 新潟市、三条市、小千谷市、上越市

南魚沼市、燕市、川口町、見附市、十日町市

Ⅱ 調査概要

1) 目的

中越沖地震の与えた住民のメンタルヘルスへの影響は、次の三つの側面を重視しながら評価しなくてはならない。第一に、平成 16 年 10 月に約 70 名の死者を出した中越大震災の経験、第二に、今回の中越沖地震そのものが与えた影響である。三つ目は、世界で最も大規模な原子力発電所である柏崎刈羽原子力発電所のトラブルによる影響である。原子力事故の不安が精神健康に及ぼす影響は、1986 年のチェルノブイリ原子力発電所の放射能漏れ事故後、高被ばく線量地域において住民の精神不健康が報告されている。また、低被ばく線量地域においても、本人および家族における被ばくの事実の不確実性が増し、身体症状の発現のたびに原子力の影響に対する不安が強まると報告されている。

このように、二回の巨大地震の被災と原発トラブルに対する不安という、三重の不安と恐怖に晒されたこれら住民の状況を明らかにし、対策を練ることは、被災地域の住民にとって、更には国際的にも重要な情報となり、これら地震における精神保健的考察及びサービス提供は重要な案件である。

そこで、本調査は、以下を目的とする。

1. 精神保健関連の問題について IES-R*や K10/6*を指標としてスクリーニングすることにより、ハイリスク者を同定し適切な医療・保健サービスにつなげる。
2. IES-R や K10/6 を指標として精神健康不良のハイリスク者の特徴を人口統計学的・社会経済的要因やその他の要因（中越大震災や原子力事故に対する不安など）について検討する。特に被災前の脆弱性、修飾可能な要因について検討し、スクリーニングのあり方、その後の介入プログラムの開発につなげる。
3. 精神保健や地域復興の付随的事象としてのソーシャルサポートについても同様に上記要因との関連をみる。
4. 3 年間の縦断調査を行うことにより、精神保健に影響を与える経時的な要因を探り、その後の介入プログラムに反映させる。
5. 地域全体の精神健康回復状況を評価するとともに、介入の効果を測定する。

*: IES-R (Impact of Event Scale-Revised) 改訂版出来事インパクト尺度 (Weiss, D. & Marmar, C. 1997; Asukai, et al. 2002)

トラウマ (心的外傷) を生む特定の要因による現在の精神状態を測定する指標。PTSD (Posttraumatic stress disorder, 心的外傷後ストレス障害) のハイリスク者をスクリーニングする方法として多くの現場で用いられており、感度と特異性に優れているといわれている。

*: K10/6 (Kessler, 2003)

本尺度は、非特異的な精神健康の問題の程度を測定する 10 項目、あるいは 6 項目の簡便なスクリーニング尺度である。我が国の精神障害の有病率調査 (WMH-J 調査) (川上、平成 18 年) で用いられており、平常時の地域住民においてその感度、特異性、SSLR (層別尤度比)、種々のカットオフポイントを満たす住民の割合などが既に検討されている (川上、平成 18 年、古川、他、平成 14 年)。平成 14 年厚生労働科学研究の古川らの報告によると、K10 (範囲 1-50) のベストカットオフは 25 点とされ、今回の調査で用いた K10 (範囲 0-40) でこれに相当するのは 15 点である。平成 18 年厚生労働科学研究の川上の報告では、K6 合計点 (範囲 0-24) 5 点以上は心理ストレス相当、10 点以上が気分・不安障害相当、13 点以上が重症精神障害相当として分析されている。

2) 対象者

柏崎市・出雲崎町・刈羽村をそれぞれ母集団として、柏崎市以外は全世帯の 15 歳以上の世帯構成員すべてを対象とした (出雲崎町 1,729 世帯・4,590 名、刈羽村 1,533 世帯・4,358 名)。柏崎市については、仮設住宅全世帯 (833 世帯) と住基ネットで無作為抽出した 2,000 世帯 (計 6,000 名程度) の、15 歳以上の世帯構成員すべてを対象とした (2,833 世帯・6,977 名、対象地区は限定しない)。これらの数字は 2-3 年コホート (cohort 共通因子を持つ長期的な観察対象となる集団) を 2,000 名で行うことを目標としているためであり、脱落などの可能性を考慮した数字である。

そして、15 歳以上の家族全員分の質問票を対象世帯に郵送し、返信用封筒を対象人数分同封して個人別に返送してもらうことで、各世帯内におけるプライバシー保護の配慮をした。

3) 調査項目

主要測定項目：精神健康指標として、K10/6 と IES-R を用いた。

その他の変数：

- i) 社会経済学的変数：性、年齢、教育年数、世帯主か否か、中越大震災による転職の有無および経済状態の変化、中越沖地震による転職の有無および経済状態の変化、仮設住宅の利用、職業（主たる家計者、回答者）など
- ii) 災害の影響に関する変数：家屋被害認定区分（中越大震災、中越沖地震）、近親者の死亡、負傷（中越大震災、中越沖地震）、原子力事故に対する不安、情報提供に関する満足度、など
- iii) 健康行動関連変数：喫煙の有無とその変化、飲酒の有無とその変化（それぞれ中越大震災、中越沖地震）、健康状態とその変化、体重の変化、受療行動、など
- iv) ソーシャルサポート変数：人数、コンタクト回数（中越沖地震前、現在）、ソーシャルサポートに関する認識など

なお、調査項目数は全部で 74 である。ただし、出雲崎町のみ、平成 18 年度に策定された「健康いずもざき 21」の、進捗状況の中間評価を行うための 18 項目を追加した。

4) 調査実施期間

柏崎市・刈羽村	平成 20 年 6 月 1 日（日）～ 平成 20 年 6 月 30 日（月）
出雲崎町	平成 20 年 9 月 16 日（火）～ 平成 20 年 10 月 18 日（土）

5) 分析方法

χ^2 乗検定、Fisher の正確検定、t 検定などを用いて行い、有意水準は 5% とした（※ 検定方法等の詳細は各表下部に記載。なお、図表中の分析対象者数と項目ごとの合計人数は、欠損値があったために必ずしも一致していない箇

所もある)。

6) 倫理的配慮

本事業は新潟県精神保健福祉協会・こころのケアセンター・柏崎市・出雲崎町・刈羽村の共同保健事業である。調査結果の分析は元データを連結不可能な匿名化データに加工して、国立精神・神経センター精神保健研究所と医療法人立川メディカルセンター・茨内地域生活支援センターに委託して実施した。

(参考文献)

- ① Kessler RC, Barker PR, Colpe LJ, et al. Screening for serious mental illness in the general population. *Arch Gen Psychiatry*. 2003;60(2):184-9.
- ② 古川壽亮, 大野裕, 宇田英典, 中根允文. 一般人口中の精神疾患の簡便なスクリーニングに関する研究. 平成 14 年度厚生労働科学研究補助金 (厚生労働科学特別研究事業) 心の健康問題と対策基盤の実態に関する研究. 研究協力報告書. (<http://mental.m.u-tokyo.ac.jp/h14tokubetsu/>)
- ③ 川上憲人. 全国調査における K6 調査票による心の健康状態の分布と関連要因. 平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金 (統計情報高度利用総合研究事業) 国民の健康状況に関する統計情報を世帯面から把握・分析するシステムの検討に関する研究. 分担研究書.
- ④ Weiss, D. & Marmar, C. The Impact of Event Scale -Revised. In J. Wilson & T. Keane (Eds), *Assessing psychological trauma and PTSD*. 1997. New York: Guildford.
- ⑤ Asukai N, Kato H, Kawamura N, et al. Reliability and validity of the Japanese-language version of the impact of event scale-revised (IES-R-J): four studies of different traumatic events. *J Nerv Ment Dis*. 2002;190(3):175-82.
- ⑥ 心理アセスメントハンドブック (Handbook of Psychological Assessment) 第 2 版 監修: 上里一郎 2001 年 西村書店

Ⅲ 柏崎市の調査内容と結果

Ⅲ 柏崎市の調査内容と結果

1. 柏崎市の概要と被害状況（H.21.7.1 現在）

■ 概要

新潟県の海岸沿いのほぼ真中に位置し、米山・黒姫・八石の刈羽三山に囲まれた刈羽平野に位置する。中心市街地は砂丘上に発展した。稲作が盛んであるため、市街地から離れると田園が広がっている。新潟県内では6番目の人口を擁する。刈羽地区、柏崎地域広域圏の中心地で、国・県の出先機関も数多く置かれている。また観光資源も豊富で、市域の一部は佐渡弥彦米山国定公園に指定されている。平成17年5月1日、刈羽郡西山町、高柳町を編入合併。

人口(推計人口)	92,481人（震災当時は93,796人）
世帯数	34,105世帯（震災当時は33,841世帯）
面積	442,70平方キロメートル
海岸線	およそ42キロメートル

■ 被害状況

（1）人的被害

死者	14人
けが人	1,664人（重傷191人、軽傷1,473人）

（2）建物被害(住宅)

28,423棟（H.21.7.13 現在） ※ 震災当時の全世帯の約83%

全壊	1,121棟（986世帯）
大規模半壊	676棟（655世帯）
半壊	3,907棟（3,785世帯）
一部損壊	22,719棟（22,719世帯）

(3) 火災の状況

建物火災としては、工場1棟(半焼)と住宅1棟(全焼)の2件発生した。また、その他の火災として、東京電力柏崎刈羽原子力発電所3号機変圧器から火災が発生した。

(4) ライフラインの被害

電気	7月16日停電戸数 23,300戸 ⇒ 7月18日復旧
水道	40,260戸 ⇒ 8月4日全面給水
ガス	30,978戸 ⇒ 8月27日全面供給

(5) 避難人数

避難箇所 82箇所 (ほかに福祉避難所6箇所) 11,410人
※ ピーク時 (H.19.7.17 現在)

延べ人数 66,345人

(6) 応急仮設住宅

建設箇所 39箇所 1,007戸

2. 調査結果の分析と考察

(1) 回収結果

1) 調査対象人数・世帯数

対象世帯数			対象人数
仮設	無作為抽出	合計	
833 世帯	2,000 世帯	2,833 世帯	6,977 名

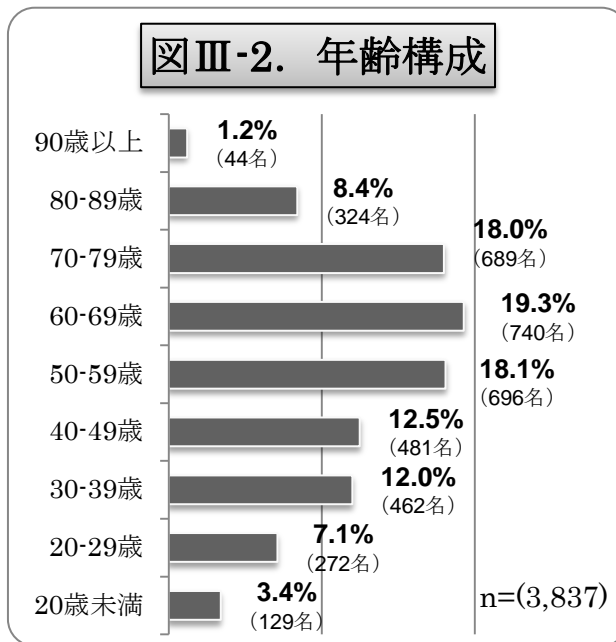
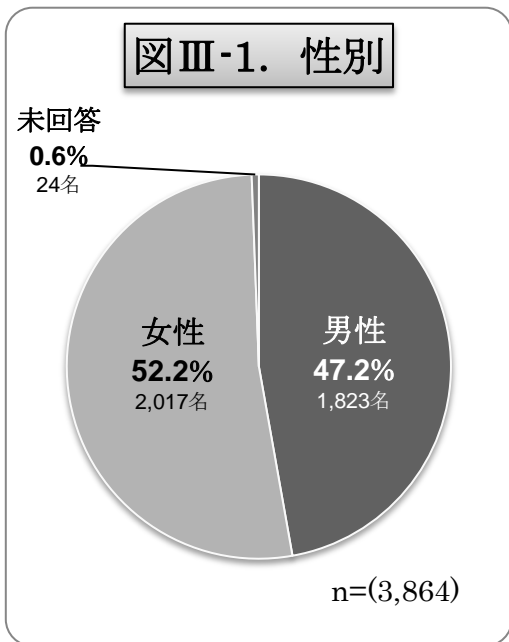
2) 回収状況

調査対象人数	回答者数	回収率
6,977 名	3,864 名	55.4%

(2) 調査参加者の属性

1) 性別・年齢と教育年数 (図Ⅲ-1,2,3)

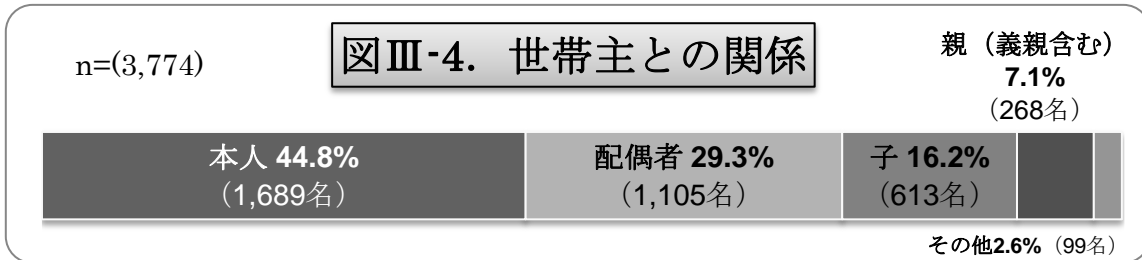
若干女性の参加者が多く (2,017 名、52.2%)、50 歳代 (696 名、18.1%)、60 歳代 (740 名、19.3%)、70 歳代 (689 名、18.0%) が半数以上を占める年齢構成であった。平均年齢は 55.9 歳 (標準偏差 18.7)、教育年数の平均は 11.7 年 (標準偏差 2.4) であった。



2) 世帯主との関係と住まい (図Ⅲ-4,5)

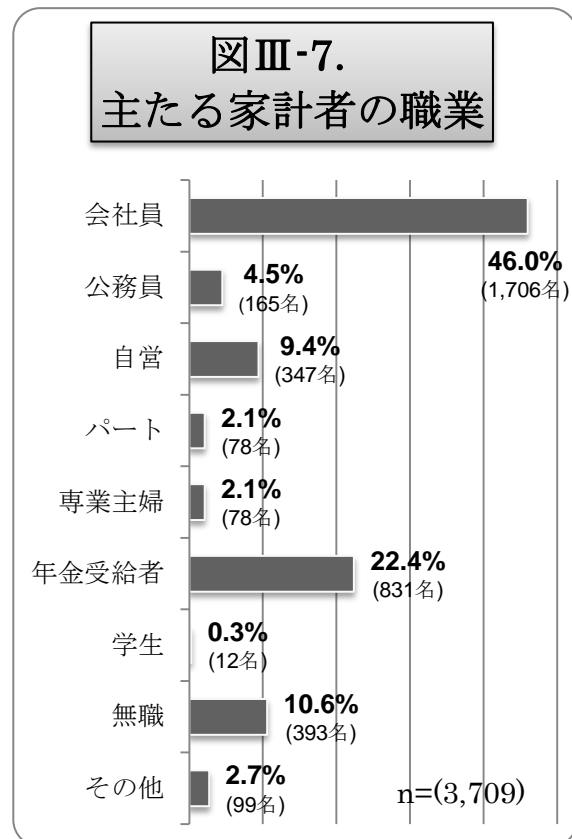
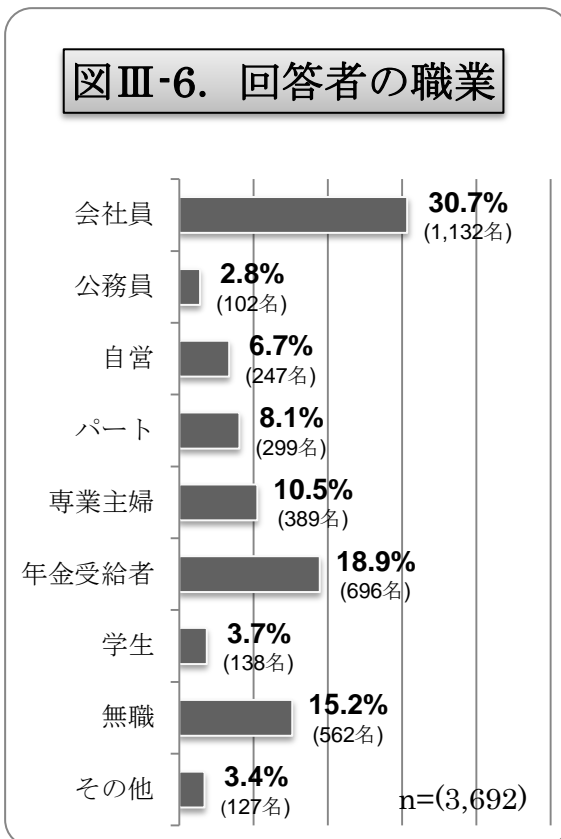
世帯主とその配偶者が合わせて7割以上を占めていた。

参加者の約4分の1(920名、24.3%)が調査時点で仮設住宅で生活していた。



3) 調査時の職業 (図Ⅲ-6,7)

1,706名(46.0%)の世帯の主たる家計者の職業は会社員であった。

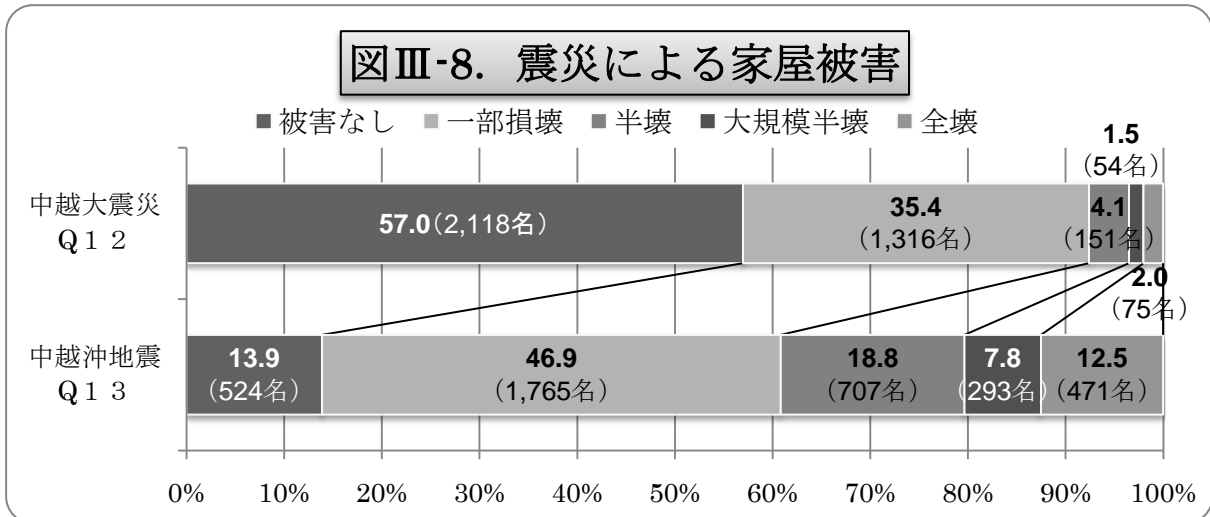


(3) 調査結果

1) 健康調査参加者の被災後の変化と震災による影響について

① 家屋被害の状況 (図Ⅲ-8)

家屋の損壊状況を見ると、半壊以上のものの割合は、中越大震災では 280 名(7.5%)であったが、中越沖地震では 1,471 名(39.1%)であった。中越大震災に比べて中越沖地震で被害を受けた方は、「全壊」が 6 倍強、「大規模半壊」が 5.4 倍、「半壊」が 4.7 倍に増加し、「被害なし」は、約 1/4 に減少していた。

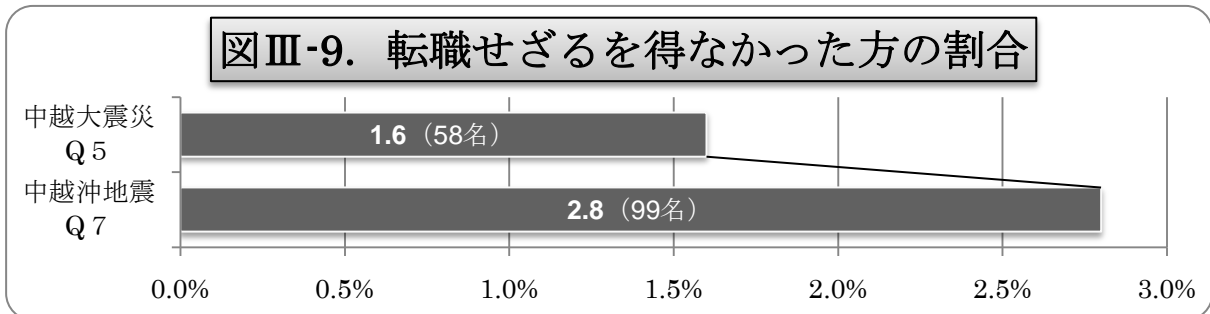


Q12. H16年10月の中越大震災に関し、行政による家屋被害認定結果について教えてください。

Q13. 昨年の中越沖地震に関し、行政による家屋被害認定結果について教えてください。

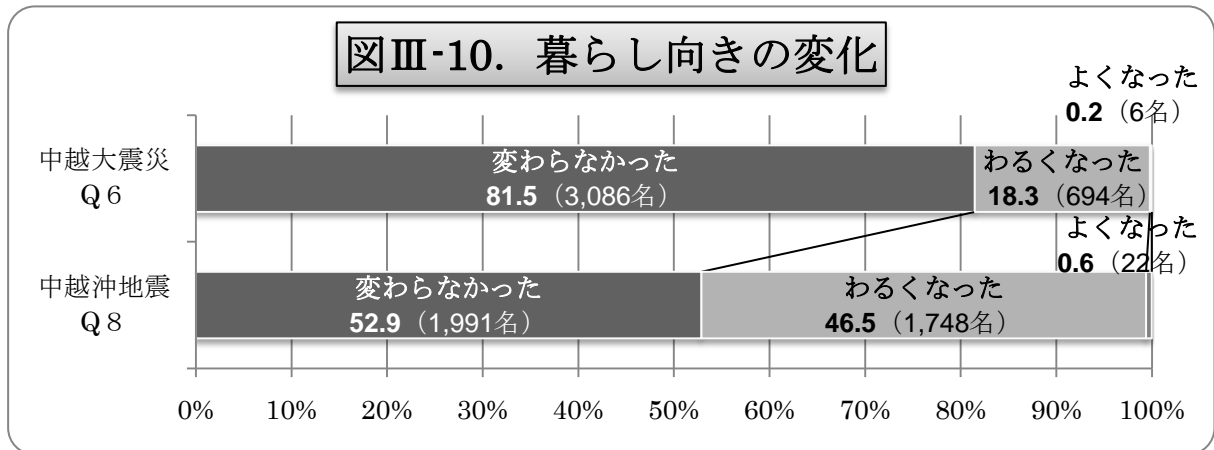
② 転職者の割合と暮らし向きの変化 (図Ⅲ-9,10)

中越大震災により、主たる家計者が転職せざるを得なかった方は 58 名(1.6%)にとどまったが、暮らし向きが悪くなったと感じた方は、694 名(18.3%)であった。中越沖地震の影響を検討したところ、転職せざるを得なかった方は 99 名(2.8%)と比較的増加率(1.71 倍)が少なかったものの、暮らし向きが悪くなったと感じた方は 1,748 名(46.5%)と大幅(約 2.5 倍)に増加した。



Q5. H16年10月の中越大震災を理由として、主たる家計者が転職せざるを得ませんでしたか。

Q7. 昨年の中越沖地震を理由として、主たる家計者が転職せざるを得ませんでしたか。

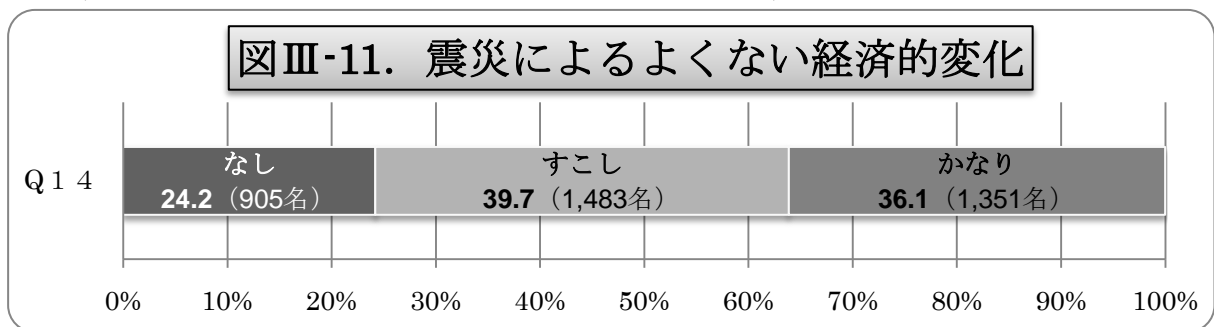


Q6. H16年10月の中越大震災をきっかけとして、暮らし向きは変わりましたか。

Q8. 昨年の中越沖地震をきっかけとして、暮らし向きは変わりましたか。

③ よくない経済的变化 (図Ⅲ-11)

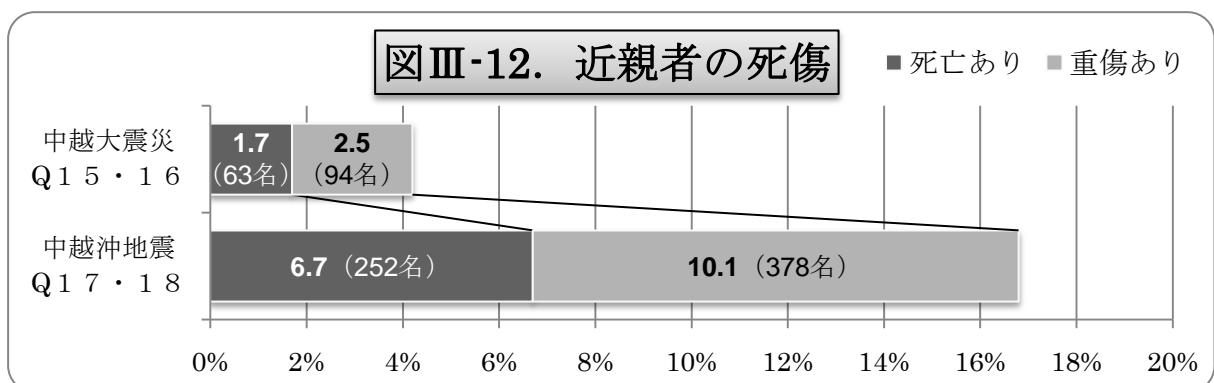
これらの震災による良くない経済的变化については、「すこし」が1,483名(39.7%)、「かなり」が1,351名(36.1%)であり、両者を合わせると75.0%以上(2,834名)であった。



Q 1 4. これらの震災のために、ご自身(家庭)の良くない経済的变化を感じましたか。

④ 近親者の死傷 (図Ⅲ-12)

身近な人的被害については、中越大震災では死亡を経験した方が63名(1.7%)、重症を経験した方が94名(2.5%)であったのが、中越沖地震ではそれぞれ252名(6.7%)、378名(10.1%)とほぼ4倍も増加した。



Q15. H16年10月の中越大震災に関し、身近に亡くなられた方はいらっしゃいますか。

Q16. H16年10月の中越大震災に関し、身近で重傷を負われた方はいらっしゃいますか。

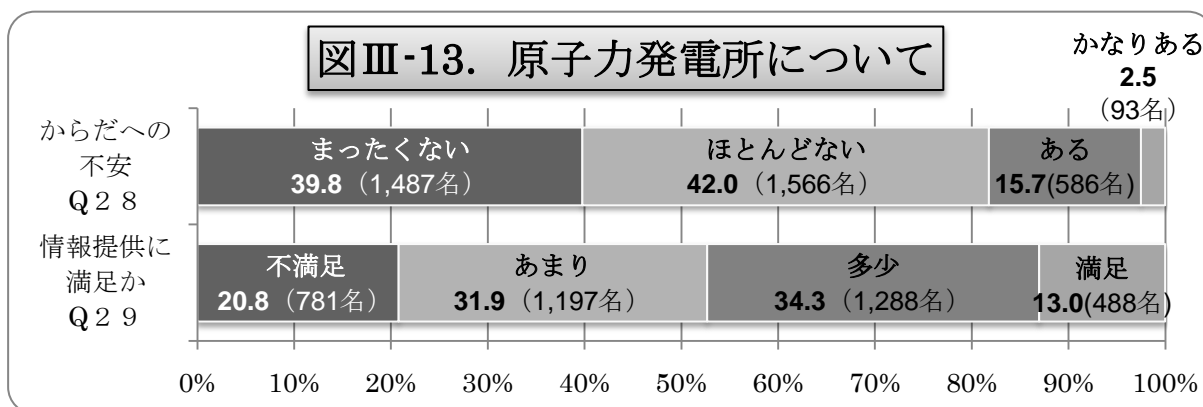
Q17. 昨年の中越沖地震に関し、身近に亡くなられた方はいらっしゃいますか。

Q18. 昨年の中越沖地震に関し、身近で重傷を負われた方はいらっしゃいますか。

	質問番号	同居家族	別居家族	親戚	友人	知人	その他
身近な 死亡・重傷者 の内訳人数	Q15	7	4	25	6	13	9
	Q16	17	3	19	13	29	10
	Q17	12	2	48	21	99	46
	Q18	61	8	74	35	125	39

⑤ 原子力発電所について (図Ⅲ-13)

中越沖地震後の原子力安全について、健康への不安が「ある」、あるいは「かなりある」と答えた方は 679 名(18.2%)、情報提供に「不満足」、あるいは「あまり」と答えた方は、1,978 名(52.7%)であり、満足度は高くなかったことが伺われた。



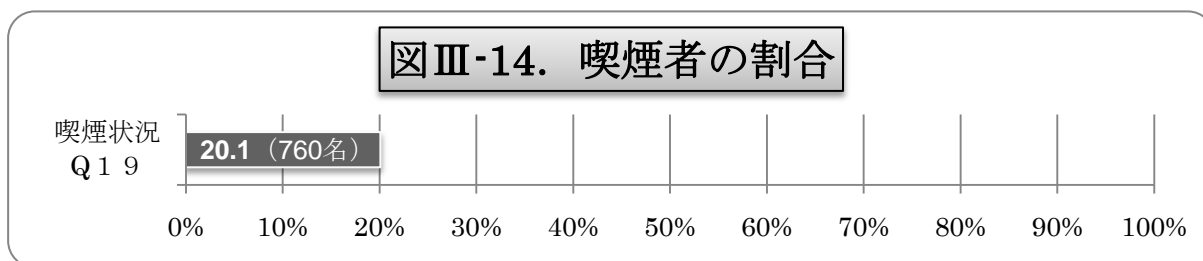
Q28. 昨年の中越沖地震による、原子力発電所からの微量の放射能流出は、人体に影響を与えるものではありませんが、現在、からだへの不安はありますか。

Q29. 現在、中越沖地震の発生により行政や会社の原子力発電所に関する情報提供に満足していますか。

2) 健康調査参加者の健康行動

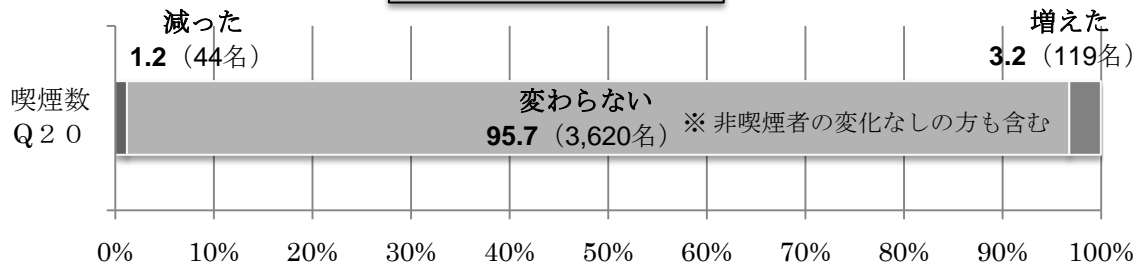
① 喫煙・飲酒状況 (図Ⅲ-14,15,16)

調査時点で喫煙している方は、760 名(20.1%)、喫煙数が増加した方は 119 名(3.2%)であった。飲酒については、1,468 名(40.9%)の方が飲酒していたが、飲酒量が増えた方は 214 名(5.8%)のみであった。



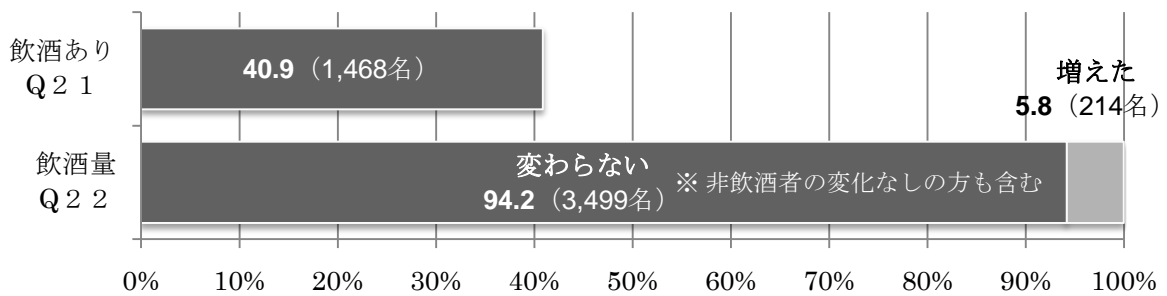
Q19. あなたは、たばこを吸いますか。

図Ⅲ-15. 喫煙数



Q20. 昨年の中越沖地震後、たばこを吸う本数は変わりましたか。

図Ⅲ-16. 飲酒状況



Q21. あなたは、お酒を飲みますか。

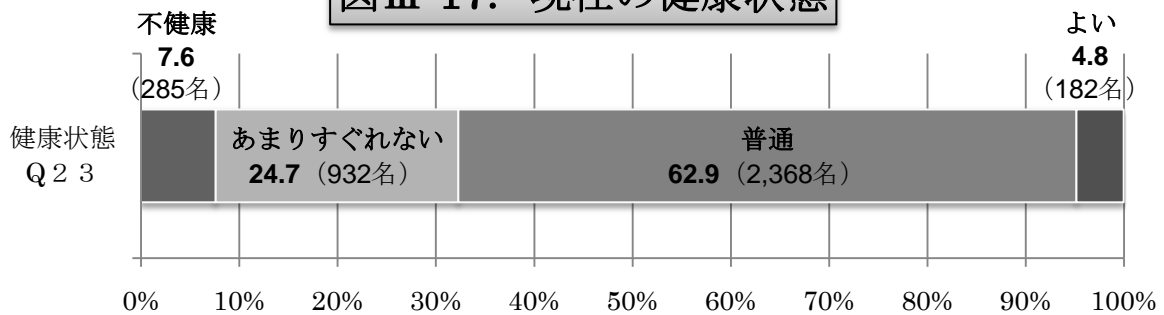
Q22. 昨年の中越沖地震後、お酒を飲む量がどれくらい増えましたか。

② 健康状態と体調・体重の変化 (図Ⅲ-17,18,19)

調査時の全般的な健康感について 2,550 名(67.7%)が、「普通」あるいは「よい」と回答していたが、1,217 名(32.3%)は「不健康」もしくは「あまりすぐれない」と回答していた。

また、震災後に体調が「悪くなった」と回答した方は、1,006 名(26.9%)であった。そして、震災後に体重が変化(増加ないし減少)したと回答した方は、計 1,039 名(28.8%)であった。

図Ⅲ-17. 現在の健康状態



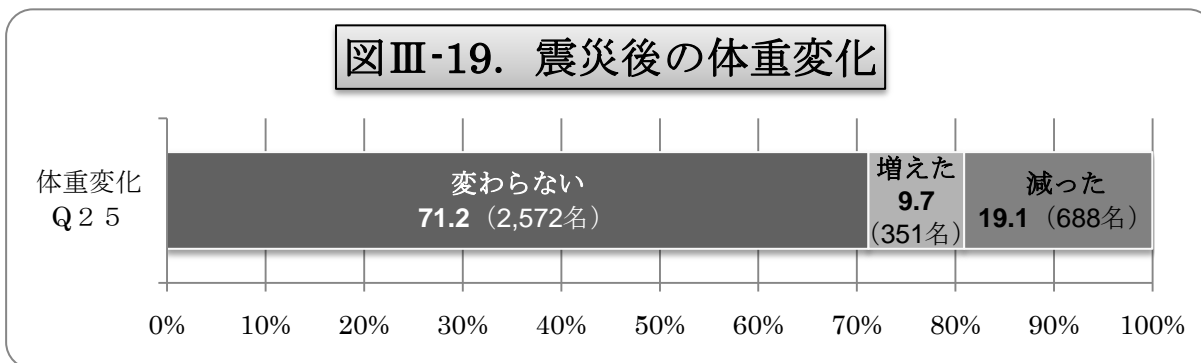
Q23. 現在、あなたの健康はいかがですか。

図Ⅲ-18. 体調の変化



Q24. 昨年の中越沖地震後、体調に変化はありますか。

図Ⅲ-19. 震災後の体重変化



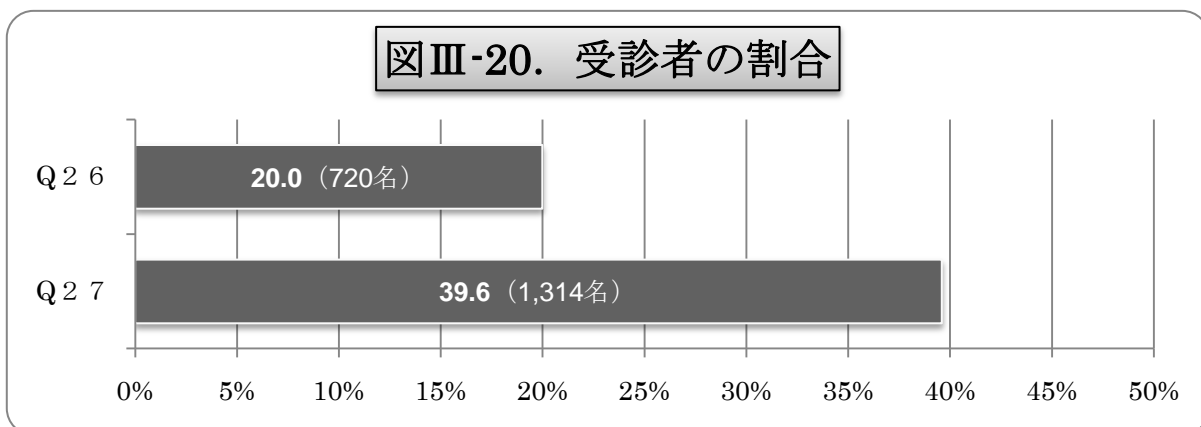
Q25. 昨年の中越沖地震後に体重の変化はありましたか。

③ 受診状況と主な病名 (図Ⅲ-20,表Ⅲ-1,2)

調査参加者の 720 名(20.0%)が中越沖地震後に新規の受診をしており、既往症については 1,314 名(39.6%)が「受診あり」と回答した。受診の際の主な病名 (自己申告) については、ICD-10*によって分類したものを、次頁の表に示した。

*:ICD (International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems)-10, WHO が作成した「疾病及び関連保健問題の国際統計分類(第 10 回目修正版)」

図Ⅲ-20. 受診者の割合



Q26. 昨年の中越沖地震後に、新たに医者にかかりましたか。

Q27. 質問26以外で、現在、医者にかかっている主な病気は何ですか。

表Ⅲ-1. 柏崎市における中越沖地震後の新規受診の際の ICD-10 の分類による主な病名（複数回答を含む）(n=743)			
ICD コード	分類見出し	n	%
A00-B99	感染症および寄生虫症	10	1.3
C00-D48	新生物	29	3.9
D50-D89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	8	1.1
E00-E90	内分泌,栄養および代謝疾患	25	3.4
F00-F99	精神および行動の障害	60	8.1
G00-G99	神経系の疾患	45	6.1
H00-H59	眼および付属器の疾患	19	2.6
H60-H95	耳および乳様突起の疾患	22	3.0
I00-I99	循環器系の疾患	159	21.4
J00-J99	呼吸器系の疾患	91	12.2
K00-K93	消化器系の疾患	58	7.8
L00-L99	皮膚および皮下組織の疾患	31	4.2
M00-M99	筋骨格系および結合組織の疾患	152	20.5
N00-N99	尿路性器系の疾患	17	2.3
R00-R99	症状,徴候および異常臨床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	4	0.5
S00-T98	損傷,中毒およびその他の外因の影響	13	1.7
複数回答者（2項目選択）		32名	
複数回答者（3項目選択）		8名	
計		743	100%
実人数		679	

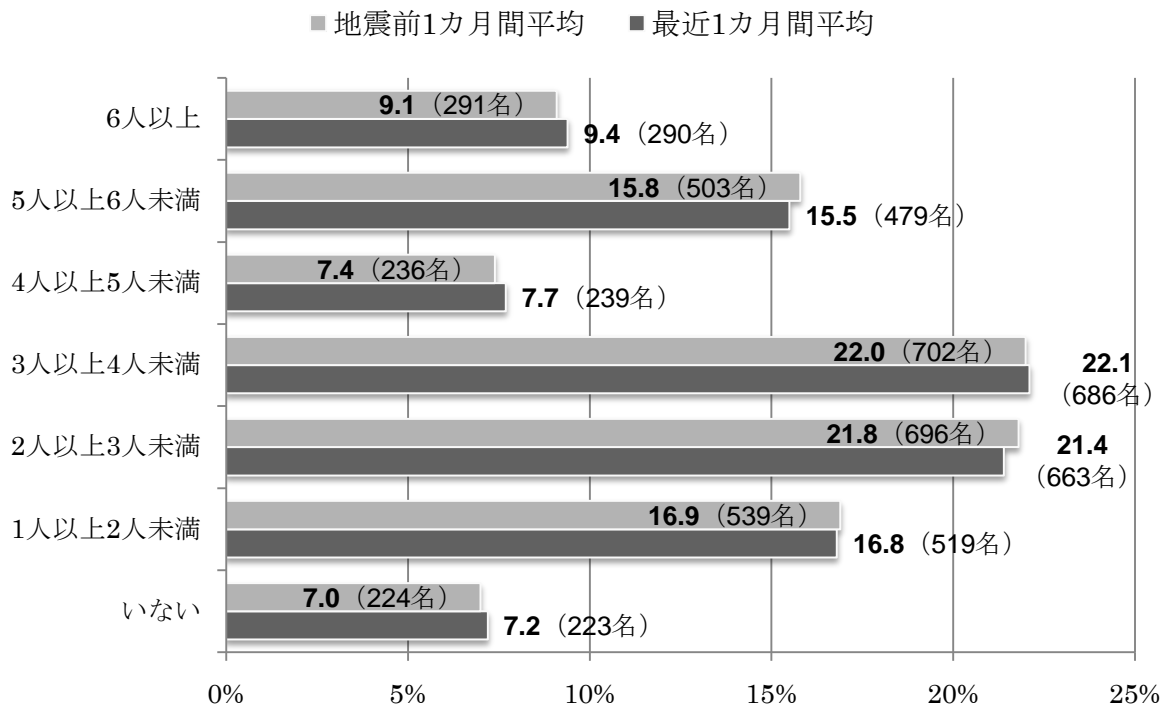
表Ⅲ-2. 柏崎市における中越沖地震後の新規受診以外での現在の受診の際の ICD-10 の分類による主な病名（複数回答を含む）(n=1,560)			
ICD コード	分類見出し	n	%
A00-B99	感染症および寄生虫症	4	0.3
C00-D48	新生物	41	2.6
D50-D89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	15	1.0
E00-E90	内分泌,栄養および代謝疾患	224	14.4
F00-F99	精神および行動の障害	85	5.4
G00-G99	神経系の疾患	72	4.6
H00-H59	眼および付属器の疾患	49	3.1
H60-H95	耳および乳様突起の疾患	20	1.3
I00-I99	循環器系の疾患	632	40.5
J00-J99	呼吸器系の疾患	67	4.3
K00-K93	消化器系の疾患	93	6.0
L00-L99	皮膚および皮下組織の疾患	28	1.8
M00-M99	筋骨格系および結合組織の疾患	179	11.5
N00-N99	尿路性器系の疾患	47	3.0
O00-O99	妊娠,分娩および産じょく<褥>	1	0.1
S00-T98	損傷,中毒およびその他の外因の影響	3	0.2
複数回答者 (2 項目選択)		55 名	
複数回答者 (3 項目選択)		12 名	
計		1,560	100%

3) 健康調査参加者の人とのつながりに関する調査 (図Ⅲ-21,22,23)

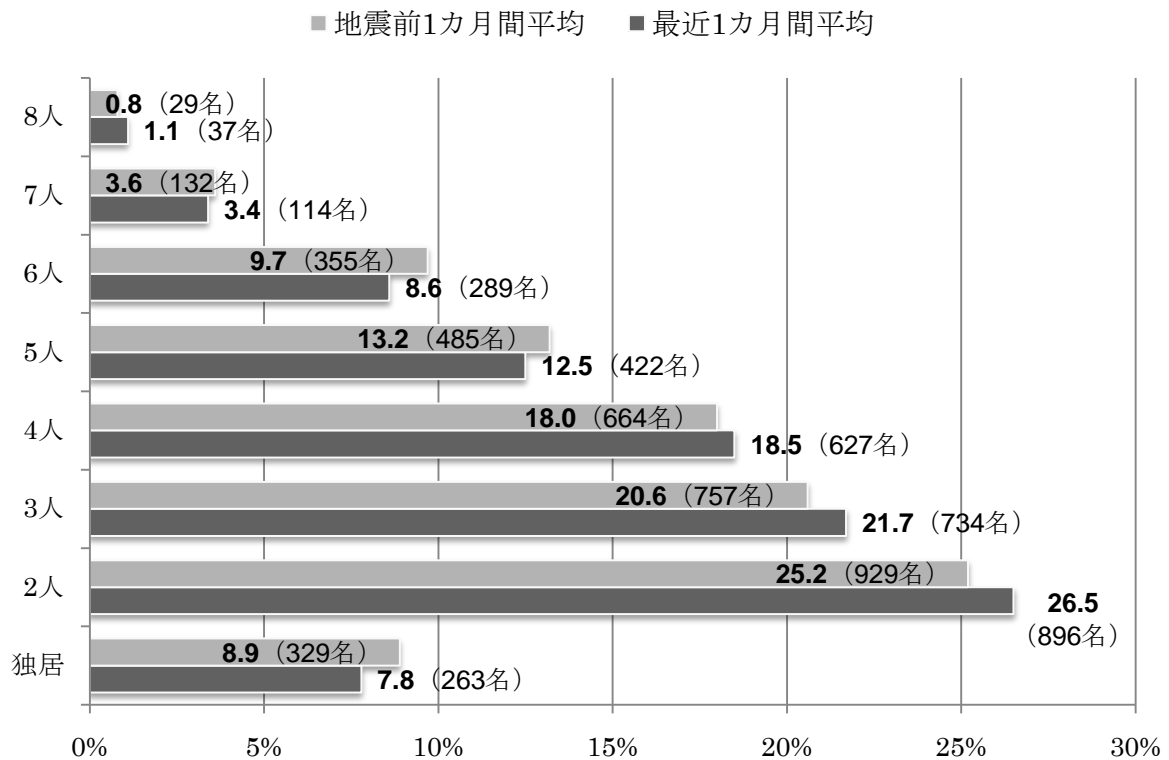
次頁の図にソーシャルサポートの人数について示す。人数について範囲で回答した方については、その範囲の中央値を用いて集計した。ソーシャルサポートとして、悩みを相談できる人の数を尋ねたところ、多くの方が、1人以上2人未満(539名、16.9%)、2人以上3人未満(696名、21.8%)、3人以上4人未満(702名、22.0%)と回答し、これらの割合は、中越沖地震1年後でも大きな変化はみられなかった。同居人数についても、2人(929名、25.2%)、3人(757名、20.6%)、4人(664名、18.0%)が多く、1年後にも大きな変化は見られなかった。

図Ⅲ-23にソーシャルサポートに関する認識について示す。「ときどき感じる」と「いつも感じる」の合計回答者数が最も多かったのは、「私は、何か問題があったときに、家族と相談できる。(81.7%)」>「私を必要としてくれる人がいる。(77.2%)」>「私は、何か問題があったときに、相談できる友人・知人がいる。(73.6%)」の順番であった。反転項目の「私は、まわりから受け入れられていない。(17.9%)」、「だれも私のことを理解してくれない。(21.7%)」については、「ときどき感じる」と「いつも感じる」の合計回答者数の割合はどちらも低く、ソーシャルサポートについて肯定的に認識している方が多かったことを示していた。

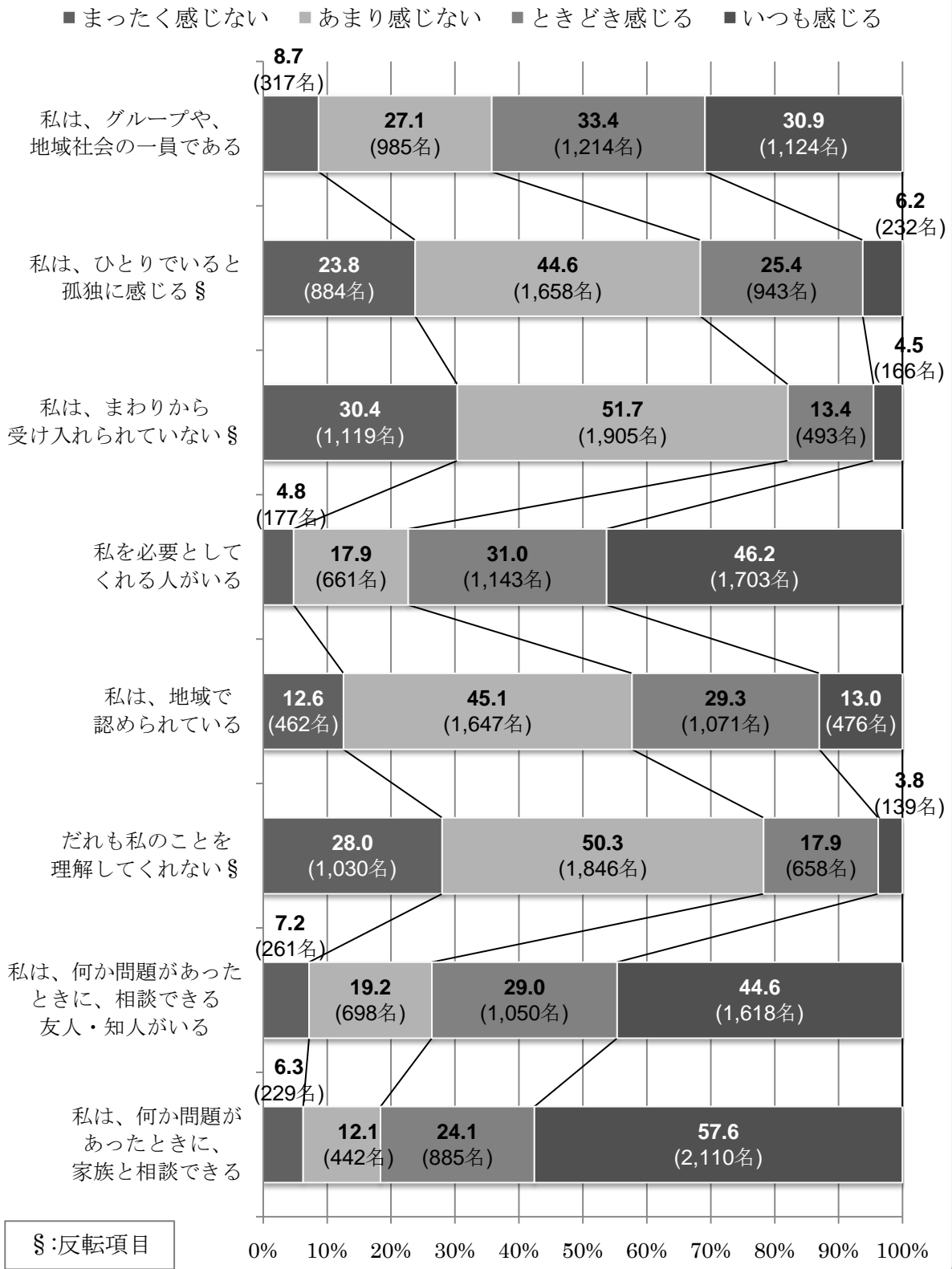
図Ⅲ-21. 悩みを相談できる人



図Ⅲ-22. 同居人数



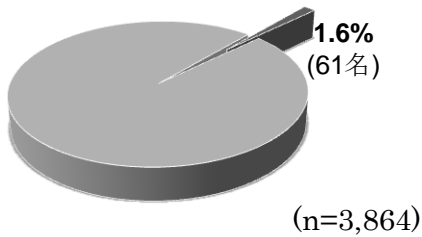
図Ⅲ-23. 人とのつながりに関する調査



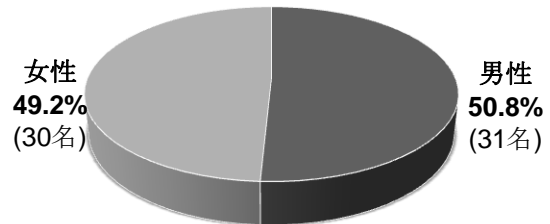
4) 健康調査参加者における個別相談希望者について (図Ⅲ-24,25,26)

個別相談希望者の割合は全体の1.6%(61名)であり、男女比はほぼ同じであった。年代別には70代の希望者が34.4%と最も多く、次いで80代(22.9%)、50代(13.6%)、60代(18.0%)の順に多く、60歳以上の方が86.8%であった。

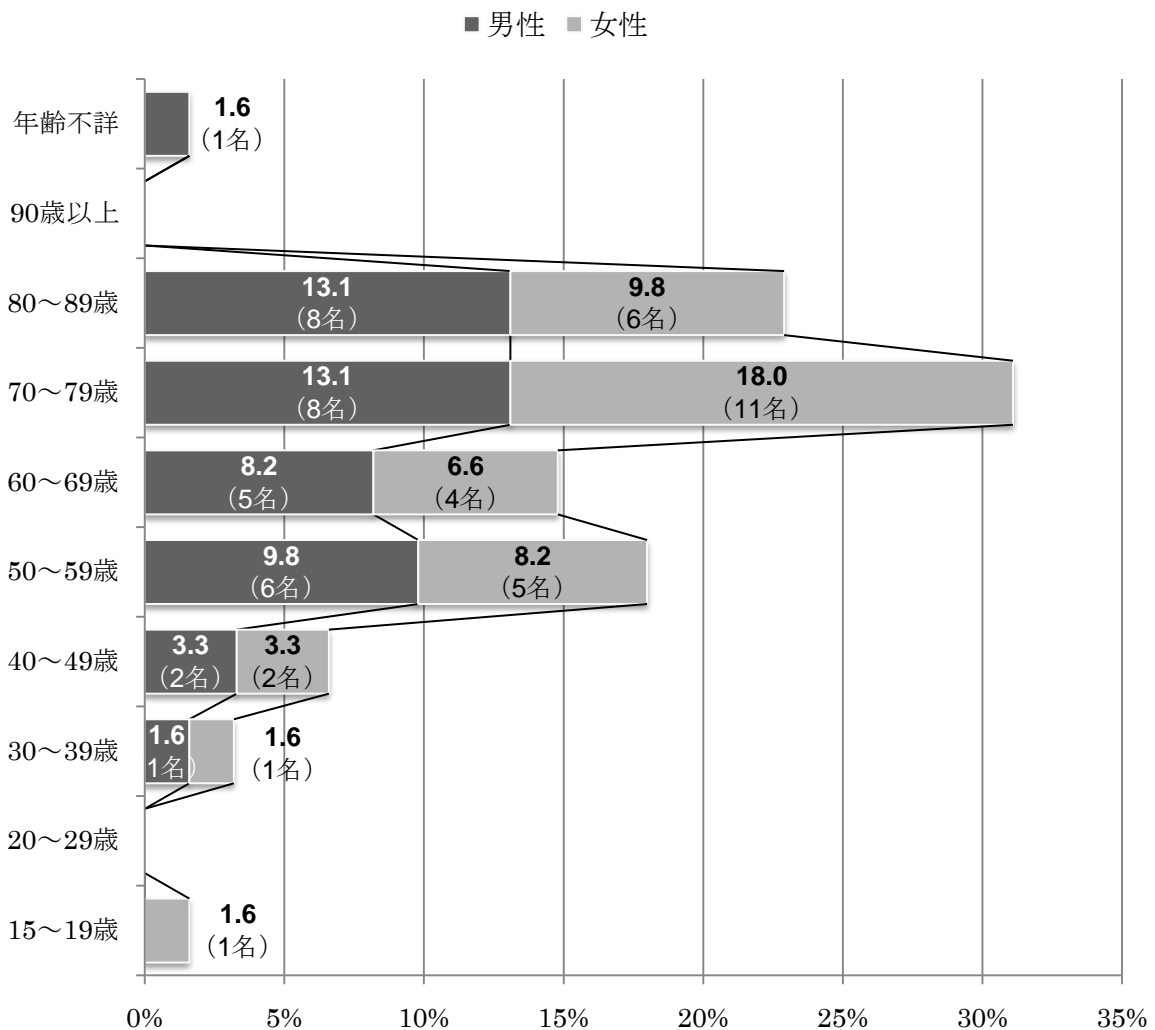
図Ⅲ-24.希望者の割合



図Ⅲ-25.希望者の男女比



図Ⅲ-26.希望者の年齢構成



(4) 精神健康に関する調査結果の分析と考察

1) K10/6 分析と考察

表Ⅲ-3 に K10 の各項目への回答者の頻度を示す。K10 の各項目について、「たいてい」、「いつも」と答えた方が多かったのは、「理由もなく疲れ切ったように感じましたか。」、「神経過敏に感じましたか。」、「何をしても骨折りだと感じましたか。」といった、非特異的な心理的ストレスを示す質問項目が多かった (図Ⅲ-27 参照)。

表Ⅲ-4 に K10 の合計点の分布を、表Ⅲ-5 に K6 の合計点の分布を示す。K10 の得点は低得点を示す方の割合が多かった。上位 20%程度となる得点は 14 点以上、上位 10%程度となる得点は 19 点以上であった。K10 で 15 点以上の方は 652 名(18.2%)であった(表Ⅲ-4)。また、K6 についても K10 と同様に低得点を示す方の割合が多かった。上位 20%程度となる得点は 8 点以上、上位 10%程度となる得点は 11 点以上であった。K6 で 5 点以上の方は 1,548 名(42.8%)、10 点以上の方は 527 名(14.6%)、13 点以上の方は 241 名(6.7%)であった。

表Ⅲ-6 に、K6 のカットオフ値を 5 点に設定した場合の、精神健康度別の基礎属性の比較を示す。K6 の 5 点以上の方を心理ストレス相当として、それ以外の方と基本的属性について検討した。K6 で 5 点以上の方は、性別 (女性が多い)、年齢区分、教育年数、住まい (仮設住宅が多い)、回答者の職業において、それ以外の方と統計的な差異がみられた。

表Ⅲ-7 で K6 の 10 点以上の方を気分・不安障害相当として、それ以外の方と基本的属性について検討した。K6 で 10 点以上の方は、世帯主との関係、住まい (仮設住宅が多い)、回答者の職業において、それ以外の方と統計的な差異がみられた。表Ⅲ-8 では、K6 の 13 点以上の方を重症精神障害相当として、それ以外の方と基本的属性について検討した。K6 で 13 点以上の方は、住まい (仮設住宅が多い)、回答者の職業、主たる家計者の職業において、それ以外の方と統計的な差異がみられた。

表Ⅲ-9 に、K6 のカットオフ値を 5 点に設定した場合の、精神健康度別の震災による影響の比較を示す。K6 で 5 点以上の方はそれ以外の方と比べて、検討したすべての項目について震災の影響が深刻である方向に、統計的な差異がみられた。表Ⅲ-10 では K6 の 10 点以上の方を気分・不安障害相当として、それ以外の方と震災の影響について検討した。K6 で 10 点以上の方は、中越大震災、そして中越沖地震における身近な方の死亡以外の、検討したすべての項目について震災の影響が深刻である方向に、それ以外の方と統計的な差異がみられた。表Ⅲ-11 では、K6 で 13 点以上の方に関する検討をしたが、中越大震災による転職、中越大震災、そして中越沖地震における身近な方の死亡以外の、検討したすべての項目について震災の影響が深刻である方向に、それ以外の方と統計的な差異がみられた。

表Ⅲ-12 に、K6 のカットオフ値を 5 点に設定した場合の、精神健康度別の健康や健康に関連

する行動の比較を示す。精神健康度の低い群で、喫煙数が増加した方、飲酒量が増加した方の割合が高くなっていた。健康状態について不良と回答した方が、精神健康度の高い群においては2割に満たなかったのに対し、精神健康度の低い群においては約5割を占めていた。体調の悪化を感じている方の割合も、中越沖地震後に受診した方の割合も、それ以外で受診している方の割合も、精神健康度の低い群において高くなっていた。体重の変化にも精神健康度別で有意差が見られた。K6のカットオフ値を10点(表Ⅲ-13)、13点(表Ⅲ-14)に設定した場合でも、結果は同様であった。

表Ⅲ-15に、K6のカットオフ値を5点に設定した場合の、精神健康度別のソーシャルサポートの認識についての比較を示す。8項目のうち、「家族と相談できる」という項目を除いた他の項目で、精神健康度の低い群で否定的な認識を示す方の割合が高かった。特に、「ひとりである」と孤独に感じる」という項目では、精神健康度の高い群では「そう感じる」と回答した方が2割未満であったのに対し、精神健康度の低い群では、約5割の方が「そう感じる」と回答していた。また、「まわりから受け入れられていない」という項目や、「だれも理解してくれない」という項目についても、「そう感じる」と回答した方は精神健康度の高い群では1割ほどであったのに対し、健康度の低い群では、3割程度の方が「そう感じる」と回答しており、大きな差が見られた。K6のカットオフ値を10点に設定した場合(表Ⅲ-16)と13点に設定した場合(表Ⅲ-17)には、全項目で有意差が示された。特に、「ひとりである」と孤独に感じる」という項目や、「まわりから受け入れられていない」という項目、「だれも理解してくれない」という項目で、2群間での差が大きいということに変わりは無かった。

表Ⅲ-18に、K6のカットオフ値を5点に設定した場合の、仮設住宅居住者850名における精神健康度の性別比較を示す。仮設住宅居住者とそれ以外の方を合わせた分析対象者全体3,620名においては、性別で精神健康度に有意差が見られたものの(表Ⅲ-6)、仮設住宅居住者に限った場合には性別による有意差は見られなかった。そして、K6のカットオフ値を10点(表Ⅲ-19)に設定した場合には、分析対象者全体についても、仮設住宅居住者に関しても、男女差はみられなかった。しかし、K6のカットオフ値を13点(表Ⅲ-20)に設定した場合には、仮設住宅居住者のみに限定した場合に、女性で13点以上の方が多かった。

表Ⅲ-21に、K6のカットオフ値を5点に設定した場合の、仮設住宅居住者以外の2,729名における精神健康度別の家屋被害の比較を示す。仮設住宅居住者も合わせた分析対象者全体3,620名においては、中越沖地震による家屋被害の規模と精神健康度に有意な関係が見られ(表Ⅲ-9)、仮設住宅居住者以外に限った場合にも同様の結果だった。K6のカットオフ値を10点(表Ⅲ-22)、13点(表Ⅲ-23)に設定した場合でも、仮設住宅居住者以外の方における地震による家屋被害の規模と精神健康度に、有意な関係が見られた。

表Ⅲ-24に、K6のカットオフ値を5点に設定した場合の、年齢階級別における精神健康度の性別比較を示す。60歳代と70歳代の集団では、男性より女性において精神健康度の悪い方の割合が高かった。その他の年齢階級においては性別で精神健康度の悪い方の割合に有意差は見

られなかった。K6 のカットオフ値を 10 点 (表Ⅲ-25) に設定した場合では、70 歳代と 80 歳以上の集団において女性でカットオフ値以上の方が多く、13 点 (表Ⅲ-26) に設定した場合には、統計的に男女差は見られなかった。

表Ⅲ-27 に、2004 年の中越大震災と 2007 年の中越沖地震の 2 度の地震の際の家屋の被害規模の関係を示す。中越大震災の際に被害規模が大きかったもので、中越沖地震においても被害規模が大きいものの割合が高くなっている傾向がうかがえた。中越大震災で被災なしと回答したグループ以外では、2004 年の中越大震災時と 2007 年の中越沖地震での被災規模が同じであるものが大部分であった。家屋の被害規模を、「なし」もしくは「一部損壊」であったものと、「半壊」か「大規模半壊」か「全壊」であったものに 2 分して比較しても、同様の関係がうかがえた (表Ⅲ-28) ($\chi^2(1) = 265.4, P < 0.001$)。表Ⅲ-29 に、2 度の地震でともに半壊以上の家屋被害を受けた方とそうでない方の属性の比較を示す。2 度の地震でともに半壊以上の家屋被害を受けた方には高齢者が多い様子が見られた。

図Ⅲ-28 に K6 の合計点の度数分布を、図Ⅲ-29 に IES-R の合計点の度数分布を示す。K6 合計点の分布は、平均値 4.7、標準偏差 4.7、最小値 0、最大値 24 であり、0 点から低得点に偏った分布であった。IES-R 合計点の分布は、平均値 14.7、標準偏差 15.2、最小値 0、最大値 88 であり、0 点から低得点に偏った分布であった。

図Ⅲ-30 に、K6 の合計点を縦軸に、IES-R の合計点を横軸にとって描いた散布図を示す。両者には相関が見られた (相関係数 = 0.6801)。また、主観的な健康について、良好と回答した方と不良と回答した方の 2 群に分け、それぞれにおける K6 と IES-R の散布図を示した (図Ⅲ-31, 32)。主観的に不健康な群においては K6 の合計点も IES-R の合計点も均一に分布しているのに対し (相関係数 = 0.6052)、主観的に健康な群においては、K6 の合計点も IES-R の合計点もともに、低得点の領域に集中していることが見て取れる (相関係数 = 0.6163)。

考察

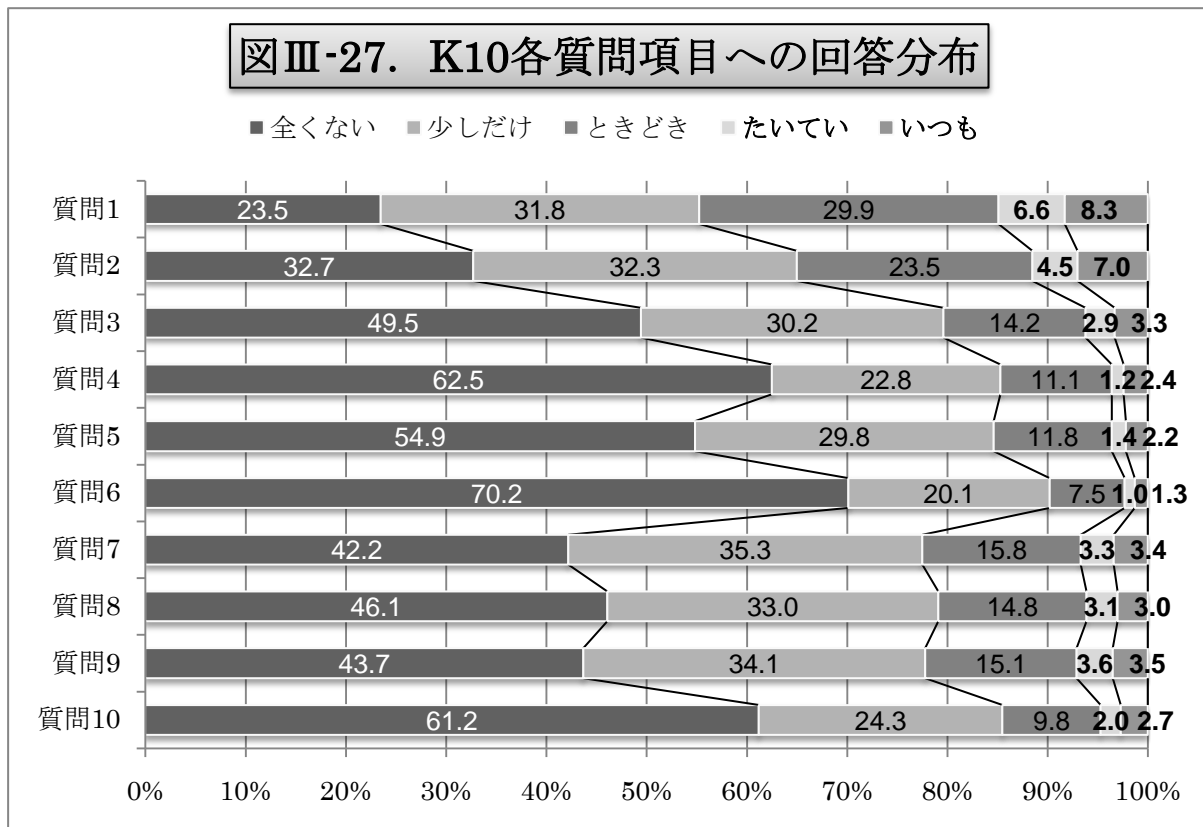
地震による精神健康影響についておもに K6 を指標として検討したところ、「仮設住宅の居住者、地震により暮らし向きが悪化した、良くない経済的変化を感じている、身近に重傷の方がいた、中越沖地震における家屋の被害が大きかった」などの回答者の中に、精神的健康度の低い方が多く含まれており、震災の影響が関与していることが示唆された。また、「主観的健康や体調、医療機関への受診、喫煙や飲酒の増加、体重の増減」など、身体的な健康と精神的健康には強い関連が見られた。さらに、「主観的健康度の低い方」ではソーシャルサポートに対する認識が否定的な方の割合が高かった。

しかし今回提示した結果は横断調査の結果であり、統計的に有意な関連が見出されたこれらの変数に関して、これらが原因で精神的健康度が悪化したという因果関係までは示していない。今後の縦断的調査により、これらの推移やその予後予測する因子の検討が必要である。また、各セルについて、場合によっては該当者が非常に少なくなっている場合もあるため、検定結果の解釈に関しては慎重を要する。

表Ⅲ-3. 柏崎市における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の
K10各項目への回答の分布(n=3,864)

	全くない		少しだけ		ときどき		たいてい		いつも	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
1 理由もなく疲れ切ったように感じましたか。	878	23.5	1,187	31.8	1,116	29.9	248	6.6	310	8.3
2 神経過敏に感じましたか。§	1,218	32.7	1,203	32.3	874	23.5	169	4.5	260	7.0
3 どうしても落ち着けないうらいに、神経過敏に感じましたか。	1,838	49.5	1,123	30.2	526	14.2	107	2.9	122	3.3
4 絶望的だと感じましたか。§	2,318	62.5	847	22.8	410	11.1	44	1.2	90	2.4
5 そわそわ、落ち着かなく感じましたか。§	2,045	54.9	1,109	29.8	438	11.8	52	1.4	80	2.2
6 じっと座ってられないほど、落ち着かなく感じましたか。	2,611	70.2	748	20.1	278	7.5	36	1.0	48	1.3
7 ゆううつに感じましたか。	1,567	42.2	1,312	35.3	587	15.8	124	3.3	127	3.4
8 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか。§	1,714	46.1	1,227	33.0	551	14.8	116	3.1	112	3.0
9 何をするのも骨折りと感じましたか。§	1,630	43.7	1,271	34.1	562	15.1	135	3.6	129	3.5
10 自分は価値のない人間だと感じましたか。§	2,276	61.2	903	24.3	366	9.8	75	2.0	102	2.7

§:K6の質問項目



表Ⅲ-4. 柏崎市における中越沖地震 1 年後の
 ところと身体健康調査参加者の
 K10 合計点 (範囲 0-40) (n=3,864)

	n	%	累積割合
K10 合計点			
0	533	14.9	14.9
1	249	7.0	21.9
2	210	5.9	27.7
3	195	5.5	33.2
4	200	5.6	38.8
5	210	5.9	44.7
6	196	5.5	50.1
7	165	4.6	54.8
8	199	5.6	60.3
9	147	4.1	64.4
10	158	4.4	68.9
11	132	3.7	72.5
12	118	3.3	75.8
13	120	3.4	79.2
14	92	2.6	81.8
15	78	2.2	84.0
16	74	2.1	86.0
17	64	1.8	87.8
18	55	1.5	89.4
19	54	1.5	90.9
20	66	1.9	92.7
21	36	1.0	93.7
22	30	0.8	94.6
23	23	0.6	95.2
24	21	0.6	95.8
25	23	0.6	96.4
26	14	0.4	96.8
27	12	0.3	97.2
28	12	0.3	97.5
29	15	0.4	97.9
30	6	0.2	98.1
31	6	0.2	98.2
32	9	0.3	98.5
33	7	0.2	98.7
34	6	0.2	98.9
35	3	0.1	98.9
36	3	0.1	99.0
37	7	0.2	99.2
38	6	0.2	99.4
39	2	0.1	99.4
40	20	0.6	100.0
15 点以上 (再掲)	652	18.2	

表Ⅲ-5. 柏崎市における中越沖地震 1 年後の
 ところと身体健康調査参加者の
 K6 合計点 (範囲 0-24) (n=3,864)

	n	%	累積割合
K6 合計点			
0	764	21.1	21.1
1	357	9.9	31.0
2	348	9.6	40.6
3	314	8.7	49.3
4	289	8.0	57.2
5	259	7.2	64.4
6	266	7.4	71.7
7	193	5.3	77.1
8	158	4.4	81.4
9	145	4.0	85.4
10	102	2.8	88.3
11	81	2.2	90.5
12	103	2.9	93.3
13	53	1.5	94.8
14	38	1.1	95.9
15	29	0.8	96.7
16	17	0.5	97.1
17	16	0.4	97.6
18	19	0.5	98.1
19	8	0.2	98.3
20	15	0.4	98.7
21	5	0.1	98.9
22	12	0.3	99.2
23	5	0.1	99.3
24	24	0.7	100.0
5 点以上 (再掲)	1,548	42.8	
10 点以上 (再掲)	527	14.6	
13 点以上 (再掲)	241	6.7	

表Ⅲ-6. 柏崎市における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の基本的属性に関するK6のカットオフ値を5点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=3,620)

	全体		K6: 5点未満		K6: 5点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	3,620		2,072		1,548				
性別									
男性	1,733	48.0	1,021	49.5	712	46.1	1	4.2 *	0.041
女性	1,876	52.0	1,042	50.5	834	54.0			
年齢階級									
20歳未満	129	3.6	76	3.7	53	3.5	8	16.1 *	0.041
20-29歳	269	7.5	163	7.9	106	6.9			
30-39歳	457	12.7	267	12.9	190	12.4			
40-49歳	474	13.1	246	11.9	228	14.8			
50-59歳	667	18.5	364	17.6	303	19.7			
60-69歳	705	19.6	434	21.0	271	17.6			
70-79歳	608	16.9	353	17.1	255	16.6			
80-89歳	265	7.4	150	7.3	115	7.5			
90歳以上	32	0.9	15	0.7	17	1.1			
平均年齢 (標準偏差)	54.9 (18.5)		54.9 (18.7)		55.0 (18.4)		3605	-0.3	0.802
教育年数 (標準偏差)	11.8 (2.4)		11.9 (2.4)		11.7 (2.3)		3544	2.9 †	0.004
世帯主との関係									
本人	1,582	44.5	931	45.7	651	42.9	4	6.8	0.148
配偶者	1,046	29.4	599	29.4	447	29.5			
子	593	16.7	328	16.1	265	17.5			
親 (義親も含む)	237	6.7	121	5.9	116	7.7			
その他	97	2.7	59	2.9	38	2.5			
住まい									
仮設住宅	852	23.8	386	18.8	466	30.5	1	65.5 †	<0.001
仮設以外	2,729	76.2	1,665	81.2	1,064	69.5			
回答者の職業									
会社員	1,111	31.7	624	31.3	487	32.4	8	17.2 *	0.029
公務員	101	2.9	61	3.1	40	2.7			
自営	230	6.6	143	7.2	87	5.8			
パート	294	8.4	164	8.2	130	8.6			
専業主婦	368	10.5	230	11.5	138	9.2			
年金受給者	641	18.3	370	18.5	271	18.0			
学生	138	3.9	86	4.3	52	3.5			
無職	497	14.2	255	12.8	242	16.1			
その他	121	3.5	64	3.2	57	3.8			
主たる家計者の職業									
会社員	1,656	47.2	940	46.8	716	47.7	8	15.1	0.058
公務員	161	4.6	96	4.8	65	4.3			
自営	328	9.4	208	10.4	120	8.0			
パート	75	2.1	39	1.9	36	2.4			
専業主婦	70	2.0	40	2.0	30	2.0			
年金受給者	764	21.8	448	22.3	316	21.1			
学生	12	0.3	7	0.4	5	0.3			
無職	349	10.0	174	8.7	175	11.7			
その他	94	2.7	56	2.8	38	2.5			

Chi-square tests or t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表Ⅲ-7. 柏崎市における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の基本的属性に関するK6のカットオフ値を10点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=3,620)

	全体		K6: 10点未満		K6: 10点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	3,620		3,093		527				
性別									
男性	1,733	48.0	1,494	48.5	239	45.4	1	1.8	0.185
女性	1,876	52.0	1,588	51.5	288	54.7			
年齢階級									
20歳未満	129	3.6	109	3.5	20	3.8	8	13.7	0.089
20-29歳	269	7.5	218	7.1	51	9.7			
30-39歳	457	12.7	398	12.9	59	11.2			
40-49歳	474	13.1	396	12.9	78	14.9			
50-59歳	667	18.5	575	18.7	92	17.5			
60-69歳	705	19.6	617	20.0	88	16.8			
70-79歳	608	16.9	524	17.0	84	16.0			
80-89歳	265	7.4	220	7.1	45	8.6			
90歳以上	32	0.9	24	0.8	8	1.5			
平均年齢 (標準偏差)	54.9 (18.5)		55.0 (18.4)		54.6 (19.4)		3605	0.5	0.607
教育年数 (標準偏差)	11.8 (2.4)		11.8 (2.4)		11.7 (2.4)		3544	1.1	0.290
世帯主との関係									
本人	1,582	44.5	1,373	45.2	209	40.6	4	18.9 †	0.001
配偶者	1,046	29.4	910	29.9	136	26.4			
子	593	16.7	484	15.9	109	21.2			
親 (義親も含む)	237	6.7	188	6.2	49	9.5			
その他	97	2.7	85	2.8	12	2.3			
住まい									
仮設住宅	852	23.8	676	22.1	176	33.9	1	33.9 †	<0.001
仮設以外	2,729	76.2	2,385	77.9	344	66.2			
回答者の職業									
会社員	1,111	31.7	948	31.8	163	31.7	8	21.5 †	0.006
公務員	101	2.9	88	3.0	13	2.5			
自営	230	6.6	205	6.9	25	4.9			
パート	294	8.4	252	8.4	42	8.2			
専業主婦	368	10.5	323	10.8	45	8.7			
年金受給者	641	18.3	557	18.7	84	16.3			
学生	138	3.9	120	4.0	18	3.5			
無職	497	14.2	396	13.3	101	19.6			
その他	121	3.5	97	3.3	24	4.7			
主たる家計者の職業									
会社員	1,656	47.2	1,422	47.5	234	45.5	8	12.6	0.126
公務員	161	4.6	138	4.6	23	4.5			
自営	328	9.4	289	9.7	39	7.6			
パート	75	2.1	58	1.9	17	3.3			
専業主婦	70	2.0	58	1.9	12	2.3			
年金受給者	764	21.8	654	21.8	110	21.4			
学生	12	0.3	12	0.4	0	0.0			
無職	349	10.0	285	9.5	64	12.5			
その他	94	2.7	79	2.6	15	2.9			

Chi-square tests or t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表Ⅲ-8. 柏崎市における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の基本的属性に関するK6のカットオフ値を13点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=3,620)

	全体		K6: 13点未満		K6: 13点以上		df	χ^2/t	p
	n 3,620	%	n 3,379	%	n 241	%			
性別									
男性	1,733	48.0	1,627	48.3	106	44.0	1	1.7	0.194
女性	1,876	52.0	1,741	51.7	135	56.0			
年齢階級									
20歳未満	129	3.6	118	3.5	11	4.6	8	14.7	0.066
20-29歳	269	7.5	242	7.2	27	11.3			
30-39歳	457	12.7	431	12.8	26	10.8			
40-49歳	474	13.1	442	13.1	32	13.3			
50-59歳	667	18.5	630	18.7	37	15.4			
60-69歳	705	19.6	670	19.9	35	14.6			
70-79歳	608	16.9	562	16.7	46	19.2			
80-89歳	265	7.4	243	7.2	22	9.2			
90歳以上	32	0.9	28	0.8	4	1.7			
平均年齢 (標準偏差)	54.9	(18.5)	55.0	(18.4)	54.6	(20.6)	3605	0.3	0.792
教育年数 (標準偏差)	11.8	(2.4)	11.8	(2.3)	11.5	(2.6)	3544	1.8	0.073
世帯主との関係									
本人	1,582	44.5	1,487	44.8	95	40.3	4	7.2	0.127
配偶者	1,046	29.4	979	29.5	67	28.4			
子	593	16.7	539	16.2	54	22.9			
親 (義親も含む)	237	6.7	223	6.7	14	5.9			
その他	97	2.7	91	2.7	6	2.5			
住まい									
仮設住宅	852	23.8	762	22.8	90	37.8	1	27.6	† <0.001
仮設以外	2,729	76.2	2,581	77.2	148	62.2			
回答者の職業									
会社員	1,111	31.7	1,043	32.0	68	28.6	18.1	*	0.020
公務員	101	2.9	95	2.9	6	2.5			
自営	230	6.6	222	6.8	8	3.4			
パート	294	8.4	272	8.3	22	9.2			
専業主婦	368	10.5	348	10.7	20	8.4			
年金受給者	641	18.3	599	18.4	42	17.7			
学生	138	3.9	128	3.9	10	4.2			
無職	497	14.2	444	13.6	53	22.3			
その他	121	3.5	112	3.4	9	3.8			
主たる家計者の職業									
会社員	1,656	47.2	1,558	47.6	98	41.9	8	18.7645	* 0.016
公務員	161	4.6	153	4.7	8	3.4			
自営	328	9.4	311	9.5	17	7.3			
パート	75	2.1	69	2.1	6	2.6			
専業主婦	70	2.0	65	2.0	5	2.1			
年金受給者	764	21.8	706	21.6	58	24.8			
学生	12	0.3	12	0.4	0	0.0			
無職	349	10.0	310	9.5	39	16.7			
その他	94	2.7	91	2.8	3	1.3			

Chi-square tests or t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表Ⅲ-9. 柏崎市における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の震災による影響に関するK6のカットオフ値を5点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=3,620)

	全体		K6: 5点未満		K6: 5点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	3,620		2,072		1,548				
中越大震災により									
転職せざるを得なかった	52	1.5	22	1.1	30	2.0	1	4.9	* 0.027
暮らし向きが悪くなった	637	17.8	229	11.2	408	26.8	1	145.0	† <0.001
中越沖地震により									
転職せざるを得なかった	88	2.6	36	1.8	52	3.5	1	9.9	† 0.002
暮らし向きが悪くなった	1,648	46.2	724	35.5	924	60.5	1	219.0	† <0.001
これらの地震による良くない経済的変化									
なし	872	24.6	646	31.9	226	14.8	2	233.4	† <0.001
少し	1,417	39.9	854	42.2	563	36.9			
かなり	1,260	35.5	523	25.9	737	48.3			
中越大震災時の家屋被害									
なし	2,047	58.3	1,250	61.9	797	53.4	4	30.3	† <0.001
一部損壊	1,229	35.0	658	32.6	571	38.3			
半壊	134	3.8	59	2.9	75	5.0			
大規模半壊	42	1.2	22	1.1	20	1.3			
全壊	58	1.7	29	1.4	29	1.9			
中越沖地震時の家屋被害									
なし	509	14.3	359	17.6	150	9.8	4	106.7	† <0.001
一部損壊	1,671	46.9	1,027	50.3	644	42.3			
半壊	681	19.1	332	16.3	349	22.9			
大規模半壊	273	7.7	122	6.0	151	9.9			
全壊	430	12.1	200	9.8	230	15.1			
中越大震災による									
身近な人の死亡あり	56	1.6	22	1.1	34	2.2	1	7.6	† 0.006
身近な人の重傷あり	86	2.4	38	1.9	48	3.2	1	6.2	* 0.013
中越沖地震による									
身近な人の死亡あり	241	6.7	122	6.0	119	7.8	1	4.7	* 0.031
身近な人の重傷あり	358	10.1	165	8.1	193	12.8	1	21.3	† <0.001
中越沖地震後の原子力安全について									
健康への不安あり	643	18.1	243	11.9	400	26.3	1	121.6	† <0.001
情報提供に不満あり	1,871	52.5	979	48.0	892	58.4	1	38.1	† <0.001

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表Ⅲ-10. 柏崎市における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の震災による影響に関するK6のカットオフ値を10点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=3,620)

	全体		K6: 10点未満		K6: 10点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	3,620		3,093		527				
中越大震災により									
転職せざるを得なかった	52	1.5	40	1.4	12	2.4	1	3.2	† 0.074
暮らし向きが悪くなった	637	17.8	448	14.7	189	36.3	1	141.9	† <0.001
中越沖地震により									
転職せざるを得なかった	88	2.6	63	2.1	25	5.0	1	14.3	† <0.001
暮らし向きが悪くなった	1,648	46.2	1,273	41.8	375	72.3	1	56.3	† <0.001
これらの地震による良くない経済的变化									
なし	872	24.6	814	26.9	58	11.0	2	163.2	† <0.001
少し	1,417	39.9	1,262	41.8	155	29.5			
かなり	1,260	35.5	947	31.3	313	59.5			
中越大震災時の家屋被害									
なし	2,047	58.3	1,797	59.8	250	49.3	4	21.1	† <0.001
一部損壊	1,229	35.0	1,013	33.7	216	42.6			
半壊	134	3.8	109	3.6	25	4.9			
大規模半壊	42	1.2	37	1.2	5	1.0			
全壊	58	1.7	47	1.6	11	2.2			
中越沖地震時の家屋被害									
なし	509	14.3	465	15.3	44	8.4	4	38.7497	† <0.001
一部損壊	1,671	46.9	1,451	47.7	220	42.0			
半壊	681	19.1	559	18.4	122	23.3			
大規模半壊	273	7.7	225	7.4	48	9.2			
全壊	430	12.1	340	11.2	90	17.2			
中越大震災による									
身近な人の死亡あり	56	1.6	43	1.4	13	2.5	1	3.5	0.063
身近な人の重傷あり	86	2.4	62	2.0	24	4.6	1	12.6	† <0.001
中越沖地震による									
身近な人の死亡あり	241	6.7	197	6.5	44	8.5	1	2.8	0.093
身近な人の重傷あり	358	10.1	276	9.1	82	16.0	1	23.0	† <0.001
中越沖地震後の原子力安全について									
健康への不安あり	643	18.1	461	15.2	182	35.3	1	120.9	† <0.001
情報提供に不満あり	1,871	52.5	1,538	50.5	333	64.0	1	32.8	† <0.001

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表Ⅲ-11. 柏崎市における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の震災による影響に関するK6のカットオフ値を13点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=3,620)

	全体		K6: 13点未満		K6: 13点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	3,620		3,379		241				
中越大震災により									
転職せざるを得なかった	52	1.5	48	1.5	4	1.8	1	0.1	0.726
暮らし向きが悪くなった	637	17.8	541	16.2	96	40.0	1	86.4	† <0.001
中越沖地震により									
転職せざるを得なかった	88	2.6	74	2.3	14	6.2	1	13.0	† <0.001
暮らし向きが悪くなった	1,648	46.2	1,459	43.8	189	80.1	1	116.7	† <0.001
これらの地震による良くない経済的変化									
なし	872	24.6	853	25.8	19	7.9	2	106.7	† <0.001
少し	1,417	39.9	1,353	40.9	64	26.6			
かなり	1,260	35.5	1,102	33.3	158	65.6			
中越大震災時の家屋被害									
なし	2,047	58.3	1,935	59.0	112	49.1	4	16.3	† 0.003
一部損壊	1,229	35.0	1,137	34.6	92	40.4			
半壊	134	3.8	116	3.5	18	7.9			
大規模半壊	42	1.2	39	1.2	3	1.3			
全壊	58	1.7	55	1.7	3	1.3			
中越沖地震時の家屋被害									
なし	509	14.3	490	14.7	19	8.0	4	26.9	† <0.001
一部損壊	1,671	46.9	1,580	47.5	91	38.1			
半壊	681	19.1	620	18.7	61	25.5			
大規模半壊	273	7.7	246	7.4	27	11.3			
全壊	430	12.1	389	11.7	41	17.2			
中越大震災による									
身近な人の死亡あり	56	1.6	50	1.5	6	2.5	1	1.5	0.224
身近な人の重傷あり	86	2.4	73	2.2	13	5.5	1	10.1	† 0.001
中越沖地震による									
身近な人の死亡あり	145	7.1	138	7.2	7	6.4	1	0.1	0.745
身近な人の重傷あり	243	12.0	223	11.6	20	18.2	1	4.2	* 0.040
中越沖地震後の原子力安全について									
健康への不安あり	335	16.6	296	15.6	39	35.1	1	29.0	† <0.001
情報提供に不満あり	936	45.9	858	44.5	78	70.9	1	29.3	† <0.001

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表Ⅲ-12. 柏崎市における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の健康行動に関するK6のカットオフ値を5点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=3,620)

	全体		K6: 5点未満		K6: 5点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	3,620		2,072		1,548				
喫煙あり	736	20.6	372	18.2	364	23.8	1	16.7	† <0.001
喫煙数が増加	122	3.4	33	1.6	89	5.8	1	47.0	† <0.001
飲酒あり	1,424	41.9	826	42.7	598	40.7	1	1.4	0.243
飲酒量が増加	209	6.0	61	3.0	148	9.9	1	72.7	† <0.001
健康状態									
良好	2,444	68.6	1,708	83.9	736	48.2	1	518.2	† <0.001
不良	1,119	31.4	327	16.1	792	51.8			
体調の悪化	932	25.8	256	12.4	676	43.7	1	454.5	† <0.001
体重の変化									
変わらない	2,446	71.3	1,563	78.8	883	61.0	2	138.2	† <0.001
増加	338	9.9	166	8.4	172	11.9			
減少	646	18.8	254	12.8	392	27.1			
中越沖地震後の受診あり	673	19.6	280	14.1	393	27.1	1	89.9	† <0.001
地震前からの受診あり	1,231	38.7	668	36.7	563	41.5	1	7.5	† 0.006

Chi-square tests and t-test were used. *: p<0.05, †: p<0.01

表Ⅲ-13. 柏崎市における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の健康行動に関するK6のカットオフ値を10点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=3,620)

	全体		K6: 10点未満		K6: 10点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	3,620		3,093		527				
喫煙あり	736	20.6	611	20.1	125	24.0	1	4.1	0.042
喫煙数が増加	122	3.4	85	2.8	37	7.0	1	25.2	† <0.001
飲酒あり	1,424	41.9	1,217	42.0	207	41.4	1	0.1	0.818
飲酒量が増加	209	6.0	146	4.9	63	12.4	1	44.5	† <0.001
健康状態									
良好	2,444	68.6	2,278	74.8	166	32.0	1	377.9	† <0.001
不良	1,119	31.4	766	25.2	353	68.0			
体調の悪化	932	25.8	639	20.7	293	55.6	1	287.5	† <0.001
体重の変化									
変わらない	2,446	71.3	2,178	74.2	268	54.0	2	84.8	† <0.001
増加	338	9.9	262	8.9	76	15.3			
減少	646	18.8	494	16.8	152	30.7			
中越沖地震後の受診あり	673	19.6	525	17.8	148	30.3	1	41.1	† <0.001
地震前からの受診あり	1,231	38.7	1,023	37.7	208	44.4	1	7.6	† 0.006

Chi-square tests and t-test were used. *: p<0.05, †: p<0.01

表Ⅲ-14. 柏崎市における中越沖地震 1 年後のこころと身体 の健康調査参加者の健康行動に関する K6 のカットオフ値を 13 点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=3,620)

	全体		K6: 13 点未満		K6: 13 点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	3,620		3,379		241				
喫煙あり	736	20.6	679	20.4	57	24.0	1	1.7	0.189
喫煙数が増加	122	3.4	103	3.1	19	7.9	1	16.2	† <0.001
飲酒あり	1,424	41.9	1,341	42.2	83	36.9	1	2.5	0.117
飲酒量が増加	209	6.0	179	5.5	30	13.1	1	33.3	† <0.001
健康状態									
良好	2,444	68.6	2,389	71.8	55	23.2	1	242.8	† <0.001
不良	1,119	31.4	937	28.2	182	76.8			
体調の悪化	932	25.8	773	22.9	159	66.0	1	218.6	† <0.001
体重の変化									
変わらない	2,446	71.3	2,348	73.3	98	43.6	2	90.7	† <0.001
増加	338	9.9	295	9.2	43	19.1			
減少	646	18.8	562	17.5	84	37.3			
中越沖地震後の受診あり	673	19.6	590	18.4	83	37.6	1	48.3	† <0.001
地震前からの受診あり	1,231	38.7	1,133	38.1	98	47.6	1	7.3	† 0.007

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表Ⅲ-15. 柏崎市における中越沖地震1年後のころと身体・健康調査参加者のソーシャルサポートに関するK6のカットオフ値を5点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=3,620)

	全体		K6: 5点未満		K6: 5点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	3,620		2,072		1,548				
わたしは、グループや、地域社会の一員である。									
そう感じない	1,230	35.2	571	28.5	659	44.0	1	90.1	† <0.001
わたしは、ひとりでいると孤独に感じる。§									
そう感じる	1,106	31.1	362	17.9	744	48.8	1	389.2	† <0.001
わたしは、まわりから受け入れられていない。§									
そう感じる	623	17.6	170	8.4	453	29.9	1	276.6	† <0.001
わたしを必要としてくれる人がいる。									
そう感じない	786	22.1	362	17.8	424	27.9	1	51.2	† <0.001
わたしは、地域で認められている。									
そう感じない	2,011	57.1	1,034	51.5	977	64.6	1	60.0	† <0.001
だれも私のことを理解してくれない。§									
そう感じる	760	21.0	221	10.7	539	34.8	1	311.6	† <0.001
わたしは、何か問題があったときに、相談できる友人・知人がいる。									
そう感じない	919	25.4	442	21.3	477	30.8	1	42.1	† <0.001
わたしは、何か問題があったときに、家族と相談できる。									
そう感じない	636	17.6	289	14.0	347	19.1	1	43.9	0.139

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

§:反転項目

表Ⅲ-16. 柏崎市における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者のソーシャルサポートに関するK6のカットオフ値を10点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=3,620)

	全体		K6: 10点未満		K6: 10点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	3,620		3,093		527				
わたしは、グループや、地域社会の一員である。									
そう感じない	1,230	35.2	957	32.0	273	53.9	1	90.8	† <0.001
わたしは、ひとりでいると孤独に感じる。§									
そう感じる	1,106	31.1	760	25.0	346	67.1	1	363.2	† <0.001
わたしは、まわりから受け入れられていない。§									
そう感じる	623	17.6	383	12.6	240	46.6	1	350.7	† <0.001
わたしを必要としてくれる人がいる。									
そう感じない	786	22.1	611	20.1	175	34.0	1	49.0	† <0.001
わたしは、地域で認められている。									
そう感じない	2,011	57.1	1,649	54.9	362	70.4	1	43.5	† <0.001
だれも私のことを理解してくれない。§									
そう感じる	760	21.0	483	15.6	277	52.6	1	370.6	† <0.001
わたしは、何か問題があったときに、相談できる友人・知人がいる。									
そう感じない	919	25.4	743	24.0	176	33.4	1	20.9	† <0.001
わたしは、何か問題があったときに、家族と相談できる。									
そう感じない	636	17.6	485	15.7	151	28.7	1	52.3	† <0.001

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

§:反転項目

表Ⅲ-17. 柏崎市における中越沖地震1年後のこころと身体の健康調査参加者のソーシャルサポートに関する K6 のカットオフ値を 13 点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=3,620)

	全体		K6: 13 点未満		K6: 13 点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	3,620		3,379		241				
わたしは、グループや、地域社会の一員である。									
そう感じない	1,230	35.2	1,091	33.4	139	61.0	1	71.2	† <0.001
わたしは、ひとりでいると孤独に感じる。§									
そう感じる	1,106	31.1	933	28.1	173	73.9	1	214.0	† <0.001
わたしは、まわりから受け入れられていない。§									
そう感じる	623	17.6	505	15.3	118	50.4	1	186.8	† <0.001
わたしを必要としてくれる人がいる。									
そう感じない	786	22.1	689	20.8	97	41.5	1	54.2	† 0.003
わたしは、地域で認められている。									
そう感じない	2,011	57.1	1,837	55.9	174	75.3	1	33.4	† 0.003
だれも私のことを理解してくれない。§									
そう感じる	760	21.0	615	18.2	145	60.2	1	238.8	† <0.001
わたしは、何か問題があったときに、相談できる友人・知人がいる。									
そう感じない	919	25.4	816	24.2	103	42.7	1	41.0	† <0.001
わたしは、何か問題があったときに、家族と相談できる。									
そう感じない	636	17.6	555	16.4	81	33.6	1	45.9	† <0.001

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

§:反転項目

表Ⅲ-18. 柏崎市における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者のうち仮設住宅居住者における性別での精神健康度別の比較 (K6のカットオフ値を5点に設定した場合) (n=850)

	全体		K6: 5点未満		K6: 5点以上		p
	n	%	n	%	n	%	
	850		385		465		
男性	410	48.2	183	47.5	227	48.8	0.731
女性	440	51.8	202	52.5	238	51.2	

Fisher's exact test was used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表Ⅲ-19. 柏崎市における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者のうち仮設住宅居住者における性別での精神健康度別の比較 (K6のカットオフ値を10点に設定した場合) (n=850)

	全体		K6: 10点未満		K6: 10点以上		p
	n	%	n	%	n	%	
	850		674		176		
男性	410	48.2	327	48.5	83	47.2	0.800
女性	440	51.8	347	51.5	93	52.8	

Fisher's exact test was used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表Ⅲ-20. 柏崎市における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者のうち仮設住宅居住者における性別での精神健康度別の比較 (K6のカットオフ値を13点に設定した場合) (n=850)

	全体		K6: 13点未満		K6: 13点以上		p
	n	%	n	%	n	%	
	850		760		90		
男性	410	48.2	377	49.6	33	36.7	* 0.025
女性	440	51.8	383	50.4	57	63.3	

Fisher's exact test was used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表Ⅲ-21. 柏崎市における中越沖地震 1 年後のこころと身体健康調査参加者のうち仮設居住者以外における家屋被害規模別での精神健康度別の比較(K6 のカットオフ値を 5 点に設定した場合)(n= 2,729)

	全体		K6: 5 点未満		K6: 5 点以上		p
	n	%	n	%	n	%	
	2,729		1,665		1,064		
中越大震災時の家屋被害							
なし	1,595	60.0	1,037	63.7	558	54.2	† 0.000
一部損壊	949	35.7	537	33.0	412	40.0	
半壊	84	3.2	40	2.5	44	4.3	
大規模半壊	23	0.9	12	0.7	11	1.1	
全壊	7	0.3	2	0.1	5	0.5	
中越沖地震時の家屋被害							
なし	494	18.4	349	21.3	145	13.9	† 0.000
一部損壊	1,616	60.2	996	60.8	620	59.2	
半壊	398	14.8	211	12.9	187	17.9	
大規模半壊	99	3.7	44	2.7	55	5.3	
全壊	77	2.9	37	2.3	40	3.8	

Fisher's exact tests were used. *: p<0.05, †: p<0.01

表Ⅲ-22. 柏崎市における中越沖地震 1 年後のこころと身体健康調査参加者のうち仮設居住者以外における家屋被害規模別での精神健康度別の比較(K6 のカットオフ値を 10 点に設定した場合)(n=2,729)

	全体		K6: 10 点未満		K6: 10 点以上		p
	n	%	n	%	n	%	
	2,729		2,385		344		
中越大震災時の家屋被害							
なし	1,595	60.0	1,430	61.5	165	49.7	† 0.001
一部損壊	949	35.7	800	34.4	149	44.9	
半壊	84	3.2	69	3.0	15	4.5	
大規模半壊	23	0.9	21	0.9	2	0.6	
全壊	7	0.3	6	0.3	1	0.3	
中越沖地震時の家屋被害							
なし	494	18.4	454	19.4	40	11.7	† 0.002
一部損壊	1,616	60.2	1,406	60.0	210	61.4	
半壊	398	14.8	335	14.3	63	18.4	
大規模半壊	99	3.7	82	3.5	17	5.0	
全壊	77	2.9	65	2.8	12	3.5	

Fisher's exact tests were used. *: p<0.05, †: p<0.01

表Ⅲ-23. 柏崎市における中越沖地震 1 年後のこころと身体健康調査参加者のうち仮設居住者以外における家屋被害規模別での精神健康度別の比較(K6 のカットオフ値を 13 点に設定した場合)(n=2,729)

	全体		K6: 13 点未満		K6: 13 点以上		p
	n	%	n	%	n	%	
	2,729		2,581		148		
中越大震災時の家屋被害							
なし	1,595	60.0	1,526	60.6	69	49.3	† 0.018
一部損壊	949	35.7	889	35.3	60	42.9	
半壊	84	3.2	74	2.9	10	7.1	
大規模半壊	23	0.9	22	0.9	1	0.7	
全壊	7	0.3	7	0.3	0	0.0	
中越沖地震時の家屋被害							
なし	494	18.4	477	18.8	17	11.6	† 0.017
一部損壊	1,616	60.2	1,531	60.4	85	57.8	
半壊	398	14.8	369	14.5	29	19.7	
大規模半壊	99	3.7	89	3.5	10	6.8	
全壊	77	2.9	71	2.8	6	4.1	

Fisher's exact tests were used. *: p<0.05, †: p<0.01

表Ⅲ-24. 柏崎市における中越沖地震 1 年後のこころと身体健康調査参加者の年齢階級別における精神健康度の性別比較 (K6 のカットオフ値を 5 点に設定した場合) (n=3,597)

	全体 (n= 3,597)				男性 (n= 1,726)				女性 (n=1,871)				p
	K6: 5 点未満		K6: 5 点以上		K6: 5 点未満		K6: 5 点以上		K6: 5 点未満		K6: 5 点以上		
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
	2,060		1,537		1,020		706		1,040		831		
30 歳未満	239	60.1	159	40.0	132	63.2	77	36.8	107	56.6	82	43.4	0.219
30-39 歳	266	58.3	190	41.7	127	57.0	96	43.1	139	59.7	94	40.3	0.570
40-49 歳	245	51.8	228	48.2	116	51.3	110	48.7	129	52.2	118	47.8	0.854
50-59 歳	360	54.3	303	45.7	158	51.8	147	48.2	202	56.4	156	43.6	0.242
60-69 歳	433	61.5	271	38.5	229	65.2	122	34.8	204	57.8	149	42.2	* 0.044
70-79 歳	353	58.2	254	41.9	185	63.1	108	36.9	168	53.5	146	46.5	† 0.017
80 歳以上	165	55.6	132	44.4	73	61.3	46	38.7	92	51.7	86	48.3	0.121

Fisher's exact tests were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表Ⅲ-25. 柏崎市における中越沖地震1年後のこころと身体の健康調査参加者の年齢階級別における精神健康度の性別比較 (K6のカットオフ値を10点に設定した場合) (n=3,597)

	全体 (n=3,597)		男性 (n=1,726)		女性 (n=1,871)		p						
	K6:		K6:		K6:								
	10点未満		10点以上		10点未満								
	n	%	n	%	n	%							
	3,072		525	1,489	237	1,583	288						
30歳未満	327	82.2	71	17.8	172	82.3	37	17.7	155	82.0	34	18.0	1.000
30-39歳	397	87.1	59	12.9	194	87.0	29	13.0	203	87.1	30	12.9	1.000
40-49歳	395	83.5	78	16.5	185	81.9	41	18.1	210	85.0	37	15.0	0.386
50-59歳	571	86.1	92	13.9	261	85.6	44	14.4	310	86.6	48	13.4	0.736
60-69歳	616	87.5	88	12.5	309	88.0	42	12.0	307	87.0	46	13.0	0.733
70-79歳	523	86.2	84	13.8	261	89.1	32	10.9	262	83.4	52	16.6	* 0.046
80歳以上	244	82.2	53	17.9	107	89.9	12	10.1	137	77.0	41	23.0	† 0.005

Fisher's exact tests were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表Ⅲ-26. 柏崎市における中越沖地震1年後のこころと身体の健康調査参加者の年齢階級別における精神健康度の性別比較 (K6のカットオフ値を13点に設定した場合) (n=3,597)

	全体 (n=3,597)		男性 (n=1,726)		女性 (n=1,871)		p						
	K6:		K6:		K6:								
	13点未満		13点以上		13点未満								
	n	%	n	%	n	%							
	3,357		240	1,621	105	1,736	135						
30歳未満	360	90.5	38	9.6	187	89.5	22	10.5	173	91.5	16	8.5	0.500
30-39歳	430	94.3	26	5.7	210	94.2	13	5.8	220	94.4	13	5.6	1.000
40-49歳	441	93.2	32	6.8	212	93.8	14	6.2	229	92.7	18	7.3	0.715
50-59歳	626	94.4	37	5.6	286	93.8	19	6.2	340	95.0	18	5.0	0.504
60-69歳	669	95.0	35	5.0	336	95.7	15	4.3	333	94.3	20	5.7	0.489
70-79歳	561	92.4	46	7.6	277	94.5	16	5.5	284	90.5	30	9.6	0.066
80歳以上	271	91.3	26	8.8	113	95.0	6	5.0	158	88.8	20	11.2	0.092

Fisher's exact tests were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表Ⅲ-27. 2回の地震による家屋被害の規模(n=3,647) (上段：n, 下段：(%))

	中越大震災		中越沖地震			計
	なし	一部損壊	半壊	大規模半壊	全壊	
なし	452 (21.6)	903 (43.2)	372 (17.8)	151 (7.2)	213 (10.2)	2,091 (100.0)
一部損壊	54 (4.2)	788 (61.0)	211 (16.3)	83 (6.4)	155 (12.0)	1,291 (100.0)
半壊	5 (3.5)	19 (13.2)	96 (66.7)	5 (3.5)	19 (13.2)	144 (100.0)
大規模半壊	6 (12.5)	5 (10.4)	0 (0.0)	37 (77.1)	0 (0.0)	48 (100.0)
全壊	0 (0.0)	3 (4.1)	0 (0.0)	1 (1.4)	69 (94.5)	73 (100.0)
計	517 (14.2)	1,718 (47.1)	679 (18.6)	277 (7.6)	456 (12.5)	3,647 (100.0)

表Ⅲ-28. 2回の地震による家屋被害の規模(n=3,647) (上段：n, 下段：(%))

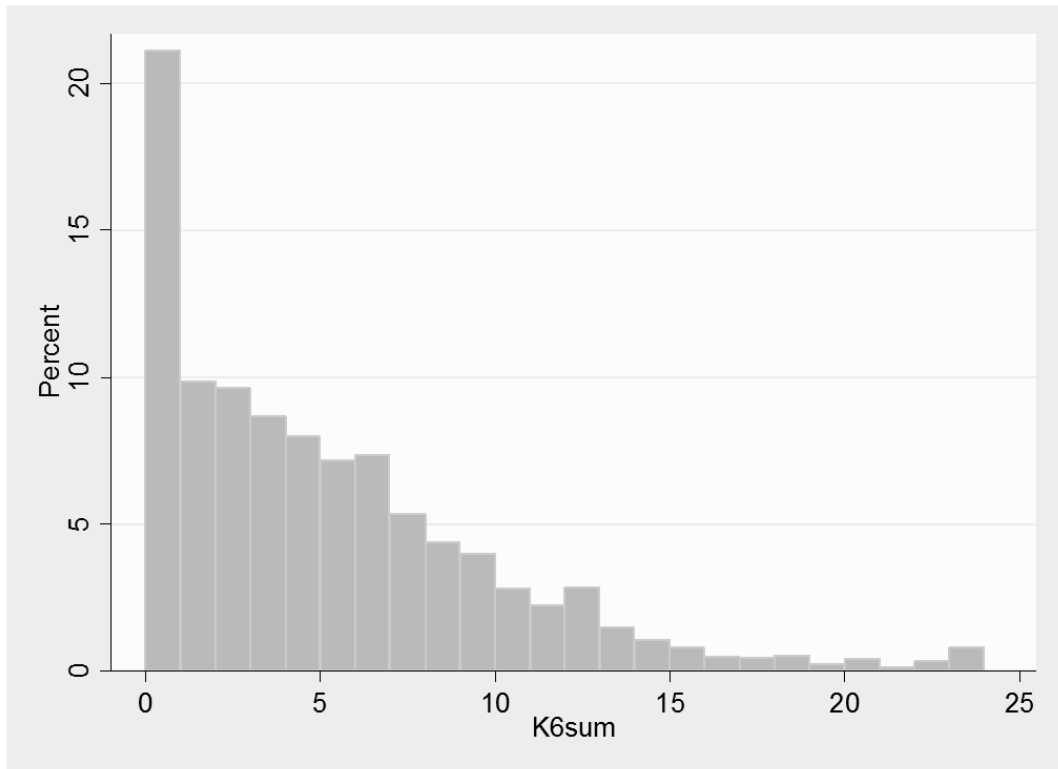
	中越大震災		中越沖地震		計
	なし／一部損壊		半壊以上		
なし／一部損壊	2,197 (65.0)		1,185 (35.0)		3,382 (100.0)
半壊以上	38 (14.3)		227 (85.7)		265 (100.0)
計	2,235 (61.3)		1,412 (38.7)		3,647 (100.0)

表Ⅲ-29. 柏崎市における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者において、2回の地震（中越大震災と中越沖地震）による家屋被害が、ともに半壊以上であったものとその他のものの基本的属性の比較(n=3,647)

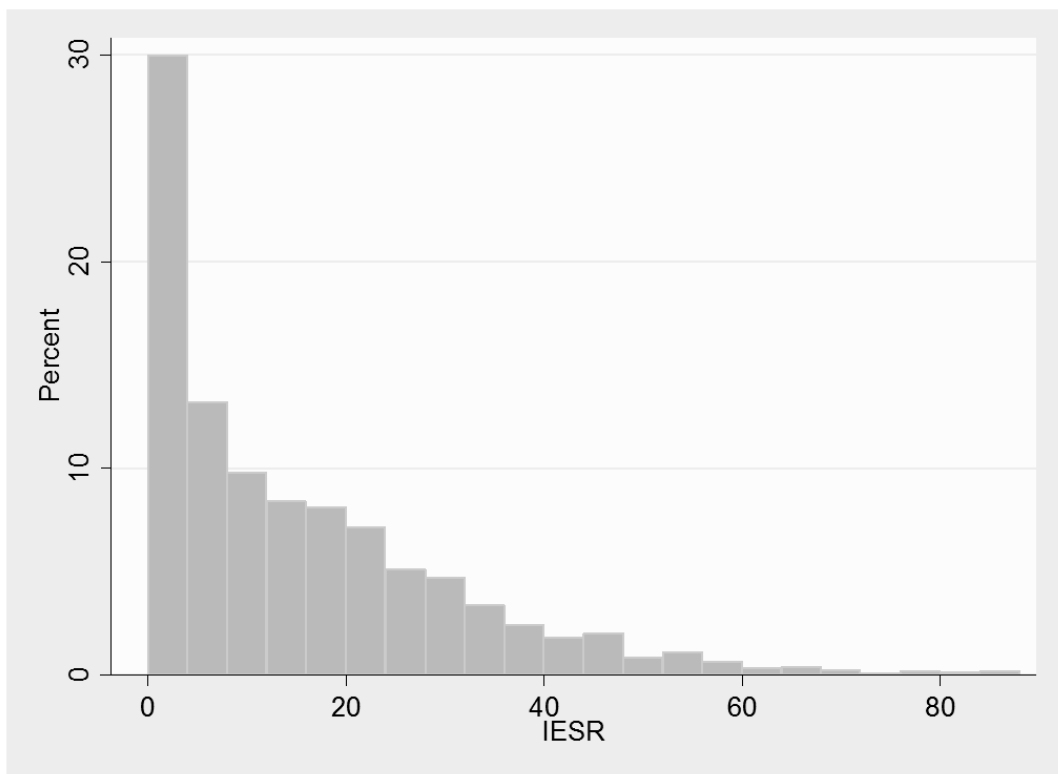
	全体		2度の地震 とも半壊以上		その他		df	χ^2/z	p
	n	%	n	%	n	%			
	3,647		227		3,420				
性別									
男性	1,734	47.7	106	46.9	1,628	47.7	1	0.1	0.813
女性	1,904	52.3	120	53.1	1,784	52.3			
年齢階級									
20歳未満	126	3.5	5	2.2	121	3.6	8	106.0	† 0.000
20-29歳	258	7.1	11	4.9	247	7.3			
30-39歳	451	12.4	11	4.9	440	12.9			
40-49歳	468	12.9	17	7.6	451	13.2			
50-59歳	662	18.2	16	7.1	646	19.0			
60-69歳	701	19.3	51	22.7	650	19.1			
70-79歳	635	17.5	60	26.7	575	16.9			
80-89歳	294	8.1	47	20.9	247	7.3			
90歳以上	39	1.1	7	3.1	32	0.9			
平均年齢 (標準偏差)	55.6	(18.7)	65.6	(18.8)	54.9	(18.5)	-	-8.8	† 0.000
教育年数 (標準偏差)	11.7	(2.4)	10.9	(2.6)	11.8	(2.4)	-	5.7	† 0.000
主たる家計者の職業									
会社員/公務員	1,575	58.0	50	42.4	1,525	58.7	3	23.4	† 0.000
自営	321	11.8	9	7.6	312	12.0			
無職/年金受給者	665	24.5	49	41.5	616	23.7			
その他 (パートも含む)	154	5.7	10	8.5	144	5.5			

Chi-square tests or Wilcoxon rank sum tests were used.

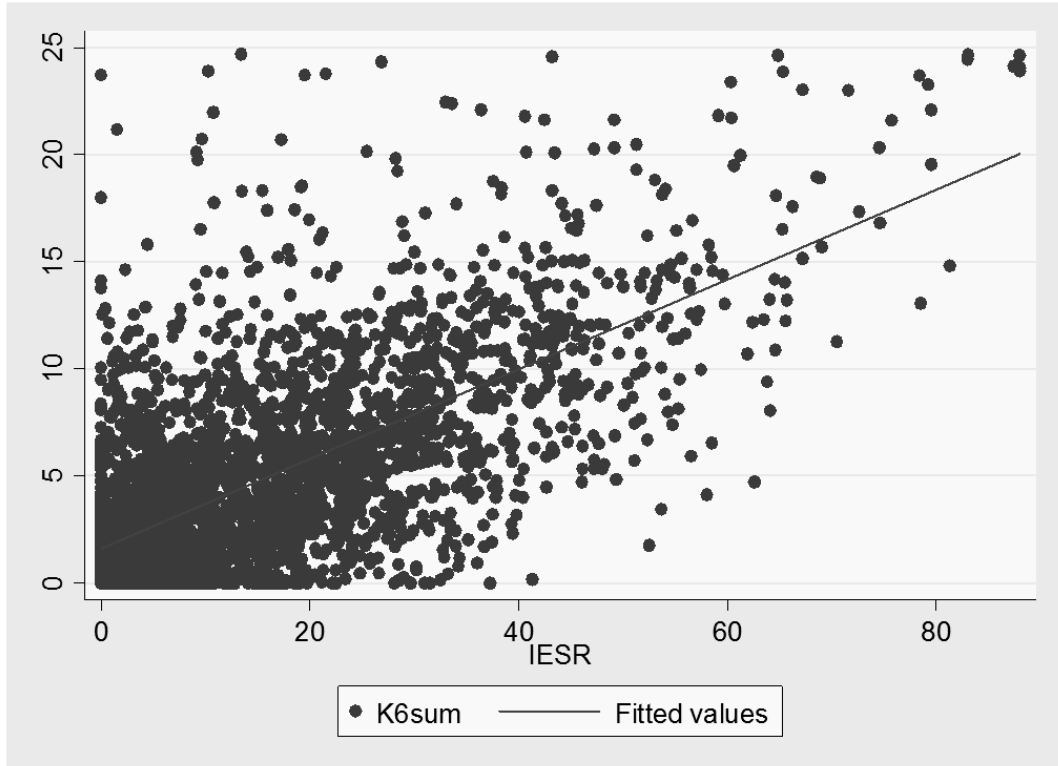
*: p<0.05, †: p<0.01



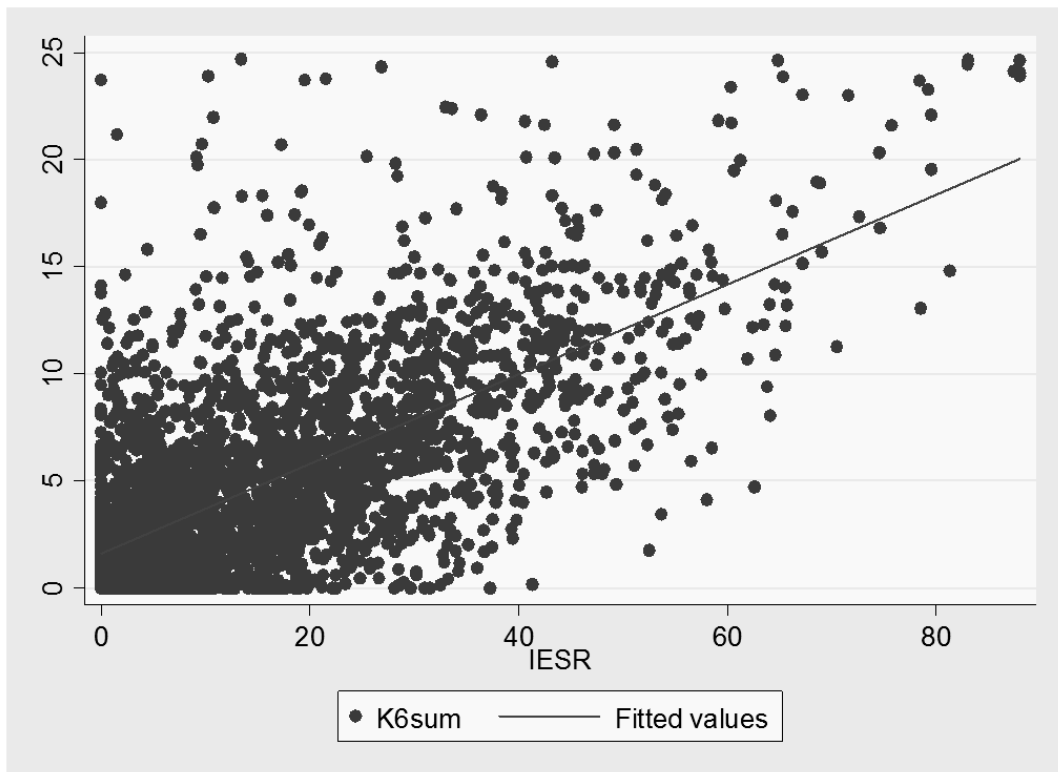
図Ⅲ-28.柏崎市における中越沖地震1年後の
 ところと身体の健康調査参加者の K6 合計点の分布



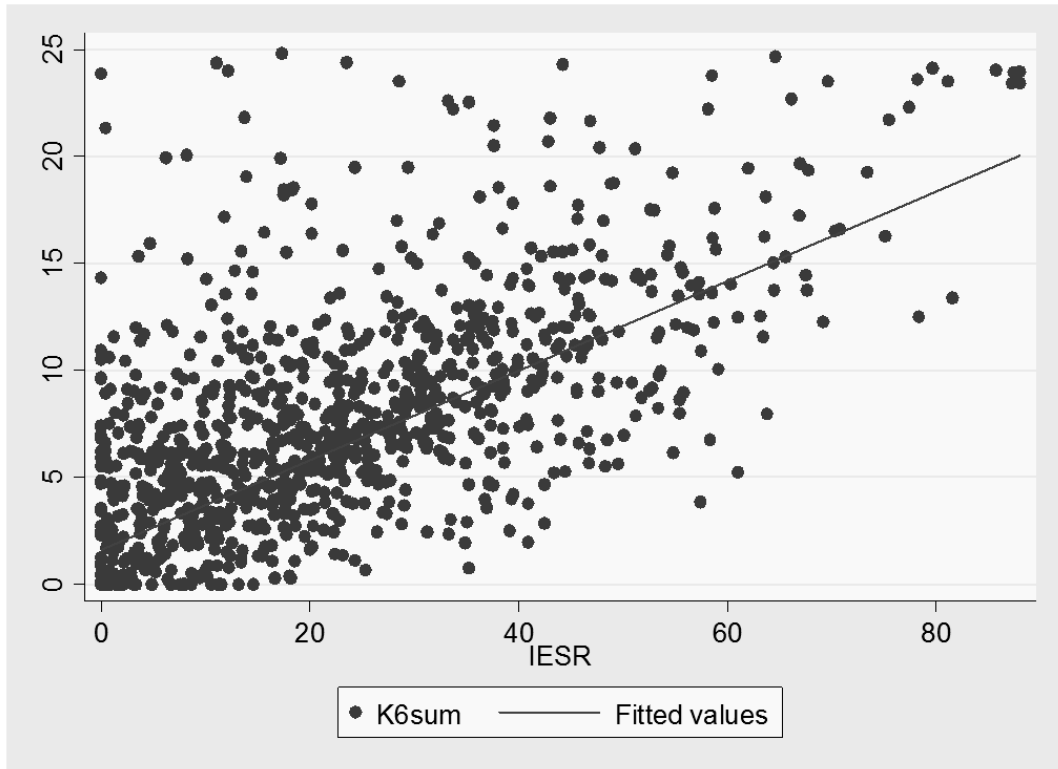
図Ⅲ-29.柏崎市における中越沖地震1年後の
 ところと身体の健康調査参加者の IES-R 合計点の分布



図Ⅲ-30.柏崎市における中越沖地震1年後の
こころと身体の健康調査参加者の K6 と IES-R 合計点の散布図



図Ⅲ-31.柏崎市における中越沖地震1年後のこころと身体の健康調査参加者の
主観的に健康な方における K6 と IES-R 合計点の散布図



図Ⅲ-32. 柏崎市における中越沖地震1年後のこころと身体の健康調査参加者の主観的に不健康な方における K6 と IES-R 合計点の散布図

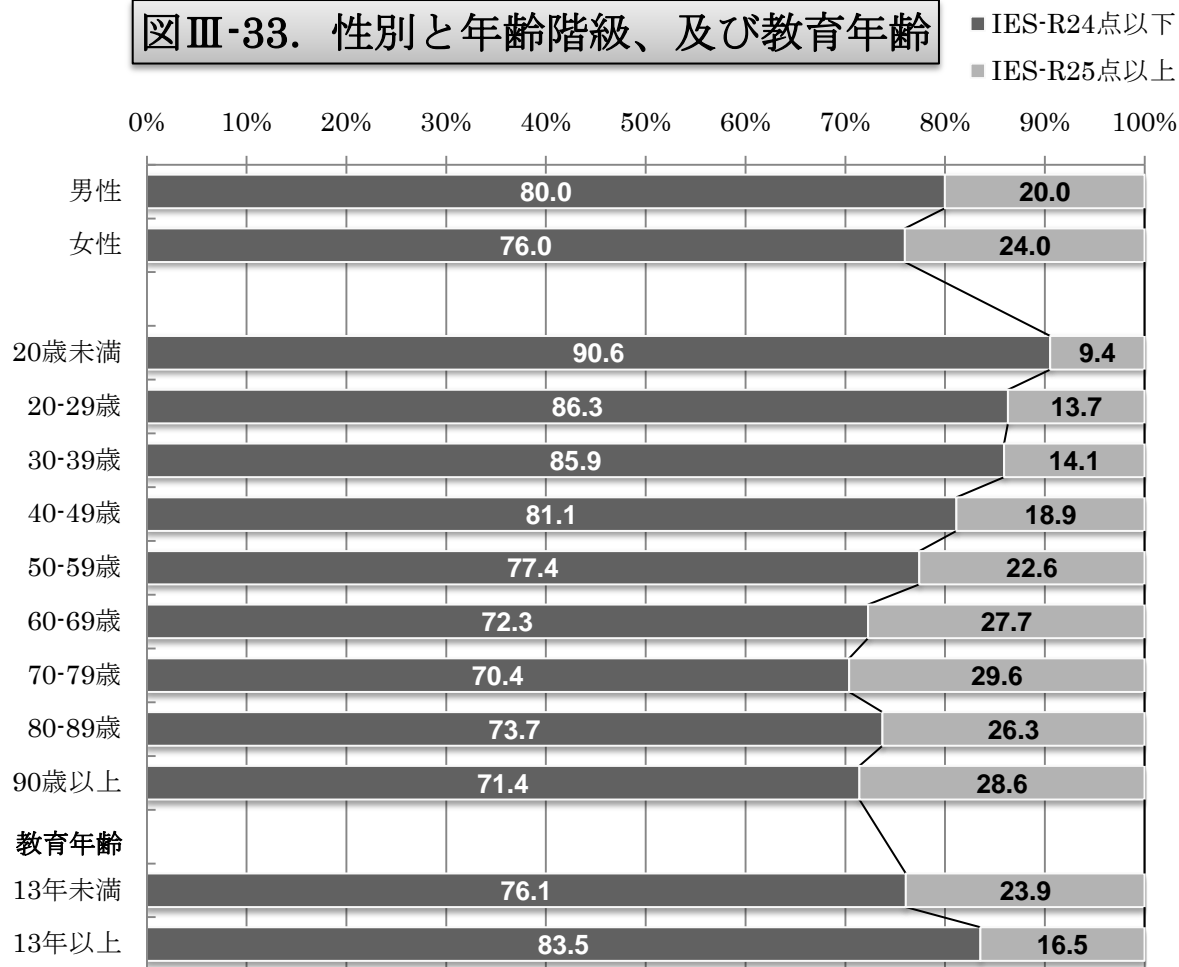
2) IES-R 分析と考察

① 基本属性 (図Ⅲ-33,34,35,表Ⅲ-30)

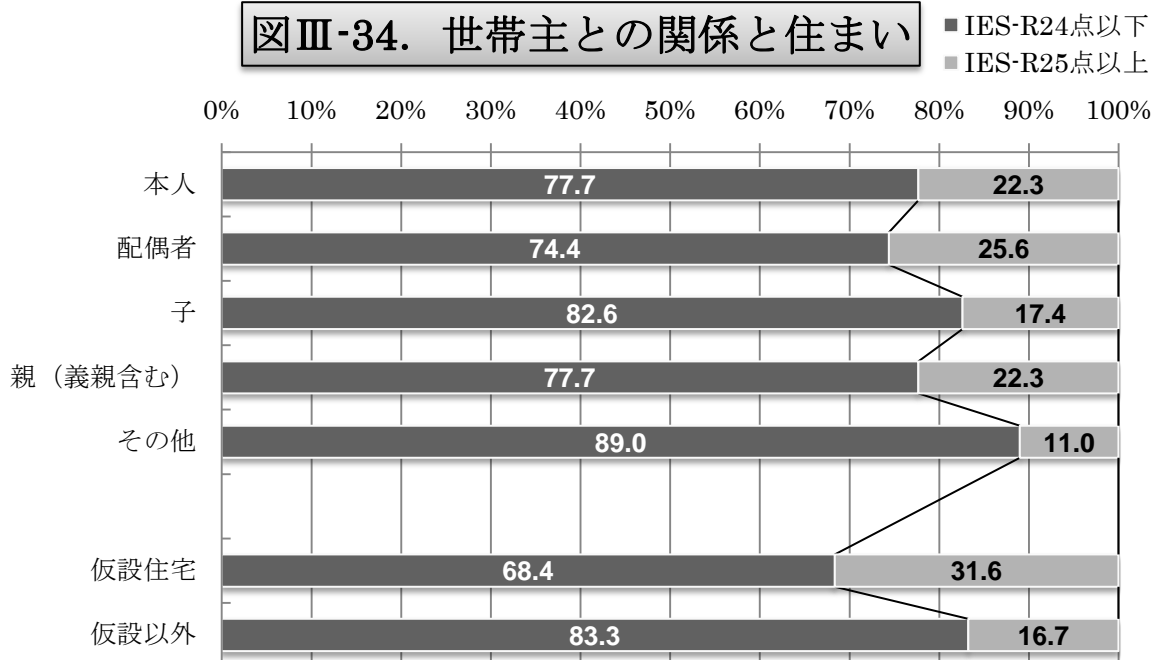
IES-R と基本属性の間には、いずれの項目についても有意に差が認められた。

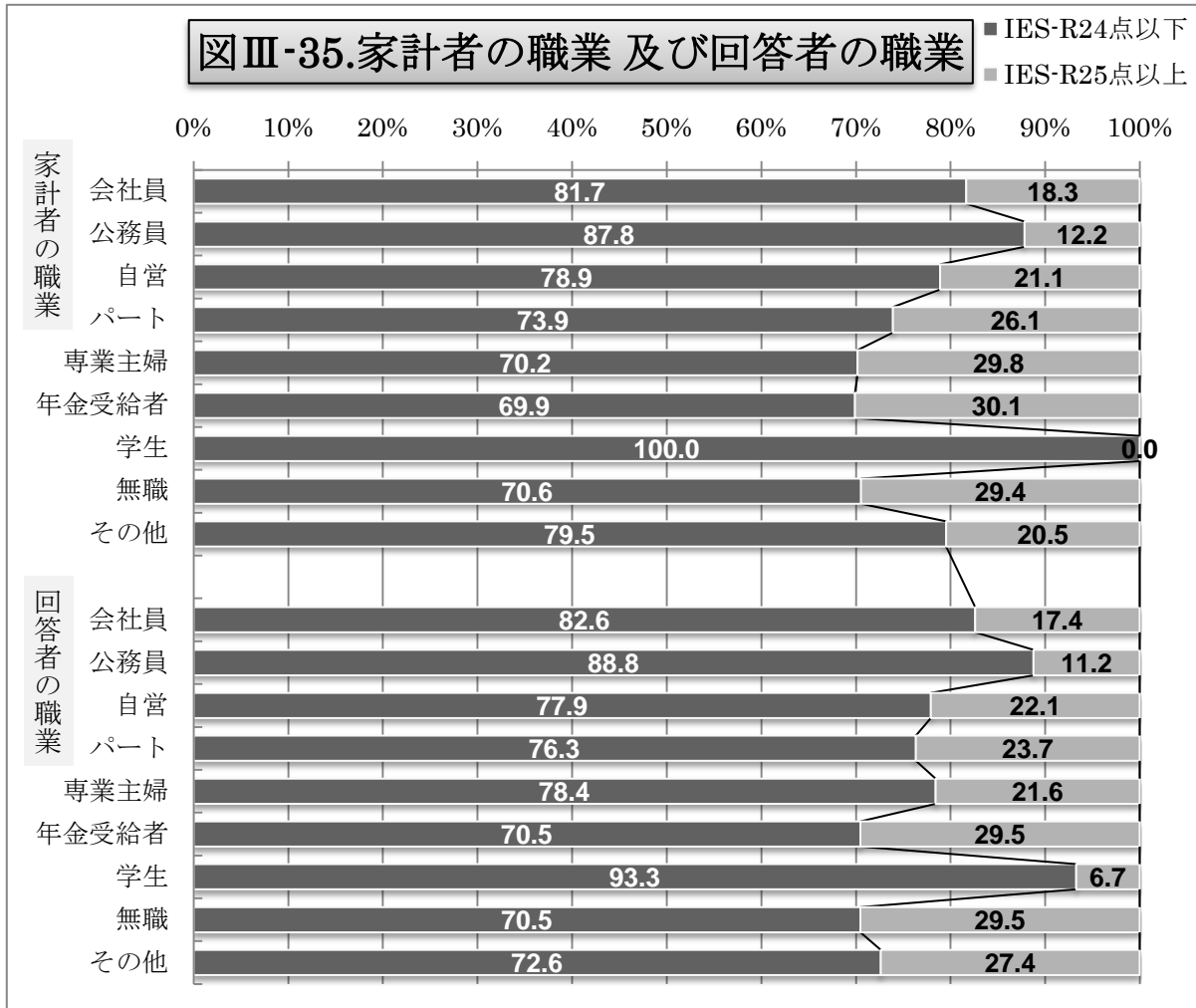
- a. 「性別」においては、PTSD のハイリスク者 (IES-R 25 点以上) の割合は女性が 24.0%、男性が 20.0%と、女性のほうが高い。
- b. 「年齢階級」においては、40 歳未満におけるハイリスク者が 15.0%を割っていたものの、40 歳から 49 歳では 18.9%と大きく跳ね上がり、50 歳以上からは 20.0%以上になり、年齢が上がるごとにハイリスク者の割合が上がっていく。
- c. 「教育年齢」では 13 年未満のハイリスク者が 23.9%、13 年以上で 16.5%と大きく割合に差がある。学歴や教育年数が PTSD ハイリスク傾向に影響を及ぼしているようだ。
- d. 「世帯主との関係」については、各関係の中でハイリスク者の割合が 20.0%を越えているものは、本人、配偶者、親 (義親含む) であるが、一番割合が高いのが配偶者で、25.6%である。配偶者の地震のショック状態が大きい可能性がある。
- e. 「住まい」については仮設住宅のハイリスク者は 31.6%、仮設住宅以外 16.7%と、仮設住宅に住んでいる方のほうが、ハイリスク者の割合が高い。
- f. 「主たる家計者」については、各生計者の中でハイリスク者の割合が 20.0%を越えているものは、自営業、パート、専業主婦、年金受給者、無職、その他であり、その中でも一番割合が高いのが年金受給者で 30.1%である。生計を主に支えているのが年金受給者である方は、地震のショック状態が大きい可能性がある。
- g. 「回答者の職業」では、各回答者の中でハイリスク者の割合が 20.0%を越えているものは、自営業、パート、専業主婦、年金受給者、無職、その他、であり、その中でも一番割合が高いのが年金受給者と無職者であり、29.5%である。

図Ⅲ-33. 性別と年齢階級、及び教育年齢



図Ⅲ-34. 世帯主との関係と住まい





② 震災による経済的变化、被害状況、原子力発電所に対する意識について (図Ⅲ-36,37,38,表Ⅲ-31)

IES-R と震災による経済的变化、被害状況、原子力発電所に対する意識には、中越大震災による転職の有無以外において、いずれの項目についても有意に差が認められた。

中越大震災による影響

- 「転職」については、転職せざるを得なかった方のハイリスク者の割合に有意差はない。
- 「暮らし向き」については、「わるくなった」と答えた方のハイリスク者の割合が 40.2%と高い。
- 「家屋被害」については、ハイリスク者の割合が 20.0%以上になるのが一部損壊、半壊、大規模半壊、全壊、であり、そのなかでも全壊においては 43.5%と一番高い。しかし、中越沖地震に比べて全壊になった家屋数は少ないため、全壊になった方の中越大震災でのショックは、より大きかった可能性がある。
- 「身近な人の死亡者の有無」では、「いる」と答えた方のハイリスク者の割合が 47.7%と高い。しかし、この場合も中越沖地震に比べて身近な人の中で死亡者がいた方の数自体は少ないため、身近な人に死亡者がいたことの中越大震災のショックは大きかった可能性がある。
- 「身近な人の負傷者の有無」については、「いる」と答えた方のハイリスク者の割合が 44.6%

と高い。これも上記同様数自体は少ないため、身近な人に負傷者がいたことの中越大震災のショックは大きかった可能性がある。

中越沖地震による影響

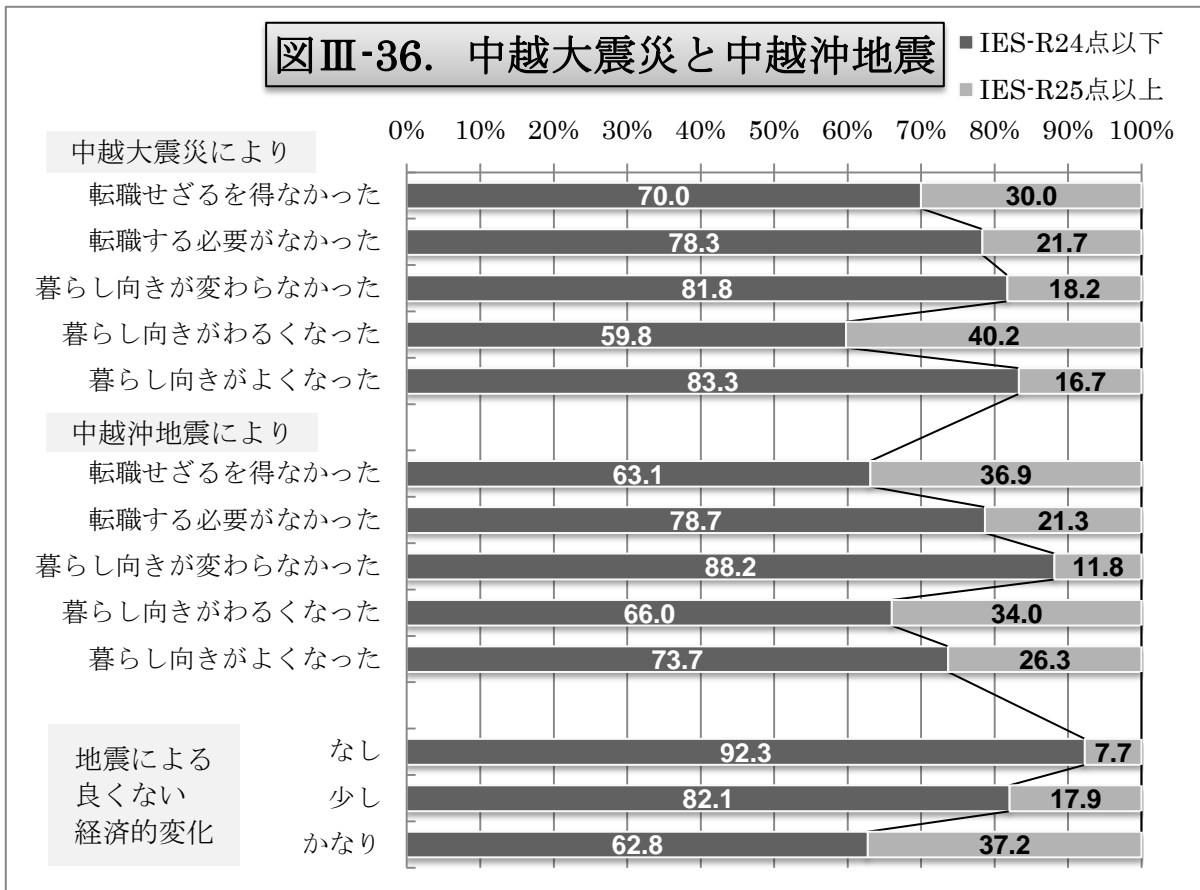
- a. 「転職」については、転職せざるを得なかった方のハイリスク者の割合が 36.9%と高い。
- b. 「暮らし向き」については、「わるくなった」と答えた方のハイリスク者の割合が 34.0%と高い。
- c. 「家屋被害」についてはハイリスク者の割合が 20.0%以上になるのが半壊、大規模半壊、全壊、であり、そのなかでも全壊においては 37.2%と一番高い。
- d. 「身近な人の死亡者の有無」では、「いる」と答えた方のハイリスク者の割合が 33.3%と高い。
- e. 「身近な人の負傷者の有無」については、「いる」と答えた方のハイリスク者の割合が 34.2%と高い。

中越大震災と中越沖地震による影響

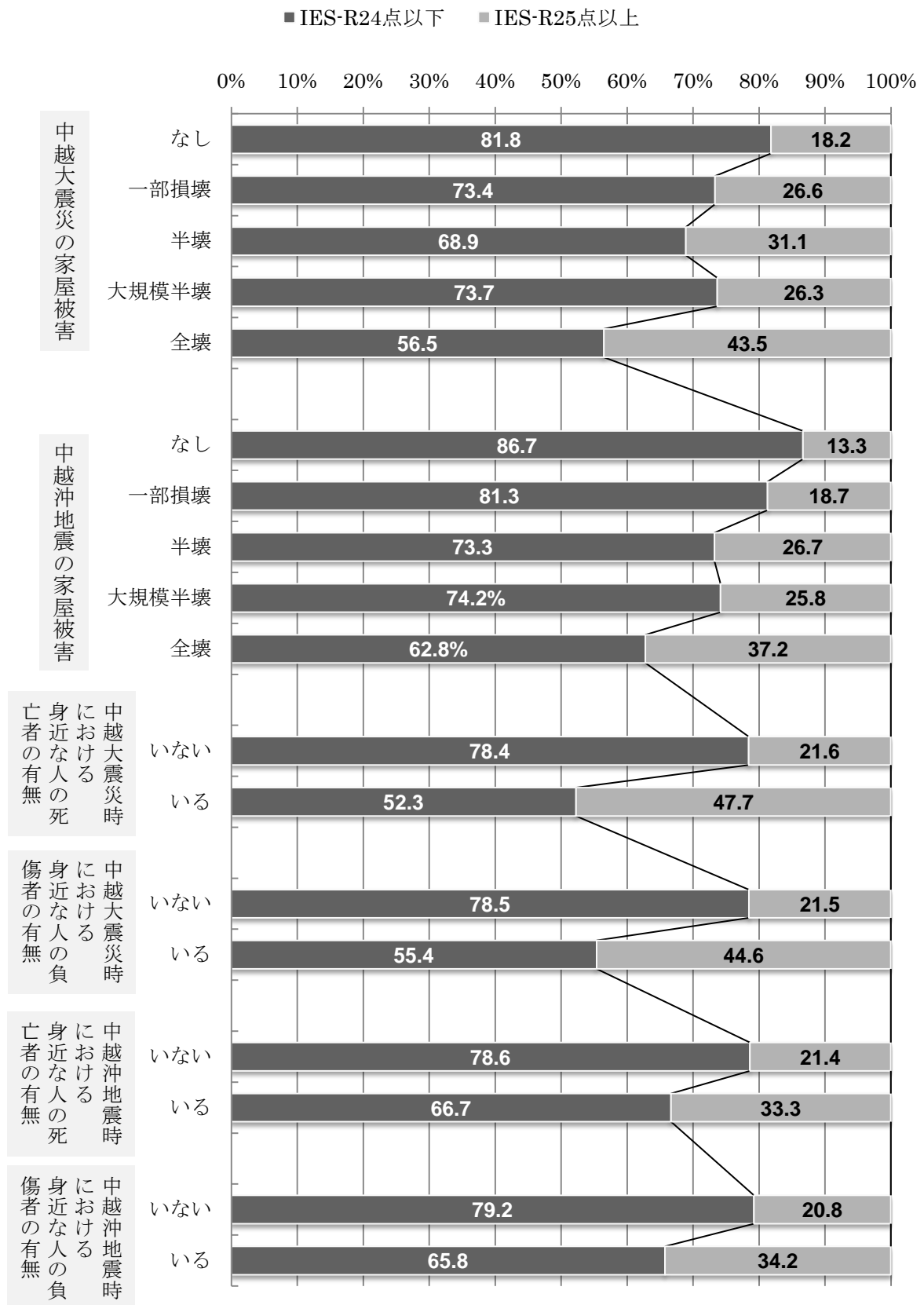
- a. 「これら2つの地震による良くない経済的変化」においては、「かなりある」と答えた方において、ハイリスク者の割合が 37.2%と高い。

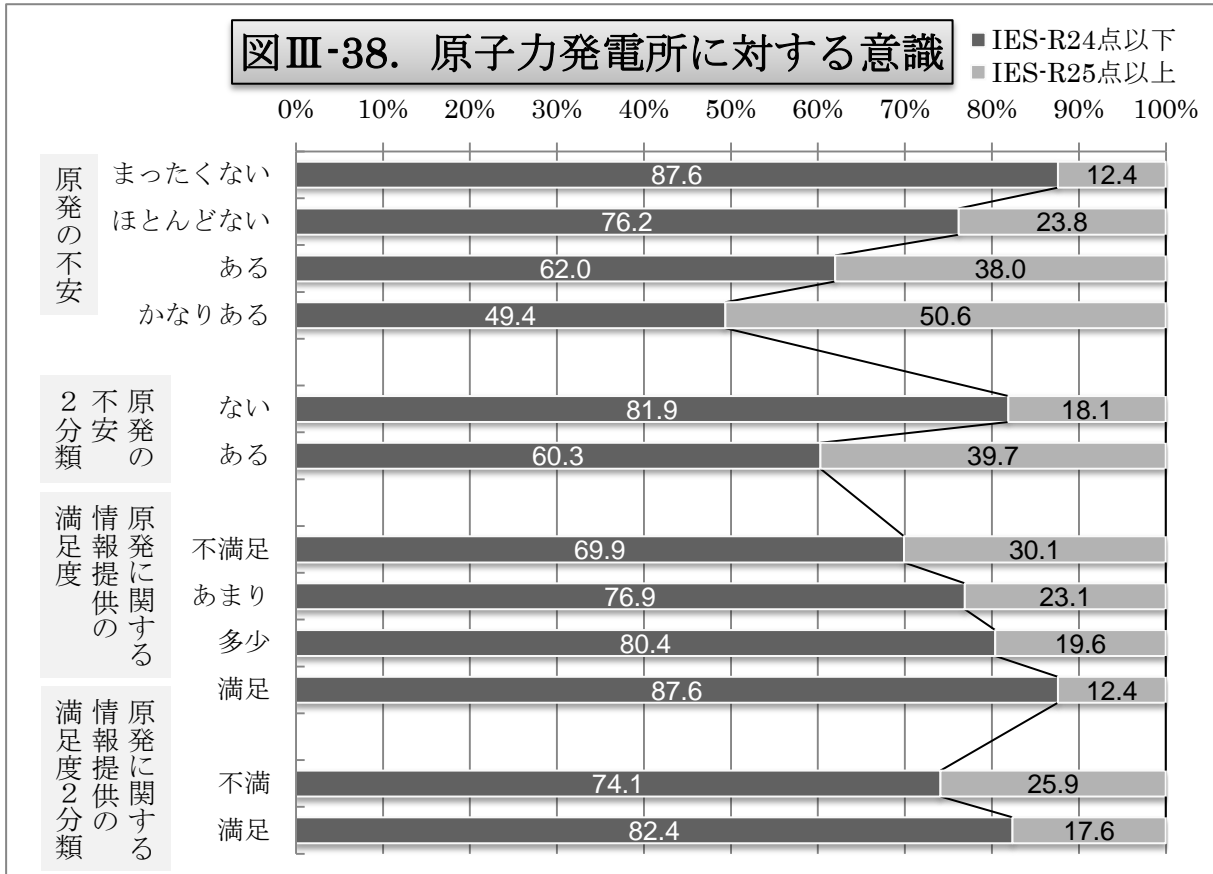
原子力発電所について

- a. 「原子力発電所への不安」については、2分類において、「ある」にカテゴリされた方の割合は、有効回答者全体の 17.8%と多くはないが、ハイリスク者の割合が高く、39.7%となっている。
- b. 「原子力発電所に関する情報提供の満足度」については、2分類において、「不満」にカテゴリされた方は有効回答者全体の 52.3%と約半分で、ハイリスク者の割合も 25.9%と高い。



図Ⅲ-37.中越大震災と中越沖地震による被害状況

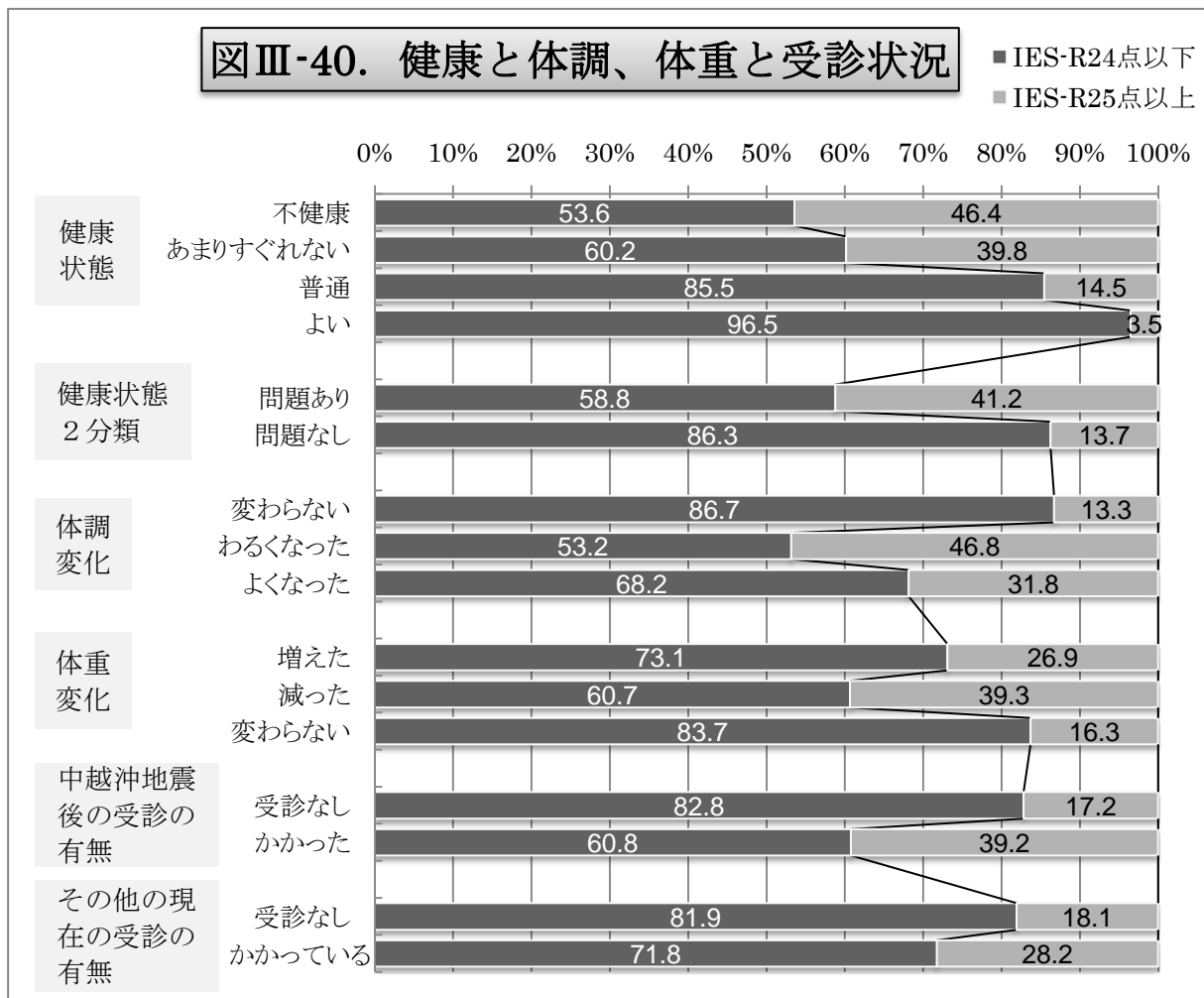
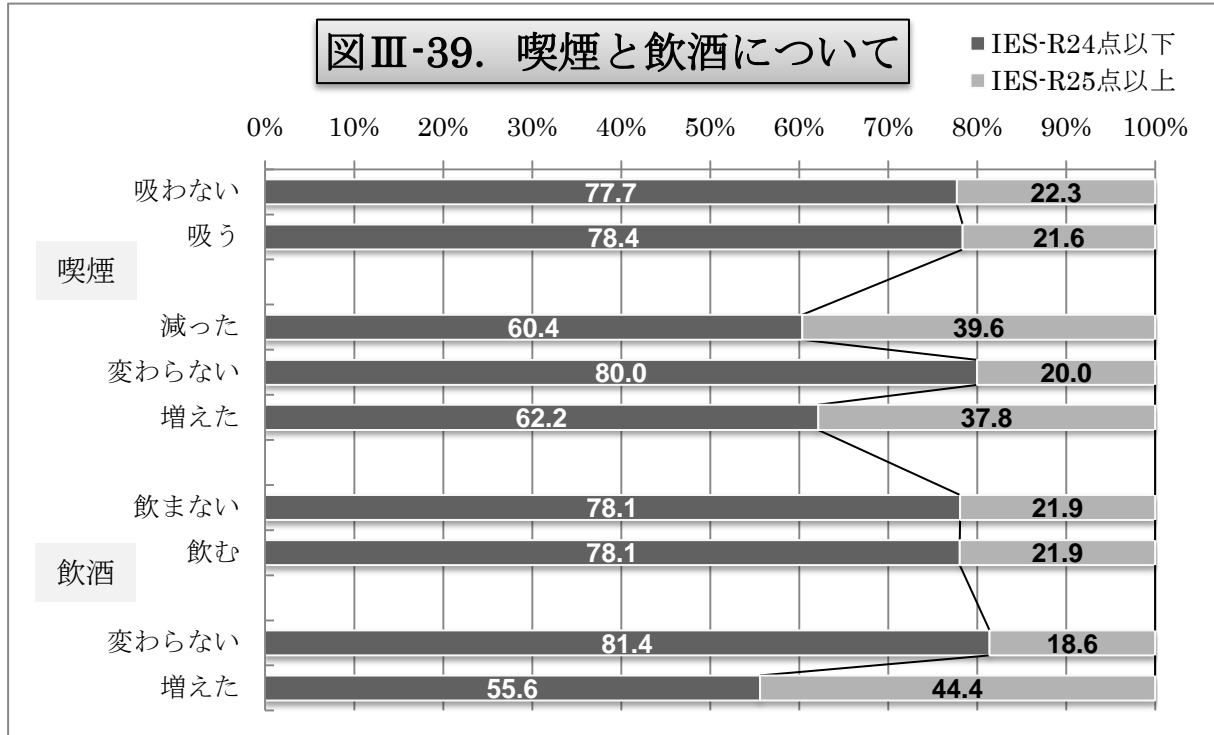




③ 健康行動について (図Ⅲ-39,40,表Ⅲ-32)

IES-R と健康行動の間には、喫煙、飲酒の有無以外において、いずれの項目についても有意に差が認められた。

- a. 「喫煙の有無」、「飲酒の有無」についてはハイリスク者の割合に有意差はない。
- b. 「喫煙量の変化」においてはハイリスク者の割合が、中越沖地震後に減った方の中では 39.6%、変わらない方の中では 20.0%、増えた方の中では 37.8%と、変化があった方において高い。
- c. 「飲酒量の変化」についても、「増えた」と答えた方のハイリスク者の割合が 44.4%と高い。
- d. 「健康状態」については、2分類において、「問題あり」のカテゴリーに入った方でハイリスク者の割合が 41.2%と高い。
- e. 「体調変化」においてはハイリスク者の割合が、「わるくなった」と答えた方の中では 46.8%、「よくなった」と答えた方の中では 31.8%、「変わらない」と答えた方の中では 13.3%と、変化があった方で高いことが分かる。
- f. 「体重変化」においてもハイリスク者の割合が、「増えた」と答えた方の中では 26.9%、「減った」と答えた方の中では 39.3%、「変わらない」と答えた方の中では 16.3%と、ここでも変化があった方で高いことが分かる。
- g. 「中越沖地震後の受診の有無」については、「かかった」と答えた方のハイリスク者の割合が 39.2%と高い。
- h. 「その他の現在の受診の有無」については、「かかっている」と答えた方のハイリスク者の割合が 28.2%と高い。



④ ソーシャルサポート（人とのつながり）について（図Ⅲ-41,表Ⅲ-33）

IES-R とソーシャルサポートにおいて、いずれの項目についても有意に差が認められた。ここでは人とのつながりとしてとらえるソーシャルサポートは、地震によるショック状況の緩和に影響を与えている可能性がある。結果は2分類から記述する。

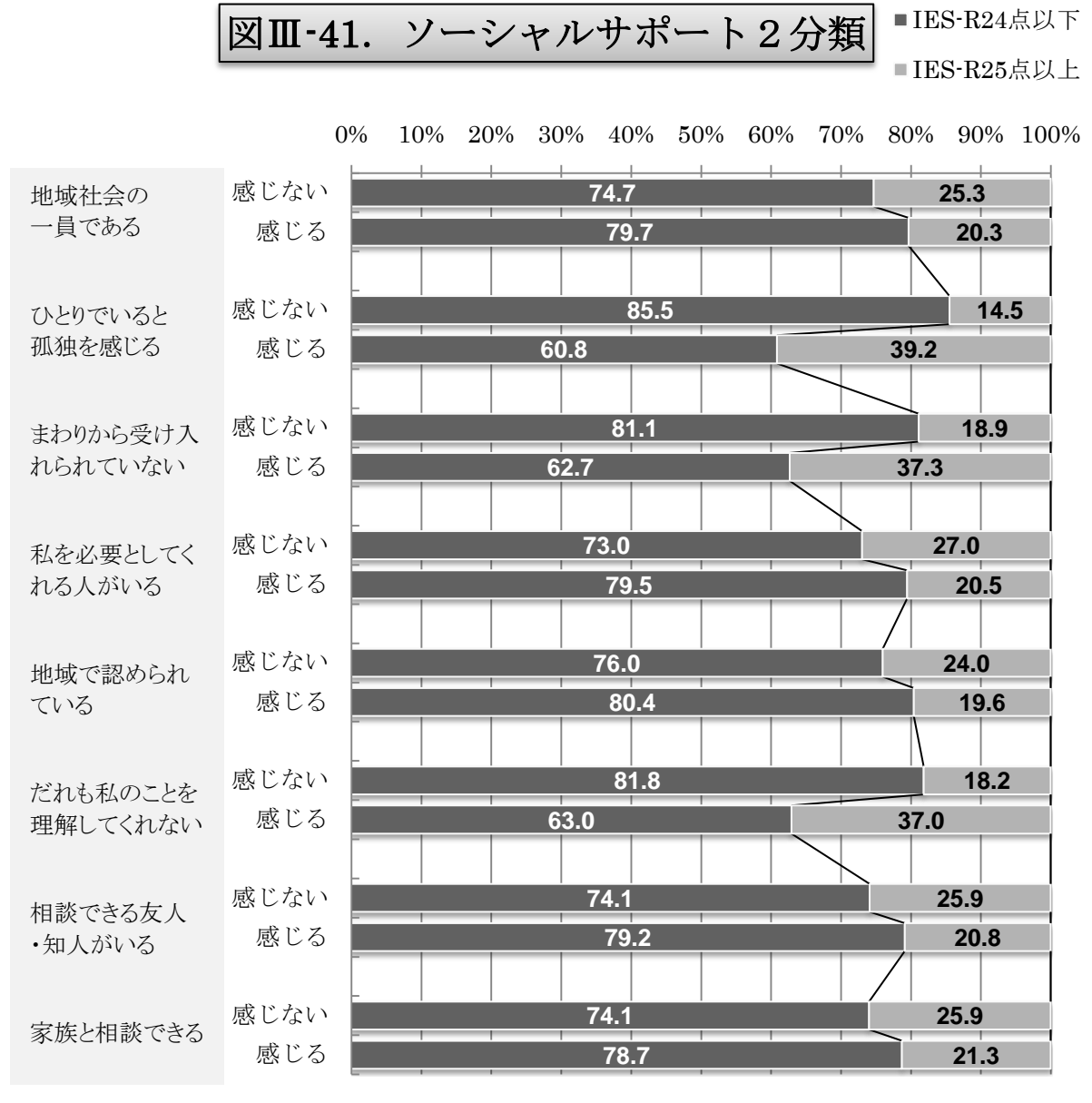
ソーシャルサポートがあると認識していることを判別する項目について

- a. 「地域社会の一員である 2分類」より、「感じない」とカテゴリーされた方についてハイリスク者の割合が高く、25.3%である。
- b. 「わたしを必要としてくれる人がいる 2分類」より、「感じない」とカテゴリーされた方についてハイリスク者の割合が若干高く、27.0%である。
- c. 「地域で認められている 2分類」より、「感じない」とカテゴリーされた方についてハイリスク者の割合が高く、24.0%である。
- d. 「相談できる友人・知人がいる 2分類」より、「感じない」とカテゴリーされた方についてハイリスク者の割合が高く、25.9%である。
- e. 「家族と相談できる 2分類」より、「感じない」とカテゴリーされた方についてハイリスク者の割合が高く、25.9%である。

ソーシャルサポートがないと認識していることを判別する項目について

- a. 「ひとりしていると孤独に感じる 2分類」より、「感じる」とカテゴリーされた方についてハイリスク者の割合が高く、39.2%である。
- b. 「まわりから受け入れられていない 2分類」より、「感じる」とカテゴリーされた方についてハイリスク者の割合が高く、37.3%である。
- c. 「だれもわたしのことを理解してくれない 2分類」より、「感じる」とカテゴリーされた方についてハイリスク者の割合が高く、37.0%である。

図Ⅲ-41. ソーシャルサポート 2分類



(考察)

- ① IES-R 分析の結果、一部の項目を除いて有意差が検出された。
- ② ハイリスク者では、原発に関する不安が高かった。
- ③ 今回の分析では、対象群のハイリスク傾向の程度差を評価できなかったが、今後の被災者のケアに役立つ基礎資料が得られた。

表Ⅲ-30. 中越沖地震1年後のこころと身体の健康調査参加者の属性×IES-R比較
柏崎市

属性×IES-R	全体		IES-R24点以下		IES-R25点以上		df	χ^2/t	p
	n		n	%	n	%			
	3,319		2,588	78.0%	731	22.0%			
性別									
男性	1,614	1,291	80.0%	323	20.0%	1	7.7	**	0.0055
女性	1,695	1,288	76.0%	407	24.0%				
年齢階級									
20歳未満	127	115	90.6%	12	9.4%	8	73.0	***	<0.0001
20-29歳	263	227	86.3%	36	13.7%				
30-39歳	441	379	85.9%	62	14.1%				
40-49歳	456	370	81.1%	86	18.9%				
50-59歳	633	490	77.4%	143	22.6%				
60-69歳	650	470	72.3%	180	27.7%				
70-79歳	493	347	70.4%	146	29.6%				
80-89歳	217	160	73.7%	57	26.3%				
90歳以上	28	20	71.4%	8	28.6%				
教育年齢									
13年未満	2,450	1,864	76.1%	586	23.9%	1	19.9	***	0.0000
13年以上	820	685	83.5%	135	16.5%				
世帯主との関係									
本人	1,453	1,129	77.7%	324	22.3%	4	20.5	***	0.0004
配偶者	938	698	74.4%	240	25.6%				
子	569	470	82.6%	99	17.4%				
親(義親含む)	224	174	77.7%	50	22.3%				
その他	91	81	89.0%	10	11.0%				
住まい									
仮設住宅	765	523	68.4%	242	31.6%	1	67.9	***	0.0000
仮設以外	1,601	1,333	83.3%	268	16.7%				
家計者の職業									
会社員	1,571	1,283	81.7%	288	18.3%	8	61.8	***	<0.0001
公務員	156	137	87.8%	19	12.2%				
自営	308	243	78.9%	65	21.1%				
パート	69	51	73.9%	18	26.1%				
専業主婦	57	40	70.2%	17	29.8%				
年金受給者	665	465	69.9%	200	30.1%				
学生	11	11	100.0%	0	0.0%				
無職	299	211	70.6%	88	29.4%				
その他	88	70	79.5%	18	20.5%				
回答者の職業									
会社員	1,064	879	82.6%	185	17.4%	8	72.7	***	<0.0001
公務員	98	87	88.8%	11	11.2%				
自営	213	166	77.9%	47	22.1%				
パート	279	213	76.3%	66	23.7%				
専業主婦	334	262	78.4%	72	21.6%				
年金受給者	559	394	70.5%	165	29.5%				
学生	134	125	93.3%	9	6.7%				
無職	427	301	70.5%	126	29.5%				
その他	117	85	72.6%	32	27.4%				

カイ二乗検定 (Chi-square test) を使用 ***p<0.001,**p<0.01,*p<0.05,#p<0.1,n.s有意差なし

表Ⅲ-31. 中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の震災による
経済的変化、被害状況、原子力発電所に対する意識×IES-R比較

柏崎市

震災による経済的変化、被害状況、 原子力発電所に対する意識×IES-R	全体		IES-R24点以下		IES-R25点以上		df	χ^2/t	p
	n	n	%	n	%				
中越大震災により	3,319	2,588	78.0%	731	22.0%				
転職せざるを得なかった	50	35	70.0%	15	30.0%	1	2.0	n.s	0.1566
転職する必要がなかった	3,148	2,466	78.3%	682	21.7%				
中越大震災により暮らし向き	2,704	2,211	81.8%	493	18.2%	2	133.6	***	<0.0001
変わらなかった	577	345	59.8%	232	40.2%				
わるくなった	6	5	83.3%	1	16.7%				
よくなった									
中越沖地震により	84	53	63.1%	31	36.9%	1	11.8	***	0.0006
転職せざるを得なかった	3,101	2,441	78.7%	660	21.3%				
転職する必要がなかった									
中越沖地震により暮らし向き	1,757	1,549	88.2%	208	11.8%	2	230.5	***	<0.0001
変わらなかった	1,499	990	66.0%	509	34.0%				
わるくなった	19	14	73.7%	5	26.3%				
よくなった									
これらの地震による	805	743	92.3%	62	7.7%	2	261.8	***	<0.0001
良くない経済的変化	1,311	1,076	82.1%	235	17.9%				
なし	1,144	718	62.8%	426	37.2%				
少し									
かなり									
中越大震災時の家屋被害	1,887	1,544	81.8%	343	18.2%	4	48.7	***	<0.0001
なし	1,137	834	73.4%	303	26.6%				
一部損壊	119	82	68.9%	37	31.1%				
半壊	38	28	73.7%	10	26.3%				
大規模半壊	46	26	56.5%	20	43.5%				
全壊									
中越沖地震時の家屋被害	465	403	86.7%	62	13.3%	4	91.9	***	<0.0001
なし	1,551	1,261	81.3%	290	18.7%				
一部損壊	621	455	73.3%	166	26.7%				
半壊	248	184	74.2%	64	25.8%				
大規模半壊	387	243	62.8%	144	37.2%				
全壊									
中越大震災時における	3,218	2,524	78.4%	694	21.6%	1	17.4	***	0.0000
身近な人の死亡者の有無	44	23	52.3%	21	47.7%				
いない									
いる									
中越大震災時における	3,205	2,516	78.5%	689	21.5%	1	19.9	***	0.0000
身近な人の負傷者の有無	65	36	55.4%	29	44.6%				
いない									
いる									
中越沖地震時における	3,066	2,411	78.6%	655	21.4%	1	15.7	***	0.0001
身近な人の死亡者の有無	201	134	66.7%	67	33.3%				
いない									
いる									
中越沖地震時における	2,947	2,335	79.2%	612	20.8%	1	28.1	***	0.0000
身近な人の負傷者の有無	292	192	65.8%	100	34.2%				
いない									
いる									
原子力発電所の不安	1,339	1,173	87.6%	166	12.4%	3	186.5	***	<0.0001
まったくない	1,346	1,025	76.2%	321	23.8%				
ほとんどない	503	312	62.0%	191	38.0%				
ある	77	38	49.4%	39	50.6%				
かなりある									
原子力発電所の不安2分類	2,685	2,198	81.9%	487	18.1%	1	128.9	***	0.0000
ない	580	350	60.3%	230	39.7%				
ある									
原子力発電所に関する	678	474	69.9%	204	30.1%	3	53.3	***	<0.0001
情報提供の満足度	1,039	799	76.9%	240	23.1%				
不満足	1,137	914	80.4%	223	19.6%				
あまり	427	374	87.6%	53	12.4%				
多少									
満足									
原子力発電所に関する	1,717	1,273	74.1%	444	25.9%	1	32.2	***	0.0000
情報提供の満足度2分類	1,564	1,288	82.4%	276	17.6%				
不満									
満足									

カイ二乗検定 (Chi-square test) を使用 ***p<0.001, **p<0.01, *p<0.05, #p<0.1, n.s 有意差なし

表Ⅲ-32. 中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の震災後の健康行動×IES-R比較
柏崎市

震災後の健康行動×IES-R	全体		IES-R24点以下		IES-R25点以上		df	χ^2/t	p
	n		n	%	n	%			
	3,319		2,588	78.0%	731	22.0%			
喫煙の有無									
吸わない	2,584		2,009	77.7%	575	22.3%	1	0.1	n.s 0.7190
吸う	694		544	78.4%	150	21.6%			
喫煙量の変化									
減った	53		32	60.4%	21	39.6%	2	27.3	*** <0.0001
変わらない	985		788	80.0%	197	20.0%			
増えた	111		69	62.2%	42	37.8%			
飲酒の有無									
飲まない	1,784		1,393	78.1%	391	21.9%	1	0.0	n.s 0.9837
飲む	1,335		1,042	78.1%	293	21.9%			
飲酒量の変化									
変わらない	1,807		1,471	81.4%	336	18.6%	1	70.6	*** 0.0000
増えた	196		109	55.6%	87	44.4%			
健康状態									
不健康	209		112	53.6%	97	46.4%	3	319.9	*** <0.0001
あまりすぐれない	786		473	60.2%	313	39.8%			
普通	2,111		1,804	85.5%	307	14.5%			
よい	171		165	96.5%	6	3.5%			
健康状態 2分類									
問題あり	995		585	58.8%	410	41.2%	1	304.5	*** 0.0000
問題なし	2,282		1,969	86.3%	313	13.7%			
体調変化									
変わらない	2,399		2,081	86.7%	318	13.3%	2	407.5	*** <0.0001
わるくなった	833		443	53.2%	390	46.8%			
よくなった	22		15	68.2%	7	31.8%			
体重変化									
増えた	320		234	73.1%	86	26.9%	2	151.4	*** <0.0001
減った	585		355	60.7%	230	39.3%			
変わらない	2,260		1,892	83.7%	368	16.3%			
中越沖地震後の受診の有無									
かかっている	602		366	60.8%	236	39.2%			
かかっていない	2,581		2,138	82.8%	443	17.2%	1	141.3	*** 0.0000
その他の現在の受診の有無									
かかっている	1,098		788	71.8%	310	28.2%			
かかっていない	1,854		1,519	81.9%	335	18.1%	1	41.7	*** 0.0000

カイ二乗検定 (Chi-square test) を使用 ***p<0.001, **p<0.01, *p<0.05, #p<0.1, n.s 有意差なし

表Ⅲ-33. 中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の震災後のソーシャルサポート×IES-R比較
柏崎市

震災後のソーシャルサポート×IES-R		全体		IES-R24点以下		IES-R25点以上		df	χ^2/t	p	
		n	%	n	%	n	%				
		3,319		2,588	78.0%	731	22.0%				
地域社会の一員である	まったく感じない	271	8.2%	186	7.2%	85	11.6%	3	20.2	***	0.0002
	あまり感じない	868	26.2%	665	25.7%	203	27.7%				
	ときどき感じる	1,112	33.5%	873	33.7%	239	32.8%				
	いつも感じる	981	29.6%	795	30.7%	186	25.6%				
ひとりであると孤独を感じる	まったく感じない	787	23.7%	713	27.6%	74	10.1%	3	321.0	***	<0.0001
	あまり感じない	1,473	44.4%	1,220	47.2%	253	34.6%				
	ときどき感じる	832	25.1%	544	21.0%	288	39.4%				
	いつも感じる	182	5.5%	73	2.8%	109	14.8%				
まわりから受け入れられていない	まったく感じない	997	30.1%	860	33.2%	137	18.7%	3	118.8	***	<0.0001
	あまり感じない	1,707	51.5%	1,334	51.6%	373	51.1%				
	ときどき感じる	430	12.7%	263	10.2%	167	22.9%				
	いつも感じる	133	4.0%	90	3.5%	43	5.8%				
わたしを必要としてくれる人がいる	まったく感じない	138	4.2%	108	4.2%	30	4.1%	3	17.8	***	0.0005
	あまり感じない	578	17.4%	415	15.9%	163	22.3%				
	ときどき感じる	1,030	31.1%	806	31.2%	224	30.6%				
	いつも感じる	1,515	45.5%	1,217	46.5%	298	40.8%				
地域で認められている	まったく感じない	394	11.9%	277	10.7%	117	16.1%	3	24.4	***	<0.0001
	あまり感じない	1,458	44.0%	1,130	43.7%	328	44.9%				
	ときどき感じる	979	29.5%	770	29.4%	209	28.5%				
	いつも感じる	415	12.5%	351	13.6%	64	8.7%				
だれもわたしのことを理解してくれない	まったく感じない	910	27.4%	796	30.8%	114	15.6%	3	140.8	***	<0.0001
	あまり感じない	1,660	50.0%	1,307	50.5%	353	48.2%				
	ときどき感じる	577	17.4%	357	13.8%	220	29.9%				
	いつも感じる	114	3.4%	78	3.0%	36	4.9%				
相談できる友人・知人がいる	まったく感じない	218	6.6%	157	6.1%	61	8.3%	3	29.7	***	<0.0001
	あまり感じない	624	18.8%	467	18.0%	157	21.4%				
	ときどき感じる	949	28.6%	707	27.3%	242	33.0%				
	いつも感じる	1,440	43.4%	1,184	45.4%	256	34.9%				
家族と相談できる	まったく感じない	189	5.7%	135	5.2%	54	7.4%	3	14.2	**	0.0027
	あまり感じない	393	11.9%	296	11.4%	97	13.3%				
	ときどき感じる	805	24.3%	608	23.5%	197	27.0%				
	いつも感じる	1,858	56.1%	1,489	56.9%	369	50.3%				
2分類											
地域社会の一員である	感じない	1,139	34.3%	851	32.9%	288	39.3%	1	10.6	**	0.0011
	感じる	2,093	62.7%	1,668	63.1%	425	57.9%				
ひとりであると孤独を感じる	感じない	2,260	68.2%	1,933	73.2%	327	44.6%	1	247.6	***	0.0000
	感じる	1,014	30.5%	617	23.5%	397	53.8%				
まわりから受け入れられていない	感じない	2,704	81.6%	2,194	84.8%	510	69.6%	1	92.2	***	0.0000
	感じる	563	16.9%	353	13.5%	210	28.6%				
わたしを必要としてくれる人がいる	感じない	716	21.6%	523	20.2%	193	26.4%	1	13.6	***	0.0002
	感じる	2,545	77.0%	2,023	77.4%	522	71.1%				
地域で認められている	感じない	1,852	56.0%	1,407	54.4%	445	60.7%	1	9.1	**	0.0025
	感じる	1,394	41.8%	1,121	43.1%	273	37.1%				
だれもわたしのことを理解してくれない	感じない	2,570	77.5%	2,103	79.4%	467	63.9%	1	112.5	***	0.0000
	感じる	691	20.8%	435	16.5%	256	35.1%				
相談できる友人・知人がいる	感じない	842	25.4%	624	24.1%	218	29.7%	1	9.2	**	0.0024
	感じる	2,389	72.1%	1,891	71.8%	498	67.7%				
家族と相談できる	感じない	582	17.5%	431	16.7%	151	20.6%	1	6.1	*	0.0135
	感じる	2,663	80.1%	2,097	80.3%	566	77.0%				

カイ二乗検定 (Chi-square test) を使用 ***p<0.001,**p<0.01,*p<0.05,#p<0.1,n.s有意差なし

3. まとめと今後のこころのケアの課題

今回の調査によると、「性別」においては女性が、「年齢階級」においては年齢が上がるほど、「住まい」については仮設住宅に住んでいる方が、「回答者の職業」では年金受給者や無職者において、IES-R 分析におけるハイリスク者の割合は高かった。そして、「家屋被害」においては被害程度が大きい程、又、身近な人の死亡者や負傷者がいる場合、ハイリスク者の割合は高かった。

一方、K6 を指標としての検討でも、上記対象者の精神的健康度の低さはある程度示唆されていた。

今後のこころのケアにおいては前記の検討結果等を参考にしつつ、復興が進むにつれて社会からの関心が薄れてしまう、震災における災害弱者等の生活再建の援助はもちろん、精神面における復興（回復）を続けて支援していく必要がある。

IV 出雲崎町の調査内容と結果

IV 出雲崎町の調査内容と結果

1. 出雲崎町の概要と被害状況（H.21.7.1 現在）

■ 概要

出雲崎町は、新潟県のほぼ中央に位置し、長岡市・柏崎市に接しており、約9kmに及ぶ海岸線を有し、佐渡と相對している。江戸時代は佐渡への渡海の津として幕府直轄の「天領」として栄えた。日本海に並行した小高い丘に挟まれたわずかな平場に、家と家が軒を連ねる「妻入り」という建築様式の街並みが約3.6kmにわたり形成されており、全国的にも珍しい地域とされている。また、明治時代には、わが国初の石油の機械掘りに成功し、石油産業発祥の地として脚光を浴び、現在も名残の石油井が保存されている。

人口(推計人口)	5,019人(震災当時は5,158人)
世帯数	1,818世帯(震災当時は1,826世帯)
面積	44,38平方キロメートル

■ 被害状況

(1) 人的被害

死者	0人
けが人	10人(重傷2人、軽傷8人)

(2) 建物被害(住宅)

1,531棟(H.21.7.13現在) ※ 震災当時の全世帯の約84%

全壊	17棟(17世帯)
大規模半壊	16棟(16世帯)
半壊	115棟(115世帯)
一部損壊	1,383棟(1,390世帯)

(3) 火災の状況

建物火災なし

(4) ライフラインの被害

電気	7月16日停電戸数 0戸
水道	273戸 ⇒ 7月18日全面給水
ガス	0戸

(5) 避難人数

避難箇所 6箇所 (H.19.8.25 全箇所閉鎖)
92人 ※ ピーク時

延べ人数 1,060人

(6) 応急仮設住宅

建設箇所 1箇所 15戸

2. 調査結果の分析と考察

(1) 回収結果

1) 調査対象人数・世帯数

対象世帯数			対象人数
仮設	仮設以外	合計	
12 世帯	1,717 世帯	1,729 世帯	4,590 名

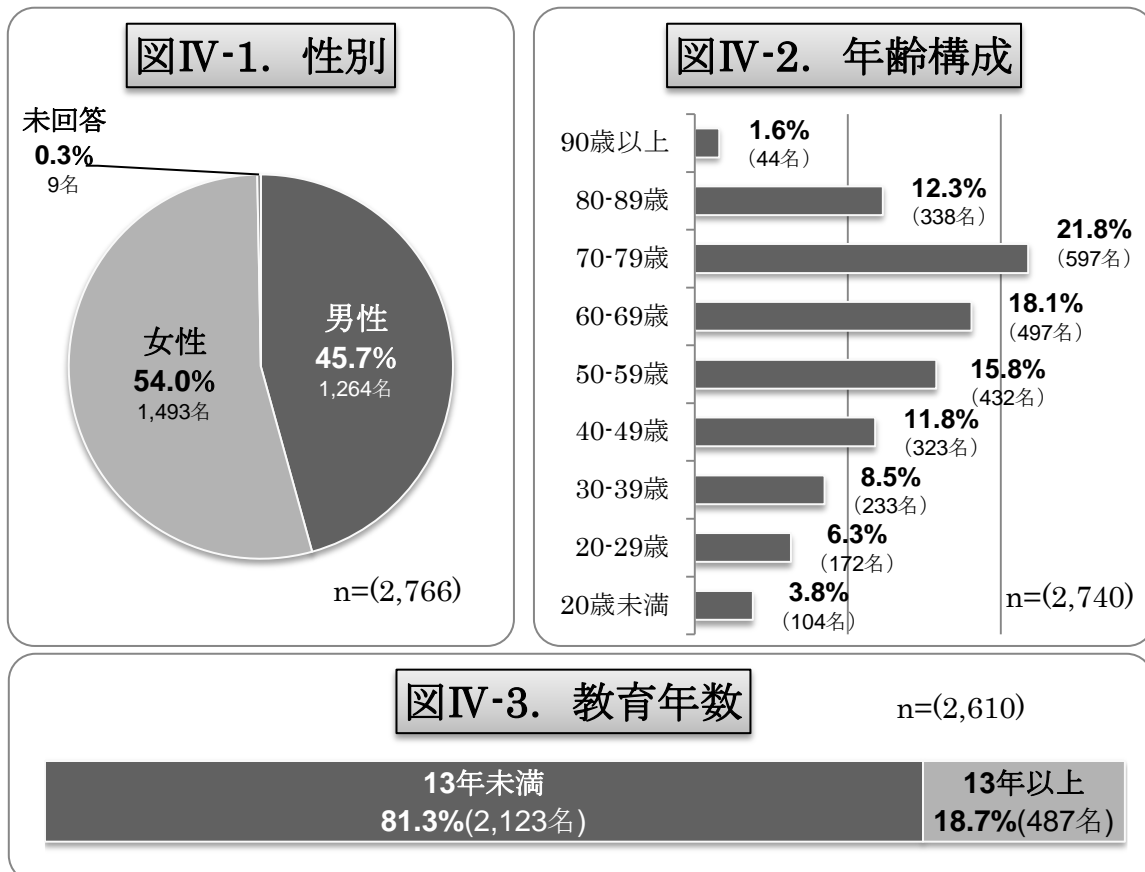
2) 回収状況

調査対象人数	回答者数	回収率
4,590 名	2,766 名	60.3%

(2) 調査参加者の属性

1) 性別・年齢と教育年数 (図IV-1,2,3)

性別は男性 45.7%、女性 54.0%であり、年齢は 50 歳代、60 歳代、70 歳代の方が多くて、合わせると半数を占めていた。平均年齢は 58.8 歳 (標準偏差 19.4)、教育年数の平均は 11.1 年 (標準偏差 2.6) であった。



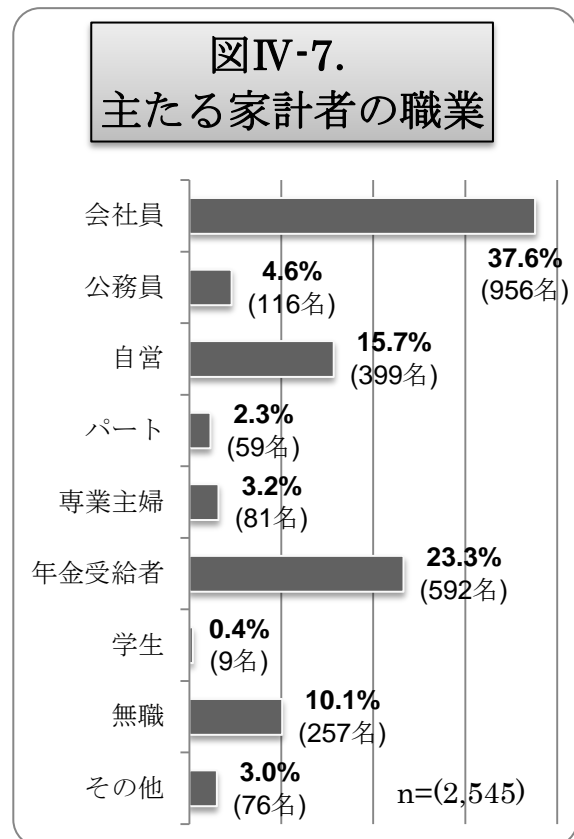
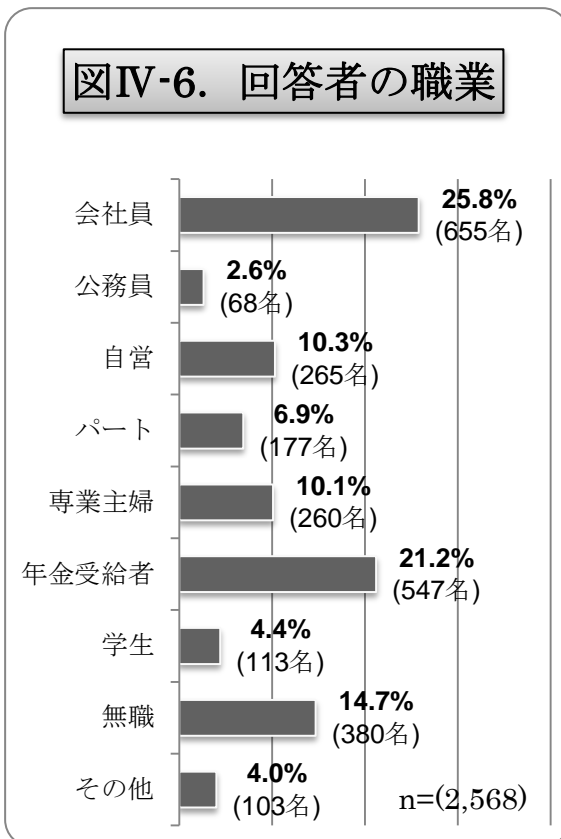
2) 世帯主との関係と住まい (図IV-4,5)

世帯主との関係については、世帯主とその配偶者が合わせて約7割を占めていた。
仮設住宅の居住者は1.6%であった。



3) 調査時の職業 (図IV-6,7)

956名 (37.6%) の世帯の主たる家計者の職業は会社員であった。

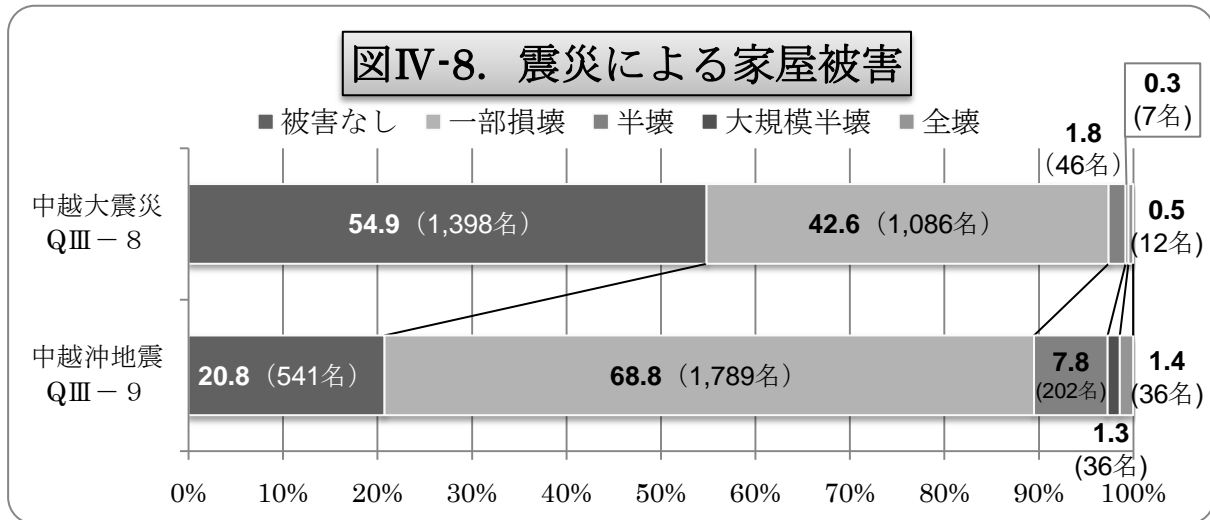


(3) 調査結果

1) 健康調査参加者の被災後の変化と震災による影響について

① 家屋被害の状況 (図IV-8)

中越大震災・中越沖地震による家屋被害の状況に関して、中越大震災に比べ、中越沖地震で被害を受けた方は、「全壊」が3倍、「大規模半壊」が約5倍、「半壊」が約4.4倍も増加し、「被害なし」は、約2/5に減少していた。

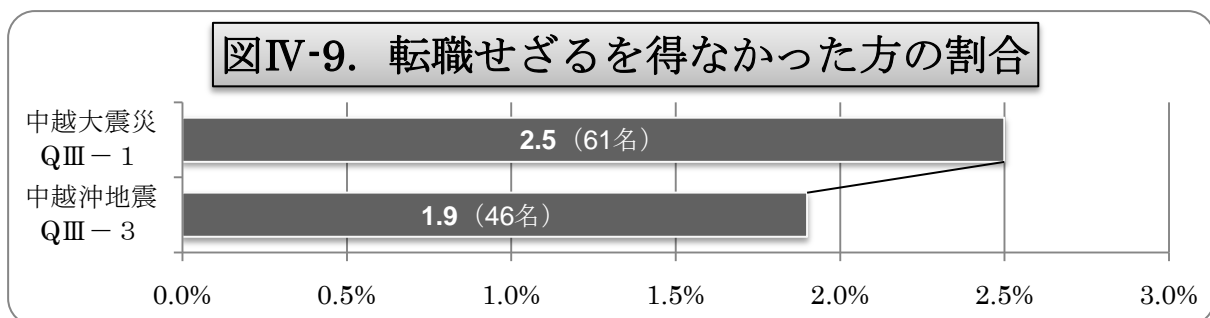


QⅢ-8. H16年10月の中越大震災に関し、行政による家屋被害認定結果について教えてください。

QⅢ-9. 昨年の中越沖地震に関し、行政による家屋被害認定結果について教えてください。

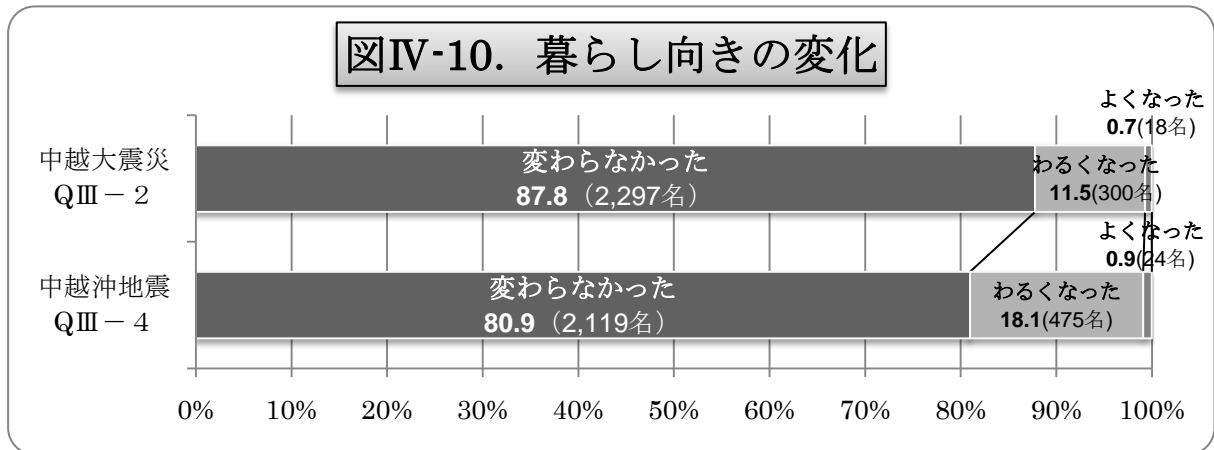
② 転職者の割合と暮らし向きの変化 (図IV-9,10)

中越大震災により主たる家計者が転職せざるを得なかった方は2.5%、中越沖地震による方は1.9%と、転職者はそれほど多くなかったものの、中越大震災により暮らし向きが悪くなった方は11.5%、中越沖地震により暮らし向きが悪くなった方は18.1%に上った。



QⅢ-1. H16年10月の中越大震災を理由として、主たる家計者が転職せざるを得ませんでしたか。

QⅢ-3. 昨年の中越沖地震を理由として、主たる家計者が転職せざるを得ませんでしたか。

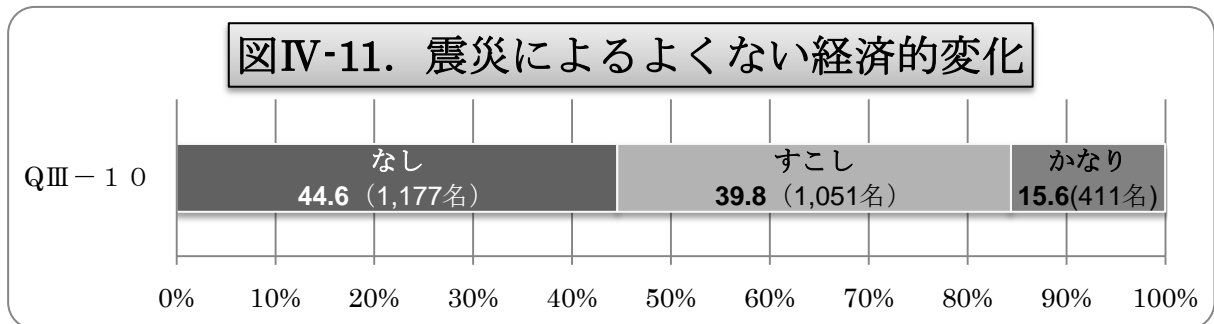


QⅢ-2. H16年10月の中越大震災をきっかけとして、暮らし向きは変わりましたか。

QⅢ-4. 昨年の中越沖地震をきっかけとして、暮らし向きは変わりましたか。

③ よくない経済的变化 (図IV-11)

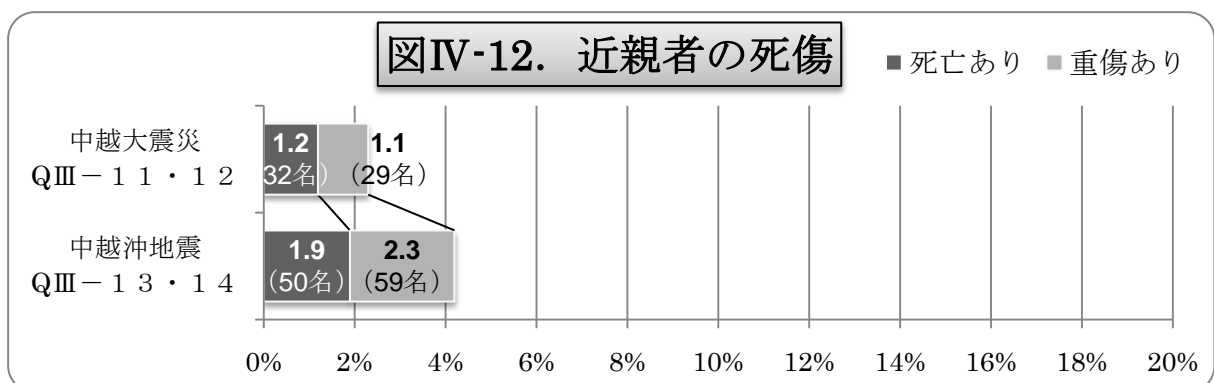
これらの震災による良くない経済的变化を少し感じている方は 39.8%、かなり感じている方は 15.6%に上り、両者を合わせると約 6 割を占めた。



QⅢ-10. これらの震災のために、ご自身(家庭)の良くない経済的变化を感じましたか。

④ 近親者の死傷 (図IV-12)

身近に死亡者のいる方は、中越大震災では 32 名(1.2%)、中越沖地震では 50 名(1.9%)と約 1.6 倍であった。そして、身近に重傷者のいる方は、中越大震災では 29 名(1.1%)、中越沖地震では 59 名(2.3%)と約 2 倍であった。



QⅢ-1 1. H16年10月の中越大震災に関し、身近に亡くなられた方はいらっしゃいますか。

QⅢ-1 2. H16年10月の中越大震災に関し、身近で重傷を負われた方はいらっしゃいますか。

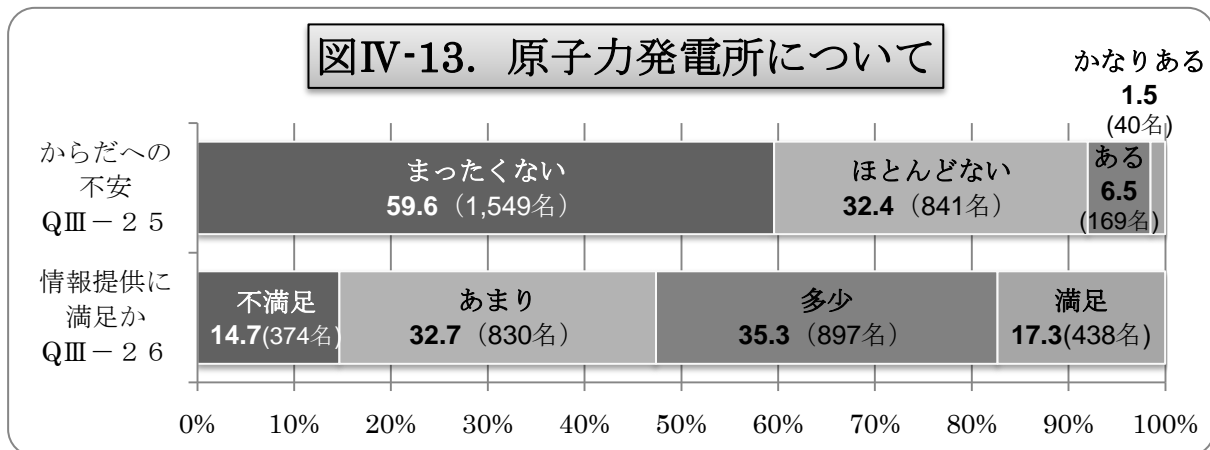
QⅢ-1 3. 昨年の中越沖地震に関し、身近に亡くなられた方はいらっしゃいますか。

QⅢ-1 4. 昨年の中越沖地震に関し、身近で重傷を負われた方はいらっしゃいますか。

	質問番号	同居家族	別居家族	親戚	友人	知人	その他
身近な 死亡・重傷者 の内訳人数	QⅢ-1 1	2	4	11	1	7	
	QⅢ-1 2		3	12	2	5	1
	QⅢ-1 3	5	1	22	4	4	10
	QⅢ-1 4	7	2	12	7	18	8

⑤ 原子力発電所について (図IV-13)

中越沖地震後の原子力安全については、健康への不安があると回答した方は1割に満たなかったが、情報提供に関しては、約半数の方があまり満足していなかった。



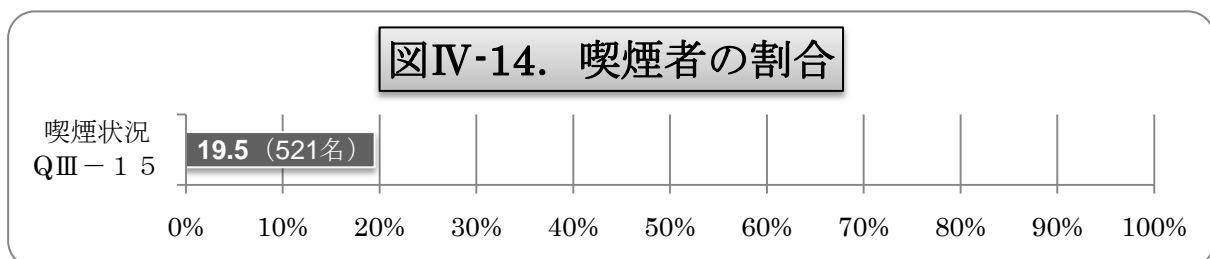
QⅢ-2 5. 昨年の中越沖地震による、原子力発電所からの微量の放射能流出は、人体に影響を与えるものではありませんが、現在、からだへの不安はありますか。

QⅢ-2 6. 現在、中越沖地震の発生により行政や会社の原子力発電所に関する情報提供に満足していますか。

2) 健康調査参加者の健康行動

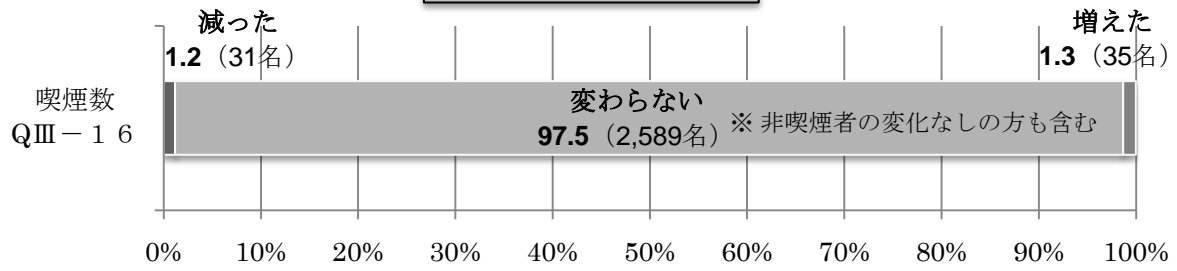
① 喫煙・飲酒状況 (図IV-14,15,16)

たばこを吸う方の割合は約2割、お酒を飲む方は約4割だった。中越沖地震後に喫煙数が増加した方は1.3%、飲酒量が増加した方は2.1%であった。



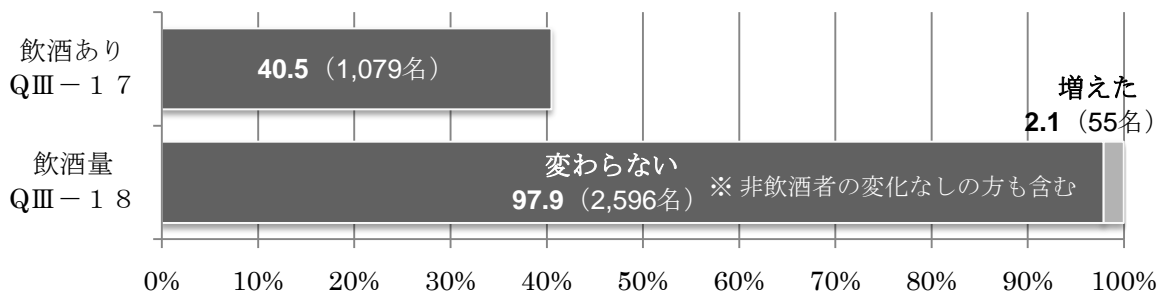
QⅢ-1 5. あなたは、たばこを吸いますか。

図IV-15. 喫煙数



QⅢ-16. 昨年の中越沖地震後、たばこを吸う本数は変わりましたか。

図IV-16. 飲酒状況



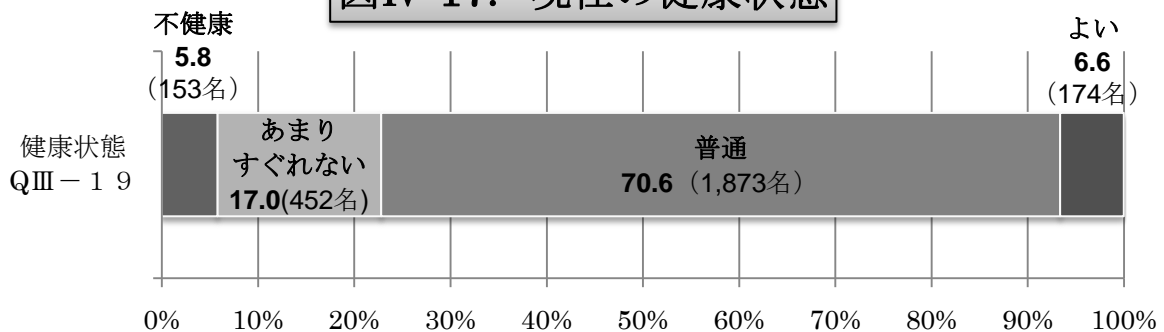
QⅢ-17. あなたは、お酒を飲みますか。

QⅢ-18. 昨年の中越沖地震後、お酒を飲む量がどれくらい増えましたか。

② 健康状態と体調・体重の変化 (図IV-17,18,19)

調査時点 (H20.9~10) に健康状態があまりよくない方はおよそ 2 割、中越沖地震後に体調が悪化している方は 8.4%、体重が増加した方は 6.8%、減少した方は 11.9%であった。

図IV-17. 現在の健康状態

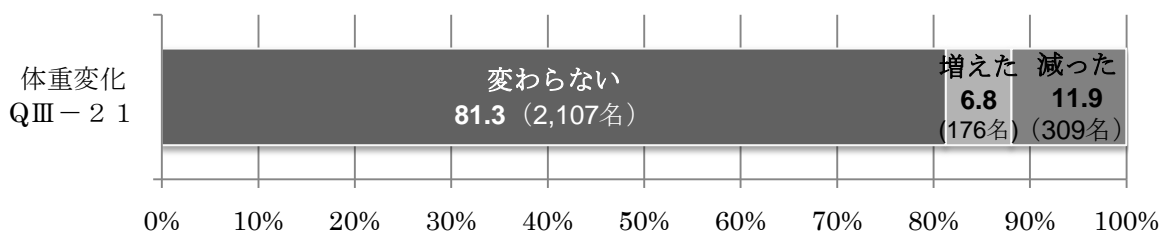


QⅢ-19. 現在、あなたの健康はいかがですか。

図IV-18. 体調の変化

QIII-20. 昨年の中越沖地震後、体調に変化はありますか。

図IV-19. 震災後の体重変化

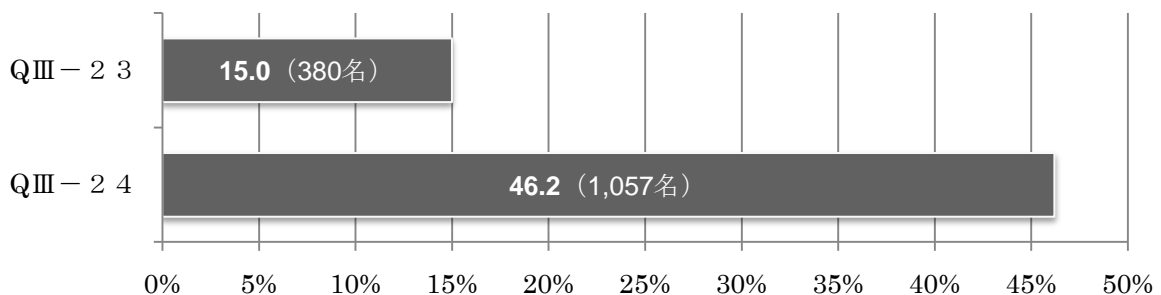
QIII-21. 昨年の中越沖地震後に体重の変化はありましたか。

③ 受診状況と主な病名 (図IV-20,表IV-1,2)

調査参加者の 380 名(15.0%)が中越沖地震後に新規の受診をしており、既往症については 1,057 名(46.2%)が「受診あり」と回答した。受診の際の主な病名 (自己申告) については、ICD-10*によって分類したものを、次頁の表に示した。

*:ICD (International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems)-10, WHO が作成した「疾病及び関連保健問題の国際統計分類(第 10 回目修正版)」

図IV-20. 受診者の割合

QIII-23. 昨年の中越沖地震後に、新たに医者にかかりましたか。

QIII-24. 質問23以外で、現在、医者にかかっている主な病気は何ですか。

表IV-1. 出雲崎町における中越沖地震後の新規受診の際の ICD-10 の分類による主な病名（複数回答を含む）(n=347)			
ICD コード	分類見出し	n	%
A00-B99	感染症および寄生虫症	9	2.6
C00-D48	新生物	13	3.8
D50-D89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	5	1.4
E00-E90	内分泌,栄養および代謝疾患	20	5.8
F00-F99	精神および行動の障害	19	5.5
G00-G99	神経系の疾患	8	2.3
H00-H59	眼および付属器の疾患	15	4.3
H60-H95	耳および乳様突起の疾患	7	2.0
I00-I99	循環器系の疾患	68	19.6
J00-J99	呼吸器系の疾患	41	11.8
K00-K93	消化器系の疾患	52	15.0
L00-L99	皮膚および皮下組織の疾患	11	3.2
M00-M99	筋骨格系および結合組織の疾患	64	18.4
N00-N99	尿路性器系の疾患	9	2.6
P00-P96	周産期に発生した病態	1	0.3
S00-T98	損傷,中毒およびその他の外因の影響	5	1.4
複数回答者（2項目選択）		30名	
複数回答者（3項目選択）		2名	
計		347	100%
実人数		315	

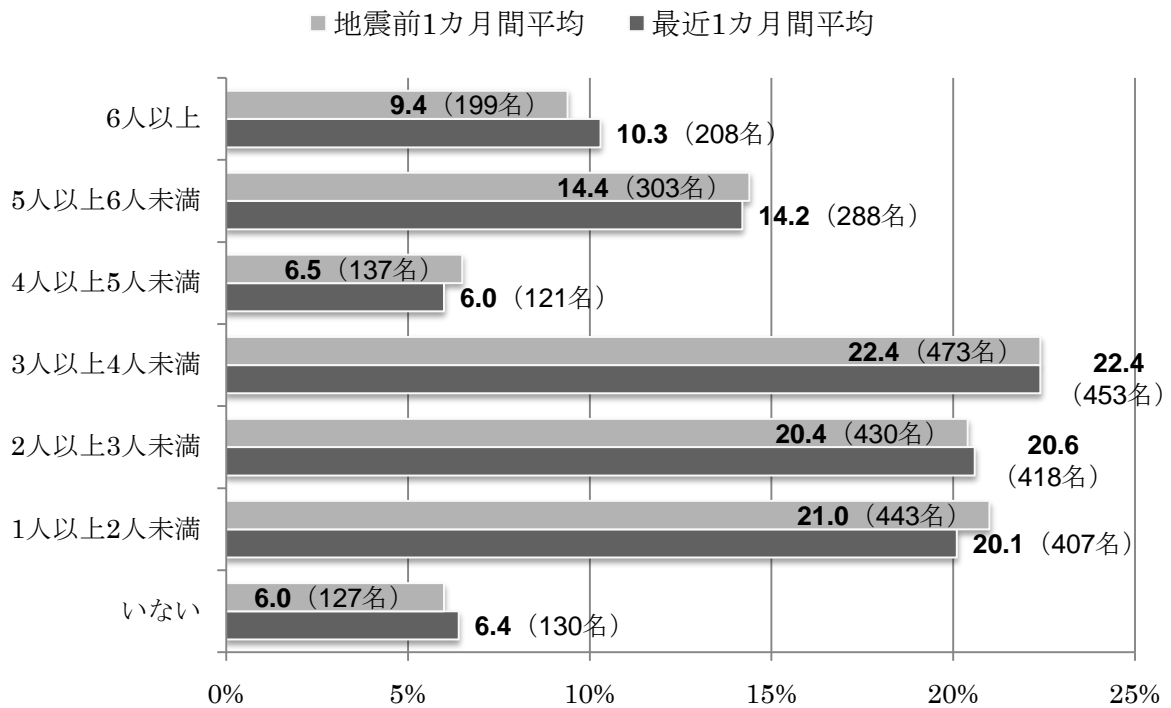
表IV-2. 出雲崎町における中越沖地震後の新規受診以外での現在の受診の際の ICD-10 の分類による主な病名（複数回答を含む）(n=1,148)			
ICD コード	分類見出し	n	%
A00-B99	感染症および寄生虫症	13	1.1
C00-D48	新生物	17	1.5
D50-D89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	10	0.9
E00-E90	内分泌, 栄養および代謝疾患	180	15.7
F00-F99	精神および行動の障害	35	3.1
G00-G99	神経系の疾患	21	1.8
H00-H59	眼および付属器の疾患	48	4.2
H60-H95	耳および乳様突起の疾患	11	1.0
I00-I99	循環器系の疾患	533	46.4
J00-J99	呼吸器系の疾患	36	3.1
K00-K93	消化器系の疾患	77	6.7
L00-L99	皮膚および皮下組織の疾患	12	1.1
M00-M99	筋骨格系および結合組織の疾患	111	9.7
N00-N99	尿路性器系の疾患	38	3.3
R00-R99	症状, 徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1	0.1
S00-T98	損傷, 中毒およびその他の外因の影響	5	0.4
複数回答者（2項目選択）		176名	
複数回答者（3項目選択）		16名	
計		1,148	100%
実人数		956	

3) 健康調査参加者の人とのつながりに関する調査（図IV-21,22,23）

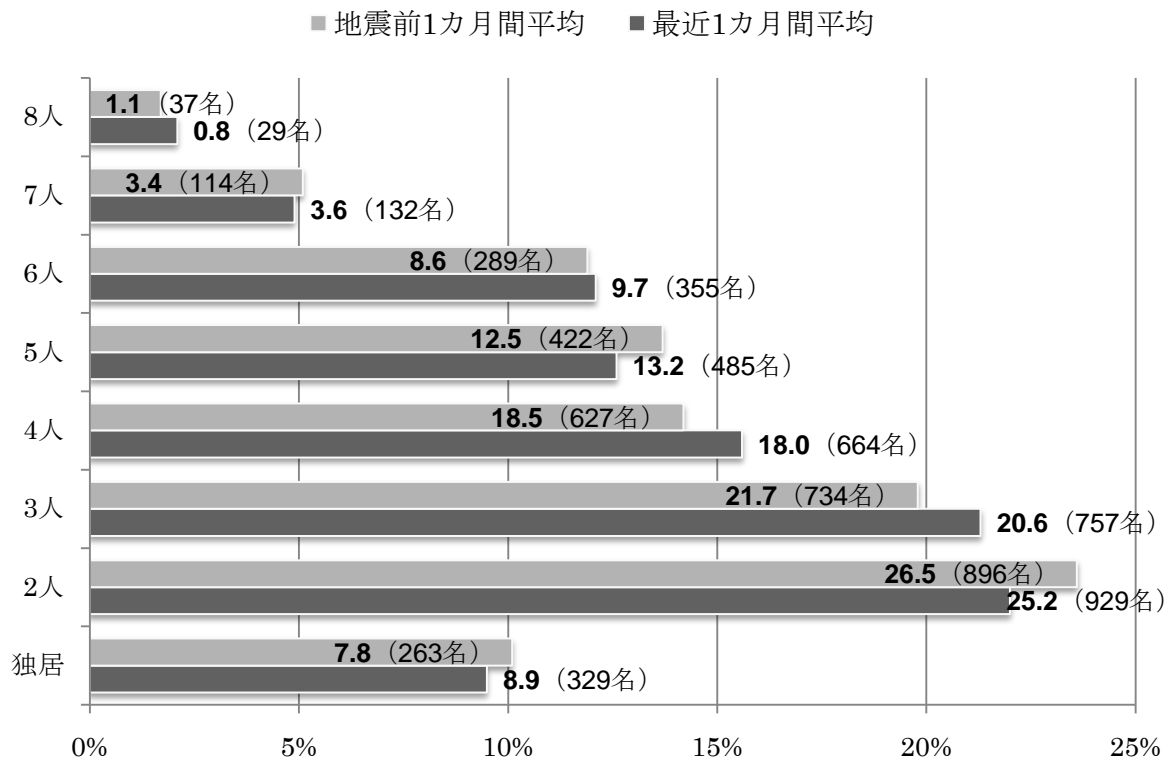
次頁の図にソーシャルサポートの人数について示す。人数について範囲で回答した方については、その範囲の中央値を用いて集計した。悩みを相談できる人数については、3人以上4人未満が一番多くて2割強、続いて1人以上2人未満、2人以上3人未満が2割ほどを示すという構成に、地震前後で大きな変化は見られなかった。同居家族の人数についても、2人から4人が多く合わせておよそ6割を占め、地震前後で大きな変化は見られなかった。

図IV-23にソーシャルサポートに関する認識について示す。8項目のうち、「私は、グループや、地域社会の一員である」、「私は、地域で認められている」という2項目を除く6項目で、約7割から8割の方がソーシャルサポートについて肯定的な認識を示していた。

図IV-21. 悩みを相談できる人

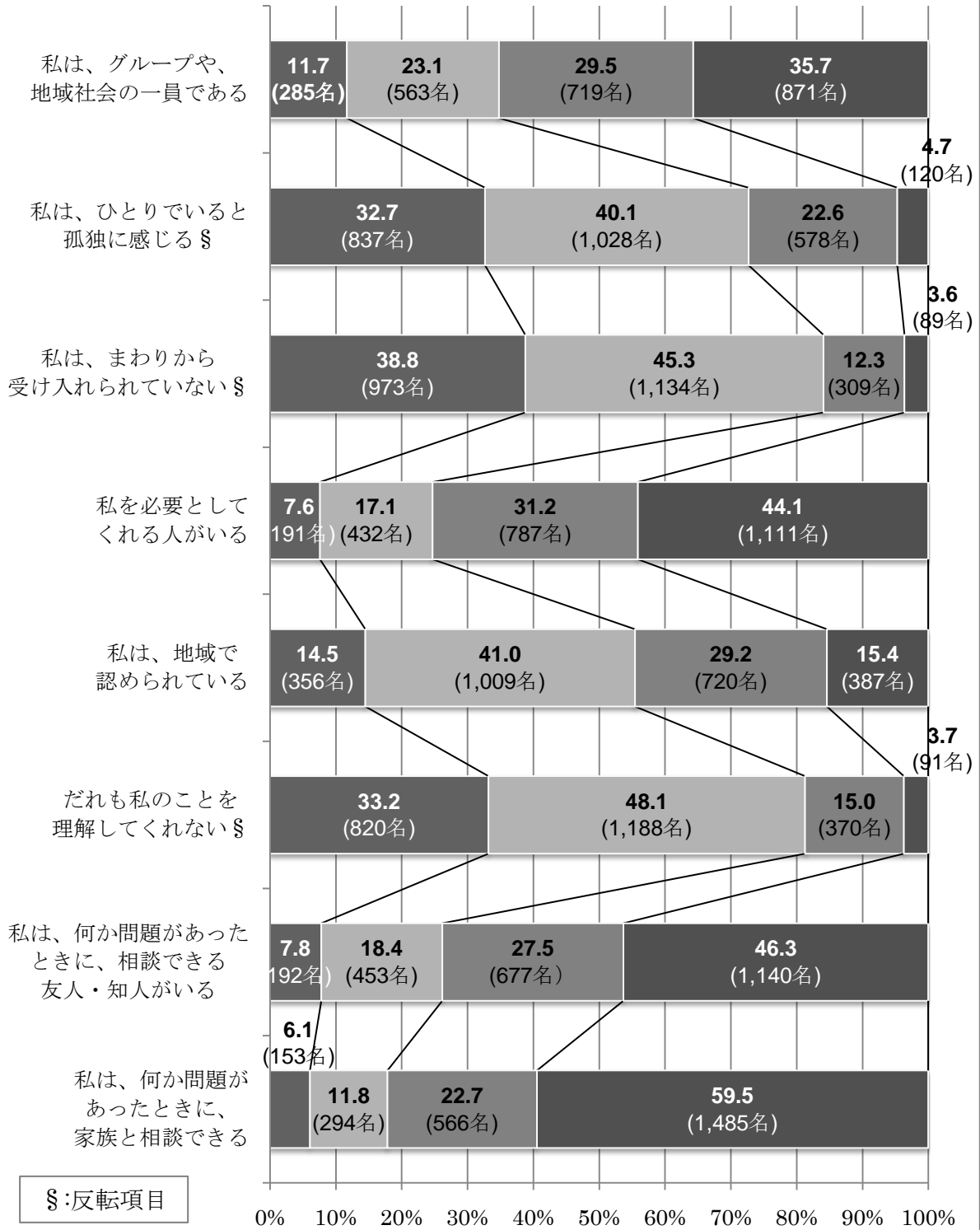


図IV-22. 同居人数



図IV-23. 人とのつながりに関する調査

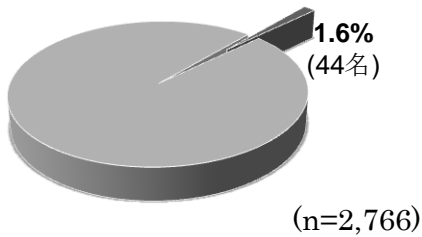
■ まったく感じない ■ あまり感じない ■ ときどき感じる ■ いつも感じる



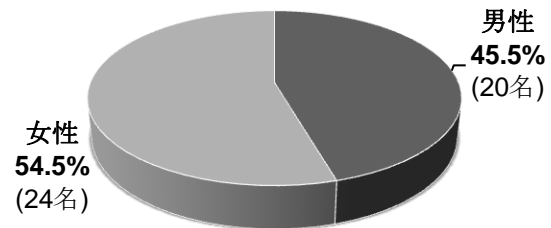
4) 健康調査参加者における個別相談希望者について (図IV-24,25,26)

個別相談希望者の割合は全体の 1.6%(44 名)であり、若干女性が多かった。年代別には 70 代の希望者が 38.6%と最も多く、次いで 80 代(34.1%)、60 代(13.6%)の順に多く、60 歳以上の方が 86.4%であった。

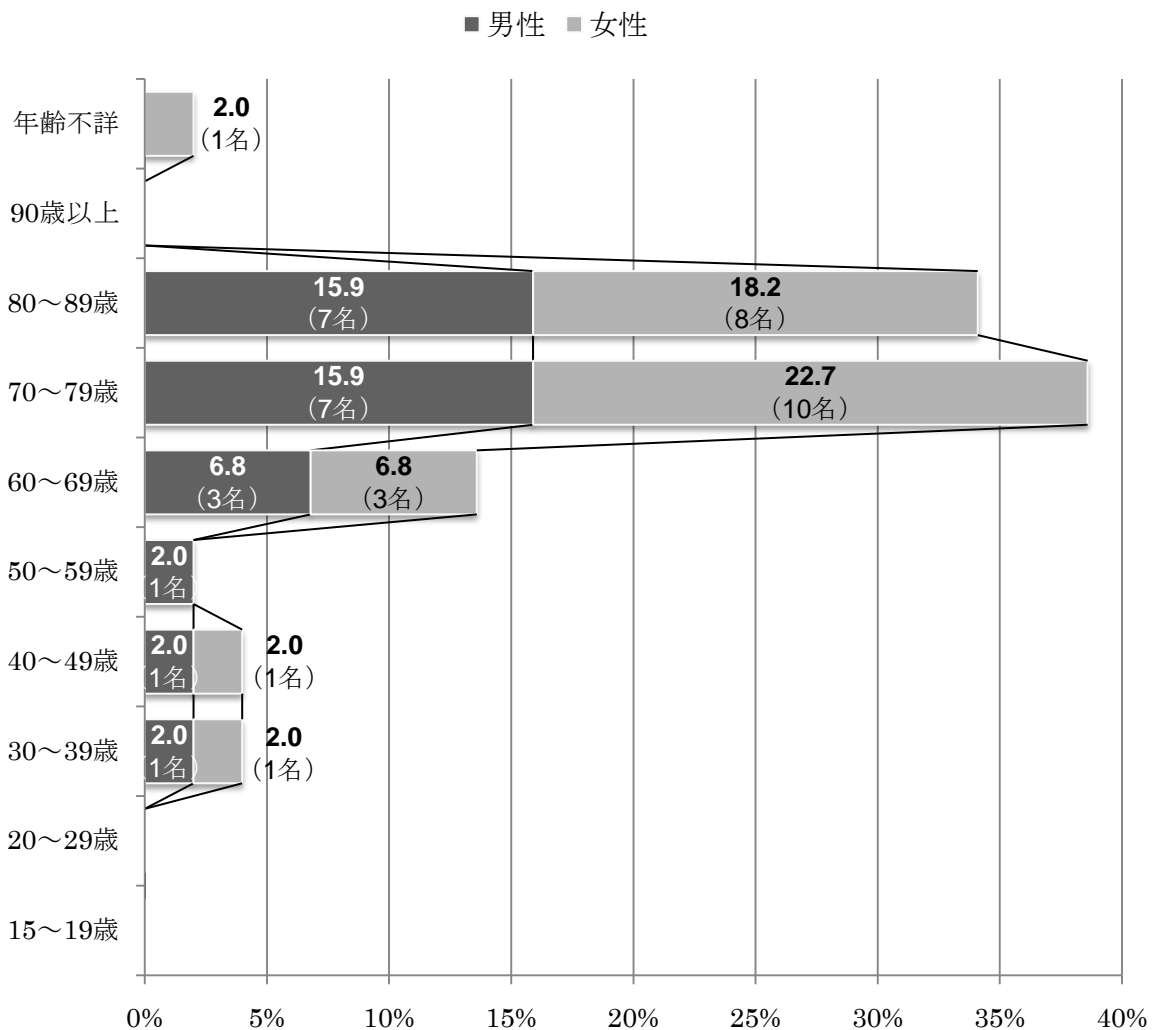
図IV-24.希望者の割合



図IV-25.希望者の男女比



図IV-26.希望者の年齢構成



(4) 精神健康に関する調査結果の分析と考察

1) K10/6 分析と考察

表IV-3に K10 の各項目への回答者の分布を示す (図IV-27 参照)。表IV-4に K10 の合計点の分布を、表IV-5に K6 の合計点の分布を示す。K10 で 15 点以上を示した方は 234 名 (9.5%)、K6 で 5 点以上を示した方は 673 名 (26.9%)、10 点以上を示した方は 193 名 (7.7%)、13 点以上の方は 83 名 (3.3%) であった。

表IV-6に、K6 のカットオフ値を 5 点に設定した場合の、精神健康度別の基礎属性の比較を示す。K6 で 5 点以上をとった精神健康度の低い方と、そうでない方とで比較したところ、性差について有意差は見られず、平均教育年数は同程度であった。また住まいを仮設住宅とそれ以外で比較したところ、精神健康度の低い方はそうでない方に比べ、仮設住宅に住んでいる方の割合が高くなっていた (2.5%と 1.1%)。性別に関しては、K6 のカットオフ値を 10 点 (表IV-7)、13 点 (表IV-8) に設定して検討しても、精神健康度別で有意差は見られなかった。住まいに関しては、K6 のカットオフ値を 5 点、10 点に設定したときには有意差が見られ、15 点に設定したときには見られなかった。いずれも該当者数が少ないために、慎重に解釈する必要がある。

表IV-9に、K6 のカットオフ値を 5 点に設定した場合の、精神健康度別の震災による影響の比較を示す。地震による転職や暮らし向きの悪化、良くない経済的变化についてはいずれも、精神的健康度の低い群で、割合が高くなっていた。家屋の被害について、中越大震災時、中越沖地震時の両方で被災規模に関しては有意差が見られ、精神健康度の低い群で被災規模が大きい方の割合が高くなっている様子がうかがえた。また人的被害については、中越大震災時では、精神健康度の低い群で身近な人が死亡した経験をした方の割合が高くなっており、中越大震災時、中越沖地震時の両方で、精神健康度の低い群で身近な人が重傷を負った経験をした方の割合が高くなっていた。中越沖地震後の原子力安全に関しては、精神健康度の低い群で、健康への不安を感じている方の割合、情報提供に不満を感じている方の割合が高くなっていた。K6 のカットオフ値を 10 点に設定した場合でも、結果はほぼ同様であった (表IV-10)。カットオフ値を 13 点に設定した場合でもほぼ同様であったが (表IV-11)、地震後の転職者や人的被害については該当者数が少ないため、結果の解釈には慎重を要する。

表IV-12に、K6 のカットオフ値を 5 点に設定した場合の、精神健康度別の健康や健康に関連する行動の比較を示す。精神健康度の低い群で、喫煙数が増加した方、飲酒量が増加した方の割合が高くなっていた。健康状態について不良と回答した方が、精神健康度の高い群においては 2 割に満たなかったのに対し、精神健康度の低い群においては 4 割強を占めていた。体調の悪化を感じている方の割合も、中越沖地震後に受診した方の割合も、それ以外で受診している方の割合も、精神健康度の低い群において高くなっていた。体重の変化にも精神健康度別で有意差が見られた。K6 のカットオフ値を 10 点 (表IV-13)、13 点 (表IV-14) に設定した場合でも、結果は同様であった。

表IV-15 に、K6 のカットオフ値を 5 点に設定した場合の、精神健康度別のソーシャルサポートの認識についての比較を示す。8 項目のうち、すべての項目でいずれも、精神健康度の低い群で否定的な認識を示す方の割合が高かった。特に、「ひとりしていると孤独に感じる」という項目では、精神健康度の高い群では「そう感じる」と回答した方が 2 割に満たなかったのに対し、精神健康度の低い群では、5 割もの方が「そう感じる」と回答していた。また、「まわりから受け入れられていない」という項目や、「だれも理解してくれない」という項目についても、「そう感じる」と回答した方は精神健康度の高い群では 1 割ほどであったのに対し、健康度の低い群では、3 割以上の方が「そう感じる」と回答しており、大きな差が見られた。K6 のカットオフ値を 10 点に設定した場合（表IV-16）と 13 点に設定した場合（表IV-17）においても、8 項目すべてで有意差が示された。特に、「ひとりしていると孤独に感じる」という項目や、「まわりから受け入れられていない」という項目、「だれも理解してくれない」という項目で、2 群間での差が大きいということに変わりは無かった。

表IV-18 に、K6 のカットオフ値を 5 点に設定した場合の、仮設住宅居住者 36 名における精神健康度の性別比較を示す。仮設居住者とそれ以外の方を合わせた分析対象者全体 2,500 名においては、性別で精神健康度に有意差は見られなかったが（表IV-6）、仮設住宅居住者に限った場合も同様に性別による有意差は見られなかった。K6 のカットオフ値を 10 点（表IV-19）、13 点（表IV-20）に設定した場合でも、結果は同様であった。

表IV-21 に、K6 のカットオフ値を 5 点に設定した場合の、仮設住宅居住者以外の 2,358 名における精神健康度別の家屋被害の比較を示す。仮設居住者も合わせた分析対象者全体 2,500 名においては、中越大震災および中越沖地震による家屋被害の規模と精神健康度に有意な関係が見られたが（表IV-9）、仮設住宅居住者以外に限った場合にも同様に有意差が見られた。K6 のカットオフ値を 10 点（表IV-22）、13 点（表IV-23）に設定した場合では、中越大震災時には同様に有意差が見られたが、中越沖地震時には、仮設住宅居住者以外の方における地震による家屋被害の規模と精神健康度に、有意な関係は見られなかった。

表IV-24 に、K6 のカットオフ値を 5 点に設定した場合の、年齢階級別における精神健康度の性別比較を示す。80 歳以上の集団では、男性より女性において精神健康度の悪い方の割合が高かった。その他の年齢階級においては性別で精神健康度の悪いものの割合に有意差は見られなかった。K6 のカットオフ値を 10 点（表IV-25）、13 点（表IV-26）に設定した場合は、いずれの年代の集団においても、性別と精神健康度との間に有意差は見られなかった。

表IV-27 に、2004 年の中越大震災と 2007 年の中越沖地震の 2 度の地震の際の家屋の被害規模の関係を示す。中越大震災の際に被害規模の大きかったもので、中越沖地震においても被害規模が大きいものの割合が高くなっている傾向がうかがえた ($\chi^2(16) = 1.2e+03, P < 0.001$)。家屋の被害規模を、「なし」もしくは「一部損壊」であったものと、「半壊」か「大規模半壊」か「全壊」であったものに 2 分して比較しても、同様の関係がうかがえた（表IV-28） ($\chi^2(1) =$

306.26, $P < 0.001$)。表IV-29に、2度の地震でともに半壊以上の家屋被害を受けた方とそうでない方の属性の比較を示す。2度の地震でともに半壊以上の家屋被害を受けた方には高齢者が多い様子が見えられた。

図IV-28にK6の合計点の度数分布を、図IV-29にIES-Rの合計点の度数分布を示す。いずれもおおむね、得点の低いものが圧倒的に多く、右に長く裾をひく分布であった。図IV-30に、K6の合計点を縦軸に、IES-Rの合計点を横軸にとって描いた散布図を示す。両者には相関が見られた。また、主観的な健康について、良好と回答した方と不良と回答した方の2群に分け、それぞれにおけるK6とIES-Rの散布図を示した(図IV-31,32)。主観的に不健康な群においてはK6の合計点もIES-Rの合計点も均一に分布しているのに対し、主観的に健康な群においては、K6の合計点もIES-Rの合計点もともに、低得点の領域に集中していることが見て取れる。

考察

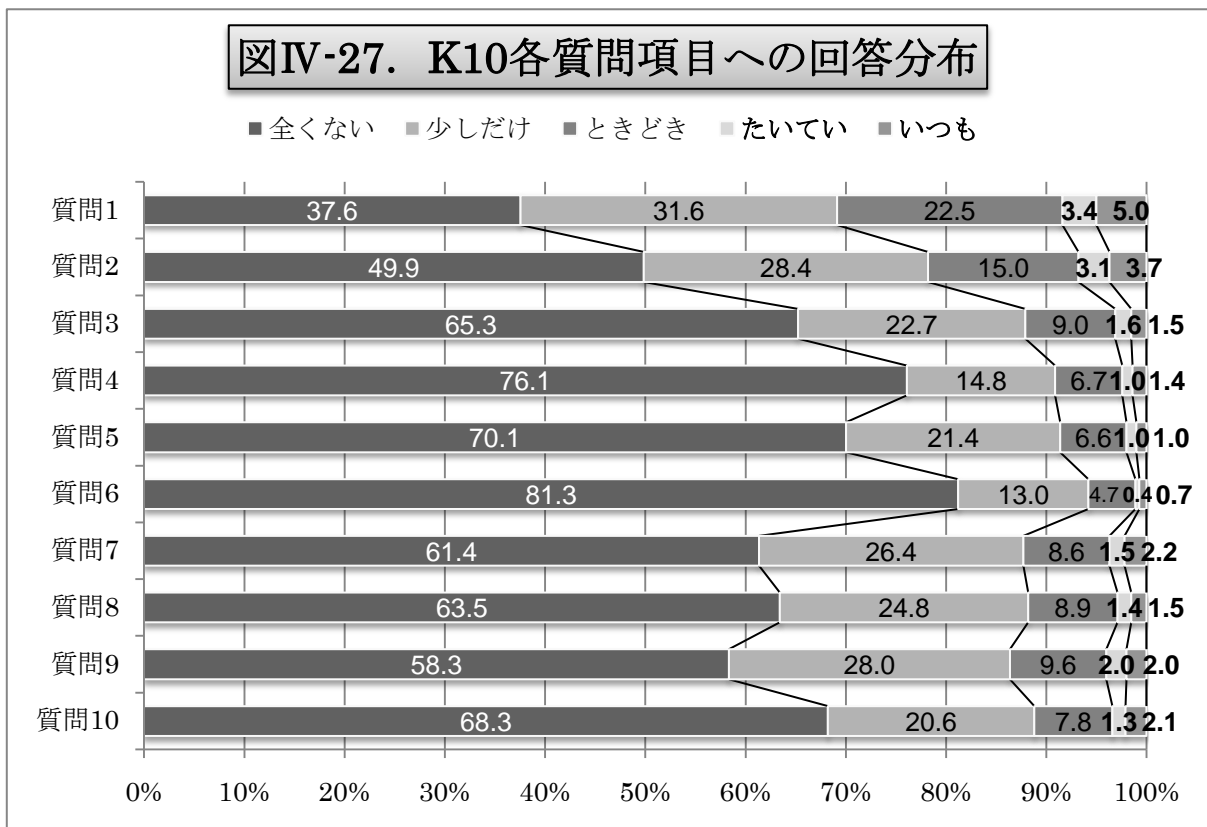
地震による影響について、「仮設住宅の居住者、地震により暮らし向きが悪化した、良くない経済的変化を感じている、身近な人に死者や重傷者がいた、地震における家屋の被害が大きかった」などの回答者の中に、精神的健康度の低い方が多く含まれていることが示された。また、「主観的健康や体調、医療機関への受診、喫煙や飲酒の増加、体重の増減」など、身体的な健康と精神的健康には強い関連が見られた。さらに、「主観的健康度の低い方」ではソーシャルサポートに対する認識が否定的な方の割合が高かった。

しかし今回提示した結果は横断調査の結果であり、統計的に有意な関連が見出されたこれらの変数に関して、これらが原因で精神的健康度が悪化したという因果関係までは示していない。また、各セルについて、場合によっては該当者が非常に少なくなっている場合もあるため、検定結果の解釈に関しては慎重を要する。

表IV-3. 出雲崎町における中越沖地震1年後のこころと身体の健康調査参加者の
K10各項目への回答の分布(n=2,766)

	全くない		少しだけ		ときどき		たいてい		いつも	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
1 理由もなく疲れ切ったように感じましたか。	989	37.6	830	31.6	590	22.5	89	3.4	130	5.0
2 神経過敏に感じましたか。§	1,291	49.9	734	28.4	387	15.0	81	3.1	95	3.7
3 どうしても落ち着けないくらいに、神経過敏に感じましたか。	1,687	65.3	585	22.7	232	9.0	41	1.6	38	1.5
4 絶望的だと感じましたか。§	1,971	76.1	383	14.8	174	6.7	26	1.0	36	1.4
5 そわそわ、落ち着かなく感じましたか。§	1,818	70.1	554	21.4	170	6.6	25	1.0	25	1.0
6 じっと座ってられないほど、落ち着かなく感じましたか。	2,110	81.3	337	13.0	121	4.7	10	0.4	17	0.7
7 ゆううつに感じましたか。	1,593	61.4	685	26.4	223	8.6	39	1.5	56	2.2
8 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか。§	1,646	63.5	643	24.8	230	8.9	36	1.4	38	1.5
9 何をするのも骨折りだと感じましたか。§	1,515	58.3	728	28.0	248	9.6	53	2.0	53	2.0
10 自分は価値のない人間だと感じましたか。§	1,764	68.3	531	20.6	202	7.8	33	1.3	54	2.1

§:K6の質問項目



表IV-4. 出雲崎町における中越沖地震1年後の
のころと身体健康調査参加者の
K10合計点（範囲0-40）（n=2,766）

	n	%	累積割合
K10合計点			
0	677	27.5	27.5
1	216	8.8	36.3
2	235	9.6	45.8
3	169	6.9	52.7
4	148	6.0	58.7
5	125	5.1	63.8
6	114	4.6	68.4
7	91	3.7	72.1
8	78	3.2	75.3
9	82	3.3	78.6
10	88	3.6	82.2
11	67	2.7	84.9
12	53	2.2	87.0
13	48	2.0	89.0
14	37	1.5	90.5
15	28	1.1	91.6
16	39	1.6	93.2
17	20	0.8	94.0
18	17	0.7	94.7
19	25	1.0	95.7
20	25	1.0	96.8
21	10	0.4	97.2
22	6	0.2	97.4
23	7	0.3	97.7
24	9	0.4	98.1
25	6	0.2	98.3
26	4	0.2	98.5
27	2	0.1	98.5
28	6	0.2	98.8
29	4	0.2	98.9
30	2	0.1	99.0
31	1	0.0	99.1
32	2	0.1	99.2
33	3	0.1	99.3
34	4	0.2	99.4
35	2	0.1	99.5
36	0	0.0	99.5
37	2	0.1	99.6
38	1	0.0	99.6
39	2	0.1	99.7
40	7	0.3	100.0
15点以上（再掲）	234	9.5	

表IV-5. 出雲崎町における中越沖地震1年後の
のころと身体健康調査参加者の
K6合計点（範囲0-24）（n=2,766）

	n	%	累積割合
K6合計点			
0	891	35.6	35.6
1	329	13.2	48.8
2	247	9.9	58.7
3	194	7.8	66.4
4	166	6.6	73.1
5	119	4.8	77.8
6	138	5.5	83.4
7	88	3.5	86.9
8	77	3.1	90.0
9	58	2.3	92.3
10	41	1.6	93.9
11	35	1.4	95.3
12	34	1.4	96.7
13	14	0.6	97.2
14	17	0.7	97.9
15	10	0.4	98.3
16	7	0.3	98.6
17	2	0.1	98.7
18	4	0.2	98.8
19	6	0.2	99.1
20	3	0.1	99.2
21	5	0.2	99.4
22	4	0.2	99.6
23	4	0.2	99.7
24	7	0.3	100.0
5点以上（再掲）	673	26.9	
10点以上（再掲）	193	7.7	
13点以上（再掲）	83	3.3	

表IV-6. 出雲崎町における中越沖地震1年後のこころと身体 の健康調査参加者の基本的属性に関する
K6 のカットオフ値を5点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,500)

	全体		K6: 5点未満		K6: 5点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,500		1,827		673				
性別									
男性	1,174	47.0	876	48.0	298	44.4	1	2.6	0.105
女性	1,323	53.0	949	52.0	374	55.7			
年齢階級									
20歳未満	101	4.1	80	4.4	21	3.1	8	28.1	† <0.001
20-29歳	165	6.6	121	6.7	44	6.6			
30-39歳	225	9.1	151	8.3	74	11.1			
40-49歳	313	12.6	206	11.3	107	16.0			
50-59歳	412	16.6	316	17.4	96	14.4			
60-69歳	460	18.5	359	19.8	101	15.1			
70-79歳	506	20.4	353	19.4	153	22.9			
80-89歳	265	10.7	200	11.0	65	9.7			
90歳以上	39	1.6	32	1.8	7	1.1			
平均年齢 (標準偏差)	57.6	(19.3)	57.9	(19.4)	56.9	(19.1)	2484	1.1	0.253
教育年数 (標準偏差)	11.2	(2.6)	11.2	(2.5)	11.2	(2.6)	2395	0.4	0.714
世帯主との関係									
本人	1,021	41.6	751	42.0	270	40.6	4	2.7	0.617
配偶者	637	26.0	469	26.2	168	25.3			
子	420	17.1	304	17.0	116	17.4			
親 (義親も含む)	250	10.2	172	9.6	78	11.7			
その他	127	5.2	94	5.3	33	5.0			
住まい									
仮設住宅	36	1.5	20	1.1	16	2.5	1	5.9	* 0.015
仮設以外	2,358	98.5	1,735	98.9	623	97.5			
回答者の職業									
会社員	639	26.7	473	27.0	166	25.9	8	37.0	† <0.001
公務員	67	2.8	46	2.6	21	3.3			
自営	254	10.6	210	12.0	44	6.9			
パート	168	7.0	112	6.4	56	8.7			
専業主婦	265	9.8	182	10.4	53	8.3			
年金受給者	491	20.5	347	19.8	144	22.4			
学生	110	4.6	89	5.1	21	3.3			
無職	329	13.8	213	12.2	116	18.1			
その他	100	4.2	79	4.5	21	3.3			
主たる家計者の職業									
会社員	922	39.1	677	39.0	245	39.1	8	14.2	0.078
公務員	114	4.8	81	4.7	33	5.3			
自営	372	15.8	299	17.2	73	11.7			
パート	53	2.2	39	2.3	14	2.2			
専業主婦	68	2.9	46	2.7	22	3.5			
年金受給者	526	22.3	373	21.5	153	24.4			
学生	9	0.4	8	0.5	1	0.2			
無職	223	9.5	159	9.2	64	10.2			
その他	74	3.1	53	3.1	21	3.4			

Chi-square tests or t-test were used.

*: $p < 0.05$, †: $p < 0.01$

表IV-7. 出雲崎町における中越沖地震1年後のこころと身体 の健康調査参加者の基本的属性に関する
K6 のカットオフ値を 10 点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,500)

	全体		K6: 10 点未満		K6: 10 点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,500		2,307		193				
性別									
男性	1,174	47.0	1,093	47.4	81	42.2	1	1.9	0.163
女性	1,323	53.0	1,212	52.6	111	57.8			
年齢階級									
20 歳未満	101	4.1	93	4.1	8	4.2	8	18.0 *	0.021
20-29 歳	165	6.6	145	6.3	20	10.4			
30-39 歳	225	9.1	211	9.2	14	7.3			
40-49 歳	313	12.6	275	12.0	38	19.8			
50-59 歳	412	16.6	387	16.9	25	13.0			
60-69 歳	460	18.5	433	18.9	27	14.1			
70-79 歳	506	20.4	468	20.4	38	19.8			
80-89 歳	265	10.7	245	10.7	20	10.4			
90 歳以上	39	1.6	37	1.6	2	1.0			
平均年齢 (標準偏差)	57.6	(19.3)	57.8	(19.2)	54.8	(20.0)	2484	2.1 *	0.040
教育年数 (標準偏差)	11.2	(2.6)	11.2	(2.6)	11.2	(2.7)	2395	0.0	0.974
世帯主との関係									
本人	1,021	41.6	947	41.8	74	39.2	4	5.2	0.268
配偶者	637	26.0	591	26.1	46	24.3			
子	420	17.1	378	16.7	42	22.2			
親 (義親も含む)	250	10.2	235	10.4	15	7.9			
その他	127	5.2	115	5.1	12	6.4			
住まい									
仮設住宅	36	1.5	29	1.3	7	3.8	1	7.2 †	0.007
仮設以外	2,358	98.5	2,182	98.7	176	96.2			
回答者の職業									
会社員	639	26.7	594	26.8	45	25.3	8	16.8 *	0.032
公務員	67	2.8	64	2.9	3	1.7			
自営	254	10.6	244	11.0	10	5.6			
パート	168	7.0	150	6.8	18	10.1			
専業主婦	235	9.8	224	10.1	11	6.2			
年金受給者	491	20.5	453	20.5	38	21.4			
学生	110	4.6	101	4.6	9	5.1			
無職	329	13.8	293	13.2	36	20.2			
その他	100	4.2	92	4.2	8	4.5			
主たる家計者の職業									
会社員	922	39.1	853	39.0	69	39.2	8	8.4	0.394
公務員	114	4.8	109	5.0	5	2.8			
自営	372	15.8	353	16.2	19	10.8			
パート	53	2.2	47	2.2	6	3.4			
専業主婦	68	2.9	63	2.9	5	2.8			
年金受給者	526	22.3	482	22.1	44	25.0			
学生	9	0.4	8	0.4	1	0.6			
無職	223	9.5	201	9.2	22	12.5			
その他	74	3.1	69	3.2	5	2.8			

Chi-square tests or t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表IV-8. 出雲崎町における中越沖地震1年後のこころと身体 の健康調査参加者の基本的属性に関する
K6のカットオフ値を13点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,500)

	全体		K6: 13点未満		K6: 13点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,500		2,417		83				
性別									
男性	1,174	47.0	1,138	47.1	36	43.9	1	0.3	0.566
女性	1,323	53.0	1,277	52.9	46	56.1			
年齢階級									
20歳未満	101	4.1	99	4.1	2	2.4	8	12.2	0.141
20-29歳	165	6.6	154	6.4	11	13.4			
30-39歳	225	9.1	219	9.1	6	7.3			
40-49歳	313	12.6	297	12.4	16	19.5			
50-59歳	412	16.6	402	16.7	10	12.2			
60-69歳	460	18.5	449	18.7	11	13.4			
70-79歳	506	20.4	489	20.3	17	20.7			
80-89歳	265	10.7	257	10.7	8	9.8			
90歳以上	39	1.6	38	1.6	1	1.2			
平均年齢(標準偏差)	57.6	(19.3)	57.7	(19.3)	54.5	(20.0)	2484	1.5	0.138
教育年数(標準偏差)	11.2	(2.6)	11.2	(2.6)	11.4	(2.8)	2395	-0.6	0.574
世帯主との関係									
本人	1,021	41.6	983	41.4	38	46.9	4	3.2	0.527
配偶者	637	26.0	621	26.2	16	19.8			
子	420	17.1	403	17.0	17	21.0			
親(義親も含む)	250	10.2	244	10.3	6	7.4			
その他	127	5.2	123	5.2	4	4.9			
住まい									
仮設住宅	36	1.5	33	1.4	3	3.9	1	3.0	0.084
仮設以外	2,358	98.5	2,283	98.6	75	96.2			
回答者の職業									
会社員	639	26.7	628	27.1	11	14.1	8	25.7 †	0.001
公務員	67	2.8	64	2.8	3	3.9			
自営	254	10.6	248	10.7	6	7.7			
パート	168	7.0	159	6.9	9	11.5			
専業主婦	235	9.8	232	10.0	3	3.9			
年金受給者	491	20.5	474	20.5	17	21.8			
学生	110	4.6	107	4.6	3	3.9			
無職	329	13.8	306	13.2	23	29.5			
その他	100	4.2	97	4.2	3	3.9			
主たる家計者の職業									
会社員	922	39.1	902	39.5	20	26.3	8	18.2 *	0.020
公務員	114	4.8	109	4.8	5	6.6			
自営	372	15.8	360	15.8	12	15.8			
パート	53	2.2	48	2.1	5	6.6			
専業主婦	68	2.9	66	2.9	2	2.6			
年金受給者	526	22.3	509	22.3	17	22.4			
学生	9	0.4	9	0.4	0	0.0			
無職	223	9.5	209	9.2	14	18.4			
その他	74	3.1	73	3.2	1	1.3			

Chi-square tests or t-test were used.

*: $p < 0.05$, †: $p < 0.01$

表IV-9. 出雲崎町における中越沖地震1年後のこころと身体 の健康調査参加者の震災による影響に関する K6 のカットオフ値を5点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,500)

	全体		K6: 5点未満		K6: 5点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,500		1,827		673				
中越大震災により									
転職せざるを得なかった	60	2.6	36	2.1	24	3.9	1	5.8	* 0.016
暮らし向きが悪くなった	260	10.7	132	7.4	128	19.8	1	75.8	† <0.001
中越沖地震により									
転職せざるを得なかった	43	1.9	23	1.4	20	3.3	1	9.6	† 0.002
暮らし向きが悪くなった	420	17.3	231	13.0	189	29.4	1	89.0	† <0.001
これらの地震による良くない経済的变化									
なし	1,119	45.7	916	51.1	203	30.9	2	104.5	† <0.001
少し	970	39.6	675	37.7	295	44.9			
かなり	360	14.7	201	11.2	159	24.2			
中越大震災時の家屋被害									
なし	1,331	56.0	1,023	58.7	308	48.6	4	19.7	† 0.001
一部損壊	987	41.5	682	39.1	305	48.1			
半壊	44	1.9	29	1.7	15	2.4			
大規模半壊	5	0.2	3	0.2	2	0.3			
全壊	11	0.5	7	0.4	4	0.6			
中越沖地震時の家屋被害									
なし	506	21.0	391	22.1	115	17.9	4	18.7	† 0.001
一部損壊	1,656	68.7	1,217	68.8	439	68.5			
半壊	184	7.6	127	7.2	57	8.9			
大規模半壊	30	1.2	17	1.0	13	2.0			
全壊	35	1.5	18	1.0	17	2.7			
中越大震災による									
身近な人の死亡あり	28	1.2	10	0.6	18	2.8	1	20.6	† <0.001
身近な人の重傷あり	24	1.0	12	0.7	12	1.9	1	6.8	† 0.009
中越沖地震による									
身近な人の死亡あり	46	1.9	28	1.6	18	2.8	1	3.7	0.053
身近な人の重傷あり	53	2.2	32	1.8	21	3.3	1	4.8	* 0.028
中越沖地震後の原子力安全について									
健康への不安あり	195	8.0	96	5.4	99	15.4	1	64.3	† <0.001
情報提供に不満あり	1,127	47.0	789	45.0	338	52.6	1	10.9	† 0.001

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表IV-10. 出雲崎町における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の震災による影響に関する K6 のカットオフ値を 10 点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,500)

	全体		K6: 10 点未満		K6: 10 点以上		df	χ^2/t	p	
	n	%	n	%	n	%				
	2,500		2,307		193					
中越大震災により										
転職せざるを得なかった	60	2.6	51	2.4	9	5.2	1	5.1	*	0.024
暮らし向きが悪くなった	260	10.7	210	9.4	50	27.0	1	55.5	†	<0.001
中越沖地震により										
転職せざるを得なかった	43	1.9	36	1.7	7	4.1	1	5.2	*	0.023
暮らし向きが悪くなった	420	17.3	353	15.8	67	36.0	1	49.2	†	<0.001
これらの地震による良くない経済的变化										
なし	1,119	45.7	1,071	47.4	48	25.7	2	70.3	†	<0.001
少し	970	39.6	895	39.6	75	40.1				
かなり	360	14.7	296	13.1	64	34.2				
中越大震災時の家屋被害										
なし	1,331	56.0	1,250	57.0	81	44.3	4	17.5	†	0.002
一部損壊	987	41.5	895	40.8	92	50.3				
半壊	44	1.9	36	1.6	8	4.4				
大規模半壊	5	0.2	5	0.2	0	0.0				
全壊	11	0.5	9	0.4	2	1.1				
中越沖地震時の家屋被害										
なし	506	21.0	474	21.3	32	17.3	4	18.5	†	0.001
一部損壊	1,656	68.7	1,534	68.9	122	66.0				
半壊	184	7.6	162	7.3	22	11.9				
大規模半壊	30	1.2	29	1.3	1	0.5				
全壊	35	1.5	27	1.2	8	4.3				
中越大震災による										
身近な人の死亡あり	28	1.2	22	1.0	6	3.2	1	7.6	†	0.006
身近な人の重傷あり	24	1.0	17	0.8	7	3.8	1	16.0	†	<0.001
中越沖地震による										
身近な人の死亡あり	46	1.9	37	1.7	9	4.8	1	9.4	†	0.002
身近な人の重傷あり	53	2.2	43	1.9	10	5.4	1	9.7	†	0.002
中越沖地震後の原子力安全について										
健康への不安あり	195	8.0	155	6.9	40	22.6	1	55.2	†	<0.001
情報提供に不満あり	1,127	47.0	1,021	46.0	106	59.6	1	12.2	†	<0.001

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表IV-11. 出雲崎町における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の震災による影響に関する K6 のカットオフ値を 13 点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,500)

	全体		K6: 13 点未満		K6: 13 点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,500		2,417		83				
中越大震災により									
転職せざるを得なかった	60	2.6	56	2.5	4	5.8	1	2.9	0.090
暮らし向きが悪くなった	260	10.7	235	10.0	25	32.1	1	38.2	† <0.001
中越沖地震により									
転職せざるを得なかった	43	1.9	39	1.7	4	5.8	1	6.0	* 0.014
暮らし向きが悪くなった	420	17.3	390	16.6	30	38.5	1	25.1	† <0.001
これらの地震による良くない経済的变化									
なし	1,119	45.7	1,098	46.4	21	26.3	2	33.1	† <0.001
少し	970	39.6	940	39.7	30	37.5			
かなり	360	14.7	331	14.0	29	36.3			
中越大震災時の家屋被害									
なし	1,331	56.0	1,300	56.6	31	38.8	4	11.6	* 0.020
一部損壊	987	41.5	942	41.0	45	56.3			
半壊	44	1.9	41	1.8	3	3.8			
大規模半壊	5	0.2	5	0.2	0	0.0			
全壊	11	0.5	10	0.4	1	1.3			
中越沖地震時の家屋被害									
なし	506	21.0	491	21.1	15	19.0	4	3.4	0.498
一部損壊	1,656	68.7	1,603	68.7	53	67.1			
半壊	184	7.6	175	7.5	9	11.4			
大規模半壊	30	1.2	30	1.3	0	0.0			
全壊	35	1.5	33	1.4	2	2.5			
中越大震災による									
身近な人の死亡あり	28	1.2	24	1.0	4	5.1	1	11.3	† 0.001
身近な人の重傷あり	24	1.0	21	0.9	3	3.9	1	6.9	† 0.008
中越沖地震による									
身近な人の死亡あり	46	1.9	41	1.8	5	6.5	1	9.0	† 0.003
身近な人の重傷あり	53	2.2	49	2.1	4	5.1	1	3.2	0.072
中越沖地震後の原子力安全について									
健康への不安あり	195	8.0	175	7.4	20	27.0	1	37.5	† <0.001
情報提供に不満あり	1,127	47.0	1,077	46.4	50	66.7	1	12.0	† 0.001

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表IV-12. 出雲崎町における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の健康行動に関する K6 のカットオフ値を 5 点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,500)

	全体		K6: 5 点未満		K6: 5 点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,500		1,827		673				
喫煙あり	497	20.2	355	19.7	142	21.5	1	1.0	0.326
喫煙数が増加	33	1.4	7	0.4	26	4.0	1	45.9	† <0.001
飲酒あり	1,016	41.5	762	42.5	254	38.7	1	3.0	0.086
飲酒量が増加	51	2.1	25	1.4	26	4.0	1	15.4	† <0.001
健康状態									
良好	1,915	78.3	1,539	85.9	376	57.4	1	228.6	† <0.001
不良	532	21.7	235	14.1	279	42.6			
体調の悪化	193	8.0	75	4.2	118	18.5	1	130.1	† <0.001
体重の変化									
変わらない	1,962	81.7	1,504	85.7	458	70.8	2	80.6	† <0.001
増加	169	7.0	111	6.3	58	9.0			
減少	271	11.3	140	8.0	131	20.3			
中越沖地震後の受診あり	332	14.1	197	11.3	135	21.9	1	42.7	† <0.001
地震前からの受診あり	955	44.8	660	42.4	295	51.1	1	13.0	† <0.001

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表IV-13. 出雲崎町における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の健康行動に関する K6 のカットオフ値を 10 点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,500)

	全体		K6: 10 点未満		K6: 10 点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,500		2,307		193				
喫煙あり	497	20.2	459	20.2	38	20.1	1	0.0	0.972
喫煙数が増加	33	1.4	20	0.9	13	6.8	1	46.4	† <0.001
飲酒あり	1,016	41.5	939	41.6	77	40.7	1	0.0	0.829
飲酒量が増加	51	2.1	36	1.6	15	7.9	1	34.3	† <0.001
健康状態									
良好	1,915	78.3	1,833	81.1	82	43.9	1	140.9	† <0.001
不良	532	21.7	427	18.9	105	56.2			
体調の悪化	193	8.0	136	6.1	57	30.8	1	141.9	† <0.001
体重の変化									
変わらない	1,962	81.7	1,858	83.7	104	57.1	2	82.6	† <0.001
増加	169	7.0	144	6.5	25	13.7			
減少	271	11.3	218	9.8	53	29.1			
中越沖地震後の受診あり	332	14.1	284	13.0	48	27.9	1	29.5	† <0.001
地震前からの受診あり	955	44.8	870	44.1	85	53.5	1	5.3	* 0.022

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表IV-14. 出雲崎町における中越沖地震1年後のこころと身体の健康調査参加者の健康行動に関する K6 のカットオフ値を 13 点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,500)

	全体		K6: 13 点未満		K6: 13 点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,500		2,417		83				
喫煙あり	497	20.2	478	20.1	19	23.2	1	0.5	0.496
喫煙数が増加	33	1.4	28	1.2	5	6.1	1	14.4	† <0.001
飲酒あり	1,016	41.5	985	41.6	31	37.8	1	0.5	0.491
飲酒量が増加	51	2.1	39	1.7	12	14.6	1	65.4	† <0.001
健康状態									
良好	1,915	78.3	1,892	79.9	23	29.1	1	115.9	† <0.001
不良	532	21.7	476	20.1	56	70.9			
体調の悪化	193	8.0	162	6.9	31	40.3	1	112.6	† <0.001
体重の変化									
変わらない	1,962	81.7	1,924	82.8	38	48.1	2	61.7	† <0.001
増加	169	7.0	154	6.6	15	19.0			
減少	271	11.3	245	10.6	26	32.9			
中越沖地震後の受診あり	332	14.1	310	13.5	22	31.4	1	18.0	† <0.001
地震前からの受診あり	955	44.8	911	44.2	44	61.1	1	8.1	† 0.005

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表IV-15. 出雲崎町における中越沖地震1年後のこころと身体 の健康調査参加者のソーシャルサポートに関する K6 のカットオフ値を5点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,500)

	全体		K6: 5点未満		K6: 5点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,500		1,827		673				
わたしは、グループや、 地域社会の一員である。									
そう感じない	807	34.5	528	31.0	279	43.8	1	33.8	† <0.001
わたしは、ひとりである と孤独に感じる。§									
そう感じる	658	27.1	311	17.6	347	52.6	1	298.0	† <0.001
わたしは、まわりから受 け入れられていない。§									
そう感じる	381	15.8	157	9.0	224	34.3	1	228.7	† <0.001
わたしを必要としてく れる人がいる。									
そう感じない	578	24.0	384	21.8	194	29.8	1	16.3	† <0.001
わたしは、地域で認めら れている。									
そう感じない	1,304	55.0	883	51.1	421	65.6	1	39.6	† <0.001
だれも私のことを理解 してくれない。§									
そう感じる	440	18.5	197	11.4	243	37.4	1	213.0	† <0.001
わたしは、何か問題があ ったときに、相談できる 友人・知人がいる。									
そう感じない	620	26.3	410	24.0	210	32.1	1	16.0	† <0.001
わたしは、何か問題があ ったときに、家族と相談 できる。									
そう感じない	426	17.9	280	16.1	146	22.5	1	13.1	† <0.001

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

§:反転項目

表IV-16. 出雲崎町における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者のソーシャルサポートに関するK6のカットオフ値を10点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,500)

	全体		K6: 10点未満		K6: 10点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,500		2,307		193				
わたしは、グループや、 地域社会の一員である。									
そう感じない	807	34.5	716	33.1	91	51.1	1	23.7	† <0.001
わたしは、ひとりである と孤独に感じる。§									
そう感じる	658	27.1	527	23.5	131	69.7	1	187.2	† <0.001
わたしは、まわりから受 け入れられていない。§									
そう感じる	381	15.8	278	12.5	103	55.4	1	236.6	† <0.001
わたしを必要としてく れる人がいる。									
そう感じない	578	24.0	510	22.9	68	36.4	1	17.0	† <0.001
わたしは、地域で認めら れている。									
そう感じない	1,304	55.0	1,171	53.5	133	74.3	1	29.1	† <0.001
だれも私のことを理解 してくれない。§									
そう感じる	440	18.5	341	15.5	99	54.4	1	168.7	† <0.001
わたしは、何か問題があ ったときに、相談できる 友人・知人がいる。									
そう感じない	620	26.3	546	25.1	74	39.6	1	18.6	† <0.001
わたしは、何か問題があ ったときに、家族と相談 できる。									
そう感じない	426	17.9	372	16.9	54	29.2	1	17.6	† <0.001

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

§:反転項目

表IV-17. 出雲崎町における中越沖地震1年後のこころと身体 の健康調査参加者のソーシャルサポートに関する K6 のカットオフ値を 13 点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,500)

	全体		K6: 13 点未満		K6: 13 点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,500		2,417		83				
わたしは、グループや、 地域社会の一員である。									
そう感じない	807	34.5	758	33.4	49	66.2	1	34.1	† <0.001
わたしは、ひとりである と孤独に感じる。§									
そう感じる	658	27.1	602	25.6	56	70.9	1	79.3	† <0.001
わたしは、まわりから受 け入れられていない。§									
そう感じる	381	15.8	325	14.0	56	71.8	1	189.5	† <0.001
わたしを必要としてく れる人がいる。									
そう感じない	578	24.0	542	23.3	36	45.6	1	20.9	† <0.001
わたしは、地域で認めら れている。									
そう感じない	1,304	55.0	1,241	54.1	63	84.0	1	26.3	† <0.001
だれも私のことを理解 してくれない。§									
そう感じる	440	18.5	389	16.9	51	67.1	1	123.2	† <0.001
わたしは、何か問題があ ったときに、相談できる 友人・知人がいる。									
そう感じない	620	26.3	586	25.7	34	43.0	1	11.9	† 0.001
わたしは、何か問題があ ったときに、家族と相談 できる。									
そう感じない	426	17.9	394	17.1	32	41.0	1	29.5	† <0.001

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

§:反転項目

表IV-18. 出雲崎町における中越沖地震 1 年後のこころと身体 の健康調査参加者のうち仮設住宅
居住者における性別での精神健康度別の比較 (K6 のカットオフ値を 5 点に設定した場合)(n=36)

	全体		K6: 5 点未満		K6: 5 点以上		p
	n	%	n	%	n	%	
	36		20		16		
男性	16	44.4	10	50.0	6	37.5	0.515
女性	20	55.6	10	50.0	10	62.5	

Fisher's exact test was used.

*: $p < 0.05$, †: $p < 0.01$

表IV-19. 出雲崎町における中越沖地震 1 年後のこころと身体 の健康調査参加者のうち仮設住宅
居住者における性別での精神健康度別の比較 (K6 のカットオフ値を 10 点に設定した場合)(n=36)

	全体		K6: 10 点未満		K6: 10 点以上		p
	n	%	n	%	n	%	
	36		29		7		
男性	16	44.4	12	41.4	4	57.1	0.675
女性	20	55.6	17	58.6	3	42.9	

Fisher's exact test was used.

*: $p < 0.05$, †: $p < 0.01$

表IV-20. 出雲崎町における中越沖地震 1 年後のこころと身体 の健康調査参加者のうち仮設住宅
居住者における性別での精神健康度別の比較 (K6 のカットオフ値を 13 点に設定した場合)(n=36)

	全体		K6: 13 点未満		K6: 13 点以上		p
	n	%	n	%	n	%	
	36		33		3		
男性	16	44.4	13	39.4	3	100.0	0.078
女性	20	55.6	20	60.6	0	0.0	

Fisher's exact test was used.

*: $p < 0.05$, †: $p < 0.01$

表IV-21. 出雲崎町における中越沖地震1年後のこころと身体の健康調査参加者のうち仮設居住者以外に
おける家屋被害規模別での精神健康度別の比較(K6のカットオフ値を5点に設定した場合)(n=2,358)

	全体		K6: 5点未満		K6: 5点以上		p
	n	%	n	%	n	%	
	2,358		1,735		623		
中越大震災時の家屋被害							
なし	1,282	56.6	991	59.3	291	48.8	† <0.001
一部損壊	933	41.2	645	38.6	288	48.3	
半壊	39	1.7	26	1.6	13	2.2	
大規模半壊	4	0.2	2	0.1	2	0.3	
全壊	9	0.4	7	0.4	2	0.3	
中越沖地震時の家屋被害							
なし	485	21.1	374	22.1	111	18.4	* 0.041
一部損壊	1,591	69.3	1,173	69.2	418	69.4	
半壊	172	7.5	118	7.0	54	9.0	
大規模半壊	26	1.1	15	0.9	11	1.8	
全壊	22	1.0	14	0.8	8	1.3	

Fisher's exact tests were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表IV-22. 出雲崎町における中越沖地震1年後のこころと身体の健康調査参加者のうち仮設居住者以外に
おける家屋被害規模別での精神健康度別の比較(K6のカットオフ値を10点に設定した場合)(n=2,358)

	全体		K6: 10点未満		K6: 10点以上		p
	n	%	n	%	n	%	
	2,358		2,182		176		
中越大震災時の家屋被害							
なし	1,282	56.6	1,207	57.5	75	44.4	† 0.001
一部損壊	933	41.2	848	40.4	85	50.3	
半壊	39	1.7	31	1.5	8	4.7	
大規模半壊	4	0.2	4	0.2	0	0.0	
全壊	9	0.4	8	0.4	1	0.6	
中越沖地震時の家屋被害							
なし	485	21.1	454	21.4	31	17.9	0.053
一部損壊	1,591	69.3	1,475	69.5	116	67.1	
半壊	172	7.5	150	7.1	22	12.7	
大規模半壊	26	1.1	25	1.2	1	0.6	
全壊	22	1.0	19	0.9	3	1.7	

Fisher's exact tests were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表IV-23. 出雲崎町における中越沖地震 1 年後のこころと身体健康調査参加者のうち仮設居住者以外における家屋被害規模別での精神健康度別の比較 (K6 のカットオフ値を 13 点に設定した場合) (n=2,358)

	全体		K6: 13 点未満		K6: 13 点以		p
	n	%	n	%	n	%	
	2,358		2,283		75		
中越大震災時の家屋被害							
なし	1,282	56.6	1,253	57.1	29	39.7	* 0.011
一部損壊	933	41.2	893	40.7	40	54.8	
半壊	39	1.7	36	1.6	3	4.1	
大規模半壊	4	0.2	4	0.2	0	0.0	
全壊	9	0.4	8	0.4	1	1.4	
中越沖地震時の家屋被害							
なし	485	21.1	470	21.2	15	20.3	0.464
一部損壊	1,591	69.3	1,542	69.4	49	66.2	
半壊	172	7.5	163	7.3	9	12.2	
大規模半壊	26	1.1	26	1.2	0	0.0	
全壊	22	1.0	21	1.0	1	1.4	

Fisher's exact tests were used.

*: $p < 0.05$, †: $p < 0.01$

表IV-24. 出雲崎町における中越沖地震 1 年後のこころと身体健康調査参加者の年齢階級別における精神健康度の性別比較 (K6 のカットオフ値を 5 点に設定した場合) (n=2,497)

	全体 (n=2,497)				男性 (n=1,174)				女性 (n=1,323)				p
	K6: 5 点未満		K6: 5 点以上		K6: 5 点未満		K6: 5 点以上		K6: 5 点未満		K6: 5 点以上		
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
	1,825		672		876		298		949		374		
30 歳未満	201	75.6	65	24.4	101	80.2	25	19.8	100	71.4	40	28.6	0.116
30-39 歳	151	67.1	74	32.9	75	67.6	36	32.4	76	66.7	38	33.3	0.888
40-49 歳	206	65.8	107	34.2	105	69.1	47	30.9	101	62.7	60	37.3	0.283
50-59 歳	316	76.7	96	23.3	158	77.1	47	22.9	158	76.3	49	23.7	0.907
60-69 歳	358	78.0	101	22.0	176	76.9	53	23.1	182	79.1	48	20.9	0.575
70-79 歳	353	69.8	153	30.2	163	70.3	69	29.7	190	69.3	84	30.7	0.846
80 歳以上	232	76.3	72	23.7	94	83.2	19	16.8	138	72.3	53	27.8	* 0.036

Fisher's exact tests were used.

*: $p < 0.05$, †: $p < 0.01$

表IV-25. 出雲崎町における中越沖地震1年後のこころと身体の健康調査参加者の年齢階級別における精神健康度の性別比較 (K6のカットオフ値を10点に設定した場合) (n=2,497)

	全体 (n=2,497)				男性 (n=1,174)				女性 (n=1,323)				p
	K6: 10点未満		K6: 10点以上		K6: 10点未満		K6: 10点以上		K6: 10点未満		K6: 10点以上		
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
	2,305		192		1,093		81		1,212		111		
30歳未満	238	89.5	28	10.5	117	92.9	9	7.1	121	86.4	19	13.6	0.110
30-39歳	211	93.8	14	6.2	104	93.7	7	6.3	107	93.9	7	6.1	1.000
40-49歳	275	87.9	38	12.1	137	90.1	15	9.9	138	85.7	23	14.3	0.299
50-59歳	387	93.9	25	6.1	193	94.2	12	5.9	194	93.7	13	6.3	1.000
60-69歳	432	94.1	27	5.9	216	94.3	13	5.7	216	93.9	14	6.1	1.000
70-79歳	468	92.5	38	7.5	214	92.2	18	7.8	254	92.7	20	7.3	0.867
80歳以上	282	92.8	22	7.2	106	93.8	7	6.2	176	92.2	15	7.9	0.654

Fisher's exact tests were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表IV-26. 出雲崎町における中越沖地震1年後のこころと身体の健康調査参加者の年齢階級別における精神健康度の性別比較 (K6のカットオフ値を13点に設定した場合) (n=2,497)

	全体 (n=2,497)				男性 (n=1,174)				女性 (n=1,323)				p
	K6: 13点未満		K6: 13点以上		K6: 13点未満		K6: 13点以上		K6: 13点未満		K6: 13点以上		
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
	2,415		82		1,138		36		1,277		46		
30歳未満	253	95.1	13	4.9	121	96.0	5	4.0	132	94.3	8	5.7	0.579
30-39歳	219	97.3	6	2.7	108	97.3	3	2.7	111	97.4	3	2.6	1.000
40-49歳	297	94.9	16	5.1	147	96.7	5	3.3	150	93.2	11	6.8	0.201
50-59歳	402	97.6	10	2.4	199	97.1	6	2.9	203	98.1	4	1.9	0.542
60-69歳	448	97.6	11	2.4	222	96.9	7	3.1	226	98.3	4	1.7	0.381
70-79歳	489	96.6	17	3.4	224	96.6	8	3.5	265	96.7	9	3.3	1.000
80歳以上	295	97.0	9	3.0	111	98.2	2	1.8	184	96.3	7	3.7	0.492

Fisher's exact tests were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表IV-27. 2回の地震による家屋被害の規模(n=2,493) (上段：n, 下段：(%))

中越大震災	中越沖地震					計
	なし	一部損壊	半壊	大規模半壊	全壊	
なし	476 (34.4)	795 (57.5)	95 (6.9)	1 (0.1)	16 (1.2)	1,383 (100.0)
一部損壊	48 (4.6)	904 (86.3)	61 (5.8)	22 (2.1)	12 (1.2)	1,047 (100.0)
半壊	7 (15.6)	3 (6.7)	34 (75.6)	1 (2.2)	0 (0.0)	45 (100.0)
大規模半壊	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (85.7)	1 (14.3)	7 (100.0)
全壊	0 (0.0)	5 (45.5)	0 (0.0)	1 (9.1)	5 (45.5)	11 (100.0)
計	531 (21.3)	1,707 (68.5)	190 (7.6)	31 (1.2)	34 (1.4)	2,493 (100.0)

表IV-28. 2回の地震による家屋被害の規模(n=2,493) (上段：n, 下段：(%))

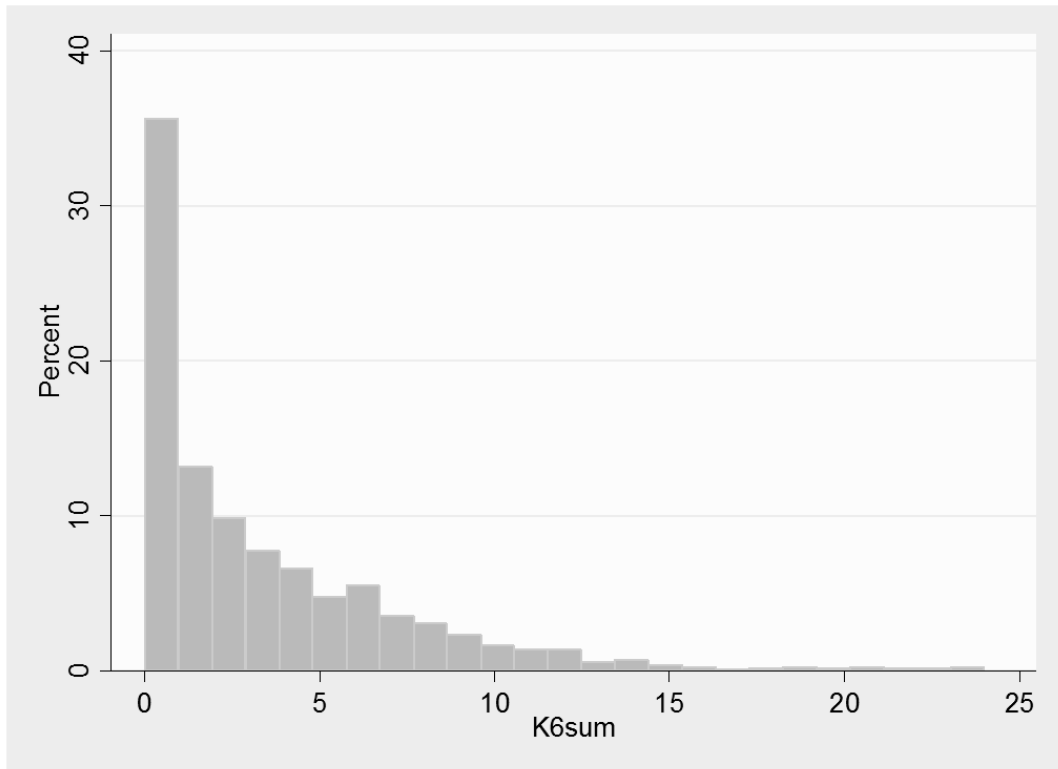
中越大震災	中越沖地震		計
	なし／一部損壊	半壊以上	
なし／一部損壊	2,223 (91.5)	207 (8.5)	2,430 (100.0)
半壊以上	15 (23.8)	48 (76.2)	63 (100.0)
計	2,238 (89.8)	255 (10.2)	2,493 (100.0)

表IV-29. 出雲崎町における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者において、
2回の地震（中越大震災と中越沖地震）による家屋被害が
ともに半壊以上であったものとその他のものの基本的属性の比較(n=2,635)

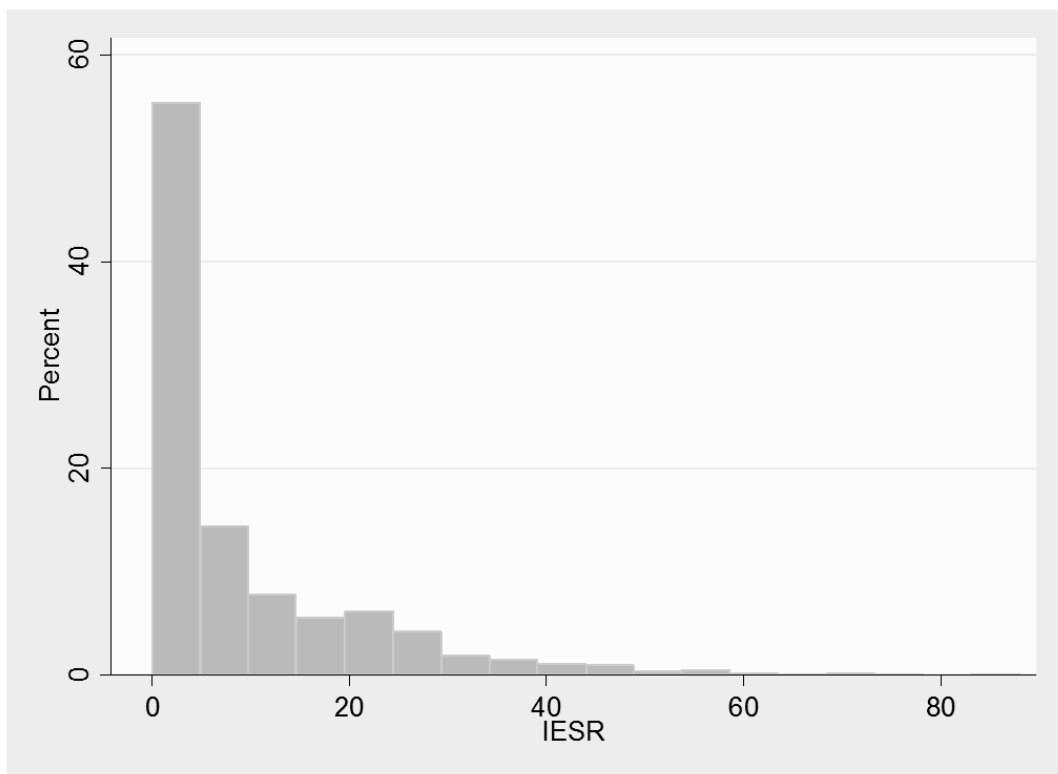
	全体		2度の地震と も半壊以上		その他		df	χ^2/z	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,635		48		2,587				
性別									
男性	1,225	46.5	20	41.7	1,205	46.6	1	0.5	0.499
女性	1,410	53.5	28	58.3	1,382	53.4			
年齢階級									
20歳未満	103	3.9	0	0.0	103	4.0	8	21.9	† 0.006
20-29歳	165	6.3	5	10.9	160	6.2			
30-39歳	222	8.5	2	4.4	220	8.6			
40-49歳	319	12.2	4	8.7	315	12.2			
50-59歳	427	16.3	0	0.0	427	16.6			
60-69歳	483	18.4	9	19.6	474	18.4			
70-79歳	561	21.4	17	37.0	544	21.1			
80-89歳	297	11.3	9	19.6	288	11.2			
90歳以上	42	1.6	0	0.0	42	1.6			
平均年齢 (標準偏差)	58.8	(19.4)	64.5	(19.4)	58.2	(19.2)	-	-2.7	† 0.008
教育年数 (標準偏差)	11.1	(2.6)	10.3	(2.4)	11.13302	(2.6)	-	2.1	* 0.039
主たる家計者の職業									
会社員/公務員	1,054	42.4	13	30.2	1,041	42.6	3	6.4	0.093
自営	391	15.7	4	9.3	387	15.9			
無職/年金受給者	822	33.1	20	46.5	802	32.8			
その他 (パートも含む)	218	8.8	6	14.0	212	8.7			

Chi-square tests or Wilcoxon rank sum tests were used.

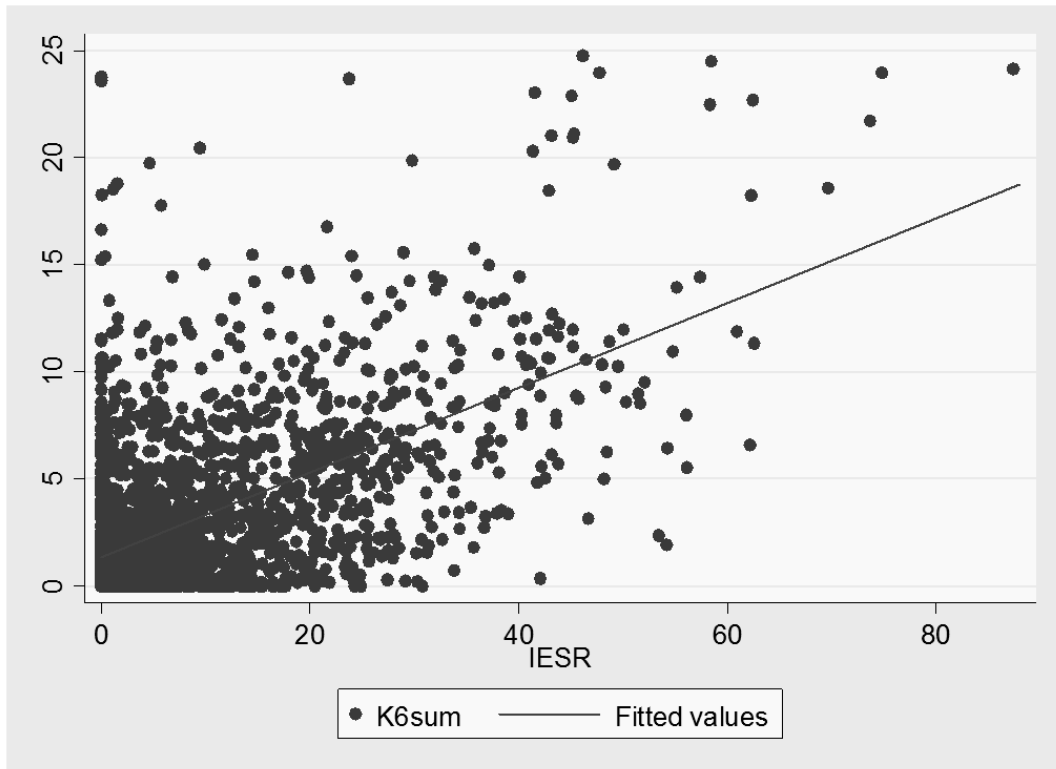
*: p<0.05, †: p<0.01



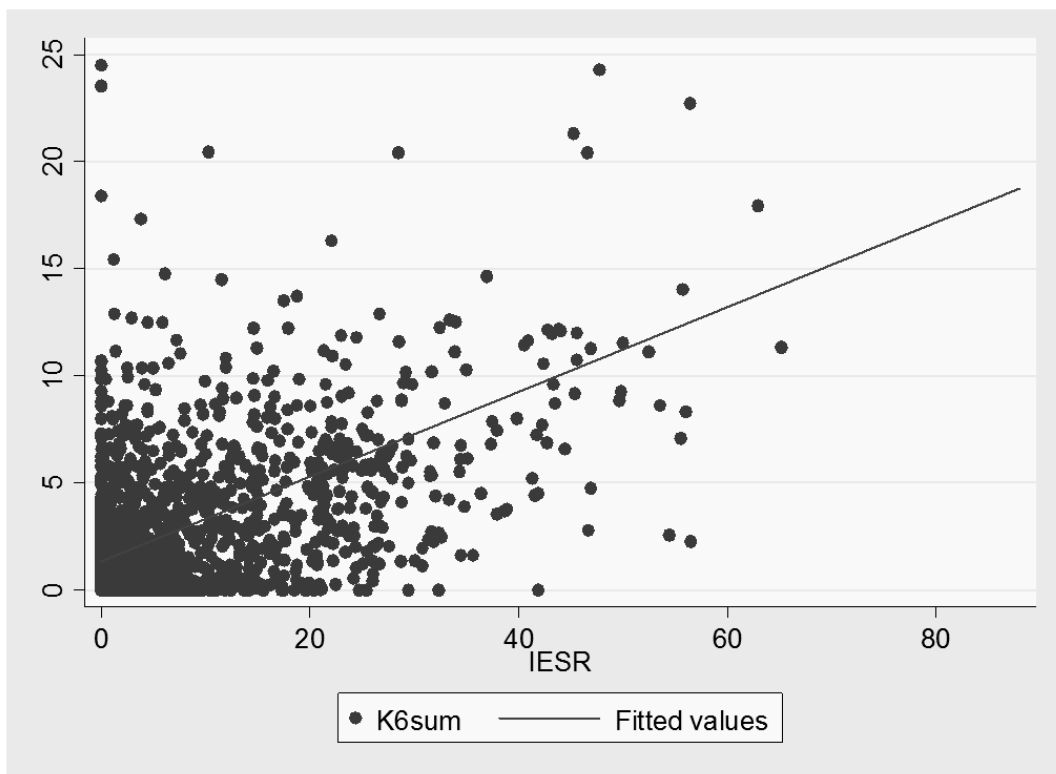
図IV-28.出雲崎町における中越沖地震1年後の
ところと身体の健康調査参加者の K6 合計点の分布



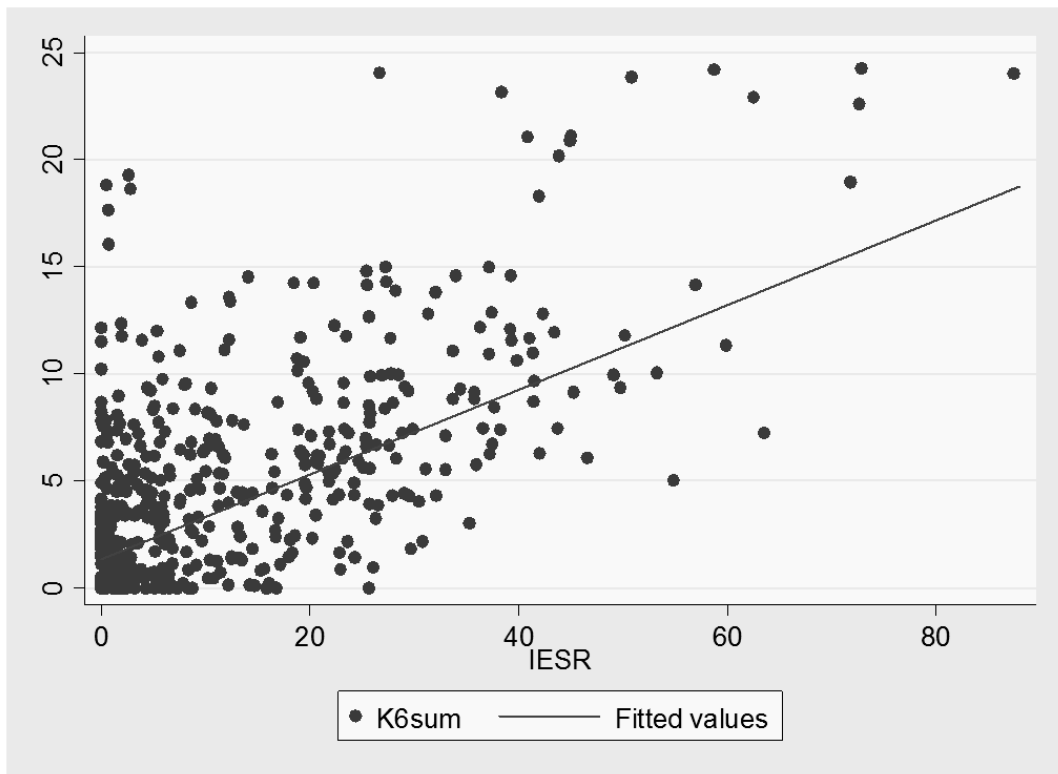
図IV-29.出雲崎町における中越沖地震1年後の
ところと身体の健康調査参加者の IES-R 合計点の分布



図IV-30.出雲崎町における中越沖地震1年後の
こころと身体の健康調査参加者のK6とIES-R合計点の散布図



図IV-31.出雲崎町における中越沖地震1年後のこころと身体の健康調査参加者の
主観的に健康な方におけるK6とIES-R合計点の散布図



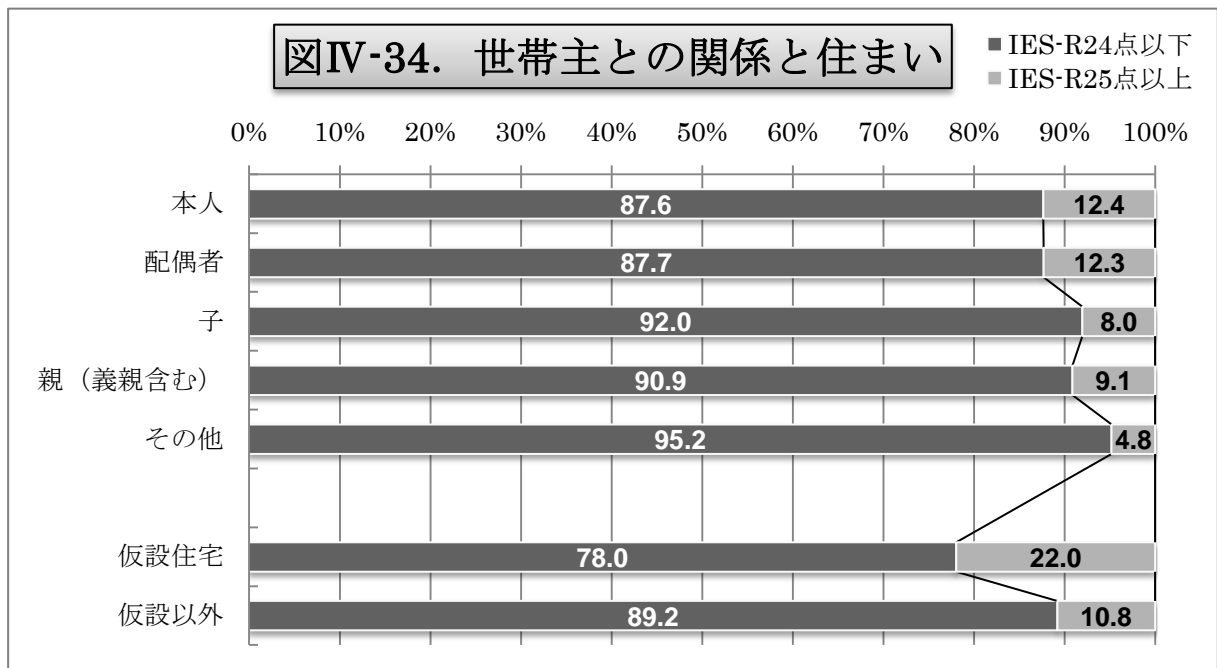
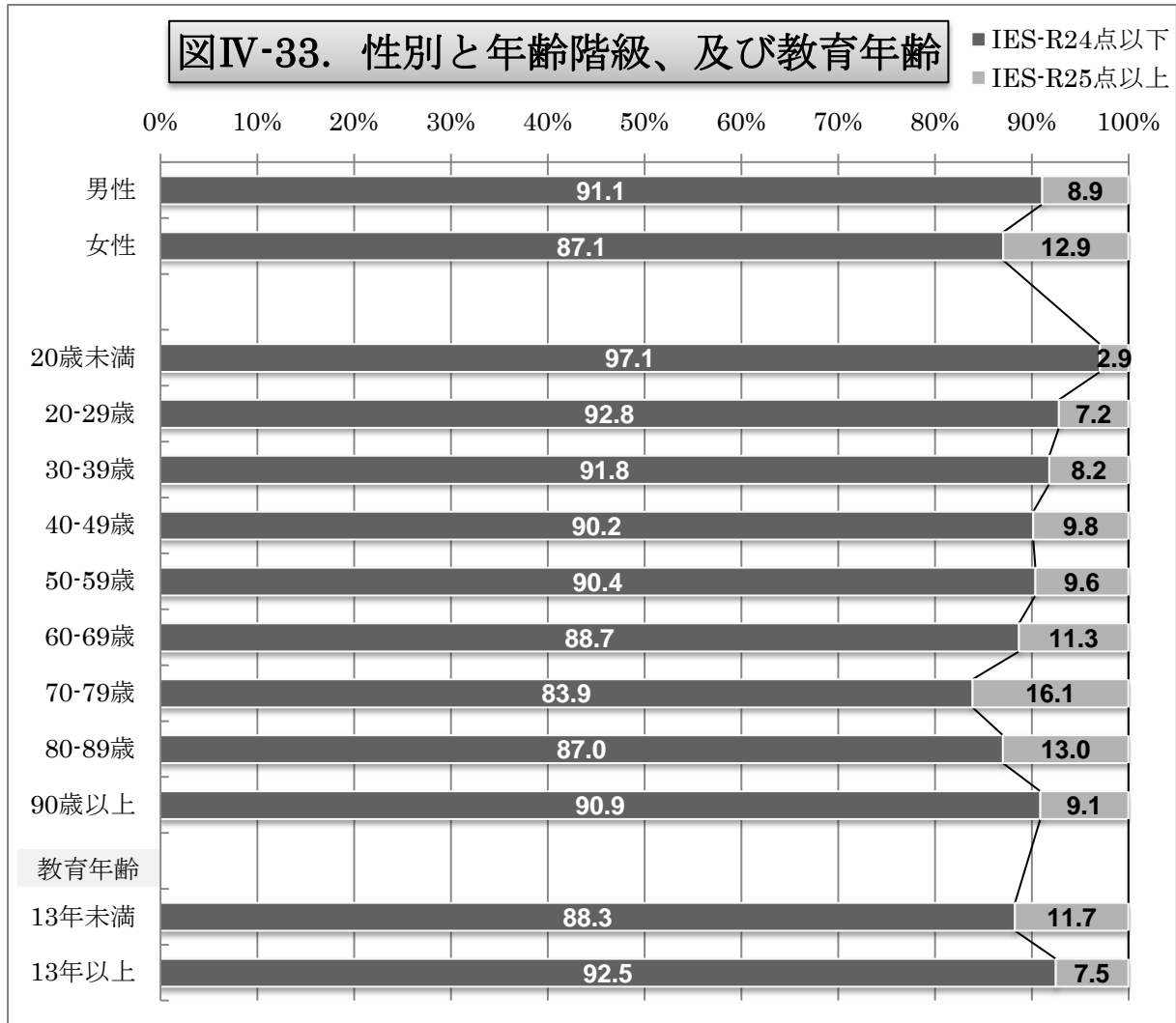
図IV-32.出雲崎町における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の主観的に不健康な方におけるK6とIES-R合計点の散布図

2) IES-R 分析と考察

① 基本属性 (図IV-33,34,35,表IV-30)

IES-R と基本属性の間には、いずれの項目についても有意に差が認められた。

- a. 「性別」においては、PTSD のハイリスク者 (IES-R 25 点以上) の割合は女性が 12.9%、男性が 8.9%と、女性のほうが高い。
- b. 「年齢階級」においては、70 歳から 79 歳でハイリスク者の割合が一番高く、16.1%である。
- c. 「教育年齢」においては、13 年未満のハイリスク者が 11.7%、13 年以上で 7.5%である。
- d. 「世帯主との関係」については、各関係の中でハイリスク者の割合が 12.0%を越えているものは、本人、配偶者である。
- e. 「住まい」については仮設住宅のハイリスク者は 22.0%、仮設住宅以外 10.8%と、仮設住宅に住んでいる方のほうが、ハイリスク者の割合が高い。
- f. 「主たる家計者」については、各生計者の中でハイリスク者の割合が 20.0%を越えているものは、専業主婦、無職であり、その中で割合がより高いのが専業主婦で 24.0%である。
- g. 「回答者の職業」では、各回答者の中でハイリスク者の割合が 15.0%を越えているものは、パート、無職であり、その中で割合がより高いのが無職者であり、17.8%である。





② 震災による経済的变化、被害状況、原子力発電所に対する意識について (図IV-36,37,38,表IV-31)

IES-R と震災による経済的变化、被害状況、原子力発電所に対する意識には、「中越大震災による転職と中越大震災時における身近な人の死亡者の有無」以外において、いずれの項目についても有意に差が認められた (ただし、中越沖地震時における身近な人の死亡者の有無については、 $p < 0.1$)。

中越大震災による影響

- 「転職」については、転職せざるを得なかった方のハイリスク者の割合に有意差はない。
- 「暮らし向き」については、「わるくなった」と答えた方のハイリスク者の割合が 28.2%と高い。
- 「家屋被害」についてはハイリスク者の割合が 20.0%以上になるのが、半壊、全壊であり、そのなかでも全壊においては 30.0%と高い。しかし、中越沖地震に比べて全壊になった家屋数は少ないため、全壊になった方の中越大震災でのショックはより大きかった可能性がある。
- 「身近な人の死亡者の有無」では、ハイリスク者の割合に有意差はない。

e. 「身近な人の負傷者の有無」については、「いる」と答えた方のハイリスク者の割合が 39.1%と高い。これも上記同様数自体は少ないため、身近な人に負傷者がいたことの中越大震災でのショックは、より大きかった可能性がある。

中越沖地震による影響

- a. 「転職」については、転職せざるを得なかった方のハイリスク者の割合が 22.5%と高い。
- b. 「暮らし向き」については、「わるくなった」と答えた方のハイリスク者の割合が 23.5%と高い。
- c. 「家屋被害」については、ハイリスク者の割合が一番高かったのが大規模半壊で 17.1%である。
- d. 「身近な人の死亡者の有無」では、「いる」と答えた方のハイリスク者の割合が 19.5%と高い。
- e. 「身近な人の負傷者の有無」については、「いる」と答えた方のハイリスク者の割合が 29.1%と高い。

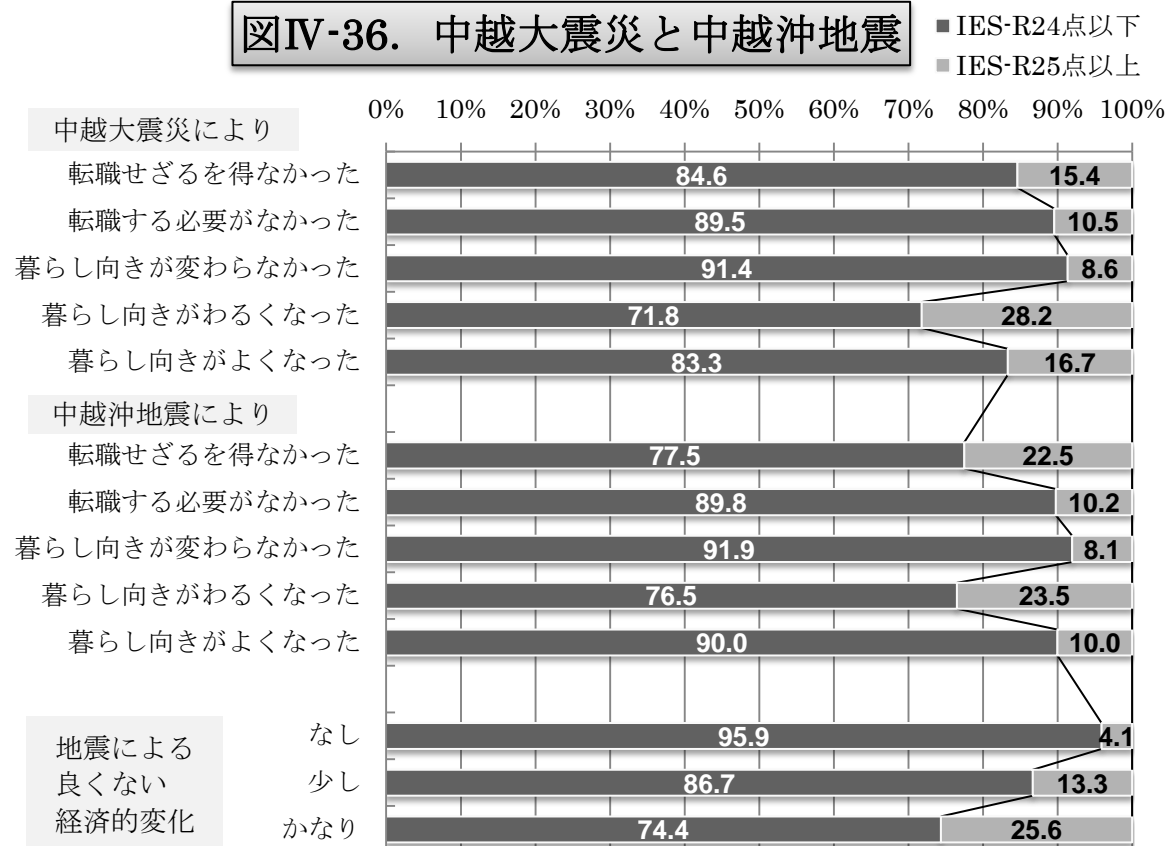
中越大震災と中越沖地震による影響

- a. 「これら2つの地震による良くない経済的変化」においては、「かなりある」と答えた方において、ハイリスク者の割合が一番高く 25.6%である。

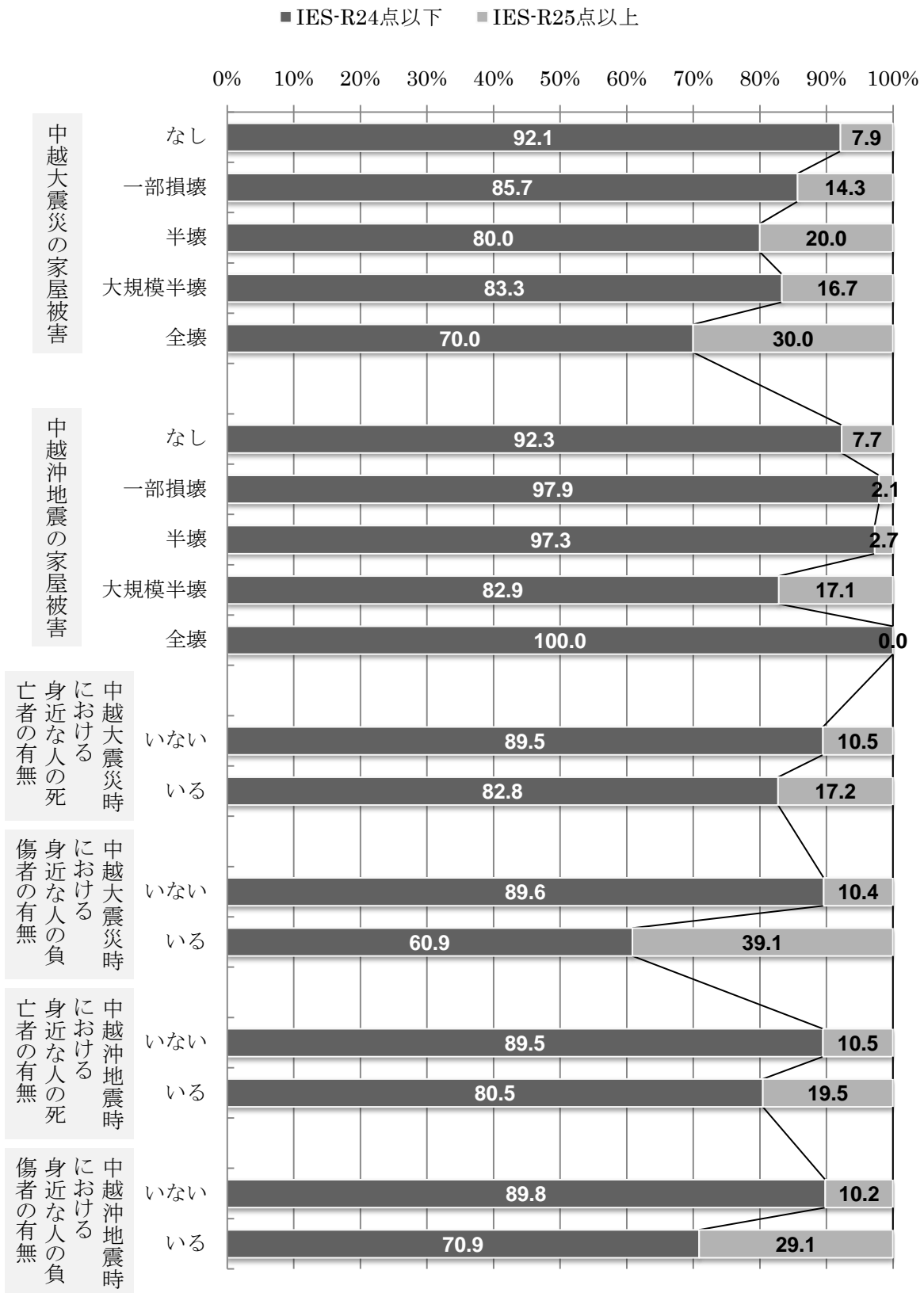
原子力発電所について

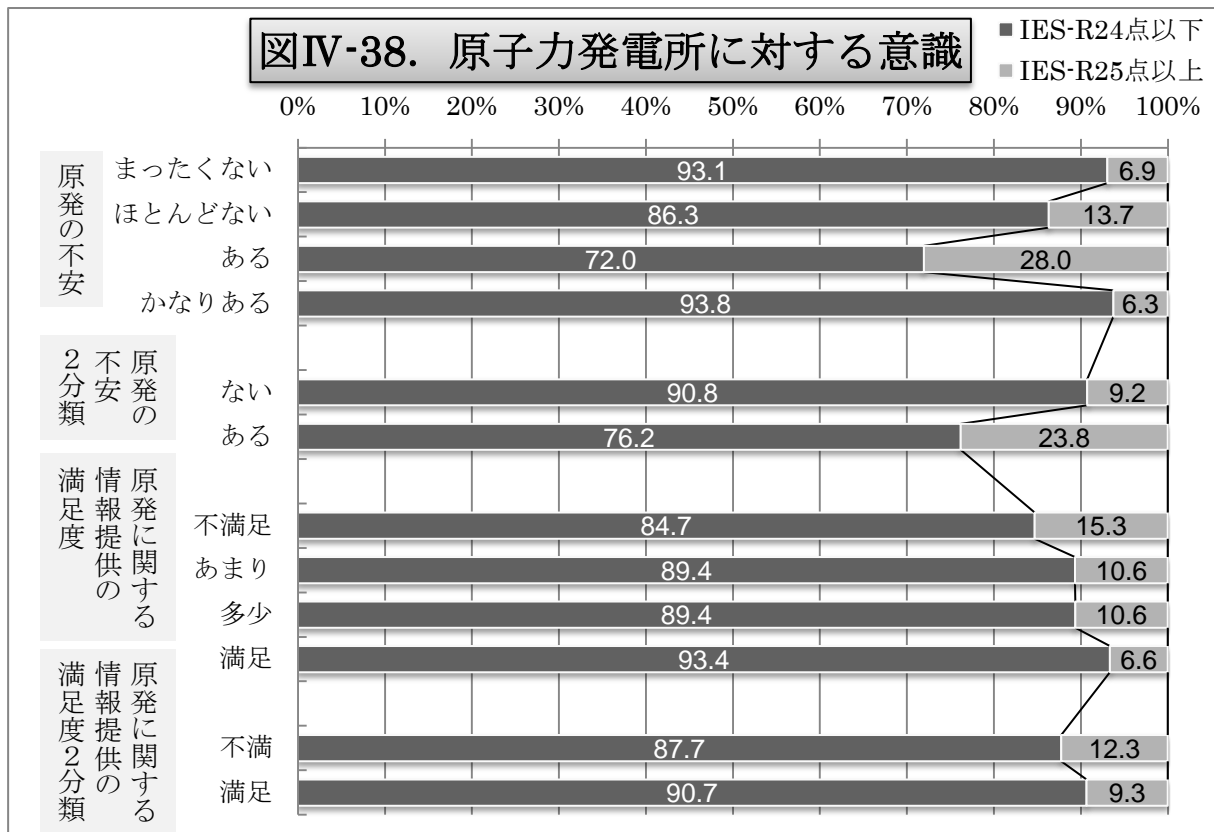
- a. 「原子力発電所への不安」については、2分類において、「ある」にカテゴリされた方の割合は、有効回答者全体の 7.6%と多くはないが、ハイリスク者の割合が高く 23.8%である。
- b. 「原子力発電所に関する情報提供の満足度」については、2分類において、「不満」にカテゴリされた方は、有効回答者全体の 48.6%と半分近くでハイリスク者の割合も多い。

図IV-36. 中越大震災と中越沖地震



図IV-37.中越大震災と中越沖地震による被害状況

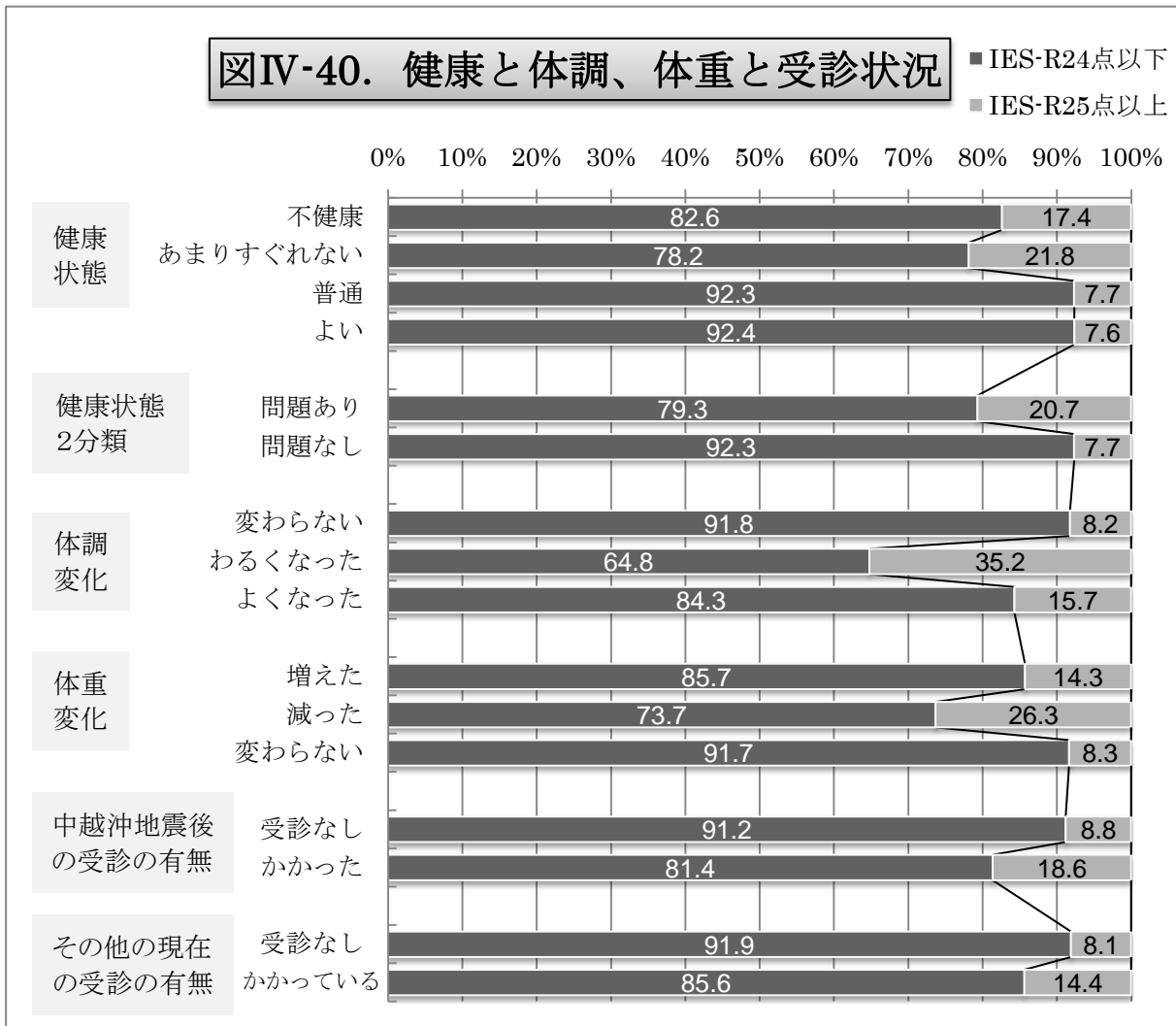
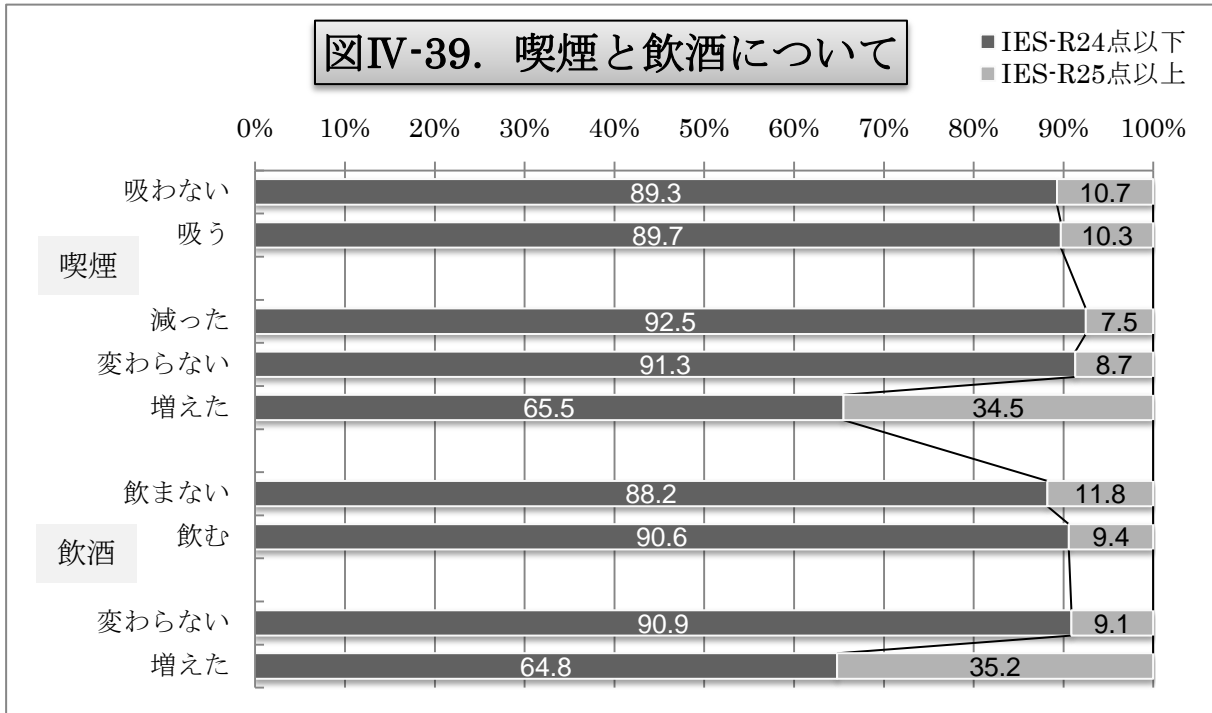




③ 健康行動について (図IV-39,40,表IV-32)

IES-R と健康行動の間には、「喫煙の有無」以外において、いずれの項目についても有意に差が認められた (ただし、飲酒の有無については $p < 0.1$)。

- a. 「喫煙の有無」については、ハイリスク者の割合に有意差はない。
- b. 「喫煙量の変化」においてはハイリスク者の割合が、中越沖地震後に減った方の中では 7.5%、変わらない方の中では 8.7%、増えた方の中では 34.5%と、増えた方において一番高い。
- c. 「飲酒量の変化」についても、「増えた」と答えた方のハイリスク者の割合が 35.2%とより高い。
- d. 「健康状態」については、2分類において、「問題あり」のカテゴリーに入った方でハイリスク者の割合が 20.7%とより高い。
- e. 「体調変化」においてはハイリスク者の割合が、「わるくなった」と答えた方の中では 35.2%、「よくなった」と答えた方の中では 15.7%、「変わらない」と答えた方の中では 8.2%と、変化があった方で高いことが分かる。
- f. 「体重変化」においてもハイリスク者の割合が、「増えた」と答えた方の中では 14.3%、「減った」と答えた方の中では 26.3%、「変わらない」と答えた方の中では 8.3%と、ここでも変化があった方で高いことが分かる。
- g. 「中越沖地震後の受診の有無」については、「かかった」と答えた方のハイリスク者の割合が 18.6%とより高い。
- h. 「その他の現在の受診の有無」については、「かかっている」と答えた方のハイリスク者の割合が 14.4%とより高い。



④ ソーシャルサポート（人とのつながり）について（図IV-41,表IV-33）

IES-R とソーシャルサポートにおいて、いずれの項目についても有意に差が認められた。人とのつながりとしてとらえるソーシャルサポートは、地震によるショック状況の緩和に影響を与えている可能性がある。結果は2分類から記述する。

ソーシャルサポートがあると認識していることを判別する項目について

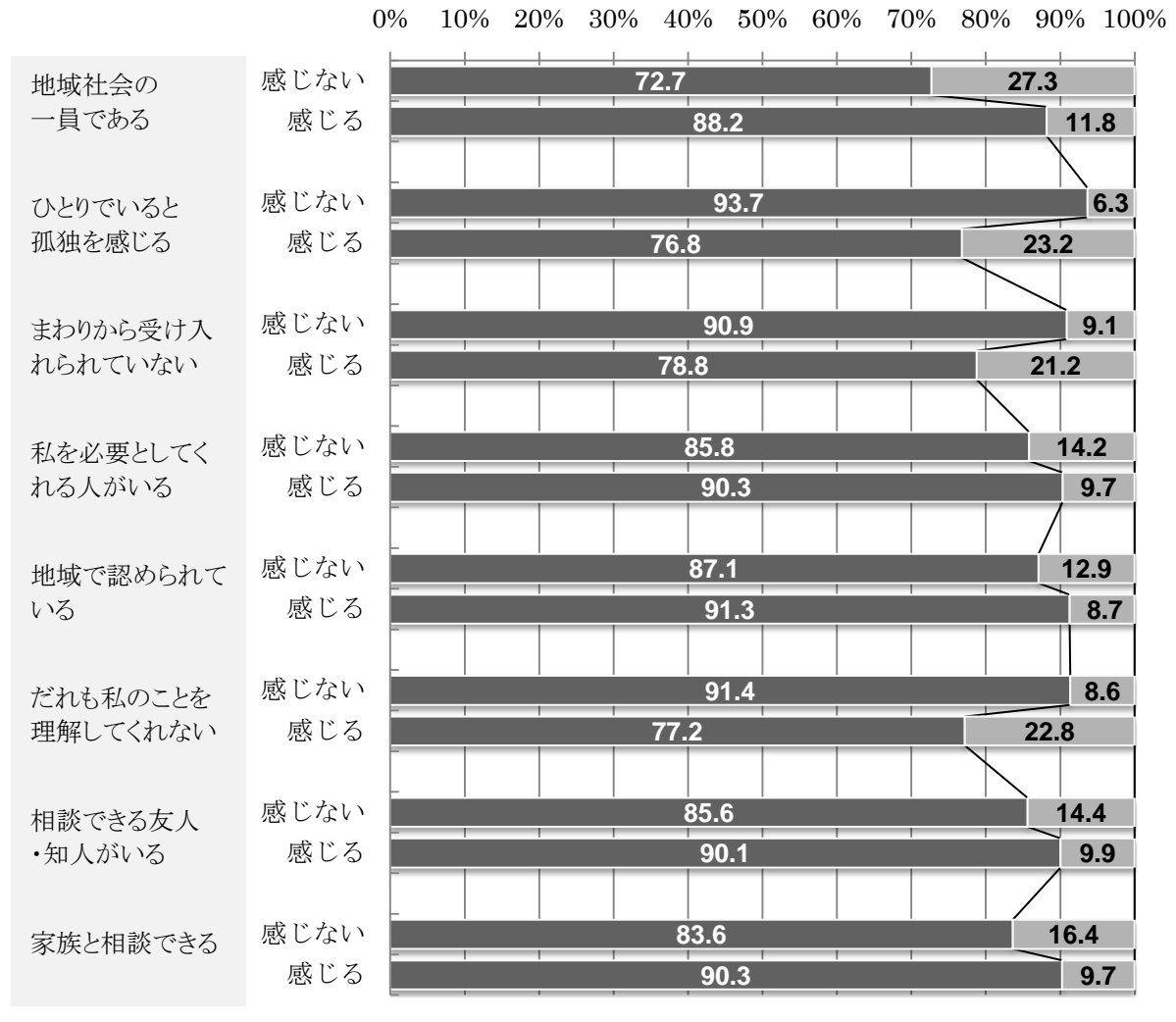
- a. 「地域社会の一員である 2分類」より、「感じない」とカテゴリーされた方についてハイリスク者の割合が高く、27.3%である。
- b. 「私を必要としてくれる人がいる 2分類」より、「感じない」とカテゴリーされた方についてハイリスク者の割合が高く、14.2%である。
- c. 「地域で認められている 2分類」より、「感じない」とカテゴリーされた方についてハイリスク者の割合が高く、12.9%である。
- d. 「相談できる友人・知人がいる 2分類」より、「感じない」とカテゴリーされた方についてハイリスク者の割合が高く、14.4%である。
- e. 「家族と相談できる 2分類」より、「感じない」とカテゴリーされた方についてハイリスク者の割合が高く、16.4%である。

ソーシャルサポートがないと認識していることを判別する項目について

- a. 「ひとりしていると孤独を感じる 2分類」より、「感じる」とカテゴリーされた方についてハイリスク者の割合が高く、23.2%である。
- b. 「まわりから受け入れられていない 2分類」より、「感じる」とカテゴリーされた方についてハイリスク者の割合が高く、21.2%である。
- c. 「だれも私のことを理解してくれない 2分類」より、「感じる」とカテゴリーされた方についてハイリスク者の割合が高く、22.8%である。

図IV-41. ソーシャルサポート 2分類

■ IES-R24点以下
■ IES-R25点以上



(考察)

- ① IES-R 分析の結果、一部の項目を除いて有意差が検出された。
- ② ハイリスク者では、中越大震災での身近な人の負傷者がいた。
- ③ 今回の分析では詳細な分析を行っていないため、今後の課題として残っている。

表IV-30. 中越沖地震1年後のこころと身体 の健康調査参加者の属性×IES-R比較

出雲崎町

属性×IES-R	全体		IES-R24点以下		IES-R25点以上		df	χ^2/t	p
	n	n	%	n	%				
	2,299	2,048	89.1%	251	10.9%				
性別									
男性	1,156	1,053	91.1%	103	8.9%	1	9.5	**	0.0021
女性	1,138	991	87.1%	147	12.9%				
年齢階級									
20歳未満	102	99	97.1%	3	2.9%	8	24.8	**	0.0017
20-29歳	167	155	92.8%	12	7.2%				
30-39歳	220	202	91.8%	18	8.2%				
40-49歳	305	275	90.2%	30	9.8%				
50-59歳	385	348	90.4%	37	9.6%				
60-69歳	425	377	88.7%	48	11.3%				
70-79歳	429	360	83.9%	69	16.1%				
80-89歳	216	188	87.0%	28	13.0%				
90歳以上	33	30	90.9%	3	9.1%				
教育年齢									
13年未満	1,745	1,541	88.3%	204	11.7%	1	6.7	**	0.0095
13年以上	467	432	92.5%	35	7.5%				
世帯主との関係									
本人	931	816	87.6%	115	12.4%	4	12.1	*	0.0164
配偶者	577	506	87.7%	71	12.3%				
子	398	366	92.0%	32	8.0%				
親(義親含む)	230	209	90.9%	21	9.1%				
その他	125	119	95.2%	6	4.8%				
住まい									
仮設住宅	41	32	78.0%	9	22.0%	1	5.1	*	0.0237
仮設以外	2,186	1,950	89.2%	236	10.8%				
家計者の職業									
会社員	876	807	92.1%	69	7.9%	8	50.5	***	<0.0001
公務員	104	97	93.3%	7	6.7%				
自営	346	319	92.2%	27	7.8%				
パート	52	42	80.8%	10	19.2%				
専業主婦	50	38	76.0%	12	24.0%				
年金受給者	470	409	87.0%	61	13.0%				
学生	9	9	100.0%	0	0.0%				
無職	188	148	78.7%	40	21.3%				
その他	64	57	89.1%	7	10.9%				
回答者の職業									
会社員	624	581	93.1%	43	6.9%	8	41.3	***	<0.0001
公務員	62	58	93.5%	4	6.5%				
自営	239	216	90.4%	23	9.6%				
パート	155	129	83.2%	26	16.8%				
専業主婦	205	177	86.3%	28	13.7%				
年金受給者	438	385	87.9%	53	12.1%				
学生	108	105	97.2%	3	2.8%				
無職	275	226	82.2%	49	17.8%				
その他	90	82	91.1%	8	8.9%				

カイ二乗検定 (Chi-square test) を使用 ***p<0.001, **p<0.01, *p<0.05, #p<0.1, n.s 有意差なし

表IV-31. 中越沖地震1年後のこころと身体 の健康調査参加者の
震災による経済的変化、被害状況、原子力発電所に対する意識×IES-R比較

出雲崎町

震災による経済的変化、被害状況、 原子力発電所に対する意識×IES-R	全体		IES-R24点以下		IES-R25点以上		df	χ^2/t	p
	n		n	%	n	%			
	2,299		2,048	89.1%	251	10.9%			
中越大震災により									
転職せざるを得なかった	52		44	84.6%	8	15.4%	1	1.3	n.s 0.2536
転職する必要がなかった	2,104		1,884	89.5%	220	10.5%			
中越大震災により暮らし向き									
変わらなかった	1,992		1,820	91.4%	172	8.6%	2	84.2	*** <0.0001
わるくなった	234		168	71.8%	66	28.2%			
よくなった	12		10	83.3%	2	16.7%			
中越沖地震により									
転職せざるを得なかった	40		31	77.5%	9	22.5%	1	6.4	* 0.0117
転職する必要がなかった	2,117		1,901	89.8%	216	10.2%			
中越沖地震により暮らし向き									
変わらなかった	1,826		1,679	91.9%	147	8.1%	2	79.9	*** <0.0001
わるくなった	392		300	76.5%	92	23.5%			
よくなった	20		18	90.0%	2	10.0%			
これらの地震による									
良くない経済的変化									
なし	1,048		1,005	95.9%	43	4.1%	2	128.4	*** <0.0001
少し	886		768	86.7%	118	13.3%			
かなり	324		241	74.4%	83	25.6%			
中越大震災時の家屋被害									
なし	1,243		1,145	92.1%	98	7.9%	4	29.9	*** <0.0001
一部損壊	894		766	85.7%	128	14.3%			
半壊	40		32	80.0%	8	20.0%			
大規模半壊	6		5	83.3%	1	16.7%			
全壊	10		7	70.0%	3	30.0%			
中越沖地震時の家屋被害									
なし	469		433	92.3%	36	7.7%	4	50.8	*** <0.0001
一部損壊	1,387		1,358	97.9%	29	2.1%			
半壊	147		143	97.3%	4	2.7%			
大規模半壊	35		29	82.9%	6	17.1%			
全壊	25		25	100.0%	0	0.0%			
中越大震災時における									
身近な人の死亡者の有無									
いない	2,220		1,987	89.5%	233	10.5%	1	1.4	n.s 0.2407
いる	29		24	82.8%	5	17.2%			
中越大震災時における									
身近な人の負傷者の有無									
いない	2,184		1,957	89.6%	227	10.4%	1	19.7	*** 0.0000
いる	23		14	60.9%	9	39.1%			
中越沖地震時における									
身近な人の死亡者の有無									
いない	2,152		1,926	89.5%	226	10.5%	1	3.4	# 0.0641
いる	41		33	80.5%	8	19.5%			
中越沖地震時における									
身近な人の負傷者の有無									
いない	2,134		1,917	89.8%	217	10.2%	1	20.2	*** 0.0000
いる	55		39	70.9%	16	29.1%			
原子力発電所の不安									
まったくない	1,311		1,220	93.1%	91	6.9%	3	69.6	*** <0.0001
ほとんどない	680		587	86.3%	93	13.7%			
ある	132		95	72.0%	37	28.0%			
かなりある	32		30	93.8%	2	6.3%			
原子力発電所の不安2分類									
ない	1,991		1,807	90.8%	184	9.2%	1	34.5	*** 0.0000
ある	164		125	76.2%	39	23.8%			
原子力発電所に関する									
情報提供の満足度									
不満足	366		310	84.7%	56	15.3%	3	14.2	** 0.0026
あまり	695		621	89.4%	74	10.6%			
多少	762		681	89.4%	81	10.6%			
満足	361		337	93.4%	24	6.6%			
原子力発電所に関する									
情報提供の満足度2分類									
不満	1,061		931	87.7%	130	12.3%	1	4.8	* 0.0287
満足	1,123		1,018	90.7%	105	9.3%			

カイ二乗検定 (Chi-square test) を使用 ***p<0.001, **p<0.01, *p<0.05, #p<0.1, n.s有意差なし

表IV-32. 中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の震災後の健康行動×IES-R比較
出雲崎町

震災後の健康行動×IES-R	全体		IES-R24点以下		IES-R25点以上		df	χ^2/t	p
	n		n	%	n	%			
	2,299		2,048	89.1%	251	10.9%			
喫煙の有無									
吸わない	1,746		1,559	89.3%	187	10.7%	1	0.1	n.s
吸う	458		411	89.7%	47	10.3%			
喫煙量の変化									
減った	40		37	92.5%	3	7.5%	2	21.0	***
変わらない	542		495	91.3%	47	8.7%			
増えた	29		19	65.5%	10	34.5%			
飲酒の有無									
飲まない	1,273		1,123	88.2%	150	11.8%	1	3.2	#
飲む	916		830	90.6%	86	9.4%			
飲酒量の変化									
変わらない	1,152		1,047	90.9%	105	9.1%	1	38.0	***
増えた	54		35	64.8%	19	35.2%			
健康状態									
不健康	121		100	82.6%	21	17.4%	3	66.9	***
あまりすぐれない	339		265	78.2%	74	21.8%			
普通	1,548		1,429	92.3%	119	7.7%			
よい	144		133	92.4%	11	7.6%			
健康状態 2分類									
問題あり	460		365	79.3%	95	20.7%	1	65.0	***
問題なし	1,692		1,562	92.3%	130	7.7%			
体調変化									
変わらない	1,946		1,786	91.8%	160	8.2%	2	127.2	***
わるくなった	179		116	64.8%	63	35.2%			
よくなった	70		59	84.3%	11	15.7%			
体重変化									
増えた	224		192	85.7%	32	14.3%	2	71.5	***
減った	232		171	73.7%	61	26.3%			
変わらない	1,751		1,605	91.7%	146	8.3%			
中越沖地震後の受診の有無									
かかっている	1,787		1,630	91.2%	157	8.8%	1	26.4	***
かかっていない	290		236	81.4%	54	18.6%			
その他の現在の受診の有無									
かかっている	1,073		986	91.9%	87	8.1%	1	18.8	***
かかかっていない	814		697	85.6%	117	14.4%			

カイ二乗検定 (Chi-square test) を使用 ***p<0.001, **p<0.01, *p<0.05, #p<0.1, n.s 有意差なし

表IV-33. 中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の震災後のソーシャルサポート×IES-R比較
出雲崎町

震災後のソーシャルサポート×IES-R		全体	IES-R24点以下		IES-R25点以上		df	χ^2/t	p	
		n	n	%	n	%				
		2,299	2,048	89.1%	251	10.9%				
地域社会の一員である	まったく感じない	87	54	62.1%	33	37.9%	3	60.3	***	<0.0001
	あまり感じない	276	210	76.1%	66	23.9%				
	ときどき感じる	478	415	86.8%	63	13.2%				
	いつも感じる	614	548	89.3%	66	10.7%				
ひとりであると孤独に感じる	まったく感じない	711	684	96.2%	27	3.8%	3	157.2	***	<0.0001
	あまり感じない	875	802	91.7%	73	8.3%				
	ときどき感じる	480	383	79.8%	97	20.2%				
	いつも感じる	128	84	65.6%	44	34.4%				
まわりから受け入れられていない	まったく感じない	864	816	94.4%	48	5.6%	3	68.2	***	<0.0001
	あまり感じない	976	857	87.8%	119	12.2%				
	ときどき感じる	277	222	80.1%	55	19.9%				
	いつも感じる	91	68	74.7%	23	25.3%				
わたしを必要としてくれる人がいる	まったく感じない	191	167	87.4%	24	12.6%	3	15.5	**	0.0014
	あまり感じない	402	342	85.1%	60	14.9%				
	ときどき感じる	677	597	88.2%	80	11.8%				
	いつも感じる	939	863	91.9%	76	8.1%				
地域で認められている	まったく感じない	312	274	87.8%	38	12.2%	3	9.9	*	0.0196
	あまり感じない	884	768	86.9%	116	13.1%				
	ときどき感じる	633	578	91.3%	55	8.7%				
	いつも感じる	356	325	91.3%	31	8.7%				
だれもわたしのことを理解してくれない	まったく感じない	721	684	94.9%	37	5.1%	3	79.8	***	<0.0001
	あまり感じない	1,031	917	88.9%	114	11.1%				
	ときどき感じる	278	217	78.1%	61	21.9%				
	いつも感じる	108	81	75.0%	27	25.0%				
相談できる友人・知人がいる	まったく感じない	199	172	86.4%	27	13.6%	3	21.1	***	0.0001
	あまり感じない	442	377	85.3%	65	14.7%				
	ときどき感じる	577	499	86.5%	78	13.5%				
	いつも感じる	955	881	92.3%	74	7.7%				
家族と相談できる	まったく感じない	144	121	84.0%	23	16.0%	3	24.0	***	<0.0001
	あまり感じない	290	242	83.4%	48	16.6%				
	ときどき感じる	502	436	86.9%	66	13.1%				
	いつも感じる	1,256	1,151	91.6%	105	8.4%				
2分類										
地域社会の一員である	感じない	363	264	72.7%	99	27.3%	1	49.3	***	0.0000
	感じる	1,092	963	88.2%	129	11.8%				
ひとりであると孤独に感じる	感じない	1,586	1,486	93.7%	100	6.3%	1	128.2	***	0.0000
	感じる	608	467	76.8%	141	23.2%				
まわりから受け入れられていない	感じない	1,840	1,673	90.9%	167	9.1%	1	45.7	***	0.0000
	感じる	368	290	78.8%	78	21.2%				
わたしを必要としてくれる人がいる	感じない	593	509	85.8%	84	14.2%	1	9.1	**	0.0025
	感じる	1,616	1,460	90.3%	156	9.7%				
地域で認められている	感じない	1,196	1,042	87.1%	154	12.9%	1	9.7	**	0.0019
	感じる	989	903	91.3%	86	8.7%				
だれもわたしのことを理解してくれない	感じない	1,752	1,601	91.4%	151	8.6%	1	64.0	***	0.0000
	感じる	386	298	77.2%	88	22.8%				
相談できる友人・知人がいる	感じない	641	549	85.6%	92	14.4%	1	8.9	**	0.0028
	感じる	1,532	1,380	90.1%	152	9.9%				
家族と相談できる	感じない	434	363	83.6%	71	16.4%	1	15.6	***	0.0001
	感じる	1,758	1,587	90.3%	171	9.7%				

カイ二乗検定 (Chi-square test) を使用 ***p<0.001, **p<0.01, *p<0.05, #p<0.1, n.s 有意差なし

3. まとめと今後のこころのケアの課題

今回の調査によると、「性別」においては女性が、「年齢階級」においては年齢が上がるほど、「住まい」については仮設住宅に住んでいる方が、「回答者の職業」では無職者やパートにおいて、IES-R 分析におけるハイリスク者の割合は高かった。そして、「家屋被害」においては被害程度が大きい程、又、身近な人の死亡者や負傷者がいる場合、ハイリスク者の割合は高かった。

一方、K6 を指標としての検討でも、上記対象者の精神的健康度の低さはある程度示唆されていた。

今後のこころのケアにおいては前記の検討結果等を参考にしつつ、復興が進むにつれて社会からの関心が薄れてしまう、震災における災害弱者等の生活再建の援助はもちろん、精神面における復興（回復）を続けて支援していく必要がある。

V 刈羽村の調査内容と結果

V 刈羽村の調査内容と結果

1. 刈羽村の概要と被害状況（H.21.7.1 現在）

■ 概要

新潟県のほぼ中央の日本海側に位置する刈羽村は、南を柏崎市、北を旧西山町に接し、また、長岡市に一部接した飛地をもつ。村を南北にJR越後線が縦断し、駅は荒浜駅と刈羽駅。また、村の中央を国道116号線、南部を国道8号線が、海側を国道352号線が走っている。さらに、東部を北陸自動車道が縦断しているので、交通はとても便利。

人口(推計人口)	4,732人(震災当時は4,782人)
世帯数	1,547世帯(震災当時は1,516世帯)
面積	26,28平方キロメートル

■ 被害状況

(1) 人的被害

死者	1人
けが人	116人(重傷31人、軽傷85人)

(2) 建物被害(住宅)

1,261棟（H.21.7.13 現在） ※ 震災当時の全世帯の約83%

全壊	166棟(166世帯)
大規模半壊	136棟(136世帯)
半壊	305棟(305世帯)
一部損壊	654棟(654世帯)

(3) 火災の状況

建物火災なし。また、その他の火災として東京電力柏崎刈羽原子力発電所3号機変圧器から火災が発生した。

(4) ライフラインの被害

電気	7月16日停電戸数 1,312戸 ⇒ 7月18日復旧
水道	1,312戸 ⇒ 7月31日全面給水
ガス	1,565戸 ⇒ 8月27日全面供給

(5) 避難人数

避難箇所 5箇所（ほかに福祉避難所 2箇所）
791人 ※ ピーク時（H.19.7.17現在）

(6) 応急仮設住宅

建設箇所 1箇所 200戸

2. 調査結果の分析と考察

(1) 回収結果

1) 調査対象人数・世帯数

対象世帯数			対象人数
仮設	仮設以外	合計	
133 世帯	1,400 世帯	1,533 世帯	4,358 名

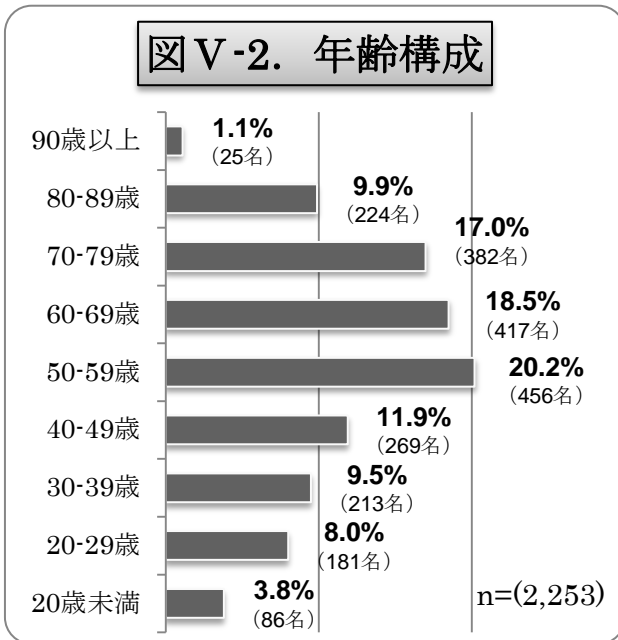
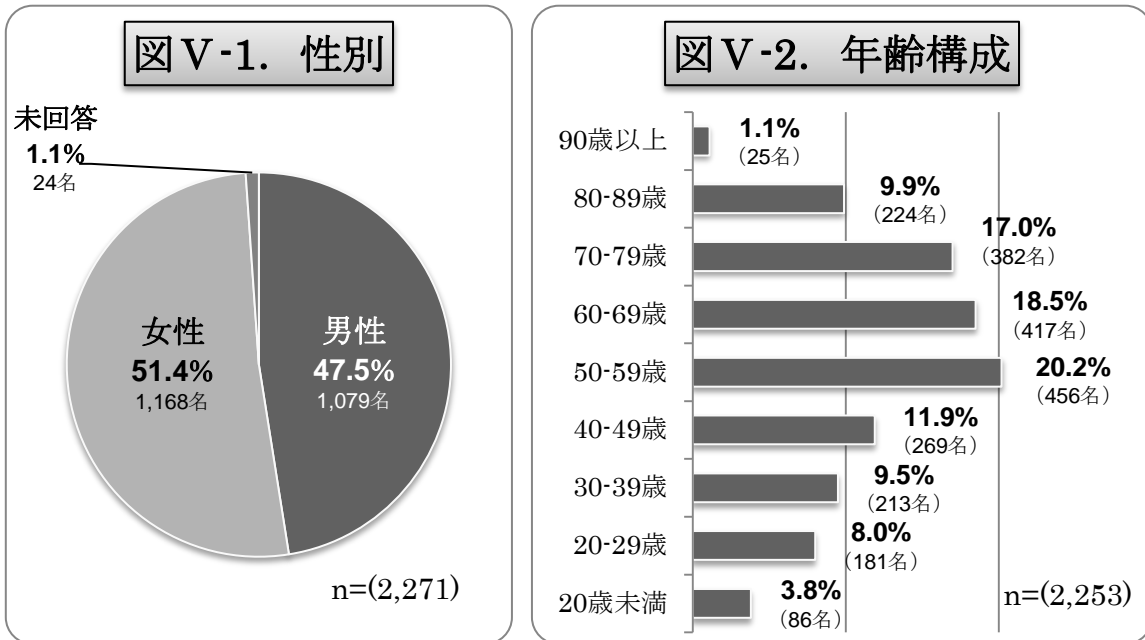
2) 回収状況

調査対象人数	回答者数	回収率
4,358 名	2,271 名	52.1%

(2) 調査参加者の属性

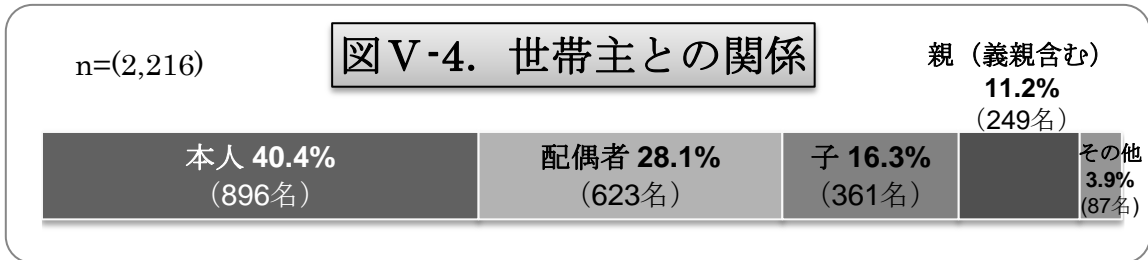
1) 性別・年齢と教育年数 (図V-1,2,3)

性別は男性 47.5%、女性 51.4% とほぼ同数であり、年齢は 50 歳代、60 歳代、70 歳代の方が多くて、合わせると約 6 割を占めていた。平均年齢は 56.3 歳 (標準偏差 19.1)、教育年数の平均は 11.7 年 (標準偏差 2.4) であった。



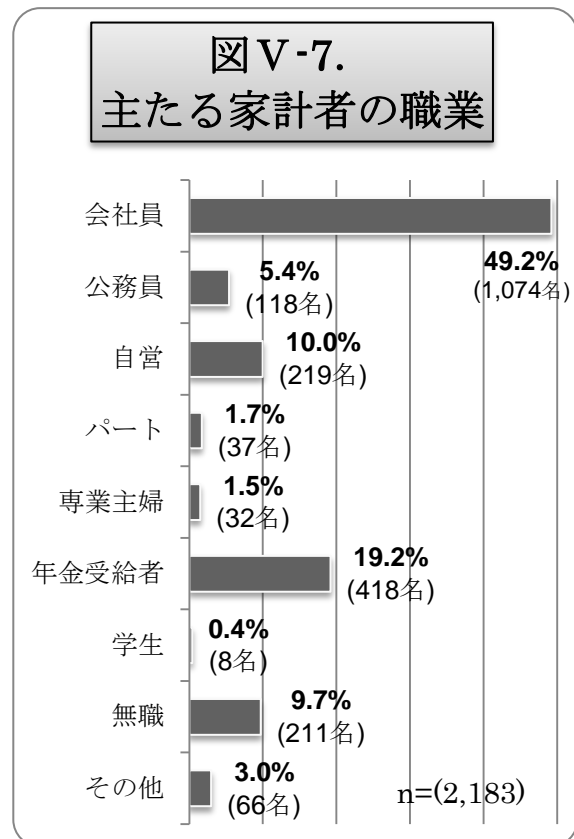
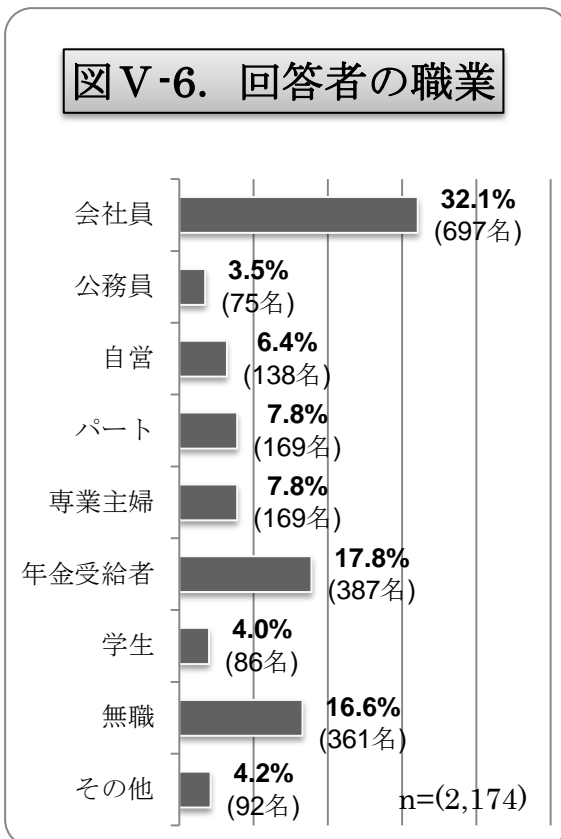
2) 世帯主との関係と住まい (図V-4,5)

世帯主との関係については、世帯主とその配偶者が合わせて約7割を占めていた。
仮設住宅の居住者は1割であった。



3) 調査時の職業 (図V-6,7)

1,074名 (49.2%) の世帯の主たる家計者の職業は会社員であった。

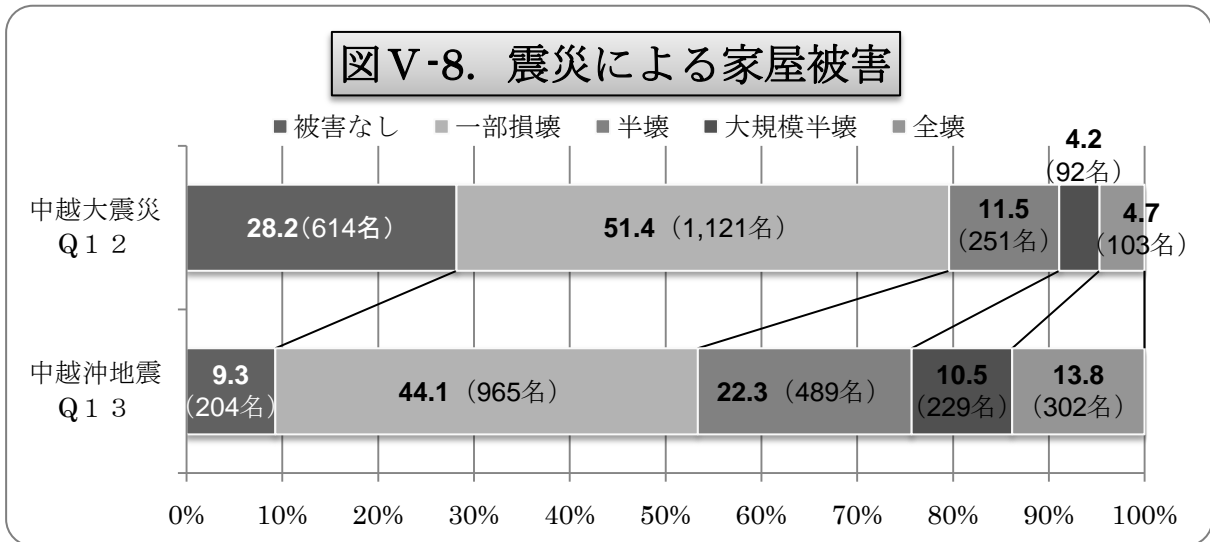


(3) 調査結果

1) 健康調査参加者の被災後の変化と震災による影響について

① 家屋被害の状況 (図V-8)

中越大震災・中越沖地震による家屋被害の状況に関して、中越大震災に比べ、中越沖地震で被害を受けた方は、「全壊」が約3倍、「大規模半壊」が2.5倍、「半壊」が約2倍に増加し、「被害なし」は、約1/3に減少していた。

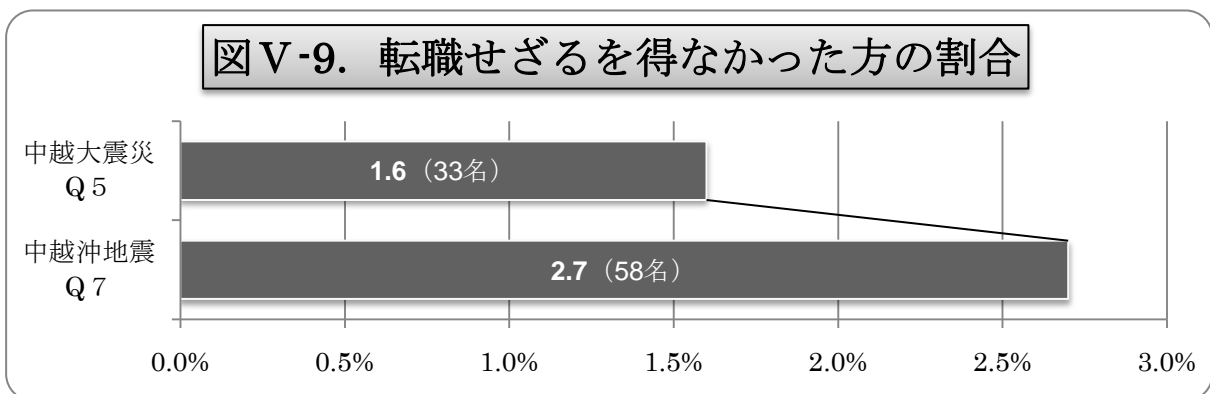


Q12. H16年10月の中越大震災に関し、行政による家屋被害認定結果について教えてください。

Q13. 昨年の中越沖地震に関し、行政による家屋被害認定結果について教えてください。

② 転職者の割合と暮らし向きの変化 (図V-9,10)

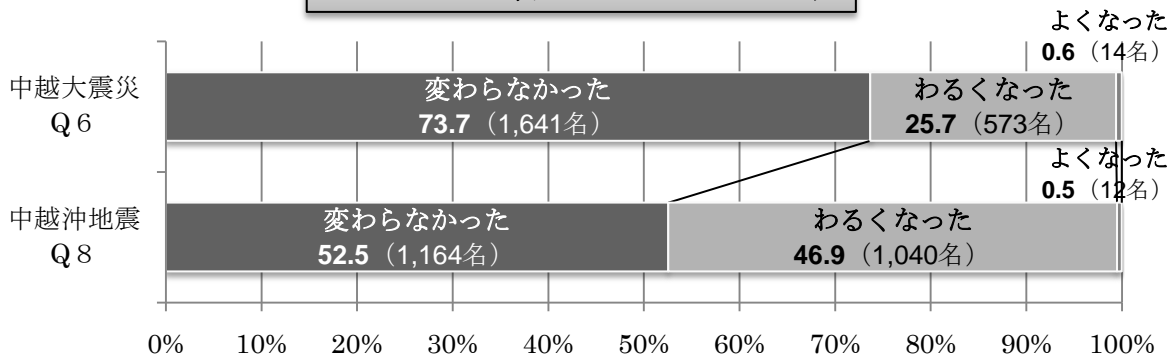
中越大震災により主たる家計者が転職せざるを得なかった方は1.6%、中越沖地震による方は2.7%と、転職者はそれほど多くなかったものの、中越大震災により暮らし向きが悪くなった方は25.7%、中越沖地震により暮らし向きが悪くなった方は46.9%に上った。



Q5. H16年10月の中越大震災を理由として、主たる家計者が転職せざるを得ませんでしたか。

Q7. 昨年の中越沖地震を理由として、主たる家計者が転職せざるを得ませんでしたか。

図V-10. 暮らし向きの変化



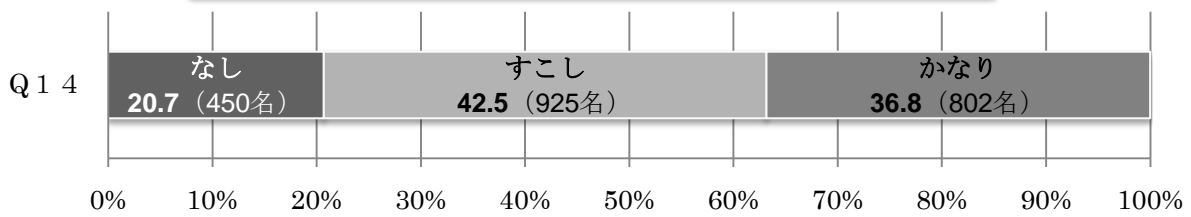
Q6. H16年10月の中越大震災をきっかけとして、暮らし向きは変わりましたか。

Q8. 昨年の中越沖地震をきっかけとして、暮らし向きは変わりましたか。

③ よくない経済的变化 (図V-11)

これらの震災による良くない経済的变化を少し感じている方は42.5%、かなり感じている方は36.8%に上り、両者を合わせると約8割を占めた。

図V-11. 震災による良くない経済的变化

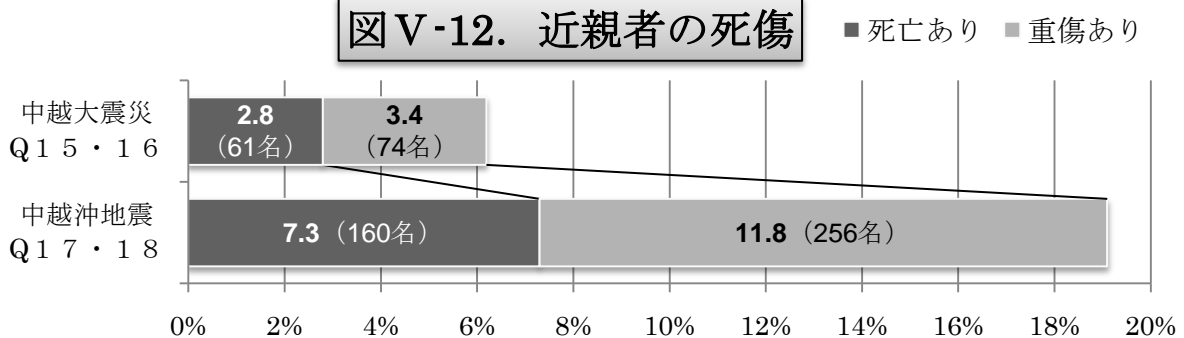


Q 1 4. これらの震災のために、ご自身(家庭)の良くない経済的变化を感じましたか。

④ 近親者の死傷 (図V-12)

身近に死亡者のいる方は中越大震災では61名(2.8%)、中越沖地震では160名(7.3%)と約2.6倍であった。そして、身近に重傷者のいる方は中越大震災では74名(3.4%)、中越沖地震では256名(11.8%)と約3.5倍であった。

図V-12. 近親者の死傷



Q15. H16年10月の中越大震災に関し、身近に亡くなられた方はいらっしゃいますか。

Q16. H16年10月の中越大震災に関し、身近で重傷を負われた方はいらっしゃいますか。

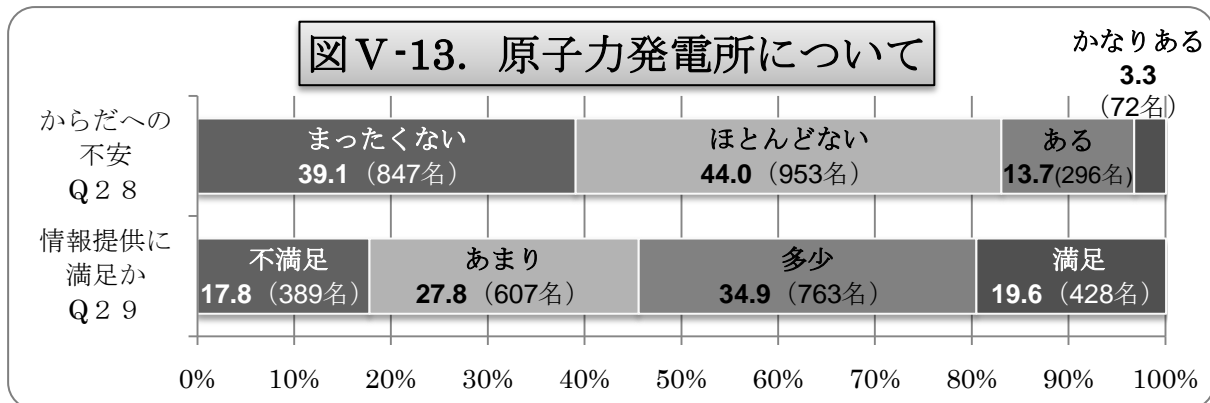
Q17. 昨年の中越沖地震に関し、身近に亡くなられた方はいらっしゃいますか。

Q18. 昨年の中越沖地震に関し、身近で重傷を負われた方はいらっしゃいますか。

身近な 死亡・重傷者 の内訳人数	質問番号	同居家族	別居家族	親戚	友人	知人	その他
	Q15	6	1	20	7	17	6
	Q16	12	1	14	8	16	7
	Q17	11	1	33	14	53	30
	Q18	44	7	58	16	67	24

⑤ 原子力発電所について (図V-13)

中越沖地震後の原子力安全については、健康への不安があると回答した方は2割に満たなかったが、情報提供に関しては、「不満足」もしくは「あまり」満足していない方は、45.5% (996名)であった。



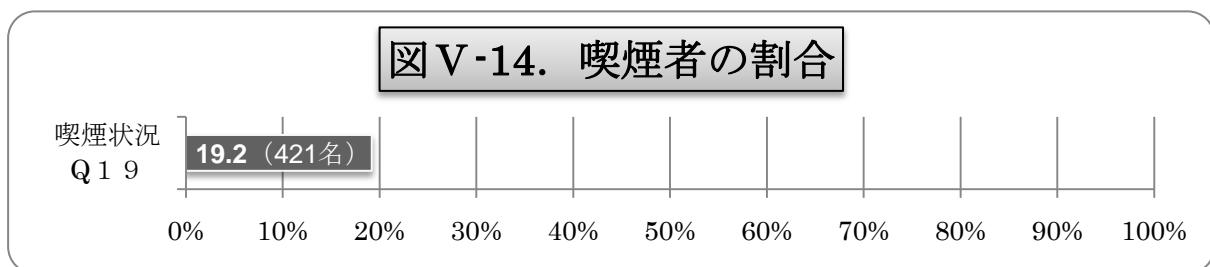
Q28. 昨年の中越沖地震による、原子力発電所からの微量の放射能流出は、人体に影響を与えるものではありませんが、現在、からだへの不安はありますか。

Q29. 現在、中越沖地震の発生により行政や会社の原子力発電所に関する情報提供に満足していますか。

2) 健康調査参加者の健康行動

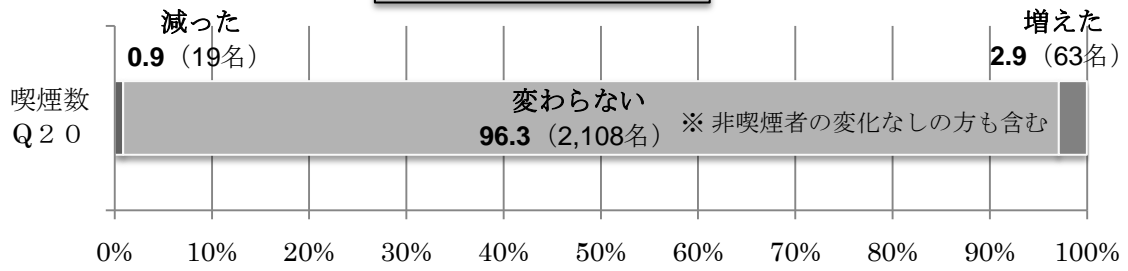
① 喫煙・飲酒状況 (図V-14,15,16)

たばこを吸う方の割合は約2割、お酒を飲む方は約4割だった。中越沖地震後に喫煙数が増加した方は2.9%、飲酒量が増加した方は4.6%であった。



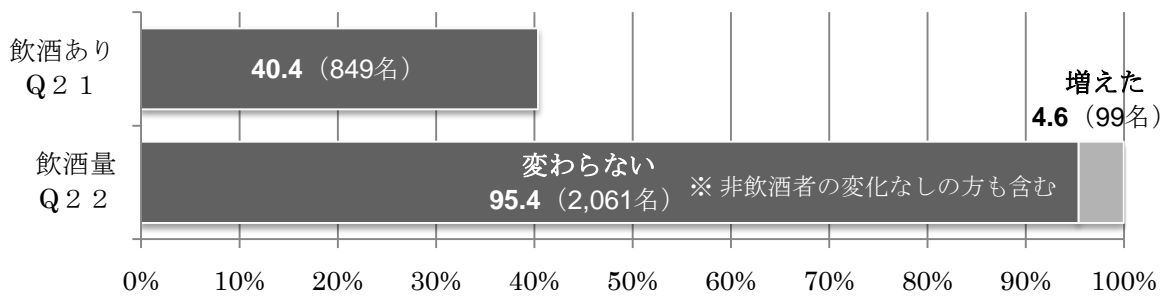
Q19. あなたは、たばこを吸いますか。

図 V-15. 喫煙数



Q20. 昨年の中越沖地震後、たばこを吸う本数は変わりましたか。

図 V-16. 飲酒状況



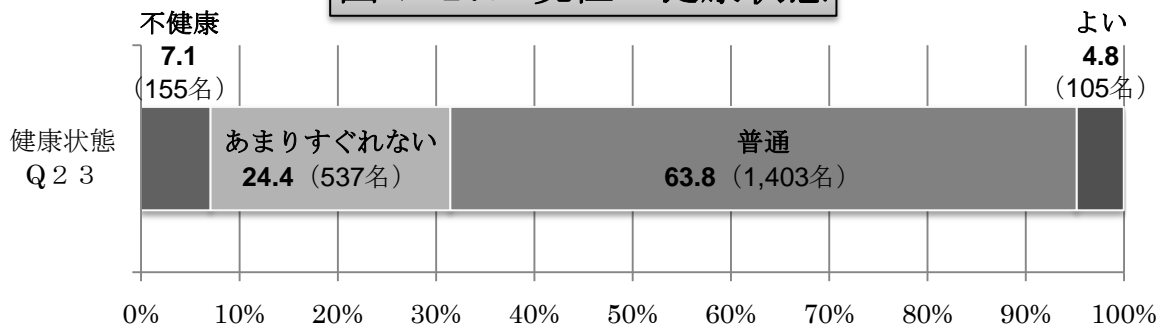
Q21. あなたは、お酒を飲みますか。

Q22. 昨年の中越沖地震後、お酒を飲む量がどれくらい増えましたか。

② 健康状態と体調・体重の変化 (図 V-17,18,19)

調査時点 (H20.9~10) に健康状態があまりよくない方は 3 割強、中越沖地震後に体調が悪化している方は 3 割弱、体重が増加した方は約 1 割、減少した方は約 2 割であった。

図 V-17. 現在の健康状態



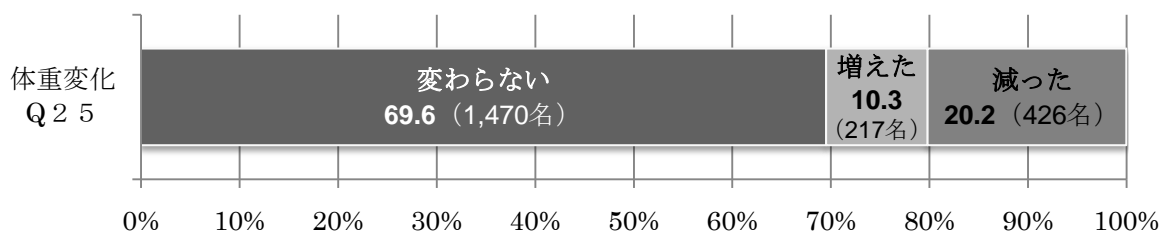
Q23. 現在、あなたの健康はいかがですか。

図 V-18. 体調の変化



Q24. 昨年の中越沖地震後、体調に変化はありますか。

図 V-19. 震災後の体重変化



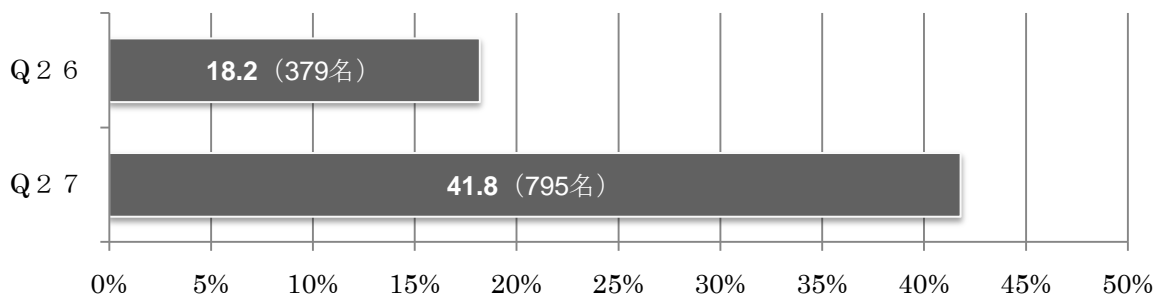
Q25. 昨年の中越沖地震後に体重の変化はありましたか。

③ 受診状況と主な病名 (図 V-20,表 V-1,2)

調査参加者の 379 名(18.2%)が中越沖地震後に新規の受診をしており、既往症については 795 名(41.8%)が「受診あり」と回答した。受診の際の主な病名(自己申告)については、ICD-10* によって分類したものを、次頁の表に示した。

*:ICD (International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems)-10, WHO が作成した「疾病及び関連保健問題の国際統計分類(第 10 回目修正版)」

図 V-20. 受診者の割合



Q26. 昨年の中越沖地震後に、新たに医者にかかりましたか。

Q27. 質問26以外で、現在、医者にかかっている主な病気は何ですか。

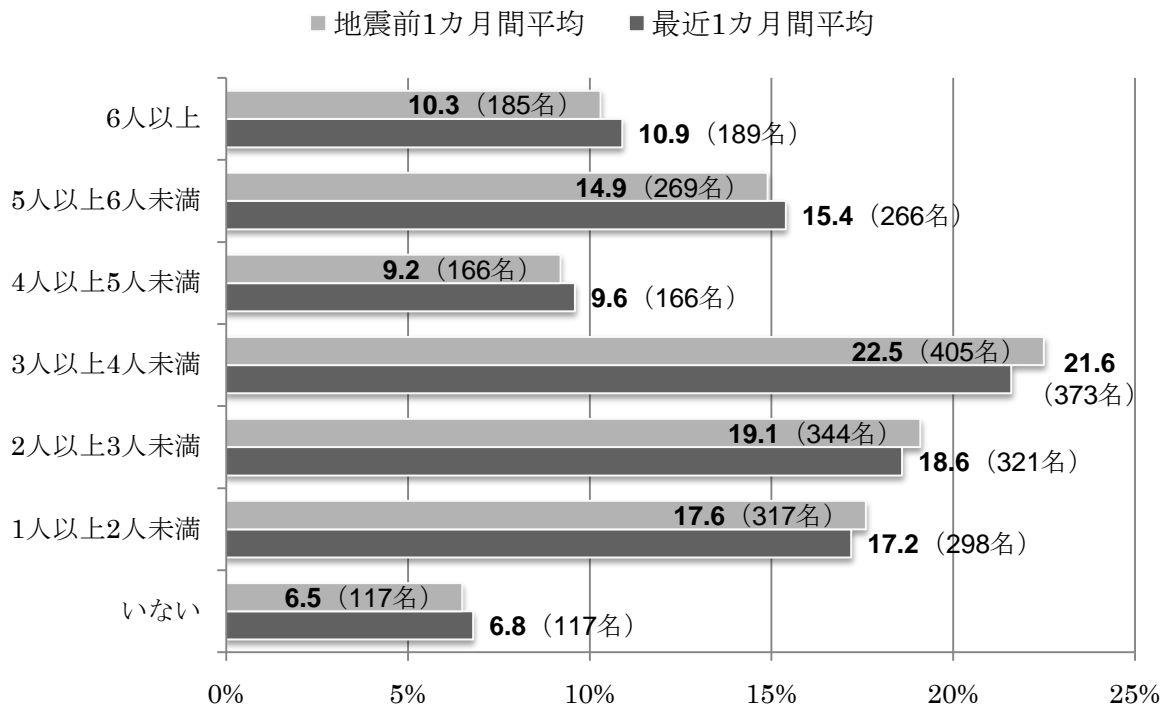
表V-1. 刈羽村における中越沖地震後の新規受診の際の ICD-10 の分類による主な病名（複数回答を含む）(n=357)			
ICD コード	分類見出し	n	%
A00-B99	感染症および寄生虫症	6	1.7
C00-D48	新生物	15	4.2
E00-E90	内分泌,栄養および代謝疾患	13	3.6
F00-F99	精神および行動の障害	21	5.9
G00-G99	神経系の疾患	21	5.9
H00-H59	眼および付属器の疾患	6	1.7
H60-H95	耳および乳様突起の疾患	14	3.9
I00-I99	循環器系の疾患	69	19.3
J00-J99	呼吸器系の疾患	42	11.8
K00-K93	消化器系の疾患	41	11.5
L00-L99	皮膚および皮下組織の疾患	11	3.1
M00-M99	筋骨格系および結合組織の疾患	82	23.0
N00-N99	尿路性器系の疾患	6	1.7
R00-R99	症状,徴候および異常臨床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	7	2.0
S00-T98	損傷,中毒およびその他の外因の影響	3	0.8
複数回答者（2項目選択）		16名	
計		357	100%
実人数		341	

表 V-2. 刈羽村における中越沖地震後の新規受診以外での現在の受診の際の ICD-10 の分類による主な病名（複数回答を含む）(n=941)			
ICD コード	分類見出し	n	%
A00-B99	感染症および寄生虫症	6	0.6
C00-D48	新生物	26	2.8
D50-D89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	18	1.9
E00-E90	内分泌,栄養および代謝疾患	154	16.4
F00-F99	精神および行動の障害	21	2.2
G00-G99	神経系の疾患	17	1.8
H00-H59	眼および付属器の疾患	30	3.2
H60-H95	耳および乳様突起の疾患	11	1.2
I00-I99	循環器系の疾患	447	47.5
J00-J99	呼吸器系の疾患	52	5.5
K00-K93	消化器系の疾患	53	5.6
L00-L99	皮膚および皮下組織の疾患	7	0.7
M00-M99	筋骨格系および結合組織の疾患	73	7.8
N00-N99	尿路性器系の疾患	26	2.8
複数回答者（2項目選択）		119名	
複数回答者（3項目選択）		6名	
計		941	100%
実人数		814	

3) 健康調査参加者の人とのつながりに関する調査（図 V-21,22,23）

次頁の図にソーシャルサポートの人数について示す。人数について範囲で回答した方については、その範囲の中央値を用いて集計した。悩みを相談できる人数については、3人以上4人未満が一番多くて2割ほど、それに2人以上3人未満、1人以上2人未満が2割弱で続くという構成に、地震前後で大きな変化は見られなかった。同居家族の人数についても、2人から4人が多く合わせて6割を占め、地震前後で大きな変化は見られなかった。図 V-23 にソーシャルサポートに関する認識について示す。8項目のうち、「私は、地域で認められている」という1項目を除く7項目で、約7割から8割の方が肯定的な認識を示していた。

図V-21. 悩みを相談できる人



図V-22. 同居人数

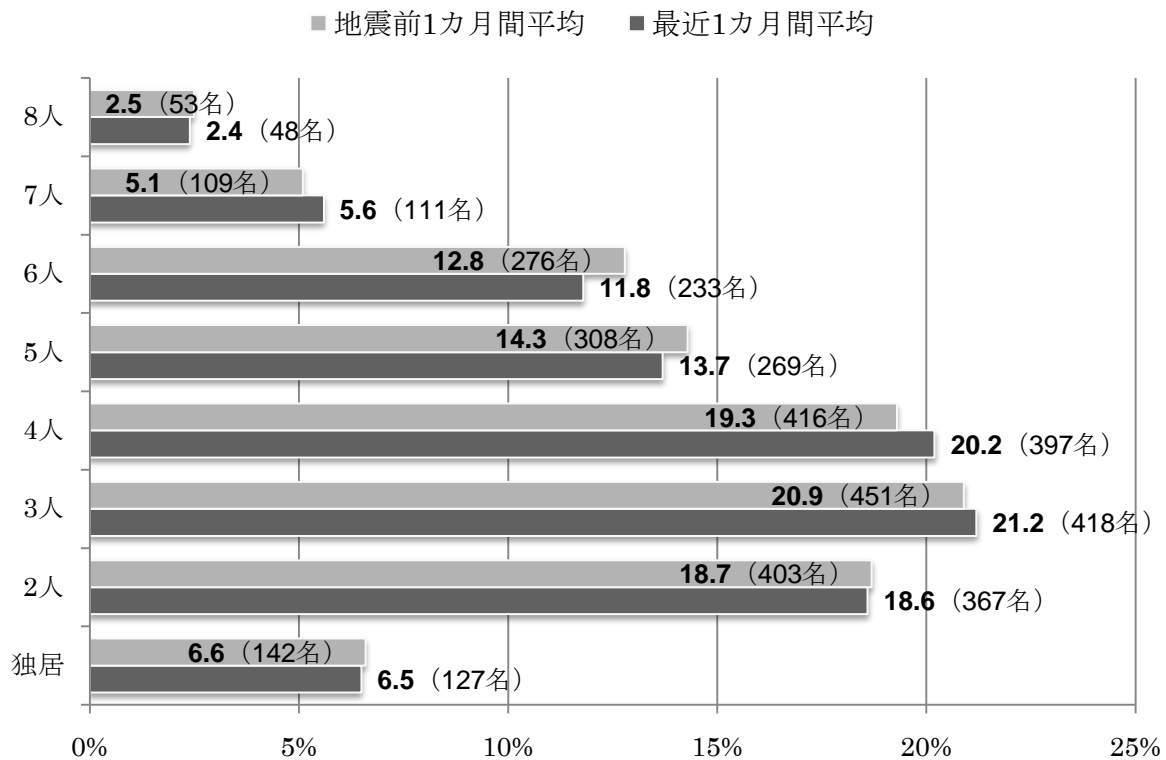
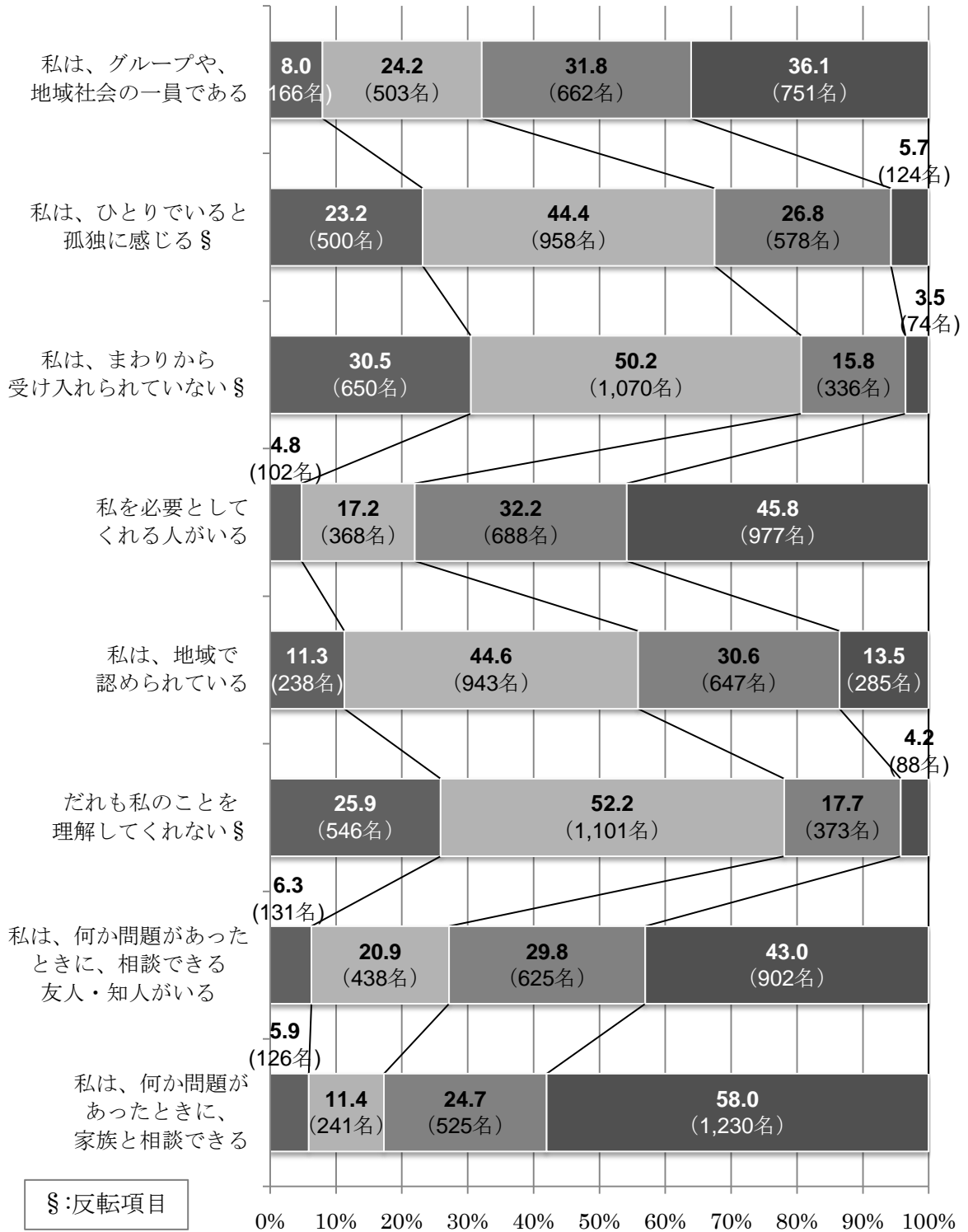


図 V-23. 人とのつながりに関する調査

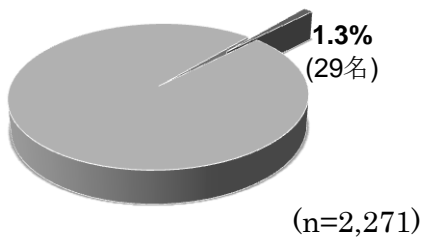
■ まったく感じない ■ あまり感じない ■ ときどき感じる ■ いつも感じる



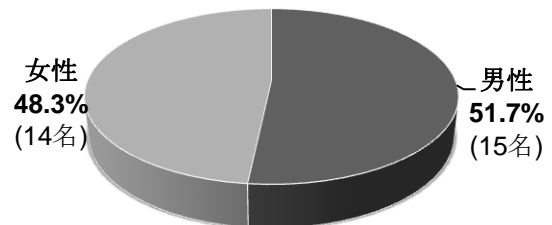
4) 健康調査参加者における個別相談希望者について (図V-24,25,26)

個別相談希望者の割合は全体の 1.3%(29 名)であり、男女ほぼ同数であった。年代別には70代の希望者が 51.7%と最も多く、次いで60代(17.2%)、30代(10.3%)の順に多く、60歳以上の方が 79.3%であった。

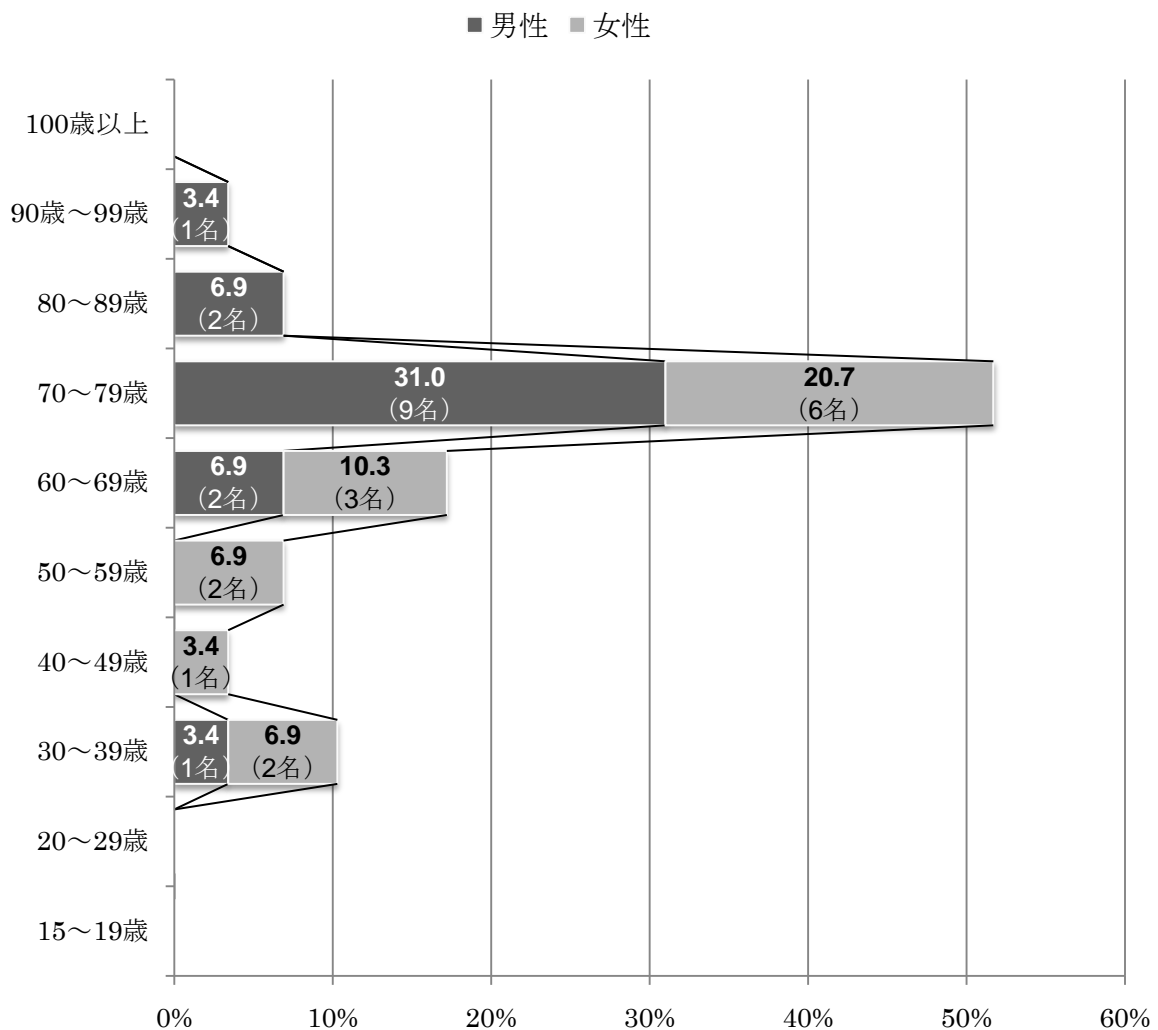
図V-24.希望者の割合



図V-25.希望者の男女比



図V-26.希望者の年齢構成



(4) 精神健康に関する調査結果の分析と考察

1) K10/6 分析と考察

表V-3にK10の各項目への回答者の分布を示す(図V-27参照)。表V-4にK10の合計点の分布を、表V-5にK6の合計点の分布を示す。K10で15点以上をとった方は350名(17.2%)、K6で5点以上をとった方は867名(41.8%)、10点以上をとった方は291名(14.0%)、13点以上をとった方は113名(5.5%)であった。

表V-6に、K6のカットオフ値を5点に設定した場合の、精神健康度別の基礎属性の比較を示す。K6で5点以上をとった精神健康度の低い方は、そうでない方に比べ、女性の割合が高く、平均教育年数が少し短かった。また住まいを仮設住宅かそれ以外かで比較したところ、精神健康度の低い方はそうでない方に比べ、仮設住宅に住んでいる方の割合が高くなっていた(13.3%と8.1%)。性別に関しては、K6のカットオフ値を10点(表V-7)、13点(表V-8)と動かしても、精神健康度別で有意差が見られた。平均教育年数と住まいに関しては、K6のカットオフ値を10点に設定したときには、有意差は見られなかった。

表V-9に、K6のカットオフ値を5点に設定した場合の、精神健康度別の震災による影響の比較を示す。地震による転職や暮らし向きの悪化、良くない経済的変化についてはいずれも、精神的健康度の低い群で、割合が高くなっていた。家屋の被害について、中越大震災時の被害については被災規模と精神健康度との間に有意な関連は見られなかったが、中越沖地震時の被災規模に関しては有意差が見られ、精神健康度の低い群で被災規模が大きい方の割合が高くなっている様子がうかがえた。また人的被害についても、精神健康度の低い群で、身近な人が重傷を負ったという経験をした方の割合が高くなっていた。中越沖地震後の原子力安全に関しては、精神健康度の低い群で、健康への不安を感じている方の割合、情報提供に不満を感じている方の割合が高くなっていた。K6のカットオフ値を10点に設定した場合でも、結果はほぼ同様であった(表V-10)。カットオフ値を13点に設定した場合でもほぼ同様であったが、地震後の転職者については該当者数が少ないため、結果の解釈には慎重を要する(表V-11)。

表V-12に、K6のカットオフ値を5点に設定した場合の、精神健康度別の健康や健康に関連する行動の比較を示す。精神健康度の低い群で、喫煙数が増加した方、飲酒量が増加した方の割合が高くなっていた。健康状態について不良と回答した方が、精神健康度の高い群においては2割に満たなかったのに対し、精神健康度の低い群においては約5割を占めていた。体調の悪化を感じている方の割合も、中越沖地震後に受診した方の割合も、それ以外で受診している方の割合も、精神健康度の低い群において高くなっていた。体重の変化にも精神健康度別で有意差が見られた。K6のカットオフ値を10点(表V-13)、13点(表V-14)に設定した場合でも、結果は同様であった。

表V-15に、K6のカットオフ値を5点に設定した場合の、精神健康度別のソーシャルサポートの認識についての比較を示す。8項目のうち、「相談できる友人・知人がいる」と「家族と相談できる」という2項目を除く6項目でいずれも、精神健康度の低い群で否定的な認識を示す方の割合が高かった。特に、「ひとりでいると孤独に感じる」という項目では、精神健康度の高い群では「そう感じる」と回答した方が2割ほどであったのに対し、精神健康度の低い群では、約5割の方が「そう感じる」と回答していた。また、「まわりから受け入れられていない」という項目や、「だれも理解してくれない」という項目についても、「そう感じる」と回答した方は精神健康度の高い群では1割ほどであったのに対し、健康度の低い群では、3割以上の方が「そう感じる」と回答しており、大きな差が見られた。K6のカットオフ値を10点に設定した場合(表V-16)と13点に設定した場合(表V-17)には、「相談できる友人・知人がいる」という1項目を除く7項目で有意差が示された。特に、「ひとりでいると孤独に感じる」という項目や、「まわりから受け入れられていない」という項目、「だれも理解してくれない」という項目で、2群間での差が大きいということに変わりは無かった。

表V-18に、K6のカットオフ値を5点に設定した場合の、仮設住宅居住者210名における精神健康度の性別比較を示す。仮設居住者とそれ以外の人を合わせた分析対象者全体2,075名においては、性別で精神健康度に有意差が見られたものの(表V-6)、仮設住宅居住者に限った場合には性別による有意差は見られなかった。K6のカットオフ値を10点(表V-19)、13点(表V-20)に設定した場合でも、結果は同様であった。

表V-21に、K6のカットオフ値を5点に設定した場合の、仮設住宅居住者以外の1,836名における精神健康度別の家屋被害の比較を示す。仮設居住者も合わせた分析対象者全体2,075名においては、中越沖地震による家屋被害の規模と精神健康度に有意な関係が見られたものの(表V-9)、仮設住宅居住者以外に限った場合には有意な関係は見られなかった。K6のカットオフ値を10点(表V-22)、13点(表V-23)に設定した場合でも同様に、仮設住宅居住者以外のものにおける地震による家屋被害の規模と精神健康度に、有意な関係は見られなかった。

表V-24に、K6のカットオフ値を5点に設定した場合の、年齢階級別における精神健康度の性別比較を示す。70歳代と80歳以上の集団では、男性より女性において精神健康度の悪い方の割合が高かった。その他の年齢階級においては性別で精神健康度の悪い方の割合に有意差は見られなかった。K6のカットオフ値を10点(表V-25)に設定した場合でも結果は同様であったが、13点(表V-26)に設定した場合は、70歳代の集団における有意差は見られず、80歳以上の集団においてのみ、男性より女性の方が精神健康度の悪い方の割合が高くなっていた。

表V-27に、2004年の中越大震災と2007年の中越沖地震の2度の地震の際の家屋の被害規模の関係を示す。中越大震災の際に被害規模の大きかったもので、中越沖地震においても被害規模が大きいものの割合が高くなっている傾向がうかがえた($\chi^2(16) = 697.24, P < 0.001$)。家屋の被害規模を、「なし」もしくは「一部損壊」であったものと、「半壊」か「大規模半壊」か「全壊」であったものに2分して比較しても、同様の関係がうかがえた(表V-28) ($\chi^2(1) =$

196.89, $P < 0.001$)。表V-29に、2度の地震でともに半壊以上の家屋被害を受けた方とそうでない方の属性の比較を示す。2度の地震でともに半壊以上の家屋被害を受けた方には高齢者が多い様子が見えがえた。

図V-28にK6の合計点の度数分布を、図V-29にIES-Rの合計点の度数分布を示す。いずれもおおむね、得点の低いものが圧倒的に多く、右に長く裾をひく分布であった。図V-30に、K6の合計点を縦軸に、IES-Rの合計点を横軸にとって描いた散布図を示す。両者には相関が見られた。また、主観的な健康について、良好と回答した方と不良と回答した方の2群に分け、それぞれにおけるK6とIES-Rの散布図を示した(図V-31,32)。主観的に不健康な群においてはK6の合計点もIES-Rの合計点も均一に分布しているのに対し、主観的に健康な群においては、K6の合計点もIES-Rの合計点もともに、低得点の領域に集中していることが見て取れる。

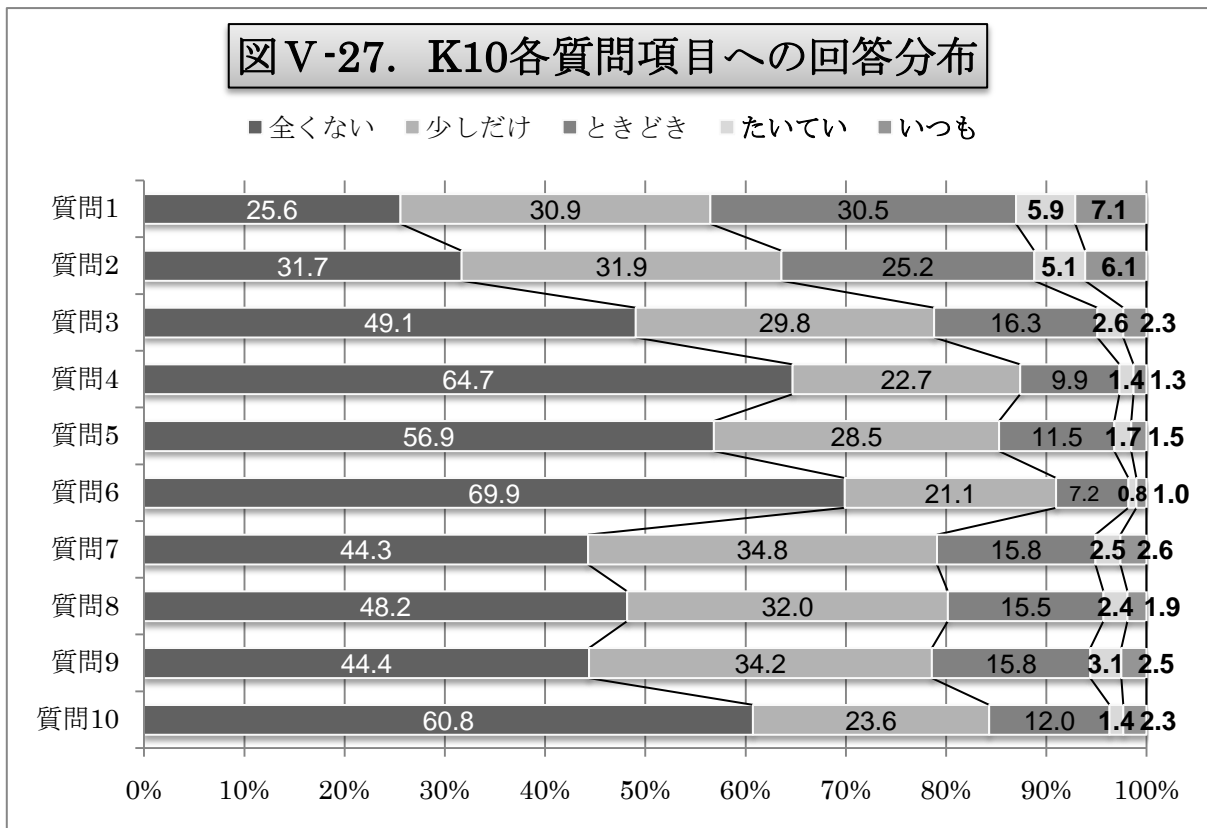
考察

地震による影響について、「仮設住宅の居住者、地震により暮らし向きが悪化した、良くない経済的变化を感じている、身近な人に重傷者がいた、中越沖地震における家屋の被害が大きかった」などの方の中に、精神的健康度の低い方が多く含まれていることが示された。また、「主観的健康や体調、医療機関への受診、喫煙や飲酒の増加、体重の増減」など、身体的な健康と精神的健康には強い関連が見られた。さらに、「主観的健康度の低い方」ではソーシャルサポートに対する認識が否定的な方の割合が高かった。しかし今回提示した結果は横断調査の結果であり、統計的に有意な関連が見出されたこれらの変数に関して、これらが原因で精神的健康度が悪化したという因果関係までは示していない。また、各セルについて、場合によっては該当者が非常に少なくなっている場合もあるため、検定結果の解釈に関しては慎重を要する。

表V-3. 刈羽村における中越沖地震1年後のこころと身体の健康調査参加者の
K10各項目への回答の分布(n=2,271)

	全くない		少しだけ		ときどき		たいてい		いつも	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
1 理由もなく疲れ切ったように感じましたか。	560	25.6	675	30.9	667	30.5	128	5.9	155	7.1
2 神経過敏に感じましたか。§	684	31.7	690	31.9	545	25.2	110	5.1	132	6.1
3 どうしても落ち着けないくらいに、神経過敏に感じましたか。	1,058	49.1	642	29.8	351	16.3	57	2.6	49	2.3
4 絶望的だと感じましたか。§	1,389	64.7	487	22.7	213	9.9	30	1.4	28	1.3
5 そわそわ、落ち着かなく感じましたか。§	1,229	56.9	615	28.5	249	11.5	37	1.7	32	1.5
6 じっと座ってられないほど、落ち着かなく感じましたか。	1,513	69.9	456	21.1	156	7.2	17	0.8	22	1.0
7 ゆううつに感じましたか。	962	44.3	756	34.8	344	15.8	54	2.5	56	2.6
8 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか。§	1,044	48.2	694	32.0	335	15.5	52	2.4	41	1.9
9 何をするのも骨折りだと感じましたか。§	964	44.4	741	34.2	342	15.8	67	3.1	55	2.5
10 自分は価値のない人間だと感じましたか。§	1,313	60.8	509	23.6	259	12.0	31	1.4	49	2.3

§:K6の質問項目



表V-4. 刈羽村における中越沖地震1年後の
こころと身体健康調査参加者の
K10合計点（範囲0-40）（n=2,271）

	n	%	累積割合
K10合計点			
0	327	16.1	16.1
1	127	6.2	22.3
2	123	6.0	28.3
3	121	5.9	34.3
4	129	6.3	40.6
5	125	6.1	46.7
6	104	5.1	51.8
7	88	4.3	56.1
8	87	4.3	60.4
9	80	3.9	64.3
10	109	5.4	69.7
11	81	4.0	73.7
12	76	3.7	77.4
13	67	3.3	80.7
14	44	2.2	82.8
15	44	2.2	85.0
16	49	2.4	87.4
17	36	1.8	89.2
18	34	1.7	90.8
19	29	1.4	92.3
20	40	2.0	94.2
21	15	0.7	95.0
22	17	0.8	95.8
23	16	0.8	96.6
24	10	0.5	97.1
25	4	0.2	97.3
26	6	0.3	97.6
27	7	0.3	97.9
28	4	0.2	98.1
29	1	0.1	98.1
30	3	0.2	98.3
31	3	0.2	98.4
32	5	0.3	98.7
33	6	0.3	99.0
34	3	0.2	99.1
35	4	0.2	99.3
36	4	0.2	99.5
37	2	0.1	99.6
38	3	0.2	99.8
39	1	0.1	99.8
40	4	0.2	100.0
15点以上（再掲）	350	17.2	

表V-5. 出雲崎町における中越沖地震1年後の
こころと身体健康調査参加者の
K6合計点（範囲0-24）（n=2,271）

	n	%	累積割合
K6合計点			
0	432	20.8	20.8
1	239	11.5	32.3
2	206	9.9	42.3
3	171	8.2	50.5
4	160	7.7	58.2
5	129	6.2	64.4
6	161	7.8	72.2
7	126	6.1	78.3
8	91	4.4	82.7
9	69	3.3	86.0
10	77	3.7	89.7
11	46	2.2	91.9
12	55	2.7	94.6
13	33	1.6	96.1
14	17	0.8	97.0
15	15	0.7	97.7
16	3	0.1	97.8
17	7	0.3	98.2
18	7	0.3	98.5
19	5	0.2	98.8
20	5	0.2	99.0
21	5	0.2	99.2
22	6	0.3	99.5
23	3	0.1	99.7
24	7	0.3	100.0
5点以上（再掲）	867	41.8	
10点以上（再掲）	291	14.0	
13点以上（再掲）	113	5.5	

表V-6. 刈羽村における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の基本的属性に関するK6のカットオフ値を5点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,075)

	全体		K6: 5点未満		K6: 5点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,075		1,208		867				
性別									
男性	1,011	49.0	631	52.5	380	44.1	1	14.2 †	<0.001
女性	1,051	51.0	570	47.5	481	55.9			
年齢階級									
20歳未満	84	4.1	64	5.3	20	2.3	8	19.2 *	0.014
20-29歳	179	8.7	115	9.6	64	7.4			
30-39歳	208	10.1	111	9.2	97	11.2			
40-49歳	261	12.6	149	12.4	112	13.0			
50-59歳	439	21.3	244	20.3	195	22.6			
60-69歳	380	18.4	227	18.9	153	17.7			
70-79歳	320	15.5	183	15.2	137	15.9			
80-89歳	176	8.5	97	8.1	79	9.2			
90歳以上	19	0.9	13	1.1	6	0.7			
平均年齢 (標準偏差)	55.0	(18.9)	54.4	(19.4)	55.9	(18.2)	2064	-1.8	0.072
教育年数 (標準偏差)	11.8	(2.4)	11.9	(2.4)	11.7	(2.3)	2018	2.1 *	0.037
世帯主との関係									
本人	823	40.4	503	42.3	320	37.6	4	11.0 *	0.026
配偶者	567	27.8	304	25.6	263	30.9			
子	340	16.7	210	17.7	130	15.3			
親 (義親も含む)	225	11.0	122	10.3	103	12.1			
その他	84	4.1	49	4.1	35	4.1			
住まい									
仮設住宅	210	10.3	96	8.1	114	13.3	1	15.0 †	<0.001
仮設以外	1,836	89.7	1,095	91.9	741	86.7			
回答者の職業									
会社員	669	33.2	401	34.0	268	32.1	8	23.0 †	0.003
公務員	74	3.7	49	4.2	25	3.0			
自営	133	6.6	82	7.0	51	6.1			
パート	160	7.9	89	7.5	71	8.5			
専業主婦	155	7.7	80	6.8	75	9.0			
年金受給者	336	16.7	196	16.6	140	16.8			
学生	85	4.2	66	5.6	19	2.3			
無職	319	15.8	171	14.5	148	17.7			
その他	84	4.2	46	3.9	38	4.6			
主たる家計者の職業									
会社員	1,027	50.8	600	50.8	427	51.0	8	18.1 *	0.021
公務員	113	5.6	82	6.9	31	3.7			
自営	206	10.2	123	10.4	83	9.9			
パート	35	1.7	17	1.4	18	2.2			
専業主婦	27	1.3	11	0.9	16	1.9			
年金受給者	357	17.7	211	17.9	146	17.4			
学生	8	0.4	6	0.5	2	0.2			
無職	184	9.1	100	8.5	84	10.0			
その他	63	3.1	32	2.7	31	3.7			

Chi-square tests or t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表V-7. 刈羽村における中越沖地震1年後のこころと身体の健康調査参加者の基本的属性に関するK6のカットオフ値を10点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,075)

	全体		K6: 10点未満		K6: 10点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,075		1,784		291				
性別									
男性	1,011	49.0	889	50.1	122	42.5	1	5.7 *	0.017
女性	1,051	51.0	886	49.9	165	57.5			
年齢階級							8	10.8	0.215
20歳未満	84	4.1	73	4.1	11	3.8			
20-29歳	179	8.7	154	8.7	25	8.7			
30-39歳	208	10.1	166	9.3	42	14.5			
40-49歳	261	12.6	223	12.6	38	13.2			
50-59歳	439	21.3	383	21.6	56	19.4			
60-69歳	380	18.4	337	19.0	43	14.9			
70-79歳	320	15.5	277	15.6	43	14.9			
80-89歳	176	8.5	147	8.3	29	10.0			
90歳以上	19	0.9	17	1.0	2	0.7			
平均年齢 (標準偏差)	55.0	(18.9)	55.2	(18.8)	54.1	(19.3)	2064	0.9	0.354
教育年数 (標準偏差)	11.8	(2.4)	11.9	(2.4)	11.6	(2.3)	2018	1.7	0.096
世帯主との関係							4	2.2	0.699
本人	823	40.4	719	41.0	104	36.5			
配偶者	567	27.8	481	27.4	86	30.2			
子	340	16.7	291	16.6	49	17.2			
親 (義親も含む)	225	11.0	192	11.0	33	11.6			
その他	84	4.1	71	4.1	13	4.6			
住まい							1	0.6	0.457
仮設住宅	210	10.3	177	10.1	33	11.5			
仮設以外	1,836	89.7	1,582	89.9	254	88.5			
回答者の職業							8	17.1 *	0.029
会社員	669	33.2	579	33.3	90	32.4			
公務員	74	3.7	65	3.7	9	3.2			
自営	133	6.6	117	6.7	16	5.8			
パート	160	7.9	137	7.9	23	8.3			
専業主婦	155	7.7	130	7.5	25	9.0			
年金受給者	336	16.7	303	17.4	33	11.9			
学生	85	4.2	76	4.4	9	3.2			
無職	319	15.8	267	15.4	52	18.7			
その他	84	4.2	63	3.6	21	7.6			
主たる家計者の職業							8	12.0	0.151
会社員	1,027	50.8	884	50.8	143	51.1			
公務員	113	5.6	103	5.9	10	3.6			
自営	206	10.2	178	10.2	28	10.0			
パート	35	1.7	30	1.7	5	1.8			
専業主婦	27	1.3	22	1.3	5	1.8			
年金受給者	357	17.7	316	18.2	41	14.6			
学生	8	0.4	6	0.3	2	0.7			
無職	184	9.1	153	8.8	31	11.1			
その他	63	3.1	48	2.8	15	5.4			

Chi-square tests or t-test were

*: p<0.05, †: p<0.01

表V-8. 刈羽村における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の基本的属性に関するK6のカットオフ値を13点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,075)

	全体		K6: 13点未満		K6: 13点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,075		1,962		113				
性別									
男性	1,011	49.0	967	49.6	44	38.9	1	4.9	* 0.027
女性	1,051	51.0	982	50.4	69	61.1			
年齢階級									
20歳未満	84	4.1	81	4.2	3	2.7	8	10.7	0.222
20-29歳	179	8.7	167	8.6	12	10.6			
30-39歳	208	10.1	192	9.8	16	14.2			
40-49歳	261	12.6	252	12.9	9	8.0			
50-59歳	439	21.3	414	21.2	25	22.1			
60-69歳	380	18.4	364	18.6	16	14.2			
70-79歳	320	15.5	303	15.5	17	15.0			
80-89歳	176	8.5	161	8.2	15	13.3			
90歳以上	19	0.9	19	1.0	0	0.0			
平均年齢 (標準偏差)	55.0	(18.9)	55.0	(18.8)	55.3	(20.0)	2064	-0.2	0.852
教育年数 (標準偏差)	11.8	(2.4)	11.9	(2.4)	11.3	(2.3)	2018	2.4	* 0.017
世帯主との関係									
本人	823	40.4	787	40.8	36	32.7	4	2.9	0.581
配偶者	567	27.8	532	27.6	35	31.8			
子	340	16.7	320	16.6	20	18.2			
親 (義親も含む)	225	11.0	211	10.9	14	12.7			
その他	84	4.1	79	4.1	5	4.6			
住まい									
仮設住宅	210	10.3	192	9.9	18	16.1	1	4.3	* 0.037
仮設以外	1,836	89.7	1,742	90.1	94	83.9			
回答者の職業									
会社員	669	33.2	639	33.5	30	27.8	8	7.7	0.458
公務員	74	3.7	70	3.7	4	3.7			
自営	133	6.6	125	6.6	8	7.4			
パート	160	7.9	152	8.0	8	7.4			
専業主婦	155	7.7	144	7.6	11	10.2			
年金受給者	336	16.7	321	16.8	15	13.9			
学生	85	4.2	83	4.4	2	1.9			
無職	319	15.8	296	15.5	23	21.3			
その他	84	4.2	77	4.0	7	6.5			
主たる家計者の職業									
会社員	1,027	50.8	977	51.1	50	46.3	8	5.9	0.655
公務員	113	5.6	108	5.7	5	4.6			
自営	206	10.2	191	10.0	15	13.9			
パート	35	1.7	32	1.7	3	2.8			
専業主婦	27	1.3	26	1.4	1	0.9			
年金受給者	357	17.7	341	17.8	16	14.8			
学生	8	0.4	8	0.4	0	0.0			
無職	184	9.1	171	8.9	13	12.0			
その他	63	3.1	58	3.0	5	4.6			

Chi-square tests or t-test were

*: p<0.05, †: p<0.01

表 V-9. 刈羽村における中越沖地震 1 年後のこころと身体 の健康調査参加者の震災による影響に関する K6 のカットオフ値を 5 点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,075)

	全体		K6: 5 点未満		K6: 5 点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,075		1,208		867				
中越大震災により									
転職せざるを得なかった	31	1.6	10	0.9	21	2.6	1	9.2	† 0.002
暮らし向きが悪くなった	512	24.9	197	16.4	315	36.9	1	111.7	† <0.001
中越沖地震により									
転職せざるを得なかった	55	2.8	23	2.0	32	3.9	1	6.6	* 0.010
暮らし向きが悪くなった	957	46.8	424	35.5	533	62.6	1	145.7	† <0.001
これらの地震による良くない経済的変化									
なし	418	20.6	320	27.2	98	11.5	2	127.6	† <0.001
少し	860	42.4	530	45.0	330	38.8			
かなり	750	37.0	327	27.8	423	49.7			
中越大震災時の家屋被害									
なし	590	29.2	363	30.9	227	26.9	4	6.6	0.157
一部損壊	1,037	51.3	602	51.2	435	51.5			
半壊	223	11.0	120	10.2	103	12.2			
大規模半壊	81	4.0	41	3.5	40	4.7			
全壊	90	4.5	50	4.3	40	4.7			
中越沖地震時の家屋被害									
なし	193	9.5	128	10.9	65	7.7	4	19.1	* 0.001
一部損壊	889	43.9	536	45.5	353	41.5			
半壊	453	22.4	265	22.5	188	22.1			
大規模半壊	210	10.4	105	8.9	105	12.4			
全壊	282	13.9	143	12.2	139	16.4			
中越大震災による									
身近な人の死亡あり	56	2.8	27	2.3	29	3.4	1	2.4	0.121
身近な人の重傷あり	65	3.2	30	2.5	35	4.1	1	4.1	* 0.044
中越沖地震による									
身近な人の死亡あり	145	7.1	78	6.6	67	7.9	1	1.3	0.249
身近な人の重傷あり	243	12.0	122	10.3	121	14.3	1	7.5	† 0.006
中越沖地震後の原子力安全について									
健康への不安あり	335	16.6	141	12.0	194	23.2	1	44.5	† <0.001
情報提供に不満あり	936	45.9	496	41.9	440	51.5	1	18.7	† <0.001

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表 V-10. 刈羽村における中越沖地震 1 年後のこころと身体 の健康調査参加者の震災による影響に関する K6 のカットオフ値を 10 点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,075)

	全体		K6: 10 点未満		K6: 10 点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,075		1,784		291				
中越大震災により									
転職せざるを得なかった	31	1.6	21	1.2	10	3.7	1	9.3	† 0.002
暮らし向きが悪くなった	512	24.9	380	21.5	132	45.8	1	78.2	† <0.001
中越沖地震により									
転職せざるを得なかった	55	2.8	46	2.7	9	3.3	1	0.3	0.558
暮らし向きが悪くなった	957	46.8	765	43.5	192	67.4	1	56.3	† <0.001
これらの地震による良くない経済的変化									
なし	418	20.6	385	22.1	33	11.5	2	61.7	† <0.001
少し	860	42.4	771	44.3	89	31.0			
かなり	750	37.0	585	33.6	165	57.5			
中越大震災時の家屋被害									
なし	590	29.2	505	29.1	85	29.9	4	2.3	0.688
一部損壊	1,037	51.3	894	51.5	143	50.4			
半壊	223	11.0	194	11.2	29	10.2			
大規模半壊	81	4.0	71	4.1	10	3.5			
全壊	90	4.5	73	4.2	17	6.0			
中越沖地震時の家屋被害									
なし	193	9.5	171	9.8	22	7.8	4	10.2	* 0.038
一部損壊	889	43.9	769	44.1	120	42.3			
半壊	453	22.4	400	23.0	53	18.7			
大規模半壊	210	10.4	173	9.9	37	13.0			
全壊	282	13.9	230	13.2	52	18.3			
中越大震災による									
身近な人の死亡あり	56	2.8	48	2.7	8	2.8	1	0.0	0.945
身近な人の重傷あり	65	3.2	50	2.9	15	5.2	1	4.5	* 0.033
中越沖地震による									
身近な人の死亡あり	145	7.1	128	7.3	17	6.0	1	0.1	0.801
身近な人の重傷あり	243	12.0	196	11.3	47	16.5	1	6.4	* 0.012
中越沖地震後の原子力安全について									
健康への不安あり	335	16.6	239	13.8	96	34.2	1	72.4	† <0.001
情報提供に不満あり	936	45.9	758	43.2	178	62.2	1	35.7	† <0.001

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表 V-11. 刈羽村における中越沖地震 1 年後のこころと身体 の健康調査参加者の震災による影響に関する K6 のカットオフ値を 13 点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,075)

	全体		K6: 13 点未満		K6: 13 点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,075		1,962		113				
中越大震災により									
転職せざるを得なかった	31	1.6	28	1.5	3	3.0	1	1.4	0.242
暮らし向きが悪くなった	512	24.9	448	23.1	64	57.1	1	65.7	† <0.001
中越沖地震により									
転職せざるを得なかった	55	2.8	51	2.7	4	4.0	1	0.5	0.462
暮らし向きが悪くなった	957	46.8	868	44.9	89	80.9	1	54.3	† <0.001
これらの地震による良くない経済的変化									
なし	418	20.6	413	21.6	5	4.5	2	51.6	† <0.001
少し	860	42.4	829	43.3	31	27.7			
かなり	750	37.0	674	35.2	76	67.9			
中越大震災時の家屋被害									
なし	590	29.2	558	29.2	32	28.8	4	2.2	0.698
一部損壊	1,037	51.3	981	51.4	56	50.5			
半壊	223	11.0	212	11.1	11	9.9			
大規模半壊	81	4.0	77	4.0	4	3.6			
全壊	90	4.5	82	4.3	8	7.2			
中越沖地震時の家屋被害									
なし	193	9.5	185	9.7	8	7.3	4	9.5	0.050
一部損壊	889	43.9	845	44.1	44	40.0			
半壊	453	22.4	434	22.6	19	17.3			
大規模半壊	210	10.4	196	10.2	14	12.7			
全壊	282	13.9	257	13.4	25	22.7			
中越大震災による									
身近な人の死亡あり	56	2.8	51	2.7	5	4.6	1	1.4	0.229
身近な人の重傷あり	65	3.2	56	2.9	9	8.2	1	9.4	† 0.002
中越沖地震による									
身近な人の死亡あり	145	7.1	138	7.2	7	6.4	1	0.1	0.745
身近な人の重傷あり	243	12.0	223	11.6	20	18.2	1	4.2	* 0.040
中越沖地震後の原子力安全について									
健康への不安あり	335	16.6	296	15.6	39	35.1	1	29.0	† <0.001
情報提供に不満あり	936	45.9	858	44.5	78	70.9	1	29.3	† <0.001

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表 V-12. 刈羽村における中越沖地震 1 年後のこころと身体 の健康調査参加者の健康行動に関する K6 のカットオフ値を 5 点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,075)

	全体		K6: 5 点未満		K6: 5 点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,075		1,208		867				
喫煙あり	400	19.7	225	19.0	175	20.5	1	0.7	0.402
喫煙数が増加	60	3.0	13	1.1	47	5.5	1	34.2	† <0.001
飲酒あり	811	41.5	489	43.1	322	39.3	1	2.7	0.099
飲酒量が増加	95	4.7	29	2.5	66	7.9	1	31.6	† <0.001
健康状態									
良好	1,415	69.4	971	81.5	444	52.4	1	196.6	† <0.001
不良	624	30.6	221	18.5	403	47.6			
体調の悪化	482	24.9	169	15.4	313	37.3	1	122.2	† <0.001
体重の変化									
変わらない	1,361	69.1	888	76.3	473	58.6	2	69.7	† <0.001
増加	213	10.8	97	8.3	116	14.4			
減少	397	20.1	179	15.4	218	27.0			
中越沖地震後の受診あり	350	17.9	139	12.1	211	26.3	1	65.2	† <0.001
地震前からの受診あり	729	40.8	382	36.7	347	46.5	1	17.5	† <0.001

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表 V-13. 刈羽村における中越沖地震 1 年後のこころと身体 の健康調査参加者の健康行動に関する K6 のカットオフ値を 10 点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,075)

	全体		K6: 10 点未満		K6: 10 点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,075		1,784		291				
喫煙あり	400	19.7	336	19.2	64	22.4	1	1.6	0.210
喫煙数が増加	60	3.0	38	2.2	22	7.8	1	26.9	† <0.001
飲酒あり	811	41.5	707	42.1	104	38.0	1	1.6	0.201
飲酒量が増加	95	4.7	67	3.9	28	10.0	1	19.8	† <0.001
健康状態									
良好	1,415	69.4	1,313	74.7	102	36.2	1	170.1	† <0.001
不良	624	30.6	444	25.3	180	63.8			
体調の悪化	482	24.9	354	21.4	128	45.7	1	76.0	† <0.001
体重の変化									
変わらない	1,361	69.1	1,232	72.3	129	48.5	2	60.9	† <0.001
増加	213	10.8	164	9.6	49	18.4			
減少	397	20.1	309	18.1	88	33.1			
中越沖地震後の受診あり	350	17.9	263	15.6	87	32.7	1	45.8	† <0.001
地震前からの受診あり	729	40.8	605	39.4	124	49.0	1	8.3	† 0.004

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表 V-14. 刈羽村における中越沖地震 1 年後のこころと身体 の健康調査参加者の健康行動に関する K6 のカットオフ値を 13 点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,075)

	全体		K6: 13 点未満		K6: 13 点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,075		1,962		113				
喫煙あり	400	19.7	377	19.6	23	20.5	1	0.1	0.807
喫煙数が増加	60	3.0	46	2.4	14	12.7	1	38.9	† <0.001
飲酒あり	811	41.5	774	41.9	37	34.6	1	2.2	0.136
飲酒量が増加	95	4.7	84	4.4	11	10.1	1	7.3	† 0.007
健康状態									
良好	1,415	69.4	1,388	71.9	27	24.8	1	108.0	† <0.001
不良	624	30.6	542	28.1	82	75.2			
体調の悪化	482	24.9	426	23.3	56	51.9	1	44.5	† <0.001
体重の変化									
変わらない	1,361	69.1	1,320	70.6	41	40.2	2	42.0	† <0.001
増加	213	10.8	191	10.2	22	21.6			
減少	397	20.1	358	19.2	39	38.2			
中越沖地震後の受診あり	350	17.9	309	16.7	41	41.4	1	39.2	† <0.001
地震前からの受診あり	729	40.8	679	40.2	50	51.0	1	4.5	* 0.034

Chi-square tests and t-test were used.

*: $p < 0.05$, †: $p < 0.01$

表V-15. 刈羽村における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者のソーシャルサポートに関するK6のカットオフ値を5点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,075)

	全体		K6: 5点未満		K6: 5点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,075		1,208		867				
わたしは、グループや、地域社会の一員である。									
そう感じない	631	31.9	334	29.1	297	35.8	1	9.9	† 0.002
わたしは、ひとりである と孤独に感じる。§									
そう感じる	659	32.4	227	19.2	432	50.7	1	224.3	† <0.001
わたしは、まわりから受け入れられていない。§									
そう感じる	385	19.0	115	9.8	270	31.8	1	154.9	† <0.001
わたしを必要としてくれる人がいる。									
そう感じない	447	22.1	237	20.2	210	24.7	1	5.9	† 0.015
わたしは、地域で認められている。									
そう感じない	1,124	55.9	590	50.6	534	63.2	1	31.5	† <0.001
だれも私のことを理解してくれない。§									
そう感じる	431	21.5	123	10.6	308	36.6	1	195.4	† <0.001
わたしは、何か問題があったときに、相談できる友人・知人がいる。									
そう感じない	535	26.8	297	25.8	238	28.3	1	1.5	0.216
わたしは、何か問題があったときに、家族と相談できる。									
そう感じない	353	17.6	192	16.6	161	19.1	1	2.2	0.139

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

§:反転項目

表V-16. 刈羽村における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者のソーシャルサポートに関するK6のカットオフ値を10点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,075)

	全体		K6: 10点未満		K6: 10点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,075		1,784		291				
わたしは、グループや、地域社会の一員である。									
そう感じない	631	31.9	519	30.5	112	40.6	1	11.1	† 0.001
わたしは、ひとりである と孤独に感じる。§									
そう感じる	659	32.4	461	26.4	198	68.5	1	200.6	† <0.001
わたしは、まわりから受け入れられていない。§									
そう感じる	385	19.0	254	14.6	131	45.6	1	154.2	† <0.001
わたしを必要としてくれる人がいる。									
そう感じない	447	22.1	363	20.9	84	29.3	1	10.1	† 0.002
わたしは、地域で認められている。									
そう感じない	1,124	55.9	934	54.1	190	66.7	1	15.6	† <0.001
だれも私のことを理解してくれない。§									
そう感じる	431	21.5	286	16.7	145	50.5	1	167.1	† <0.001
わたしは、何か問題があったときに、相談できる友人・知人がいる。									
そう感じない	535	26.8	454	26.5	81	28.7	1	0.6	0.439
わたしは、何か問題があったときに、家族と相談できる。									
そう感じない	353	17.6	289	16.8	64	22.7	1	5.8	* 0.016

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

§:反転項目

表V-17. 刈羽村における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者のソーシャルサポートに関するK6のカットオフ値を13点に設定した場合の精神健康度別の比較(n=2,075)

	全体		K6: 13点未満		K6: 13点以上		df	χ^2/t	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,075		1,962		113				
わたしは、グループや、地域社会の一員である。									
そう感じない	631	31.9	578	30.9	53	49.1	1	15.5	† <0.001
わたしは、ひとりである と孤独を感じる。§									
そう感じる	659	32.4	582	30.3	77	68.8	1	71.5	† <0.001
わたしは、まわりから受け入れられていない。§									
そう感じる	385	19.0	323	16.9	62	54.9	1	100.0	† <0.001
わたしを必要としてくれる人がいる。									
そう感じない	447	22.1	410	21.4	37	33.3	1	8.7	† 0.003
わたしは、地域で認められている。									
そう感じない	1,124	55.9	1,047	55.1	77	69.4	1	8.7	† 0.003
だれも私のことを理解してくれない。§									
そう感じる	431	21.5	368	19.5	63	56.3	1	84.8	† <0.001
わたしは、何か問題があったときに、相談できる友人・知人がいる。									
そう感じない	535	26.8	501	26.6	34	30.9	1	1.0	0.321
わたしは、何か問題があったときに、家族と相談できる。									
そう感じない	353	17.6	320	16.9	33	30.0	1	12.2	† <0.001

Chi-square tests and t-test were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

§:反転項目

表 V-18. 刈羽村における中越沖地震 1 年後のこころと身体健康調査参加者のうち仮設住宅居住者における性別での精神健康度別の比較 (K6 のカットオフ値を 5 点に設定した場合) (n=210)

	全体		K6: 5 点未満		K6: 5 点以上		p
	n	%	n	%	n	%	
	210		96		114		
男性	103	49.1	53	55.2	50	43.9	0.127
女性	107	51.0	43	44.8	64	56.1	

Fisher's exact test was used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表 V-19. 刈羽村における中越沖地震 1 年後のこころと身体健康調査参加者のうち仮設住宅居住者における性別での精神健康度別の比較 (K6 のカットオフ値を 10 点に設定した場合) (n=210)

	全体		K6: 10 点未満		K6: 10 点以上		p
	n	%	n	%	n	%	
	210		96		114		
男性	103	49.1	85	48.0	18	54.6	0.571
女性	107	51.0	92	52.0	15	45.5	

Fisher's exact test was used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表 V-20. 刈羽村における中越沖地震 1 年後のこころと身体健康調査参加者のうち仮設住宅居住者における性別での精神健康度別の比較 (K6 のカットオフ値を 13 点に設定した場合) (n=210)

	全体		K6: 13 点未満		K6: 13 点以上		p
	n	%	n	%	n	%	
	210		96		114		
男性	103	49.1	94	49.0	9	50.0	1.000
女性	107	51.0	98	51.0	9	50.0	

Fisher's exact test was used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表V-21. 刈羽村における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者のうち仮設居住者以外における家屋被害規模別での精神健康度別の比較 (K6のカットオフ値を5点に設定した場合) (n=1,836)

	全体		K6: 5点未満		K6: 5点以上		p
	n	%	n	%	n	%	
	1,836		1,095		741		
中越大震災時の家屋被害							
なし	555	31.0	341	31.9	214	29.6	0.523
一部損壊	924	51.6	546	51.1	378	52.4	
半壊	178	9.9	108	10.1	70	9.7	
大規模半壊	58	3.2	29	2.7	29	4.0	
全壊	75	4.2	44	4.1	31	4.3	
中越沖地震時の家屋被害							
なし	191	10.7	127	11.9	64	8.8	0.073
一部損壊	867	48.4	520	48.7	347	47.9	
半壊	419	23.4	248	23.2	171	23.6	
大規模半壊	158	8.8	81	7.6	77	10.6	
全壊	157	8.8	91	8.5	66	9.1	

Fisher's exact tests were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表V-22. 刈羽村における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者のうち仮設居住者以外における家屋被害規模別での精神健康度別の比較 (K6のカットオフ値を10点に設定した場合) (n=1,836)

	全体		K6: 10点未満		K6: 10点以上		p
	n	%	n	%	n	%	
	1,836		1,095		741		
中越大震災時の家屋被害							
なし	555	31.0	474	30.7	81	32.8	0.717
一部損壊	924	51.6	795	51.5	129	52.2	
半壊	178	9.9	159	10.3	19	7.7	
大規模半壊	58	3.2	49	3.2	9	3.6	
全壊	75	4.2	66	4.3	9	3.6	
中越沖地震時の家屋被害							
なし	191	10.7	170	11.0	21	8.5	0.100
一部損壊	867	48.4	749	48.5	118	47.6	
半壊	419	23.4	368	23.8	51	20.6	
大規模半壊	158	8.8	128	8.3	30	12.1	
全壊	157	8.8	129	8.4	28	11.3	

Fisher's exact tests were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表 V-23. 刈羽村における中越沖地震 1 年後のこころと身体健康調査参加者のうち仮設居住者以外における家屋被害規模別の精神健康度別の比較 (K6 のカットオフ値を 13 点に設定した場合) (n=1,836)

	全体		K6: 13 点未満		K6: 13 点以上		p
	n	%	n	%	n	%	
	1,836		1,095		741		
中越大震災時の家屋被害							
なし	555	31.0	526	31.0	29	31.5	0.994
一部損壊	924	51.6	875	51.5	49	53.3	
半壊	178	9.9	170	10.0	8	8.7	
大規模半壊	58	3.2	55	3.2	3	3.3	
全壊	75	4.2	72	4.2	3	3.3	
中越沖地震時の家屋被害							
なし	191	10.7	183	10.8	8	8.8	0.367
一部損壊	867	48.4	825	48.5	42	46.2	
半壊	419	23.4	401	23.6	18	19.8	
大規模半壊	158	8.8	147	8.6	11	12.1	
全壊	157	8.8	145	8.5	12	13.2	

Fisher's exact tests were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表 V-24. 刈羽村における中越沖地震 1 年後のこころと身体健康調査参加者の年齢階級別における精神健康度の性別比較 (K6 のカットオフ値を 5 点に設定した場合) (n=2,056)

	全体 (n=2,056)				男性 (n=1,006)				女性 (n=1,050)				p
	K6: 5 点未満		K6: 5 点以上		K6: 5 点未満		K6: 5 点以上		K6: 5 点未満		K6: 5 点以上		
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
	1,198		858		628		378		570		480		
30 歳未満	178	68.2	83	31.8	97	71.9	38	28.2	81	64.3	45	35.7	0.231
30-39 歳	109	53.2	96	46.8	49	50.0	49	50.0	60	56.1	47	43.9	0.403
40-49 歳	149	57.1	112	42.9	76	61.3	48	38.7	73	53.3	64	46.7	0.212
50-59 歳	244	55.7	194	44.3	125	59.2	86	40.8	119	52.4	108	47.6	0.178
60-69 歳	227	59.9	152	40.1	116	59.8	78	40.2	110	60.0	74	40.0	1.000
70-79 歳	181	56.9	137	43.1	105	66.0	54	34.0	76	47.8	83	52.2	† 0.001
80 歳以上	110	56.7	84	43.3	60	70.6	25	29.4	50	45.9	59	54.1	† 0.001

Fisher's exact tests were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表V-25. 刈羽村における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の年齢階級別における精神健康度の性別比較 (K6のカットオフ値を10点に設定した場合) (n=2,056)

	全体 (n=2,056)				男性 (n=1,006)				女性 (n=1,050)				p
	K6: 10点未満		K6: 10点以上		K6: 10点未満		K6: 10点以上		K6: 10点未満		K6: 10点以上		
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
	1,771		285		885		121		886		164		
30歳未満	226	86.6	35	13.4	119	88.2	16	11.9	107	84.9	19	15.1	0.472
30-39歳	164	80.0	41	20.0	80	81.6	18	18.4	84	78.5	23	21.5	0.604
40-49歳	223	85.4	38	14.6	106	85.5	18	14.5	117	85.4	20	14.6	1.000
50-59歳	382	87.2	56	12.8	184	87.2	27	12.8	198	87.2	29	12.8	1.000
60-69歳	337	88.9	42	11.1	175	90.2	19	9.8	162	87.6	23	12.4	0.419
70-79歳	275	86.5	43	13.5	144	90.6	15	9.4	131	82.4	28	17.6	* 0.048
80歳以上	164	84.5	30	15.5	77	90.6	8	9.4	87	79.8	22	20.2	* 0.046

Fisher's exact tests were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表V-26. 刈羽村における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の年齢階級別における精神健康度の性別比較 (K6のカットオフ値を13点に設定した場合) (n=2,056)

	全体 (n=2,056)				男性 (n=1,006)				女性 (n=1,050)				p
	K6: 13点未満		K6: 13点以上		K6: 13点未満		K6: 13点以上		K6: 13点未満		K6: 13点以上		
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
	1,943		113		962		44		981		69		
30歳未満	246	94.3	15	5.8	128	94.8	7	5.2	118	93.7	8	6.4	0.793
30-39歳	189	92.2	16	7.8	91	92.9	7	7.1	98	91.6	9	8.4	0.799
40-49歳	252	96.6	9	3.5	118	95.2	6	4.8	134	97.8	3	2.2	0.316
50-59歳	413	94.3	25	5.7	203	96.2	8	3.8	210	92.5	17	7.5	0.104
60-69歳	363	95.8	16	4.2	188	96.9	6	3.1	175	94.6	10	5.4	0.313
70-79歳	301	94.7	17	5.4	151	95.0	8	5.0	150	94.3	9	5.7	1.000
80歳以上	179	92.3	15	7.7	83	97.7	2	2.4	96	88.1	13	11.9	* 0.014

Fisher's exact tests were used.

*: p<0.05, †: p<0.01

表 V-27. 2 回の地震による家屋被害の規模(n=2,121) (上段 : n, 下段 : (%))

中越大震災	中越沖地震					計
	なし	一部損壊	半壊	大規模半壊	全壊	
なし	156 (26.1)	268 (44.8)	90 (15.1)	29 (4.9)	55 (9.2)	598 (100.0)
一部損壊	18 (1.6)	589 (53.7)	242 (22.1)	108 (9.9)	139 (12.7)	1,096 (100.0)
半壊	9 (3.8)	30 (12.5)	124 (51.7)	28 (11.7)	49 (20.4)	240 (100.0)
大規模半壊	4 (4.6)	13 (14.9)	7 (8.1)	47 (54.0)	16 (18.4)	87 (100.0)
全壊	11 (11.0)	31 (31.0)	13 (13.0)	12 (12.0)	33 (33.0)	100 (100.0)
計	198 (9.3)	931 (43.9)	476 (22.4)	224 (10.6)	292 (13.8)	2,121 (100.0)

表 V-28. 2 回の地震による家屋被害の規模(n=2,121) (上段 : n, 下段 : (%))

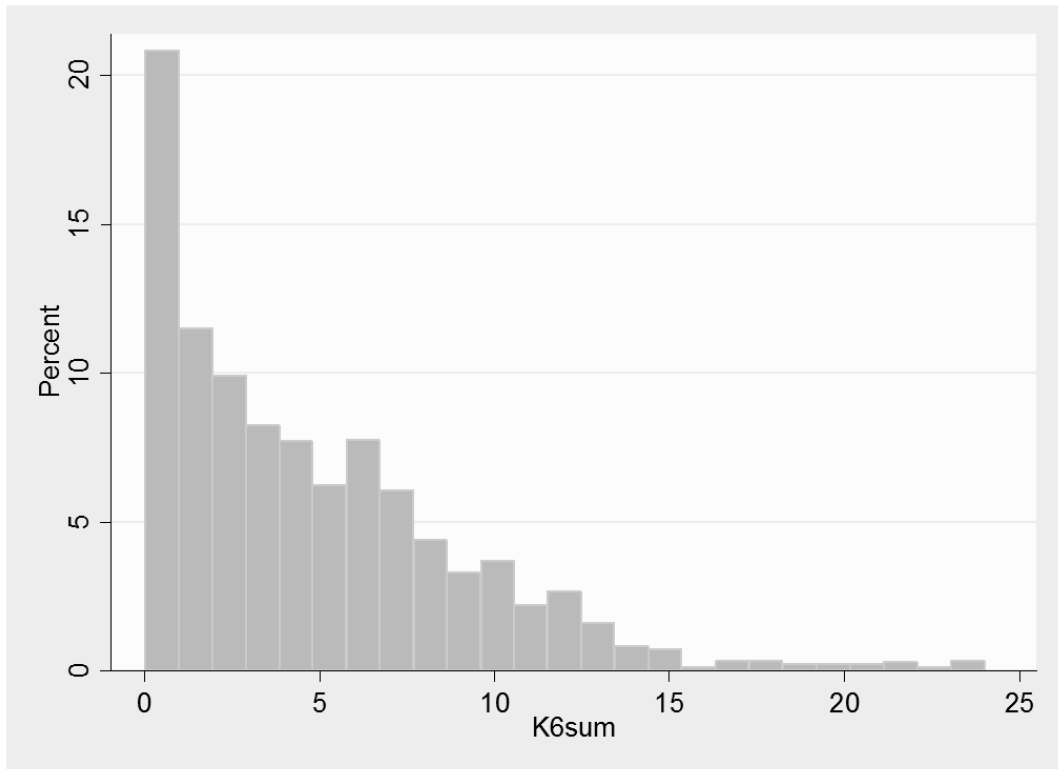
中越大震災	中越沖地震		計
	なし／一部損壊	半壊以上	
なし／一部損壊	1,031 (60.9)	663 (39.1)	1,694 (100.0)
半壊以上	98 (23.0)	329 (77.1)	427 (100.0)
計	1,129 (53.2)	992 (46.8)	2,121 (100.0)

表V-29. 刈羽村における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者において、
2回の地震（中越大震災と中越沖地震）による家屋被害がともに
半壊以上であったものとその他のものの基本的属性の比較(n=2,121)

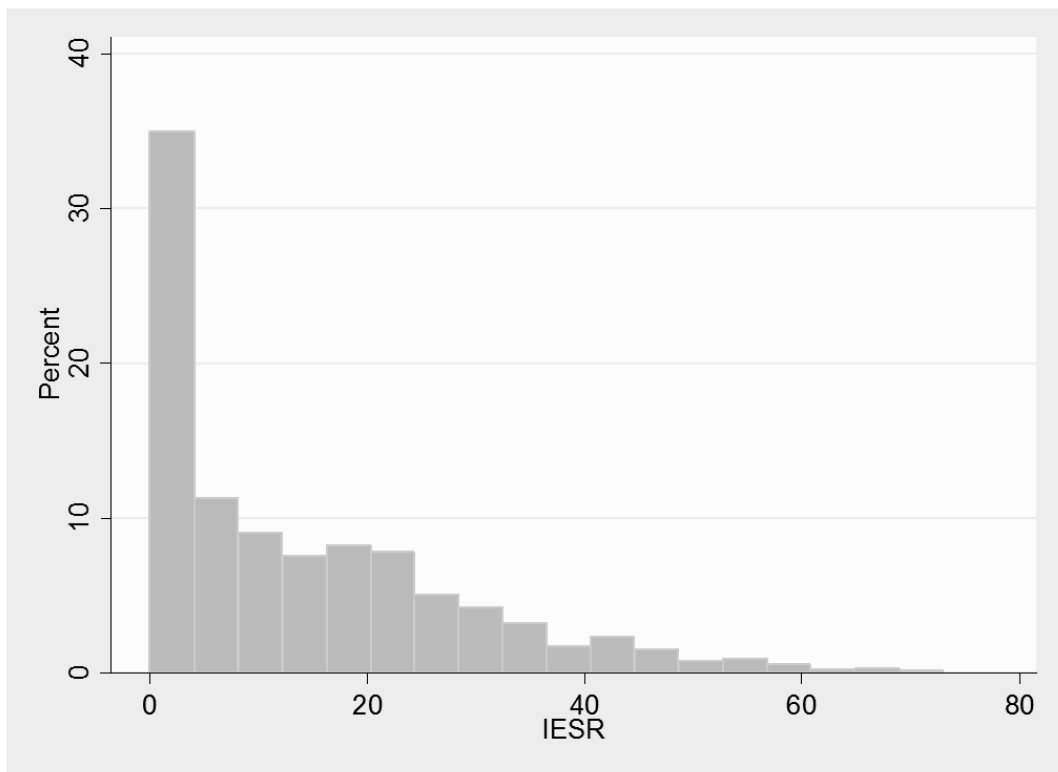
	全体		2度の地震と も半壊以上		その他		df	χ^2/z	p
	n	%	n	%	n	%			
	2,121		329		1,792				
性別									
男性	1,011	47.9	161	49.5	850	47.7	1	0.4	0.530
女性	1,098	52.1	164	50.5	934	52.4			
年齢階級									
20歳未満	82	3.9	13	4.0	69	3.9	8	96.2	† 0.000
20-29歳	177	8.4	18	5.5	159	8.9			
30-39歳	202	9.6	16	4.9	186	10.4			
40-49歳	263	12.4	18	5.5	245	13.7			
50-59歳	440	20.8	52	16.0	388	21.7			
60-69歳	390	18.4	54	16.6	336	18.8			
70-79歳	347	16.4	96	29.5	251	14.0			
80-89歳	193	9.1	53	16.3	140	7.8			
90歳以上	22	1.0	6	1.8	16	0.9			
平均年齢 (標準偏差)	55.7	(19.0)	63.3	(19.0)	54.4	(18.6)	-	-8.6	† 0.000
教育年数 (標準偏差)	11.8	(2.4)	11.0	(2.4)	11.9	(2.4)	-	6.0	† 0.000
主たる家計者の職業									
会社員/公務員	1,098	58.8	113	43.6	985	61.2	3	36.7	† 0.000
自営	193	10.3	25	9.7	168	10.4			
無職/年金受給者	465	24.9	100	38.6	365	22.7			
その他 (パートも含む)	113	6.1	21	8.1	92	5.7			

Chi-square tests or Wilcoxon rank sum tests were used.

*: p<0.05, †: p<0.01



図V-28.刈羽村における中越沖地震1年後の
 ところと身体の健康調査参加者の K6 合計点の分布



図V-29.刈羽村における中越沖地震1年後の
 ところと身体の健康調査参加者の IES-R 合計点の分布

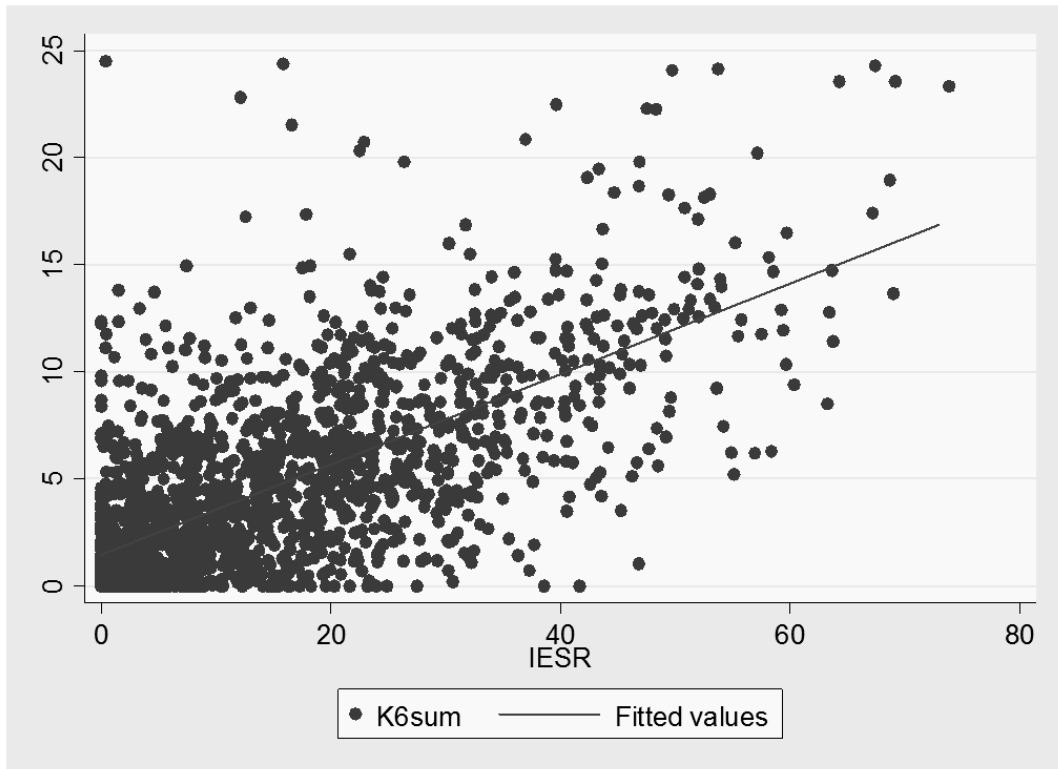


図 V-30.刈羽村における中越沖地震 1 年後のこころと身体の健康調査参加者の K6 と IES-R 合計点の散布図

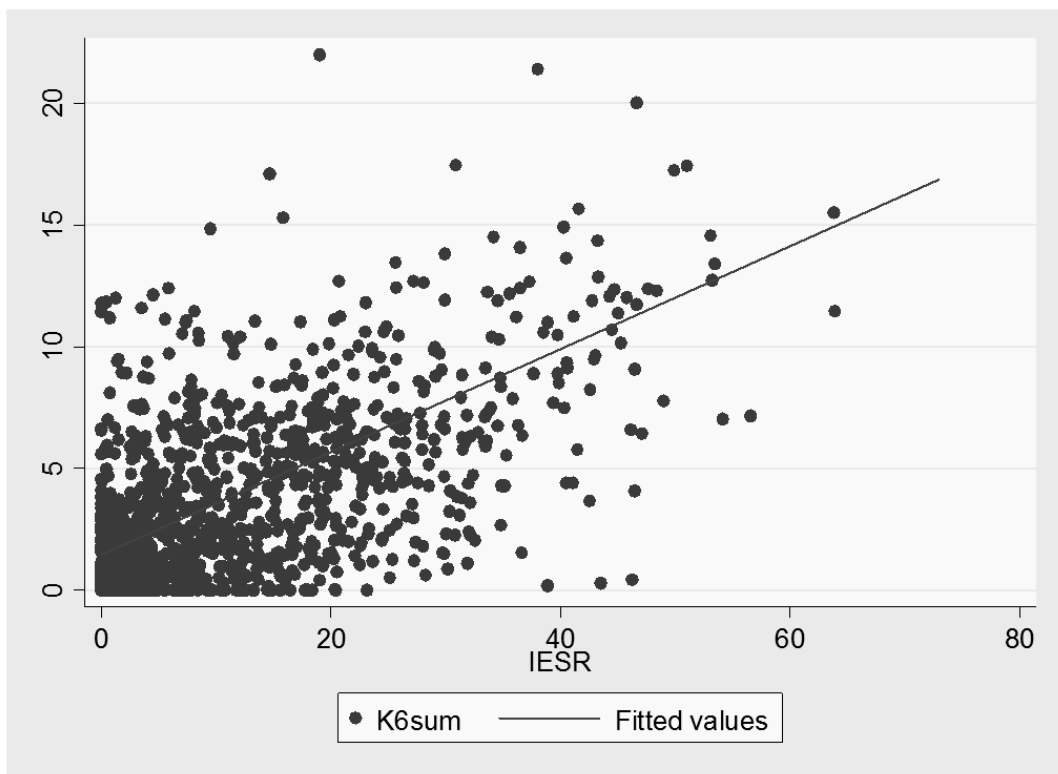
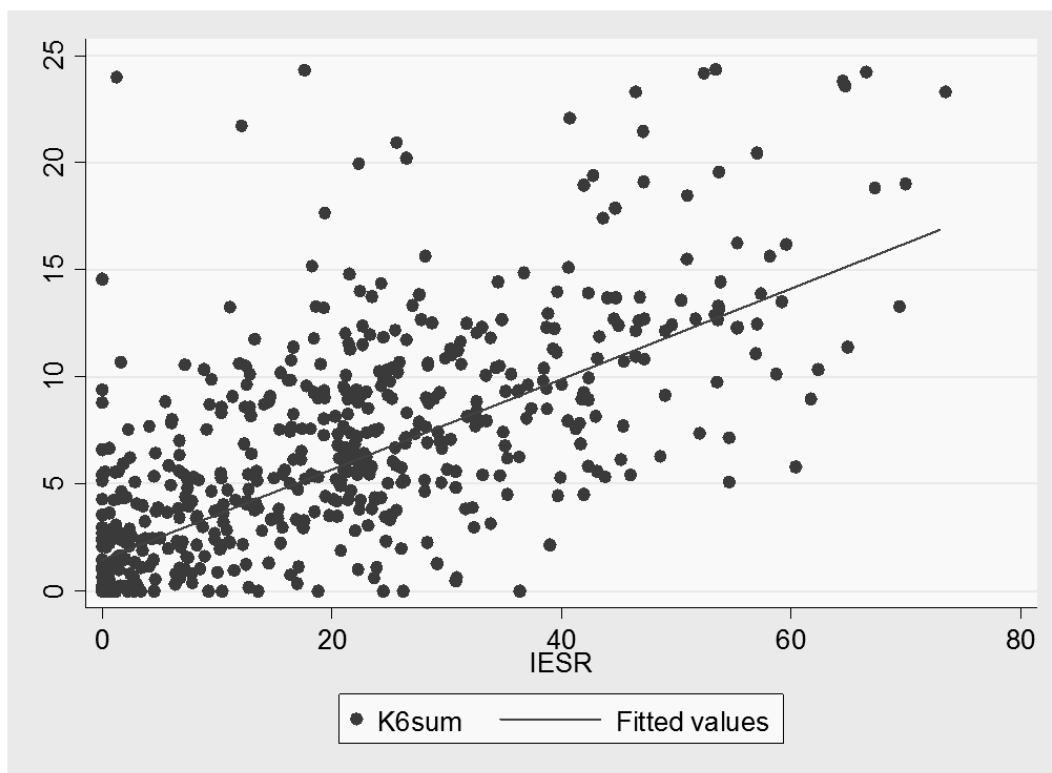


図 V-31.刈羽村における中越沖地震 1 年後のこころと身体の健康調査参加者の主観的に健康な方における K6 と IES-R 合計点の散布図



図V-32.刈羽村における中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の主観的に不健康な方におけるK6とIES-R合計点の散布図

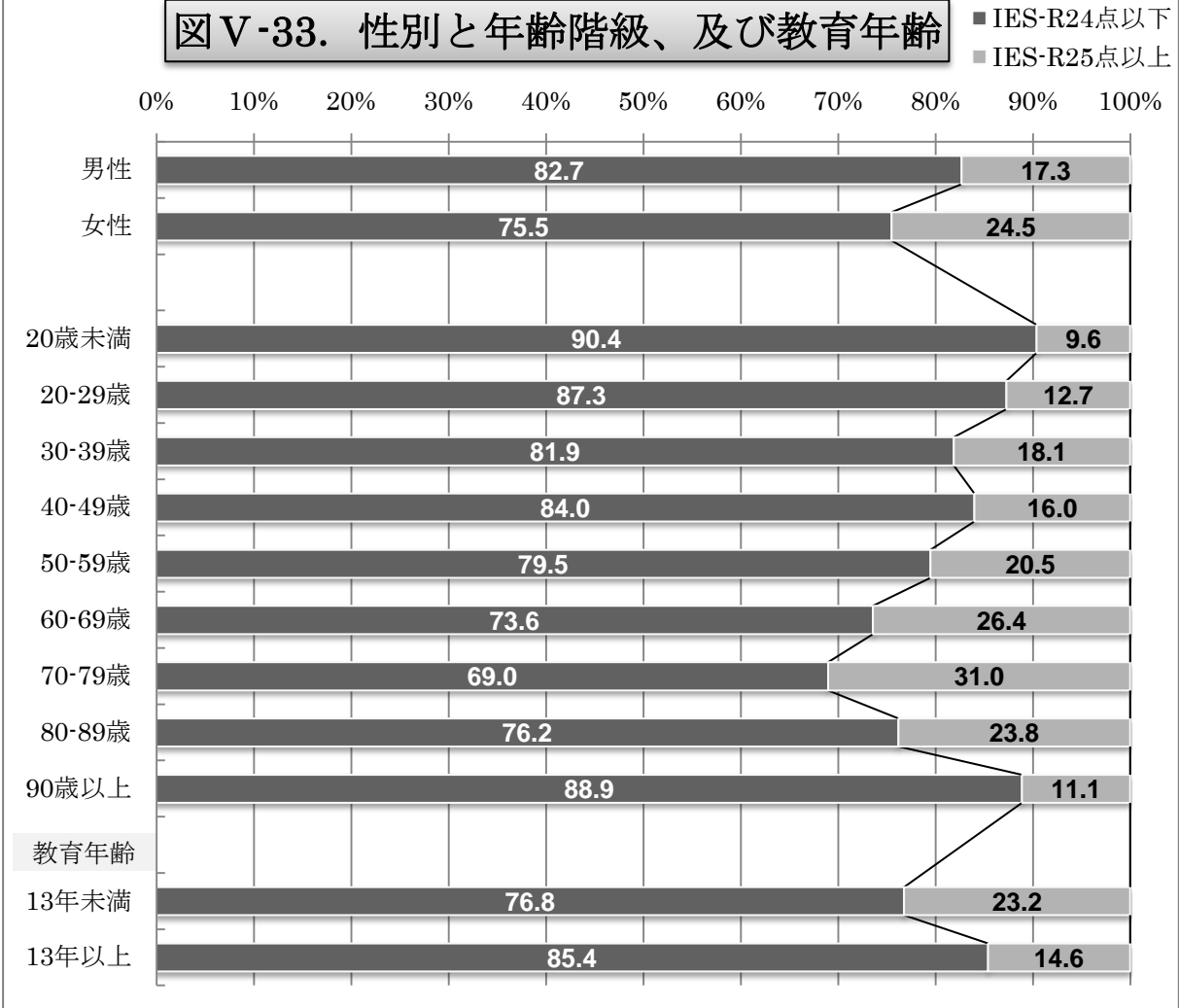
2) IES-R 分析と考察

① 基本属性 (図V-33,34,35,表V-30)

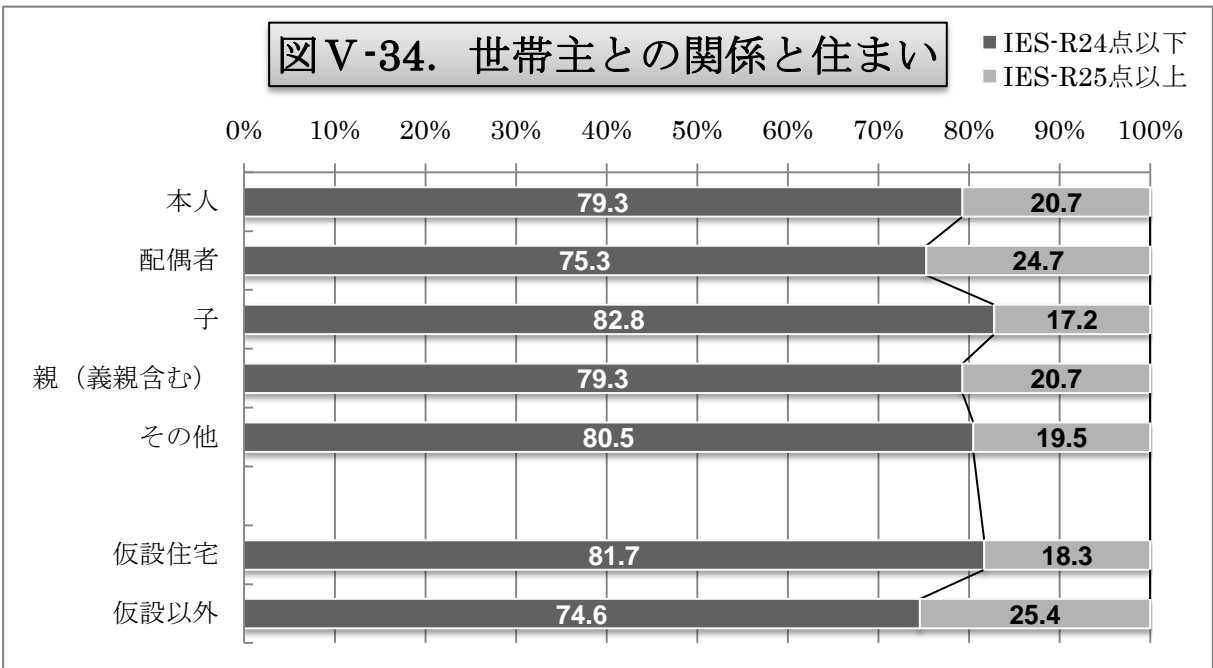
IES-R と基本属性の間には世帯主との関係以外の、いずれの項目についても有意に差が認められた。

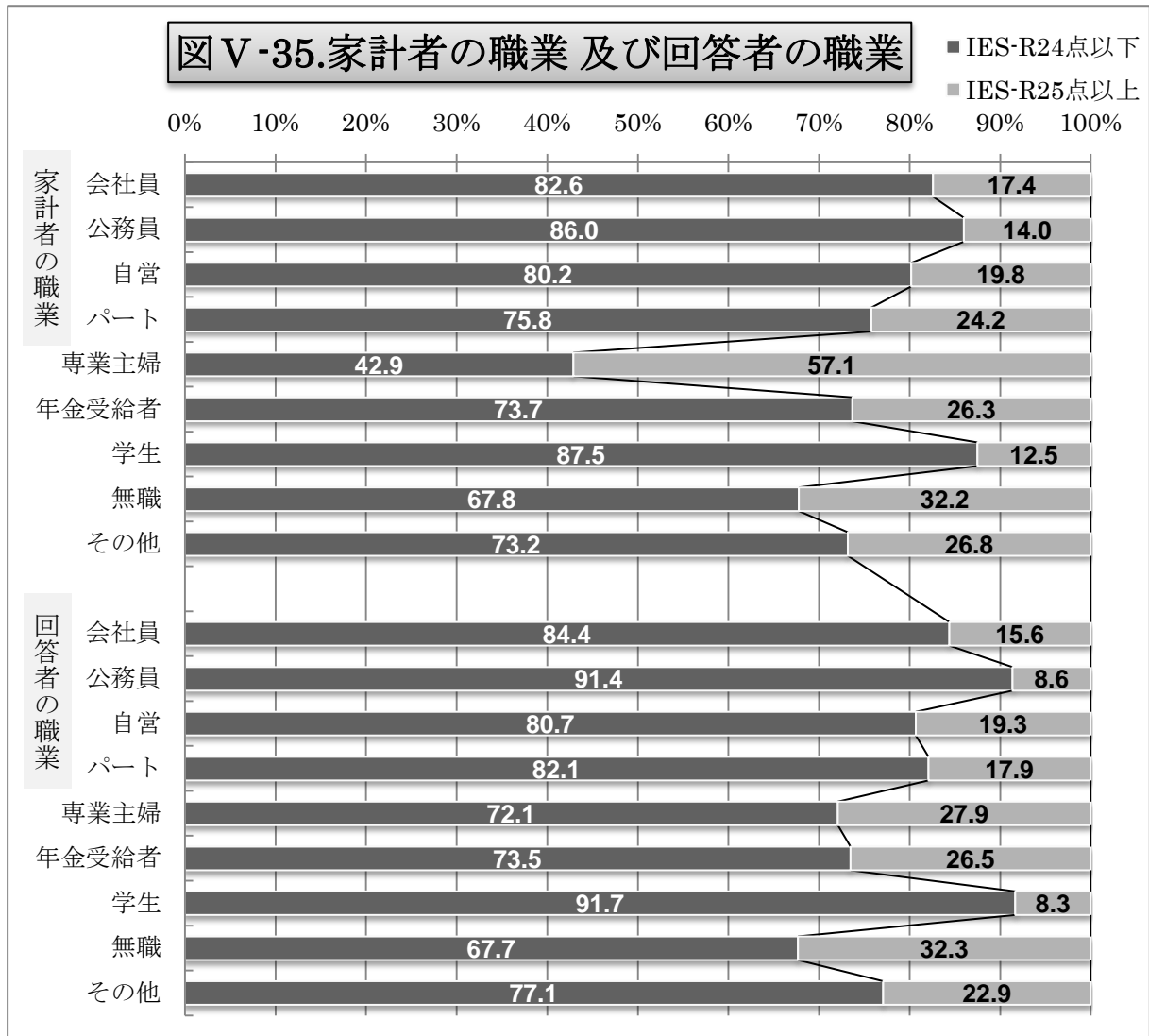
- a. 「性別」においては PTSD のハイリスク者 (IES-R 25 点以上) の割合は女性が 24.5%、男性が 17.3%と、女性のほうが高い。
- b. 「年齢階級」においては、50 歳以上からは 20%以上になり、年齢が上がるごとにハイリスク者の割合が上がっていく。
- c. 「教育年齢」では 13 年未満のハイリスク者が 23.2%、13 年以上で 14.6%と大きく割合に差がある。学歴や教育年数が PTSD ハイリスク傾向に影響を及ぼしているようだ。
- d. 「世帯主との関係」については、各関係の中でハイリスク者の割合が 20.0%を越えているものは、本人、配偶者、親 (義親含む) であるが、一番割合が高いのが配偶者で、24.7%である。配偶者の地震のショック状態が大きい可能性がある。
- e. 「住まい」については仮設住宅のハイリスク者は 25.4%、仮設住宅以外 18.3%と、仮設住宅に住んでいる方のほうが、ハイリスク者の割合が高い。
- f. 「主たる家計者」については、各生計者の中でハイリスク者の割合が 20.0%を越えているものは、パート、専業主婦、年金受給者、無職、その他であり、その中でも一番割合が高いのが専業主婦で 57.1%である。
- g. 「回答者の職業」では、各回答者の中でハイリスク者の割合が 20.0%を越えているものは、専業主婦、年金受給者、無職、その他、であり、その中でも一番割合が高いのが無職者であり、32.3%である。

図V-33. 性別と年齢階級、及び教育年齢



図V-34. 世帯主との関係と住まい





② 震災による経済的变化、被害状況、原子力発電所に対する意識について (図 V-36,37,38,表 V-31)

IES-R と震災による経済的变化、被害状況、原子力発電所に対する意識には、「中越沖地震による転職の有無、中越大震災時における身近な人の負傷者の有無、中越沖地震時における身近な人の死亡者の有無」以外において、いずれの項目についても有意に差が認められた。

中越大震災による影響

- 「転職」については、転職せざるを得なかった方のハイリスク者の割合が 39.3%と高い。
- 「暮らし向き」については、「わるくなった」と答えた方のハイリスク者の割合が 38.5%と高い。
- 「家屋被害」についてはハイリスク者の割合が 20.0%以上になるのが一部損壊、半壊、大規模半壊、全壊、であり、そのなかでも全壊においては 32.9%と一番高い。しかし、中越沖地震に比べて全壊になった家屋数は少ないため、全壊になった方の中越大震災でのショックは、より大きかった可能性がある。
- 「身近な人の死亡者の有無」では、「いる」と答えた方のハイリスク者の割合が 34.9%と高い。

e. 「身近な人の負傷者の有無」については、ハイリスク者の割合に有意差はない。

中越沖地震による影響

- a. 「転職」については、転職せざるを得なかった方のハイリスク者の割合に有意差はない。
- b. 「暮らし向き」については、「わるくなった」と答えた方のハイリスク者の割合が 31.3%と高い。
- c. 「家屋被害」についてはハイリスク者の割合が 20.0%以上になるのが大規模半壊、全壊、であり、そのなかでも大規模半壊においては 30.5%と高い。
- d. 「身近な人の死亡者の有無」では、ハイリスク者の割合に有意差はない。
- e. 「身近な人の負傷者の有無」については、「いる」と答えた方のハイリスク者の割合が 29.9%と高い。

中越大震災と中越沖地震による影響

- a. 「これら2つの地震による良くない経済的変化」においては、「かなりある」と答えた方において、ハイリスク者の割合が 33.2%と高い。

原子力発電所について

- a. 「原子力発電所への不安」については、2分類において、「ある」にカテゴリされた方の割合は、有効回答者全体の 15.7%と多くはないが、ハイリスク者の割合が高く、34.0%となっている。
- b. 「原子力発電所に関する情報提供の満足度」については、2分類において、「不満」にカテゴリされた方は有効回答者全体の 46.1%と、半分近くであり、ハイリスク者の割合も 24.4%と高い。

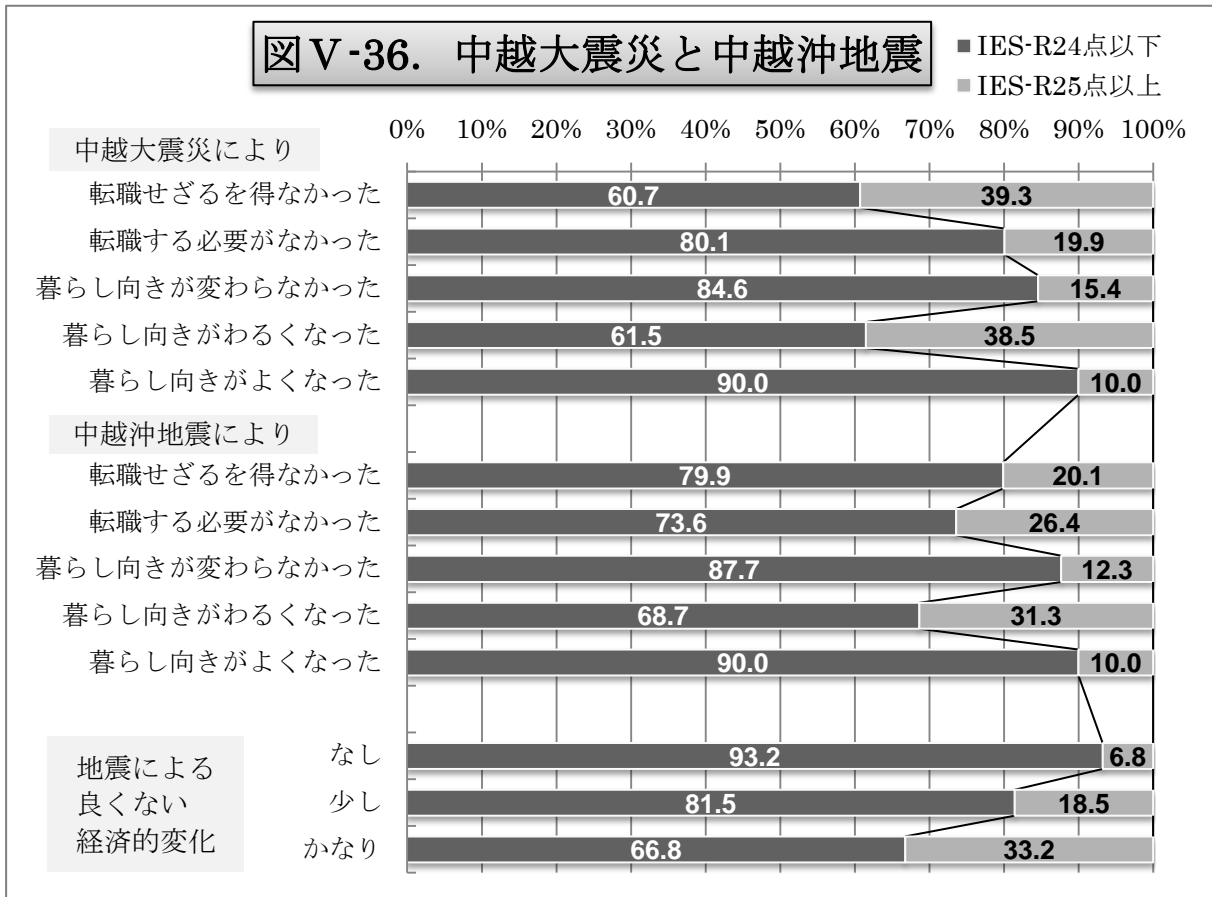
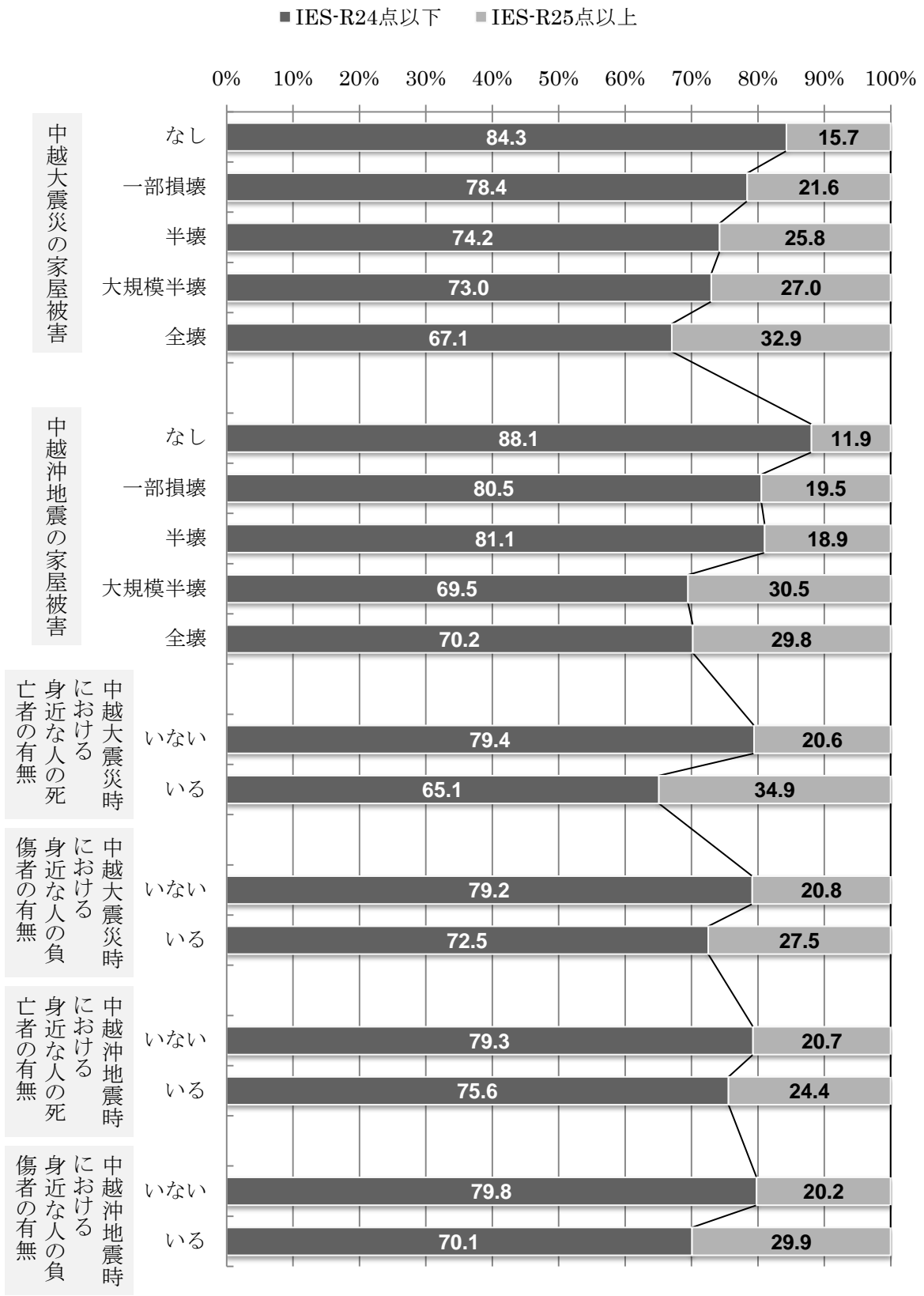
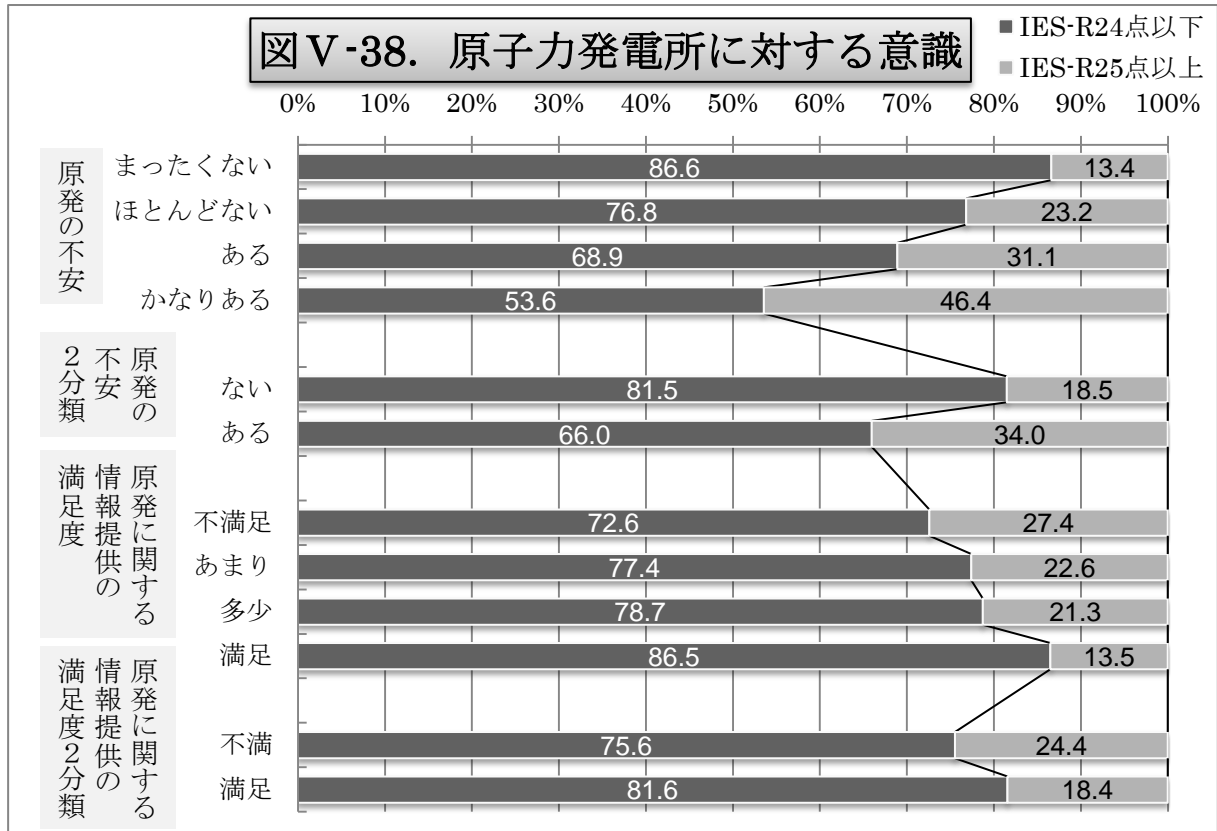


図 V-37.中越大震災と中越沖地震による被害状況

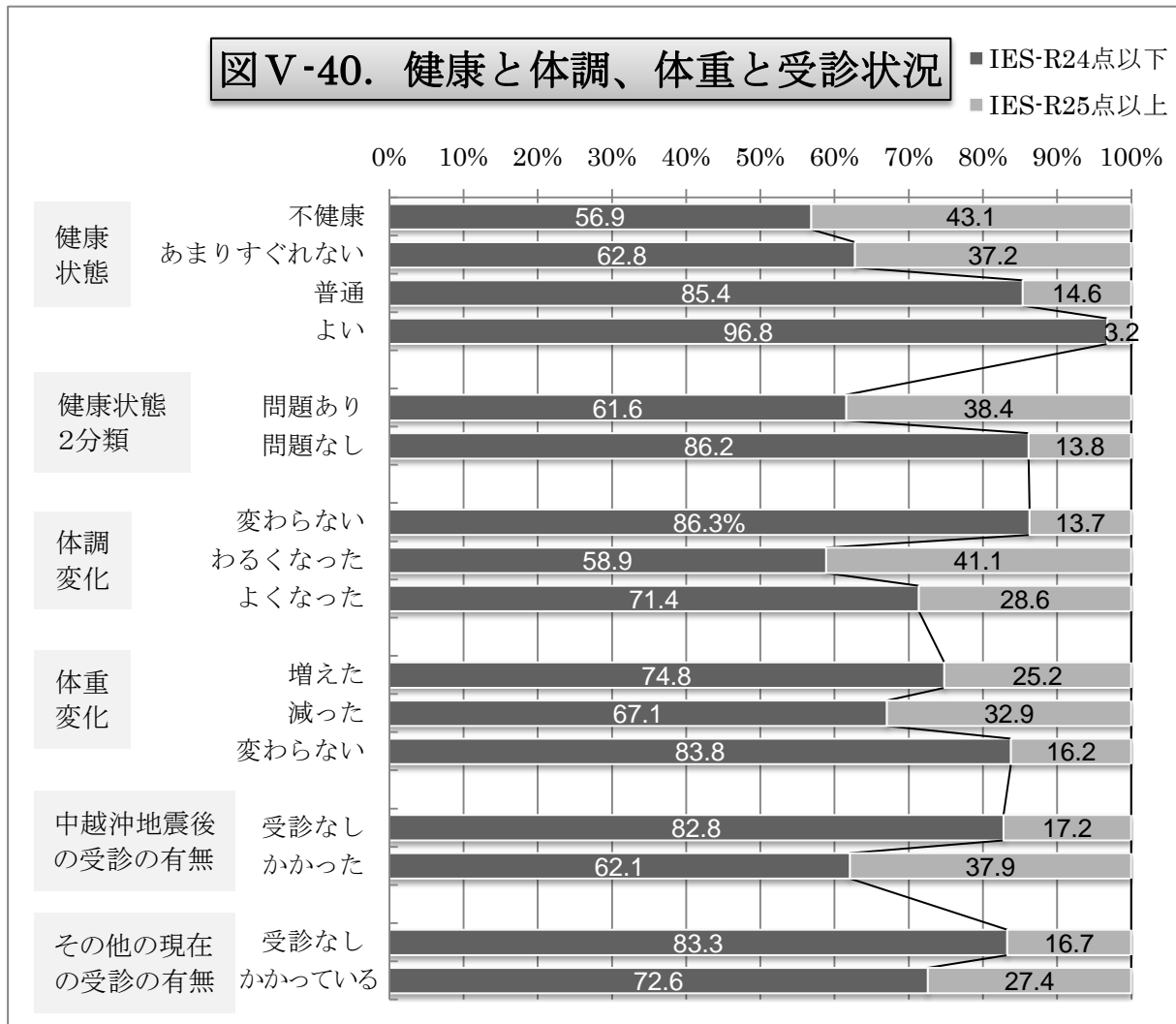
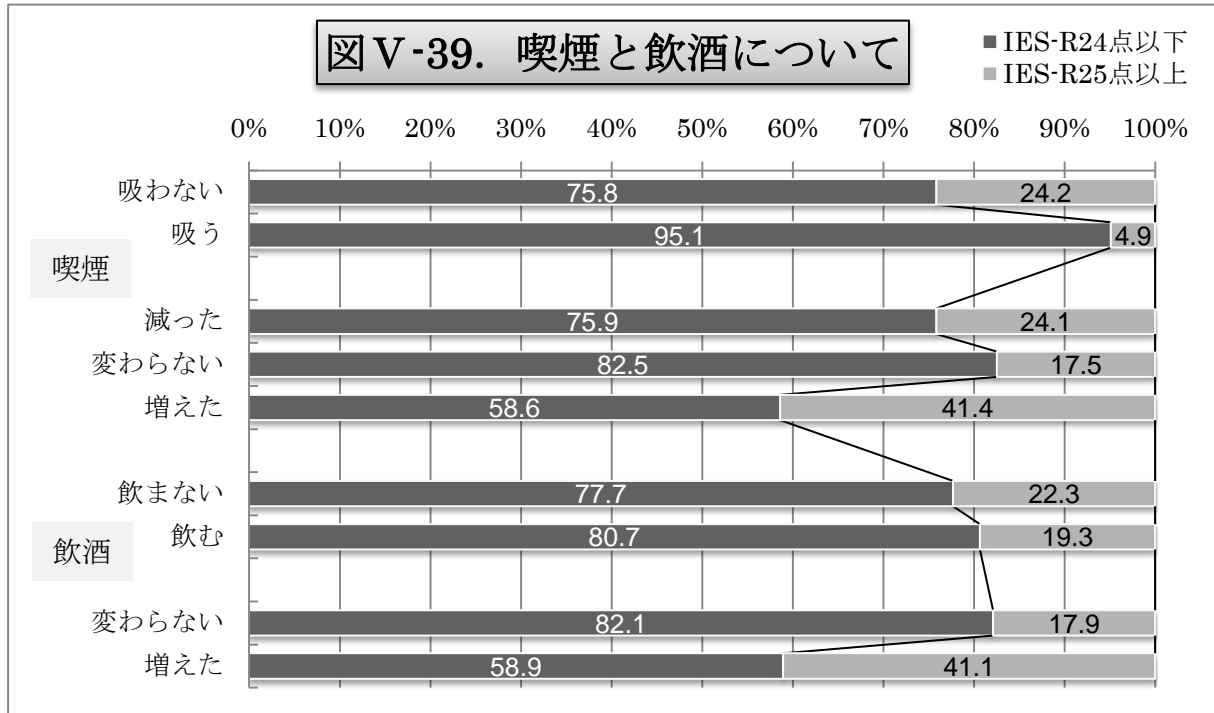




③ 健康行動について (図V-39,40,表V-32)

IES-R と健康行動の間には、「飲酒の有無」以外において、いずれの項目についても有意に差が認められた。

- a. 「喫煙の有無」においては、吸わない方のハイリスク者の割合が 24.2%と高い。
- b. 「喫煙量の変化」においてはハイリスク者の割合が、中越沖地震後に減った方の中では 24.1%、変わらない方の中では 17.5%、増えた方の中では 41.4%と、変化があった方において高い。
- c. 「飲酒量の変化」についても、「増えた」と答えた方のハイリスク者の割合が 41.1%と高い。
- d. 「健康状態」については、2分類において、「問題あり」のカテゴリーに入った方でハイリスク者の割合が 38.4%と高い。
- e. 「体調変化」においてはハイリスク者の割合が、「わるくなった」と答えた方の中では 41.1%、「よくなった」と答えた方の中では 28.6%、「変わらない」と答えた方の中では 13.7%と、変化があった方で高いことが分かる。
- f. 「体重変化」においてもハイリスク者の割合が、「増えた」と答えた方の中では 25.2%、「減った」と答えた方の中では 32.9%、「変わらない」と答えた方の中では 16.2%と、ここでも変化があった方で高いことが分かる。
- g. 「中越沖地震後の受診の有無」については、「かかった」と答えた方のハイリスク者の割合が 37.9%と高い。
- h. 「その他の現在の受診の有無」については、「かかっている」と答えた方のハイリスク者の割合が 27.4%と高い。



④ ソーシャルサポート（人とのつながり）について（図V-41,表V-33）

IES-R とソーシャルサポートにおいて、いずれの項目についても有意に差が認められた。ただし、2分類した項目においては、「地域社会の一員である、わたしを必要としてくれる人がいる、家族と相談できる」において有意差なしだった（※「相談できる友人・知人がいる」は $p < 0.1$ ）。結果は2分類から記述する。

ソーシャルサポートがあると認識していることを判別する項目について

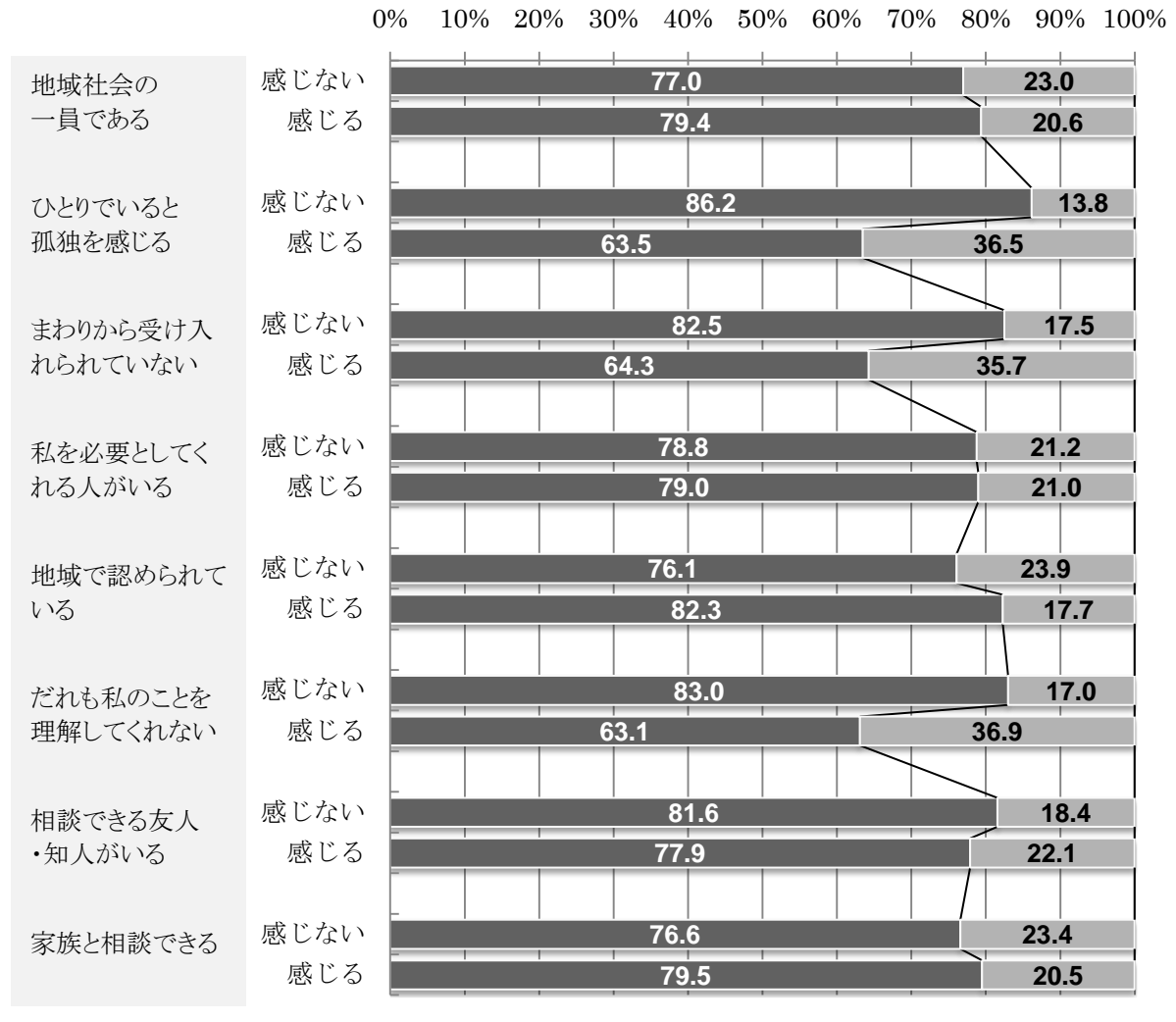
- a. 「地域社会の一員である 2分類」については、ハイリスク者の割合に有意差はない。
- b. 「わたしを必要としてくれる人がいる 2分類」については、ハイリスク者の割合に有意差はない。
- c. 「地域で認められている 2分類」より、「感じない」とカテゴリーされた方についてハイリスク者の割合が高く、23.9%である。
- d. 「相談できる友人・知人がいる 2分類」では、「感じない（18.4%）」と答えた方より、「感じる（22.1%）」と答えた方のほうがハイリスク者の割合が少し高い。相談できる友人・知人が、ハイリスク者の割合にどのように関連しているのかを検討する必要がある。
- e. 「家族と相談できる 2分類」については、ハイリスク者の割合に有意差はない。

ソーシャルサポートがないと認識していることを判別する項目について

- a. 「ひとりでいると孤独を感じる 2分類」より、「感じる」とカテゴリーされた方についてハイリスク者の割合が高く、36.5%である。
- b. 「まわりから受け入れられていない 2分類」より、「感じる」とカテゴリーされた方についてハイリスク者の割合が高く、35.7%である。
- c. 「だれもわたしのことを理解してくれない 2分類」より、「感じる」とカテゴリーされた方についてハイリスク者の割合が高く、36.9%である。

図V-41. ソーシャルサポート2分類

■ IES-R24点以下
■ IES-R25点以上



(考察)

- ① IES-R 分析の結果、一部の項目を除いて有意差が検出された。
- ② 比較的ハイリスク者の割合が高い項目は、家計者の職業（専業主婦）であり、柏崎市・出雲崎町の同項目の割合と比較しても突出しており、要因分析が必要である。
- ③ 今回の分析では詳細な分析を行っていないため、今後の課題として残っている。

表 V-30. 中越沖地震1年後のこころと身体 の健康調査参加者の属性×IES-R比較

属性×IES-R		全体		IES-R24点以下		IES-R25点以上		df	χ^2/t	p
		n		n	%	n	%			
		1,879		1,484	79.0%	395	21.0%			
性別										
	男性	926		766	82.7%	160	17.3%	1	14.7 ***	0.0001
	女性	943		712	75.5%	231	24.5%			
年齢階級										
	20歳未満	83		75	90.4%	8	9.6%	8	40.9 ***	<0.0001
	20-29歳	173		151	87.3%	22	12.7%			
	30-39歳	204		167	81.9%	37	18.1%			
	40-49歳	257		216	84.0%	41	16.0%			
	50-59歳	415		330	79.5%	85	20.5%			
	60-69歳	341		251	73.6%	90	26.4%			
	70-79歳	242		167	69.0%	75	31.0%			
	80-89歳	143		109	76.2%	34	23.8%			
	90歳以上	18		16	88.9%	2	11.1%			
教育年齢										
	13年未満	1,363		1,047	76.8%	316	23.2%	1	15.8 ***	0.0001
	13年以上	474		405	85.4%	69	14.6%			
世帯主との関係										
	本人	738		585	79.3%	153	20.7%	4	7.1 n.s	0.1328
	配偶者	507		382	75.3%	125	24.7%			
	子	326		270	82.8%	56	17.2%			
	親(義親含む)	203		161	79.3%	42	20.7%			
	その他	82		66	80.5%	16	19.5%			
住まい										
	仮設以外	1,086		887	81.7%	199	18.3%	1	5.0 *	0.0253
	仮設住宅	181		135	74.6%	46	25.4%			
家計者の職業										
	会社員	976		806	82.6%	170	17.4%	8	45.8 ***	<0.0001
	公務員	107		92	86.0%	15	14.0%			
	自営	182		146	80.2%	36	19.8%			
	パート	33		25	75.8%	8	24.2%			
	専業主婦	21		9	42.9%	12	57.1%			
	年金受給者	304		224	73.7%	80	26.3%			
	学生	8		7	87.5%	1	12.5%			
	無職	152		103	67.8%	49	32.2%			
	その他	56		41	73.2%	15	26.8%			
回答者の職業										
	会社員	648		547	84.4%	101	15.6%	8	57.5 ***	<0.0001
	公務員	70		64	91.4%	6	8.6%			
	自営	114		92	80.7%	22	19.3%			
	パート	156		128	82.1%	28	17.9%			
	専業主婦	136		98	72.1%	38	27.9%			
	年金受給者	283		208	73.5%	75	26.5%			
	学生	84		77	91.7%	7	8.3%			
	無職	266		180	67.7%	86	32.3%			
	その他	83		64	77.1%	19	22.9%			

カイ二乗検定 (Chi-square test) を使用 ***p<0.001, **p<0.01, *p<0.05, #p<0.1, n.s 有意差なし

表 V-31. 中越沖地震1年後のこころと身体の健康調査参加者の
震災による経済的変化、被害状況、原子力発電所に対する意識×IES-R比較

刈羽村

震災による経済的変化、被害状況、 原子力発電所に対する意識×IES-R		全体		IES-R24点以下		IES-R25点以上		df	χ^2/t	p
		n	%	n	%	n	%			
中越大震災により	転職せざるを得なかった	28	60.7%	17	60.7%	11	39.3%	1	6.4 *	0.0114
	転職する必要がなかった	1,786	80.1%	1,430	80.1%	356	19.9%			
中越大震災により暮らし向き	変わらなかった	1,406	84.6%	1,189	84.6%	217	15.4%	2	109.6 ***	<0.0001
	わるくなった	447	61.5%	275	61.5%	172	38.5%			
	よくなった	10	90.0%	9	90.0%	1	10.0%			
中越沖地震により	転職せざるを得なかった	1,756	79.9%	1,403	79.9%	353	20.1%	1	1.3 n.s	0.2602
	転職する必要がなかった	53	73.6%	39	73.6%	14	26.4%			
中越沖地震により暮らし向き	変わらなかった	999	87.7%	876	87.7%	123	12.3%	2	101.0 ***	<0.0001
	わるくなった	852	68.7%	585	68.7%	267	31.3%			
	よくなった	10	90.0%	9	90.0%	1	10.0%			
これらの地震による 良くない経済的変化	なし	399	93.2%	372	93.2%	27	6.8%	2	109.5 ***	<0.0001
	少し	798	81.5%	650	81.5%	148	18.5%			
	かなり	650	66.8%	434	66.8%	216	33.2%			
中越大震災時の家屋被害	なし	549	84.3%	463	84.3%	86	15.7%	4	21.0 ***	0.0003
	一部損壊	940	78.4%	737	78.4%	203	21.6%			
	半壊	198	74.2%	147	74.2%	51	25.8%			
	大規模半壊	63	73.0%	46	73.0%	17	27.0%			
	全壊	85	67.1%	57	67.1%	28	32.9%			
中越沖地震時の家屋被害	なし	185	88.1%	163	88.1%	22	11.9%	4	32.5 ***	<0.0001
	一部損壊	817	80.5%	658	80.5%	159	19.5%			
	半壊	417	81.1%	338	81.1%	79	18.9%			
	大規模半壊	177	69.5%	123	69.5%	54	30.5%			
	全壊	245	70.2%	172	70.2%	73	29.8%			
中越大震災時における 身近な人の死亡者の有無	いない	1,800	79.4%	1,430	79.4%	370	20.6%	1	5.2 *	0.0224
	いる	43	65.1%	28	65.1%	15	34.9%			
中越大震災時における 身近な人の負傷者の有無	いない	1,800	79.2%	1,425	79.2%	375	20.8%	1	1.3 n.s	0.2527
	いる	51	72.5%	37	72.5%	14	27.5%			
中越沖地震時における 身近な人の死亡者の有無	いない	1,723	79.3%	1,366	79.3%	357	20.7%	1	1.0 n.s	0.3243
	いる	127	75.6%	96	75.6%	31	24.4%			
中越沖地震時における 身近な人の負傷者の有無	いない	1,626	79.8%	1,298	79.8%	328	20.2%	1	10.3 **	0.0014
	いる	204	70.1%	143	70.1%	61	29.9%			
原子力発電所の不安	まったくない	747	86.6%	647	86.6%	100	13.4%	3	64.7 ***	<0.0001
	ほとんどない	811	76.8%	623	76.8%	188	23.2%			
	ある	235	68.9%	162	68.9%	73	31.1%			
	かなりある	56	53.6%	30	53.6%	26	46.4%			
原子力発電所の不安2分類	ない	1,558	81.5%	1,270	81.5%	288	18.5%	1	35.8 ***	0.0000
	ある	291	66.0%	192	66.0%	99	34.0%			
原子力発電所に関する 情報提供の満足度	不満足	332	72.6%	241	72.6%	91	27.4%	3	21.1 ***	<0.0001
	あまり	523	77.4%	405	77.4%	118	22.6%			
	多少	635	78.7%	500	78.7%	135	21.3%			
	満足	363	86.5%	314	86.5%	49	13.5%			
原子力発電所に関する 情報提供の満足度2分類	不満	855	75.6%	646	75.6%	209	24.4%	1	9.9 **	0.0016
	満足	998	81.6%	814	81.6%	184	18.4%			

カイ二乗検定 (Chi-square test) を使用 ***p<0.001, **p<0.01, *p<0.05, #p<0.1, n.s有意差なし

表 V-32. 中越沖地震1年後のこころと身体健康調査参加者の震災後の健康行動×IES-R比較
刈羽村

震災後の健康行動×IES-R	全体		IES-R24点以下		IES-R25点以上		df	χ^2/t	p
	n		n	%	n	%			
	1,879		1,484	79.0%	395	21.0%			
喫煙の有無									
吸わない	1,532		1,162	75.8%	370	24.2%	1	2.1 ***	0.0000
吸う	308		293	95.1%	15	4.9%			
喫煙量の変化									
減った	29		22	75.9%	7	24.1%	2	19.2 ***	<0.0001
変わらない	561		463	82.5%	98	17.5%			
増えた	58		34	58.6%	24	41.4%			
飲酒の有無									
飲まない	1,013		787	77.7%	226	22.3%	1	2.3 n.s	0.1290
飲む	765		617	80.7%	148	19.3%			
飲酒量の変化									
変わらない	1,040		854	82.1%	186	17.9%	1	29.4 ***	0.0000
増えた	95		56	58.9%	39	41.1%			
健康状態									
不健康	116		66	56.9%	50	43.1%	3	149.2 ***	<0.0001
あまりすぐれない	425		267	62.8%	158	37.2%			
普通	1,220		1,042	85.4%	178	14.6%			
よい	93		90	96.8%	3	3.2%			
健康状態 2分類									
問題あり	541		333	61.6%	208	38.4%	1	140.6 ***	0.0000
問題なし	1,313		1,132	86.2%	181	13.8%			
体調変化									
変わらない	1,339		1,155	86.3%	184	13.7%	2	162.2 ***	<0.0001
わるくなった	491		289	58.9%	202	41.1%			
よくなった	14		10	71.4%	4	28.6%			
体重変化									
増えた	202		151	74.8%	51	25.2%	2	49.7 ***	<0.0001
減った	340		228	67.1%	112	32.9%			
変わらない	1,255		1,052	83.8%	203	16.2%			
中越沖地震後の受診の有無									
かかっていない	1,498		1,240	82.8%	258	17.2%	1	65.2 ***	0.0000
かかった	301		187	62.1%	114	37.9%			
その他の現在の受診の有無									
かかっていない	1,009		840	83.3%	169	16.7%	1	26.8 ***	0.0000
かかっている	639		464	72.6%	175	27.4%			

カイ二乗検定 (Chi-square test) を使用 ***p<0.001, **p<0.01, *p<0.05, #p<0.1, n.s 有意差なし

表 V-33. 中越沖地震1年後のこころと身体 の健康調査参加者の震災後のソーシャルサポート×IES-R比較
刈羽村

震災後のソーシャルサポート×IES-R		全体		IES-R24点以下		IES-R25点以上		df	χ^2/t	p
		n	%	n	%	n	%			
		1,879		1,484	79.0%	395	21.0%			
地域社会の一員である	まったく感じない	134	96	71.6%	38	28.4%	3	17.2	***	0.0006
	あまり感じない	449	353	78.6%	96	21.4%				
	ときどき感じる	588	441	75.0%	147	25.0%				
	いつも感じる	655	546	83.4%	109	16.6%				
ひとりだと孤独に感じる	まったく感じない	422	387	91.7%	35	8.3%	3	148.3	***	<0.0001
	あまり感じない	842	703	83.5%	139	16.5%				
	ときどき感じる	489	323	66.1%	166	33.9%				
	いつも感じる	97	49	50.5%	48	49.5%				
まわりから受け入れられていない	まったく感じない	553	485	87.7%	68	12.3%	3	71.4	***	<0.0001
	あまり感じない	944	750	79.4%	194	20.6%				
	ときどき感じる	291	189	64.9%	102	35.1%				
	いつも感じる	56	34	60.7%	22	39.3%				
わたしを必要としてくれる 人がいる	まったく感じない	83	62	74.7%	21	25.3%	3	25.6	***	<0.0001
	あまり感じない	308	246	79.9%	62	20.1%				
	ときどき感じる	605	440	72.7%	165	27.3%				
	いつも感じる	847	707	83.5%	140	16.5%				
地域で認められている	まったく感じない	199	138	69.3%	61	30.7%	3	19.8	***	0.0002
	あまり感じない	833	647	77.7%	186	22.3%				
	ときどき感じる	558	451	80.8%	107	19.2%				
	いつも感じる	240	206	85.8%	34	14.2%				
だれもわたしのことを 理解してくれない	まったく感じない	463	412	89.0%	51	11.0%	3	89.7	***	<0.0001
	あまり感じない	977	783	80.1%	194	19.9%				
	ときどき感じる	326	211	64.7%	115	35.3%				
	いつも感じる	62	34	54.8%	28	45.2%				
相談できる友人・知人がいる	まったく感じない	102	79	77.5%	23	22.5%	3	21.3	***	<0.0001
	あまり感じない	388	321	82.7%	67	17.3%				
	ときどき感じる	538	389	72.3%	149	27.7%				
	いつも感じる	792	647	81.7%	145	18.3%				
家族と相談できる	まったく感じない	104	78	75.0%	26	25.0%	3	13.0	**	0.0047
	あまり感じない	221	171	77.4%	50	22.6%				
	ときどき感じる	457	339	74.2%	118	25.8%				
	いつも感じる	1,043	854	81.9%	189	18.1%				
2分類										
地域社会の一員である	感じない	583	449	77.0%	134	23.0%	1	1.3	n.s	0.2455
	感じる	1,243	987	79.4%	256	20.6%				
ひとりだと孤独に感じる	感じない	1,264	1,090	86.2%	174	13.8%	1	125.1	***	0.0000
	感じる	586	372	63.5%	214	36.5%				
まわりから受け入れられていない	感じない	1,497	1,235	82.5%	262	17.5%	1	56.6	***	0.0000
	感じる	347	223	64.3%	124	35.7%				
わたしを必要としてくれる 人がいる	感じない	391	308	78.8%	83	21.2%	1	0.0	n.s	0.9238
	感じる	1,452	1,147	79.0%	305	21.0%				
地域で認められている	感じない	1,032	785	76.1%	247	23.9%	1	10.6	**	0.0011
	感じる	798	657	82.3%	141	17.7%				
だれもわたしのことを 理解してくれない	感じない	1,440	1,195	83.0%	245	17.0%	1	72.0	***	0.0000
	感じる	388	245	63.1%	143	36.9%				
相談できる友人・知人がいる	感じない	490	400	81.6%	90	18.4%	1	3.0	#	0.0830
	感じる	1,330	1,036	77.9%	294	22.1%				
家族と相談できる	感じない	325	249	76.6%	76	23.4%	1	1.4	n.s	0.2415
	感じる	1,500	1,193	79.5%	307	20.5%				

カイ二乗検定(Chi-square test)を使用 ***p<0.001,**p<0.01,*p<0.05,#p<0.1,n.s有意差なし

3. まとめと今後のこころのケアの課題

今回の調査によると、「性別」においては女性が、「年齢階級」においては年齢が上がるほど、「住まい」については仮設住宅に住んでいる方が、「家計者の職業」では専業主婦において、IES-R 分析におけるハイリスク者の割合は高かった。そして、「家屋被害」においては被害程度が大きい程、又、身近な人の死亡者や負傷者がいる場合、ハイリスク者の割合は高かった。

一方、K6 を指標としての検討でも、上記対象者の精神的健康度の低さはある程度示唆されていた。

今後のこころのケアにおいては前記の検討結果等を参考にしつつ、復興が進むにつれて社会からの関心が薄れてしまう、震災における災害弱者等の生活再建の援助はもちろん、精神面における復興（回復）を続けて支援していく必要がある。

おわりに

出雲崎町の応急仮設住宅は平成20年1月31日閉鎖され、柏崎市、刈羽村の応急仮設住宅は平成21年8月をめどに閉鎖される見込みで準備が進み、被災地の復興は順調に進んでいるかに見えます。

しかし、こころと身体の健康は、時間とともに回復する人ばかりでないことをこの報告書が示しています。地震から3年目の復興期になり、応急仮設住宅閉鎖に伴い、住居環境や生活様式の変化に適応できない人たちの戸惑いや不適応による混乱やストレスは、これからの課題となっていくものと思われまます。

このたび、平成20年度新潟県中越沖地震「被災者こころと身体の健康調査」(第1回目)の調査結果及び考察が報告書という形で完成いたしました。この報告書が、3年目を迎える被災者の方のこころと身体の健康の維持・増進に、役立っていただけることを祈念いたします。

最後に、本報告書をまとめるにあたりご協力・ご指導頂いた、関係各位の皆様方に心より感謝申し上げます。

調査・報告書作成に協力いただいた方々 (敬称略)

鈴木友理子 国立精神・神経センター精神保健研究所

成人精神保健部 災害等支援研究室長

五十嵐晃子 茨内地域生活支援センター 臨床心理技術者

平成20年度 新潟県中越沖地震 「被災者こころと身体の健康調査」報告書

新潟県精神保健福祉協会 こころのケアセンター

〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-3

TEL 025-280-0270 FAX 025-285-5353

柏崎地域こころのケアセンター

〒945-0064 柏崎市中央町1-14 田中中央ビル301

TEL 0257-28-6070 FAX 0257-35-6789

印刷：(有)わかい印刷

表紙：Photo by (c)Tomo.Yun (<http://www.yunphoto.net>)

巻末資料：各市町村の中越沖地震「被災者こころと身体健康調査」関係書類

(調査の主旨とご協力のお願、調査用紙、調査結果概要版、健康調査の結果お知らせ)

※ 巻末資料の調査結果概要版に記載されておりますデータは速報値のため、本報告書本文に記載されたデータと若干の差異がありますことをご了承願います。

新潟県中越沖地震

「被災者こころと身体健康調査」

－調査の主旨とご協力をお願い－

昨年の7月16日に発生した新潟県中越沖地震によって、柏崎市は大きく被災しました。その震災から約1年が経ちましたが、皆様には今も復旧・復興のために忙しい毎日をおくっておられることと思います。

柏崎市では「応急仮設住宅にお住まいの世帯」そして「無作為に選ばれた2000世帯」を中心に「被災者こころと身体健康調査」を実施することになりました。この調査は、皆様の心身の健康状態等を詳しくお聞きし、今後の支援に役立てるために実施するものです。ご回答いただきました内容につきましては、統計的に処理をいたします。その目的以外に使用されることはありません。

個人の事情に関わる質問も多くありますが、調査の主旨をご理解いただき、回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成20年6月1日

柏崎市長 会田 洋
新潟県精神保健福祉協会
こころのケアセンター

問い合わせ先：

〒945-0064 柏崎市中心1-14 田中中央ビル

新潟県精神保健福祉協会

柏崎地域こころのケアセンター

電話 0257-28-6070 FAX0257-35-6789

新潟県中越沖地震

「被災者こころと身体の健康調査」

(ご記入と回収にあたってのお願い)

- ご記入は、ご家庭にいらっしゃる高校生以上（高校生を含む）全員が記入下さい。
- ご記入は、黒または青のボールペンをご使用ください。
- 調査内容や記入方法など、ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせ下さい。
- ご記入が終わりましたら、恐れ入りますが、見落とし防止のために書き漏らしがないかも一度ご確認ください。
- ご回答いただきました質問票については、**6月30日までに**返信用の封筒に入れ、郵送いただきますようお願い申し上げます。

問い合わせ先：

〒945-0064 柏崎市中央町 1-14 田中中央ビル

柏崎地域こころのケアセンター

電話 0257-28-6070 FAX0257-35-6789

質問をよく読んで、あてはまるものを「○」でかこんでください。()には、あてはまる数字や言葉を記入してください。

1. あなたの年齢を教えてください。		()歳								
2. あなたの性別を教えてください。		1. 女性				2. 男性				
3. あなたと世帯主との関係を教えてください。		1. 本人	2. 配偶者		3. 子		4. 親		5. その他	
4. あなたの小学校からの学校教育年数をおしえてください。(高卒の場合、12年)		()年								
5. H16年10月の中越大震災を理由として、主たる家計者が転職せざるを得ませんでしたか。		1. 転職する必要がなかった				2. 転職せざるを得なかった				
6. H16年10月の中越大震災をきっかけとして、暮らし向きはかわりましたか。		1. かわらなかった		2. わるくなった			3. よくなった			
7. 昨年の <u>中越沖地震</u> を理由として、主たる家計者が転職せざるを得ませんでしたか。		1. 転職する必要がなかった				2. 転職せざるを得なかった				
8. 昨年の <u>中越沖地震</u> をきっかけとして、暮らし向きはかわりましたか。		1. かわらなかった		2. わるくなった			3. よくなった			
9. 現在の住まいはどちらですか。		1. 仮設			2. 仮設以外 (自宅、アパート、借家、親戚、その他)					
10. <u>主たる家計者の現在の職業</u> で、あてはまるもの1つに○を付けてください。		1. 会社員	2. 公務員	3. 自営	4. パート	5. 専業主婦	6. 年金受給者	7. 学生	8. 無職	9. その他
11. <u>あなたの現在の主な職業</u> で、あてはまるもの1つに○を付けてください。		1. 会社員	2. 公務員	3. 自営	4. パート	5. 専業主婦	6. 年金受給者	7. 学生	8. 無職	9. その他
12. H16年10月の <u>中越大震災</u> に関し、行政による家屋被害認定結果について教えてください。		1. 被害なし		2. 一部損壊		3. 半壊		4. 大規模半壊		5. 全壊

13. 昨年の中越沖地震に関し、行政による家屋被害認定結果について教えてください。	1.被害なし	2.一部損壊	3. 半壊	4. 大規模半壊	5. 全壊
14. これらの震災のために、ご自身の(家庭)のよくない経済的变化を感じましたか。	1. なし	2. すこし	3. かなり		
15. H16年10月の中越大震災に関し、身近に亡くなられた方はいらっしゃいますか。 いる場合にはすべて○をつけてください。	1. いない	2. いる (同居の家族、別居の家族、親戚、友人、知人、その他)			
16. H16年10月の中越大震災に関し、身近で重傷を負われた方はいらっしゃいますか。 いる場合にはすべて○をつけてください。	1. いない	2. いる (同居の家族、別居の家族、親戚、友人、知人、その他)			
17. 昨年の中越沖地震に関し、身近に亡くなられた方はいらっしゃいますか。 いる場合にはすべて○をつけてください。	1. いない	2. いる (同居の家族、別居の家族、親戚、友人、知人、その他)			
18. 昨年の中越沖地震に関し、身近で重傷を負われた方はいらっしゃいますか。 いる場合にはすべて○をつけてください。	1. いない	2. いる (同居の家族、別居の家族、親戚、友人、知人、その他)			
19. あなたは、たばこを吸いますか。また、現在一日に何本くらい吸いますか。	1. 吸わない	2. 吸う ()本くらい			
20. 昨年の中越沖地震後、たばこを吸う本数はかわりましたか。 その場合、一日何本くらいかわりましたか。	1. 減った ()本くらい減った	2. 変わらない	3. 増えた ()本くらい増えた		
21. あなたは、お酒を飲みますか。 その場合、1週間に何日、1回にどれくらい飲みますか。	1. 飲まない	2. 飲む 週()日、1回()杯			
22. 昨年の中越沖地震後、お酒を飲む量がどれくらい増えましたか。	1. 変わらない	2. 増えた 一回あたり()杯くらい増えた			
23. 現在、あなたの健康はいかがですか。	1. 不健康	2. あまりすぐれない	3. 普通	4. よい	
24. 昨年の中越沖地震後、体調に変化はありますか。	1. かわらない	2. わるくなった	3. よくなった		
25. 昨年の中越沖地震後に体重の変化はありましたか。	1. 増えた ()Kgくらい	2. 減った ()Kgくらい	3. かわらない		

26. 昨年の <u>中越沖地震</u> 後に、新たに医者にかかりましたか。その場合、主な病名は何ですか。	1. かかっていない	2.かかった 病名:()		
27. 質問 26 以外で、現在、医者にかかっている主な病気は何ですか。	1. かかっていない	2.かかっている 病名:()		
28. 昨年の <u>中越沖地震</u> による、原子力発電所からの微量の放射能流出は、人体に影響を与えるものではありませんが、現在、からだへの不安はありますか。	1. まったくない	2. ほとんどない	3. ある	4. かなりある
29. <u>現在</u> 、中越沖地震の発生により行政や会社の原子力発電所に関する情報提供に満足していますか。	1. 不満足	2.あまり	3. 多少	4. 満足

次のことについて、昨年の中越沖地震前後に関し、あてはまる数字に○を付けてください。	地震前 1ヶ月平均	最近 1ヶ月
1. あなたは、日常の問題や悩みを相談できる人は何人いますか。	()人	()人
2. あなたは、何人の家族と一緒に住んでいますか（自分含む）。	()人	()人
3. どれくらい別居している家族や親戚と会いましたか。	()回	()回
4. どれくらいの友人と会いましたか。	()回	()回
5. どれくらい町内会のお茶会、サークル、お稽古などの社会活動に参加しましたか。	()回	()回

最近 1 ヶ月で、次のことについて、あてはまる数字に○を付けてください。

1. わたしは、グループや、地域社会の一員である。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
2. わたしは、ひとりしていると孤独を感じる。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
3. わたしは、まわりから受け入れられていない。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
4. わたしを必要としてくれる人がいる。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
5. わたしは、地域で認められている。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
6. だれもわたしのことを理解してくれない。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
7. わたしは、何か問題があった時に、相談できる友人・知人がいる。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
8. わたしは、何か問題があったときに、家族と相談できる。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる

最近2週間で、次のことは、どれくらいありましたか。あてはまる数字に○を付けてください。

1. 理由もなく疲れ切ったように感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
2. 神経過敏に感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
3. どうしても落ち着けなくらいに、神経過敏に感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
4. 絶望的だと感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
5. そわそわ、落ち着かなく感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
6. じっと座ってられないほど、落ち着かなく感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
7. ゆううつに感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
8. 気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れないように感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
9. 何をするのも骨折りだと感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
10. 自分は価値のない人間だと感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも

下記の項目はいずれも、強いストレスを伴うような出来事に巻き込まれた方々に、後になって生じることのあるものです。

中越沖地震の経験に関して、この1週間で、それぞれの項目の内容について、どの程度強く悩まされましたか。あてはまる欄に○をつけてください。(なお、答に迷われた場合は、不明とせず、もっとも近いものを選んでください。)

1. どんなきっかけでも、そのことを思い出すと、そのときの気もちが ぶり返してくる。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
2.睡眠の途中で目が覚めてしまう。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
3. 他のことをしていても、そのことが頭から離れない。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
4.イライラして、怒りっぽくなっている。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
5. そのことについて考えたり思い出すときは、なんとか気を落ち着かせる ようにしている。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
6. 考えるつもりはないのに、そのことを考えてしまうことがある。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
7. そのことは、実際には起きなかったとか、現実のことではなかったよう な気がする。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
8. そのことを思い出させるものには近よらない。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
9. そのときの場面が、いきなり頭にうかんでくる。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
10. 神経が敏感になっていて、ちょっとしたことでどきっとしてしまう。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に

11. そのことは考えないようにしている。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
12. そのことについては、まだいろいろな気もちがあるが、それには触れないようにしている。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
13. そのことについての感情は、マヒしたようである。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
14. 気がつくと、まるでそのときにもどってしまったかのように、ふるまったり感じたりすることがある。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
15. 寝つきが悪い。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
16. そのことについて、感情が強くこみあげてくることがある。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
17. そのことを何とか忘れようとしている。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
18. ものごとに集中できない。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
19. そのことを思い出すと、身体が反応して、汗ばんだり、息苦しくなったり、むかむかしたり、ドキドキすることがある。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
20. そのことについての夢を見る。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
21. 警戒して用心深くしている気がする。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
22. そのことについては話さないようにしている。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に

以下の項目について「希望する」場合は、柏崎市とこころのケアセンターで情報を共有することになります。情報を共有することについていずれかを選んでください。この情報により不利益を被ることは一切ありません。また、調査の目的以外に使用されることはありません。

同意する

同意しない

同意した方は以下もお答え下さい。

調査結果の概要の送付を希望しますか。

希望する

希望しない

個別結果の概要の送付を希望しますか。

希望する

希望しない

個別相談を希望しますか。

希望する

希望しない

結果の送付は個別に送付します。ご自分の住所とお名前をお書き下さい。

個別相談をご希望の方は、電話番号もお書き下さい。

名前

住所

電話番号

同意しない方へは、調査結果の概要と個別結果の概要送付、
ならびに個別相談はありません。

ご自由にご意見などをお書き下さい。

質問は以上でお願いします。ご協力、どうもありがとうございました。

(柏崎市)「新潟県中越沖地震 被災者こころと身体の健康調査」 調査の速報についてのお知らせ

柏崎市元気支援課
こころのケアセンター
(新潟県精神保健福祉協会)

ご協力いただきまして、まことにありがとうございました。

大きな災害後の人々の健康状態を知ることは、大切であると言われています。そこで、平成20年6月に、「応急仮設住宅にお住まいの世帯」と「無作為に選ばれた2,000世帯」、6,977人の15歳以上の方へアンケート調査を郵送し、3,864名の方からご協力をいただきました(回収率：55.4%)。

調査内容

アンケートでは、中越沖地震による生活面での影響、身体の状態、こころの状態、などについてお尋ねしました。

調査結果

調査に協力してくださった方は、若干男性が多く、50歳代から70歳代の方、会社員の方が多く占めました。また、図では示していませんが、アンケートにお答えになった方の約4人に1人が、アンケート調査時、仮設住居にお住まいでした。

中越大震災では半壊以上の被災をされた方が7.7%でしたが、中越沖地震では38.9%の方が半壊以上の被害を受けていました。35.6%の方は、これらの地震によって、経済的変化がかなりあったと感じていたようでした。

身体の状態については、多くの方(68.6%)は健康と感じていましたが、およそ4人に1人は、体調が悪くなったと感じていました。

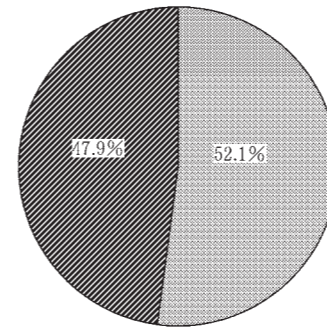
こころの状態では、38.8%の方が大きなストレスを感じており、約1割の方がさらにうつ病や非常に不安が高まっていると思われる状態でした。このような方は、タバコやお酒の量が増えたり、孤独に感じている人の割合が多かったようでした。

まとめ

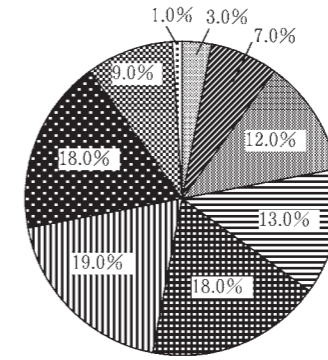
全体的に多くの方は身体面で健康でしたが、こころの状態については平常時の調査と比べると、精神的な問題をもった人の割合は若干多かったようでした。このようなこころの状態には、震災の被害が大きさや身体的な健康の問題が関係していました。更に詳細な分析が必要ですが、経済的な心配、タバコやお酒の増加などはマイナスに、人とのつながりはプラスに影響しているようでした。災害でストレスを感じることは、ごく自然なことです。心配なことがあれば一人で抱え込まずに、周りの人に相談することも大切です。

※これからも、健康な生活を送るにあたり、こころや身体についての心配事や相談がございましたら、以下までご連絡ください。なお、アンケート時に個別結果の概要を希望された方には、後日お送りいたします。

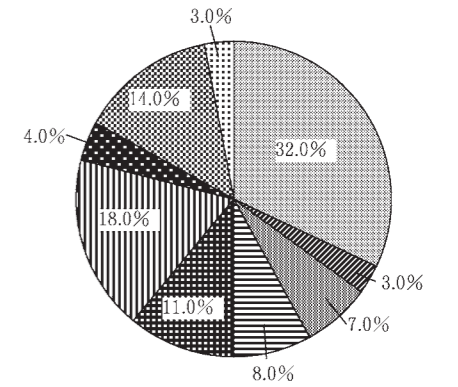
性別 (%)



年齢構成 (%)



回答者の職業 (%)

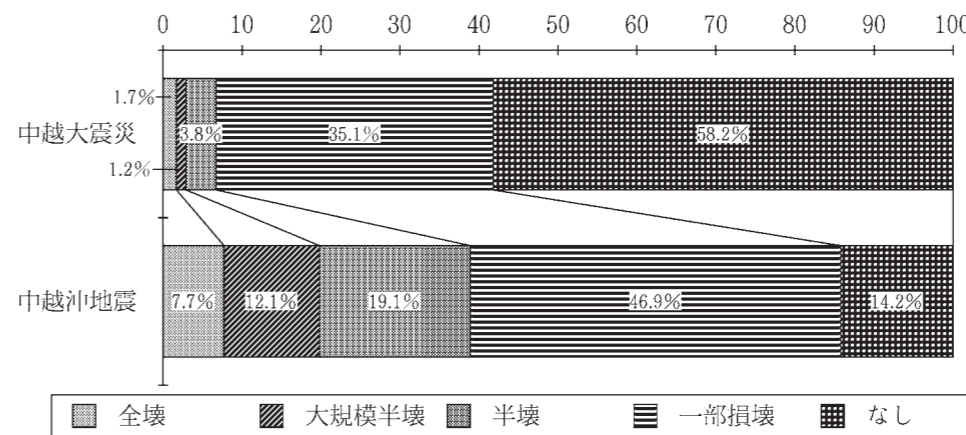


性別 (%)

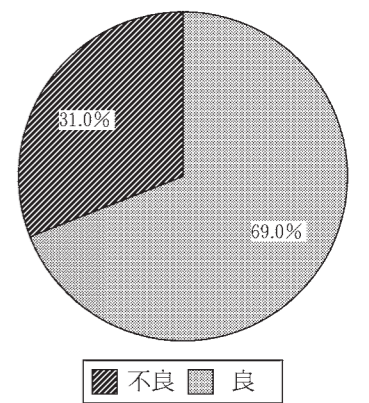
年齢構成 (%)

回答者の職業 (%)

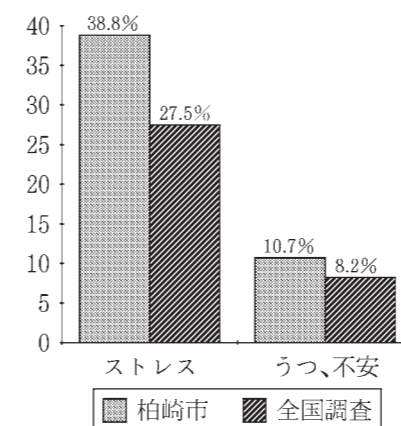
被災状況 (%)



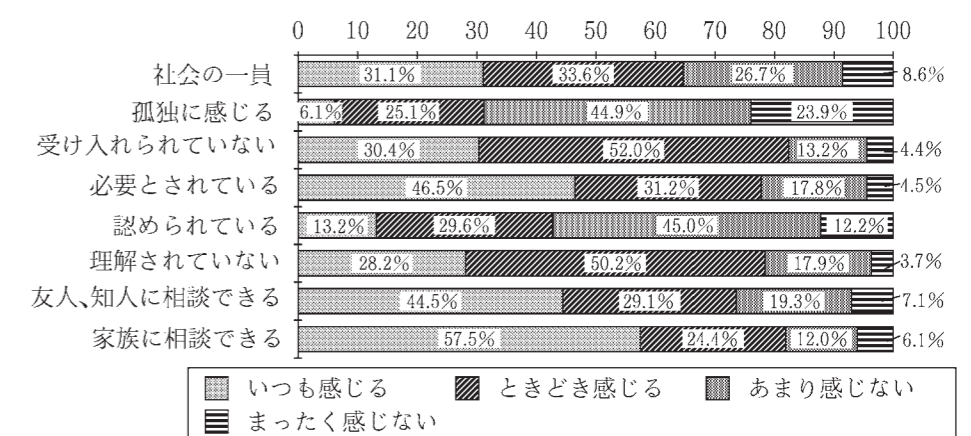
健康状況 (%)



こころの健康について (%)



人とのつながり (%)



平成 20 年度健康調査の結果のお知らせ

様

拝啓

平成 20 年 6 月に行った「こころと身体健康調査」では、お忙しい中多大なご協力を賜りまして、誠に有り難うございました。

その時の調査データの一部を、「こころと身体健康診断」として、希望のありました方にお返しいたします。これはその時のこころと身体の状態を調べたもので、調査時点から今までの間に、こころや身体の状態が変わっていることもありますし、またこの状態がこれからもずっと続くということではありません。

これは「病気」そのものを直接に見つけるものではありませんが、皆様のこころの状態に応じて、生活のお役に立てていただければ幸いです。ご自身の健康状態や生活を振り返り、気になることがある方は、かかりつけ医や別紙医療機関に相談してください。

敬具

結果は 3 段階〈A…問題なし B…要観察 C…要注意または受診〉(無回答は na)で判定しています。

1. 身体健康状態

被災後の生活環境の変化や繰り返す引っ越しなどは、身体の変調の原因になります。毎年、基本健診を受けましょう。定期的に医療機関にかかっている方は、生活を整え自己管理を継続しましょう。気になる症状のある方は、早めに医療機関を受診しましょう。

2. 飲酒・喫煙

被災後にお酒の量が増えたり、飲み始める時間が早くなった方、また、煙草を吸う本数が増えた方は、体調や気分、睡眠状況を振り返り、気になる症状がある方は、早めに医療機関を受診しましょう。

3. こころ健康状態

普段の生活への支障があったり、不安や不眠があることは、こころ健康状態があまりよくない指標です。そのようなときは、自分なりのストレス解消法を見つけたり、専門家に相談して不安や不眠を和らげる薬を処方してもらうのもよいでしょう。

4. 災害によるこころの症状

大きな災害は、こころ健康に長期にわたって影響を与えることがあります。災害のことを考えたくないのに頭に浮かんでしまったり、神経過敏になってしまったりして、日常生活に支障が出てくるようなときは、専門家に相談しましょう。

5. 社会的な支援状況

被災後はさまざまな問題が起こりがちです。一人で抱えこまないで家族や友だち、専門家に相談することで解決の糸口が見つかり、気持ちが楽になることがあります。

「地域の集まり」に積極的に参加したり、外出する機会を増やすことをおすすめします。

新潟県中越沖地震

「被災者こころと身体の健康調査」

－調査の主旨とご協力のお願－

昨年の7月16日に発生した新潟県中越沖地震によって、出雲崎町は大きく被災しました。その震災から約1年が経ちましたが、皆様には今も復旧・復興のために忙しい毎日をおくっておられることと思います。

出雲崎町では、町内在住の15歳以上の全ての方に対して、「被災者こころと身体の健康調査」を実施することになりました。この調査は、皆様の心身の健康状態等を詳しくお聞きし、今後の支援に役立てるために実施するものです。ご回答いただきました内容につきましては、統計的に処理を行い、その目的以外に使用されることはありません。

なお、この調査は3年間の継続調査を予定しています。今年度につきましては、町民の皆様が一人ひとりいきいきと暮らすことを目指し、平成18年度に策定されました「健康いずもぞき21」の、進捗状況の中間評価を行うための調査内容も含まれています。

個人の事情に関わる質問も多くありますが、調査の主旨をご理解いただき、回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成20年9月16日

出雲崎町長 小林 則幸
こころのケアセンター
(新潟県精神保健福祉協会)

問い合わせ先：

〒949-4392 三島郡出雲崎町大字川西140番地
出雲崎町役場 保健福祉課 保険健康係
電話 0258-78-2293 FAX0258-78-4483

〒945-0064 柏崎市中央町1-14 田中中央ビル301
柏崎地域こころのケアセンター
電話 0257-28-6070 FAX0257-35-6789

新潟県中越沖地震

「被災者こころと身体の健康調査」

(ご記入と回収にあたってのお願い)

- ご記入は、ご家庭にいらっしゃる15歳以上全員が記入下さい。
- ご記入は、黒または青のボールペン（鉛筆ではっきり記入でも可）をご使用ください。
- 調査内容や記入方法など、ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせ下さい。
- ご記入が終わりましたら、見落とし防止のために書き漏らしがないかももう一度ご確認ください。
- 記入された調査票は返信用の封筒に入れ、10月18日までに投函してください。

問い合わせ先：

〒949-4392 三島郡出雲崎町大字川西 140 番地
出雲崎町役場 保健福祉課 保険健康係
電話 0258-78-2293 FAX0258-78-4483

〒945-0064 柏崎市中央町 1-14 田中中央ビル
柏崎地域こころのケアセンター
電話 0257-28-6070 FAX0257-35-6789

I 質問をよく読んで、あてはまるものを「○」でかこんでください。()には、あてはまる数字や言葉を記入してください。

1. あなたの年齢を教えてください。	()歳				
2. あなたの性別を教えてください。	1. 女性		2. 男性		
3. あなたと世帯主との関係を教えてください。	1. 本人	2. 配偶者	3. 子	4. 親(義親含む)	5. その他
4. あなたの小学校からの学校教育年数をおしえてください。(高卒の場合、12年)	()年				

II【健康について】 質問をよく読んで、あてはまるものを「○」でかこんでください。()には、あてはまる数字や言葉を記入してください。

1. 朝食を食べていますか。	1. 毎日食べる	2. ときどき食べる	3. 食べない
2. 普段食べている煮物の味付けは濃い方ですか。	1. はい		2. いいえ
3. 間食を毎日1回以上しますか。	1. はい		2. いいえ
4. 夕食後に何か食べますか。	1. はい		2. いいえ
5. 砂糖入りの飲み物(コーヒー、ジュース、スポーツ飲料など)を毎日1回以上飲みますか。	1. はい		2. いいえ
6. 食事の時に、主食(ご飯・パン・麺類)、主菜(肉・魚・卵・大豆料理)、副菜(野菜料理・海藻)がそろっていますか。 ※単品でもすべてが含まれる料理の場合は、 <u>主食・主菜・副菜がそろっている</u> とみなします。(例：カレーライス、ご飯と豚汁など)	朝食 ⇒	1. はい	2. いいえ
	昼食 ⇒	1. はい	2. いいえ
	夕食 ⇒	1. はい	2. いいえ

7. よく噛んで食べるように心がけていますか。	1. はい		2. いいえ	
8. ひと口何回噛んでいますか。	1. 30回以上	2. 10回以上30回未満	3. 10回未満	
9. あなたは日ごろ意識して体を動かすようにしていますか。	1. はい		2. いいえ	
10. 軽く汗をかく運動をどの程度行っていますか。	1. 30分以上	2. 30分未満	3. 行っていない (14にお答えください。)	
11. どのくらいの割合で運動していますか。	1. 週5回以上	2. 週2~4回	3. 週1回	
12. その運動はどのくらい続けていますか。	1. 1年以上	2. 半年	3. 3か月	4. 3か月未満 (15にお答えください。)
13. どんな運動を行っていますか。	1. ウォーキング		2. ジョギング	
	3. 水泳		4. 3か月未満 (15にお答えください。)	
14. 10で「行っていない」とお答えした方にお聞きします。運動をしていない理由は何ですか。	1. 時間がない		2. 場所がない	
	3. 指導者がいない		4. 3か月未満 (15にお答えください。)	
15. 12で「3か月未満」とお答えした方にお聞きします。運動を始めたきっかけはどんなことですか。	1. 健康診断等の結果・指導から		2. 町の健康教室・スポーツ教室に参加して	
	3. 友達等に誘われて		4. 3か月未満 (15にお答えください。)	
15. 12で「3か月未満」とお答えした方にお聞きします。運動を始めたきっかけはどんなことですか。	4. 町の広報紙・公民館だより等を見て		5. テレビ、新聞、雑誌等を見て	
	6. その他 ()		6. その他 ()	

16. ストレスを感じた時に発散する方法があり実践していますか。	1. している ⇒(どのような方法:)	2. していない ⇒(理由:)
17. うつ病について知る機会がありましたか。	1. ある ⇒テレビ・新聞・講演会・雑誌・本・その他()	2. ない

Ⅲ【地震関連】 質問をよく読んで、あてはまるものを「○」でかこんでください。()には、あてはまる数字や言葉を記入してください。

1. H16年10月の中越大震災を理由として、主たる家計者が転職せざるを得ませんでしたか。	1. 転職する必要がなかった	2. 転職せざるを得なかった							
2. H16年10月の中越大震災をきっかけとして、暮らし向きはかわりましたか。	1. かわらなかった	2. わるくなった	3. よくなった						
3. 昨年の <u>中越沖地震</u> を理由として、主たる家計者が転職せざるを得ませんでしたか。	1. 転職する必要がなかった	2. 転職せざるを得なかった							
4. 昨年の <u>中越沖地震</u> をきっかけとして、暮らし向きはかわりましたか。	1. かわらなかった	2. わるくなった	3. よくなった						
5. 現在の住まいはどちらですか。	1. 仮設	2. 仮設以外(持家、借家・アパート等、親戚宅、その他)							
6. <u>主たる家計者の現在の職業</u> で、あてはまるもの1つに○を付けてください。	1. 会社員	2. 公務員	3. 自営	4. パート	5. 専業主婦	6. 年金受給者	7. 学生	8. 無職	9. その他
7. <u>あなたの現在の主な職業</u> で、あてはまるもの1つに○を付けてください。	1. 会社員	2. 公務員	3. 自営	4. パート	5. 専業主婦	6. 年金受給者	7. 学生	8. 無職	9. その他
8. H16年10月の <u>中越大震災</u> に関し、行政による家屋被害認定結果について教えてください。	1.被害なし	2.一部損壊	3. 半壊	4. 大規模半壊	5. 全壊				
9. 昨年の <u>中越沖地震</u> に関し、行政による家屋被害認定結果について教えてください。	1.被害なし	2.一部損壊	3. 半壊	4. 大規模半壊	5. 全壊				
10. これらの震災のために、ご自身の(家庭)のよくない経済的変化を感じましたか。	1. 感じない	2. 少し感じた	3. かなり感じた						

11. H16年10月の中越大震災に関し、身近に亡くなられた方はいらっしゃいますか。いる場合にはすべて○をつけてください。	1. いない	2. いる(同居の家族、別居の家族、親戚、友人、知人、その他)		
12. H16年10月の中越大震災に関し、身近で重傷を負われた方はいらっしゃいますか。いる場合にはすべて○をつけてください。	1. いない	2. いる(同居の家族、別居の家族、親戚、友人、知人、その他)		
13. 昨年の <u>中越沖地震</u> に関し、身近に亡くなられた方はいらっしゃいますか。いる場合にはすべて○をつけてください。	1. いない	2. いる(同居の家族、別居の家族、親戚、友人、知人、その他)		
14. 昨年の <u>中越沖地震</u> に関し、身近で重傷を負われた方はいらっしゃいますか。いる場合にはすべて○をつけてください。	1. いない	2. いる(同居の家族、別居の家族、親戚、友人、知人、その他)		
15. あなたは、たばこを吸いますか。また、現在一日に何本くらい吸いますか。	1. 吸わない	2. 吸う ()本くらい		
16. 昨年の <u>中越沖地震</u> 後、たばこを吸う本数はかわりましたか。その場合、一日何本くらいかわりましたか。	1. 減った ()本くらい減った	2. 変わらない	3. 増えた ()本くらい増えた	
17. あなたは、お酒を飲みますか。その場合、1週間に何日、1回にどれくらい飲みますか。	1. 飲まない	2. 飲む 週()日、1回()杯		
18. 昨年の <u>中越沖地震</u> 後、お酒を飲む量がどれくらい増えましたか。	1. 変わらない	2. 増えた 一回あたり()杯くらい増えた		
19. 現在、あなたの健康はいかがですか。	1. 不健康	2. あまりすぐれない	3. 普通	4. よい
20. 昨年の <u>中越沖地震</u> 後、体調に変化はありますか。	1. かわらない	2. わるくなった	3. よくなった	
21. 昨年の <u>中越沖地震</u> 後に体重の変化はありましたか。	1. 増えた ()Kgくらい	2. 減った ()Kgくらい	3. 変わらない	
22. 現在の身長・体重をお答えください。	身長 () cm	体重 () kg		

23. 昨年の中越沖地震後に、新たに医者にかかりましたか。その場合、主な病名は何ですか。	1. かかっていない	2.かかった 病名: ()		
24. 質問 23以外で、現在、医者にかかっている主な病気は何ですか。	1. かかっていない	2.かかっている 病名: ()		
25. 昨年の中越沖地震による、原子力発電所からの微量の放射能流出は、人体に影響を与えるものではありませんが、現在、からだへの不安はありますか。	1. まったくない	2. ほとんどない	3. ある	4. かなりある
26. 現在、中越沖地震の発生により行政や会社の原子力発電所に関する情報提供に満足していますか。	1. 不満足	2.あまり	3. 多少	4. 満足

IV次のことについて、昨年の中越沖地震前後に関し、()にあてはまる数字を記入してください。	地震前 1ヶ月平均	最近 1ヶ月
1. あなたは、日常の問題や悩みを相談できる人は何人いますか。	()人	()人
2. あなたは、何人の家族と一緒に住んでいますか(自分含む)。	()人	()人
3. どれくらい別居している家族や親戚と会いましたか。	()回	()回
4. どれくらいの友人と会いましたか。	()回	()回
5. どれくらい町内会のお茶会、サークル、お稽古などの社会活動に参加しましたか。	()回	()回

V 最近 1 ヶ月で、次のことについて、あてはまる数字に○を付けてください。

1. わたしは、グループや、地域社会の一員である。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
2. わたしは、ひとりしていると孤独を感じる。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
3. わたしは、まわりから受け入れられていない。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
4. わたしを必要としてくれる人がいる。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
5. わたしは、地域で認められている。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
6. だれもわたしのことを理解してくれない。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
7. わたしは、何か問題があった時に、相談できる友人・知人がいる。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
8. わたしは、何か問題があったときに、家族と相談できる。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる

VI 最近2週間で、次のことは、どれくらいありましたか。あてはまる数字に○を付けてください。

1. 理由もなく疲れ切ったように感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
2. 神経過敏に感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
3. どうしても落ち着けないくらいに、神経過敏に感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
4. 絶望的だと感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
5. そわそわ、落ち着かなく感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
6. じっと座ってられないほど、落ち着かなく感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
7. ゆううつに感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
8. 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
9. 何をするのも骨折りだと感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
10. 自分は価値のない人間だと感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも

Ⅶ 下記の項目はいずれも、強いストレスを伴うような出来事に巻き込まれた方々に、後になって生じることのあるものです。

中越沖地震の経験に関して、この1週間で、それぞれの項目の内容について、どの程度強く悩まされましたか。あてはまる欄

に○をつけてください。(なお、答に迷われた場合は、不明とせず、もっとも近いものを選んでください。)

1. どんなきっかけでも、そのことを思い出すと、そのときの気持ちがいふ返してくる。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
2. 睡眠の途中で目が覚めてしまう。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
3. 他のことをしていても、そのことが頭から離れない。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
4. イライラして、怒りっぽくなっている。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
5. そのことについて考えたり思い出すときは、なんとか気を落ち着かせるようにしている。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
6. 考えるつもりはないのに、そのことを考えてしまうことがある。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
7. そのことは、実際には起きなかったとか、現実のことではなかったような気がする。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
8. そのことを思い出させるものには近よらない。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
9. そのときの場面が、いきなり頭にうかんでくる。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に

10. 神経が敏感になっていて、ちょっとしたことでどきっとしてしまう。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
11. そのことは考えないようにしている。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
12. そのことについては、まだいろいろな気持ちがあるが、それには触れないようにしている。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
13. そのことについての感情は、マヒしたようである。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
14. 気がつくと、まるでそのときにもどってしまったかのように、ふるまったり感じたりすることがある。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
15. 寝つきが悪い。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
16. そのことについて、感情が強くこみあげてくることがある。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
17. そのことを何とか忘れようとしている。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
18. ものごとに集中できない。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
19. そのことを思い出すと、身体が反応して、汗ばんだり、息苦しくなったり、むかむかしたり、どきどきすることがある。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
20. そのことについての夢を見る。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
21. 警戒して用心深くしている気がする。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
22. そのことについては話さないようにしている。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に

VII 調査の結果について以下もお答え下さい。

調査結果の概要の送付を希望しますか。

希望する

希望しない

個別結果の概要の送付を希望しますか。

希望する

希望しない

個別相談を希望しますか。

希望する

希望しない

VIII 結果の送付は個別に送付します。ご自分の住所とお名前をお書き下さい。

個別相談をご希望の方は、電話番号もお書き下さい。

名前

住所

電話番号

ご自由にご意見などをお書き下さい。

出雲崎町「新潟県中越沖地震 被災者こころと身体 の健康調査」 についてのお知らせ

出雲崎町保健福祉課
こころのケアセンター
(新潟県精神保健福祉協会)

ご協力いただきまして、まことにありがとうございました。

平成20年9月に、出雲崎町にお住まいの方のうち、15歳以上の方4,590名へアンケート調査を郵送し、2,766名の方からご協力をいただきました。

調査内容

アンケートでは、中越沖地震による生活面での影響、身体 の健康、こころの健康などについてお尋ねしました。

調査結果

調査に協力してくださった方は、だいたい男性と女性が同数、年齢では50歳代から70歳代の方が多く、職業では会社員の方が多くを占めていました。

中越大震災の家屋の被災状況は、半壊以上の被災をされた方が2.5%でしたが、中越沖地震では10.5%の方が半壊以上の被害を受けていました。図では示していませんが、中越大震災では約1割、中越沖地震では約2割の方が、地震により暮らし向きが悪くなったと感じていました。55.4%の方が、これらの地震によってかなりの良くない経済的変化を感じていたようでした。また、約1割の方は、体調が悪くなったと感じていました。現在の健康状態が良くないと感じている方は、約2割でした。

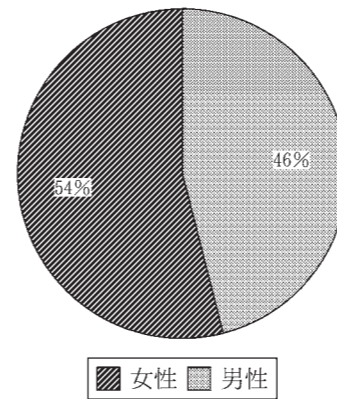
こころの健康に関しては、ストレスを感じていると思われる方が回答者の26.9%、更にうつ病や非常に不安が高まっていると思われる方が7.7%で、全国調査の数値とほぼ同じ割合でした。図には示していませんが、このような方は、タバコやお酒の量が増えたり、体重が変化したりする方が多い傾向にありました。またこのような方の中には、人とのつながりで孤独に感じている方の割合も多かったようでした。

まとめ

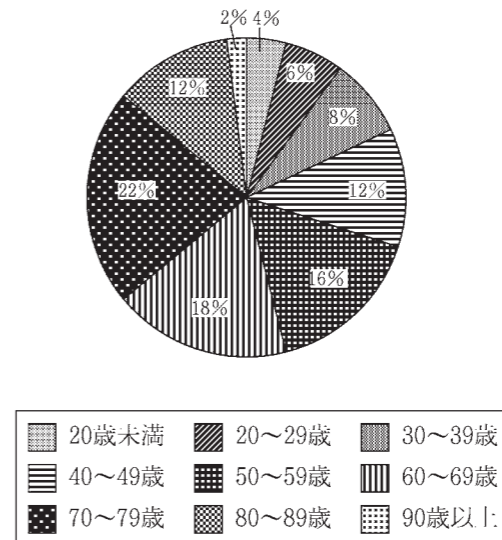
こころの健康について、今回の調査では精神的な問題をもった人の割合は平常時の調査と同程度でしたが、このようなこころの健康には、震災での被害が大きかったことや、身体的な健康の問題が関係していました。更に詳細な分析が必要ですが、経済的な心配、孤独に感じること、タバコやお酒の増加、などもマイナスに影響しているようでした。ストレスを感じている時には、一人で抱え込まずに、周りの人に相談することが大切です。

※これからも、健康な生活を送っていただけますよう、心配事などがございましたら、以下までご連絡ください。

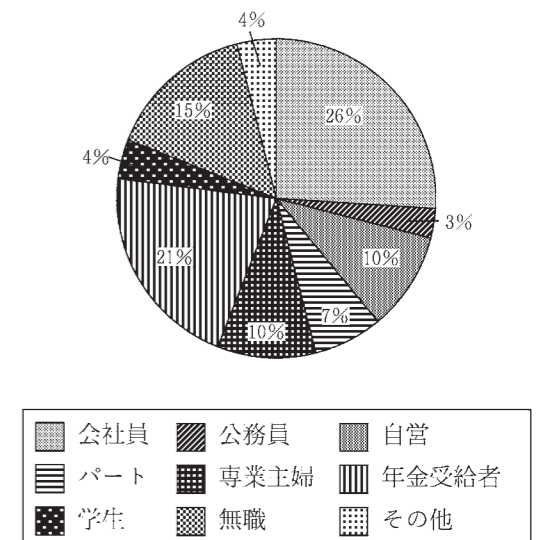
性別 (%)



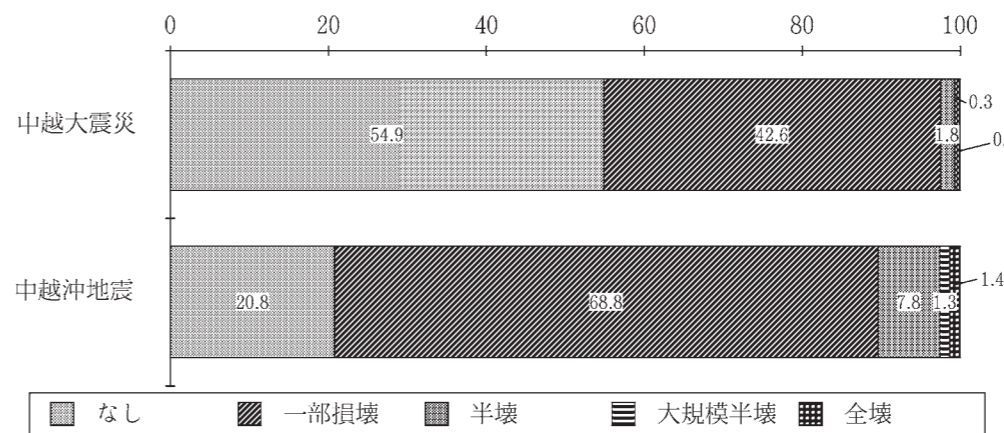
年齢構成 (%)



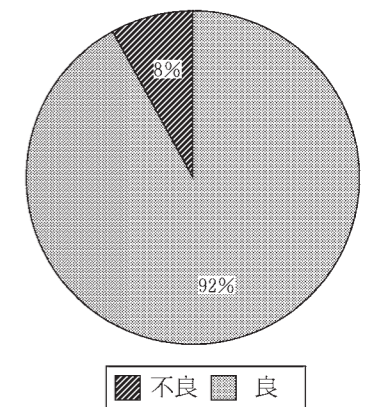
回答者の職業 (%)



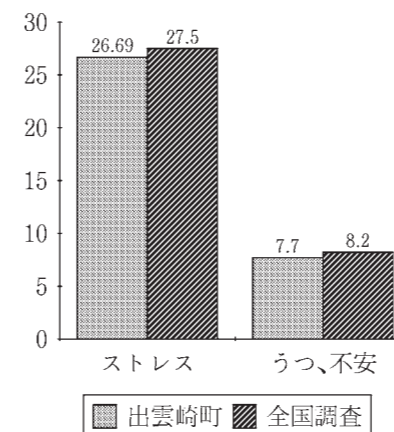
被災状況 (%)



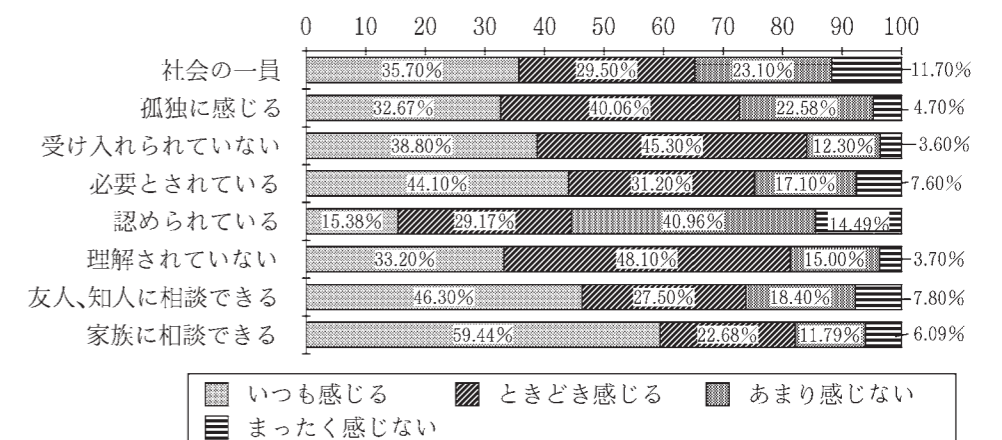
健康状況 (%)



こころの健康について (%)



人とのつながり (%)



平成 20 年度健康調査の結果のお知らせ

様

拝啓

この度の調査ではお忙しい中、多大なご協力を賜りまして、誠に有り難うございました。

その時の調査データの一部を、「こころと身体健康診断」として、希望の有りました方にお返しいたします。これはその時のこころと身体の状態を調べたもので、調査時点から今までの間に、こころや身体の状態が変わっていることもありますし、またこの状態がこれからもずっと続くということではありません。

結果は 3 段階〈A…問題なし B…要観察 C…要注意または受診〉(無回答は na)で判定しています。これは「病気」そのものを直接に見つけるものではありませんが、皆様のこころの状態に応じて、生活のお役に立てていただければ幸いです。ご自身の健康状態や生活を振り返り、気になることがある方は、町の保健福祉課や医療機関に相談してください。

敬具

1. 身体健康状態

被災後の生活環境の変化や繰り返す引っ越しなどは、身体の変調の原因になります。毎年、基本健診を受けましょう。定期的に医療機関にかかっている方は、生活を整え自己管理を継続しましょう。気になる症状のある方は、早めに医療機関を受診しましょう。

2. 飲酒・喫煙

被災後にお酒の量が増えたり、飲み始める時間が早くなった方、また、煙草を吸う本数が増えた方は、体調や気分、睡眠状況を振り返り、気になる症状がある方は、早めに医療機関を受診しましょう。

3. こころ健康状態

普段の生活への支障があったり、不安や不眠があることは、こころの健康状態があまりよくない指標です。そのようなときは、自分なりのストレス解消法を見つけたり、専門家に相談して不安や不眠を和らげる薬を処方してもらうのもよいでしょう。

4. 災害によるこころの症状

大きな災害は、こころの健康に長期にわたって影響を与えることがあります。災害のことを考えたくないのに頭に浮かんできいたり、神経過敏になってしまったりして、日常生活に支障が出てくるようなときは、専門家に相談しましょう。

5. 社会的な支援状況

生活の中には悩みやストレスの原因になる事柄が多くありますが、それらを誰かに話すことだけでも、こころの健康状態をよくすることにつながります。身近な人には話しにくいときは、専門家に相談するのもよいでしょう。

新潟県中越沖地震

「被災者こころと身体の健康調査」

－調査の主旨とご協力をお願い－

昨年の7月16日に発生した新潟県中越沖地震によって、刈羽村は大きく被災しました。その震災から約1年が経ちましたが、皆様には今も復旧・復興のために忙しい毎日をおくっておられることと思います。

この度、柏崎市の一部世帯と刈羽村全世帯に対し、「被災者こころと身体の健康調査」を実施することになりました。この調査は、皆様の心身の健康状態等を詳しくお聞きし、今後の支援に役立てるために実施するものです。ご回答いただきました内容につきましては、統計的に処理をいたします。その目的以外に使用されることはありません。

個人の事情に関わる質問も多くありますが、調査の主旨をご理解いただき、回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成20年6月1日

刈羽村長 品田宏夫
新潟県精神保健福祉協会
こころのケアセンター

問い合わせ先：

〒945-0397 刈羽村大字割町新田 215-1

刈羽村役場住民福祉課

電話 0257-45-3916 FAX0257-45-2818

〒945-0064 柏崎市中央町1-14 田中中央ビル 301

柏崎地域こころのケアセンター

電話 0257-28-6070 FAX0257-35-6789

新潟県中越沖地震

「被災者こころと身体の健康調査」

(ご記入と回収にあたってのお願い)

- ご記入は、ご家庭にいらっしゃる高校生以上（高校生を含む）全員が記入下さい。
- ご記入は、黒または青のボールペンをご使用ください。
- 調査内容や記入方法など、ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせ下さい。
- ご記入が終わりましたら、恐れ入りますが、見落とし防止のために書き漏らしがないかもう一度ご確認ください。
- ご回答いただきました質問票については、**6月30日までに**返信用の封筒に入れ、郵送いただきますようお願い申し上げます。

問い合わせ先：

〒945-0397 刈羽村大字割町新田 215-1
刈羽村役場住民福祉課
電話 0257-45-3916 FAX0257-45-2818

〒945-0064 柏崎市中央町 1-14 田中中央ビル
柏崎地域こころのケアセンター
電話 0257-28-6070 FAX0257-35-6789

質問をよく読んで、あてはまるものを「○」でかこんでください。()には、あてはまる数字や言葉を記入してください。

1. あなたの年齢を教えてください。		()歳								
2. あなたの性別を教えてください。		1. 女性				2. 男性				
3. あなたと世帯主との関係を教えてください。		1. 本人	2. 配偶者		3. 子		4. 親		5. その他	
4. あなたの小学校からの学校教育年数をおしえてください。(高卒の場合、12年)		()年								
5. H16年10月の中越大震災を理由として、主たる家計者が転職せざるを得ませんでしたか。		1. 転職する必要がなかった				2. 転職せざるを得なかった				
6. H16年10月の中越大震災をきっかけとして、暮らし向きはかわりましたか。		1. かわらなかった		2. わるくなった			3. よくなった			
7. 昨年の <u>中越沖地震</u> を理由として、主たる家計者が転職せざるを得ませんでしたか。		1. 転職する必要がなかった				2. 転職せざるを得なかった				
8. 昨年の <u>中越沖地震</u> をきっかけとして、暮らし向きはかわりましたか。		1. かわらなかった		2. わるくなった			3. よくなった			
9. 現在の住まいはどちらですか。		1. 仮設			2. 仮設以外 (自宅、アパート、借家、親戚、その他)					
10. <u>主たる家計者の現在の職業</u> で、あてはまるもの1つに○を付けてください。		1. 会社員	2. 公務員	3. 自営	4. パート	5. 専業主婦	6. 年金受給者	7. 学生	8. 無職	9. その他
11. <u>あなたの現在の主な職業</u> で、あてはまるもの1つに○を付けてください。		1. 会社員	2. 公務員	3. 自営	4. パート	5. 専業主婦	6. 年金受給者	7. 学生	8. 無職	9. その他
12. H16年10月の <u>中越大震災</u> に関し、行政による家屋被害認定結果について教えてください。		1. 被害なし		2. 一部損壊		3. 半壊		4. 大規模半壊		5. 全壊

13. 昨年の中越沖地震に関し、行政による家屋被害認定結果について教えてください。	1.被害なし	2.一部損壊	3. 半壊	4. 大規模半壊	5. 全壊
14. これらの震災のために、ご自身の(家庭)のよくない経済的变化を感じましたか。	1. なし	2. すこし		3. かなり	
15. H16年10月の中越大震災に関し、身近に亡くなられた方はいらっしゃいますか。 いる場合にはすべて○をつけてください。	1. いない	2. いる (同居の家族、別居の家族、親戚、友人、知人、その他)			
16. H16年10月の中越大震災に関し、身近で重傷を負われた方はいらっしゃいますか。 いる場合にはすべて○をつけてください。	1. いない	2. いる (同居の家族、別居の家族、親戚、友人、知人、その他)			
17. 昨年の中越沖地震に関し、身近に亡くなられた方はいらっしゃいますか。 いる場合にはすべて○をつけてください。	1 いない	2. いる (同居の家族、別居の家族、親戚、友人、知人、その他)			
18. 昨年の中越沖地震に関し、身近で重傷を負われた方はいらっしゃいますか。 いる場合にはすべて○をつけてください。	1. いない	2. いる (同居の家族、別居の家族、親戚、友人、知人、その他)			
19. あなたは、たばこを吸いますか。また、現在一日に何本くらい吸いますか。	1 吸わない		2. 吸う ()本くらい		
20. 昨年の中越沖地震後、たばこを吸う本数はかわりましたか。 その場合、一日何本くらいかわりましたか。	1. 減った ()本くらい減った		2. 変わらない		3. 増えた ()本くらい増えた
21. あなたは、お酒を飲みますか。 その場合、1週間に何日、1回にどれくらい飲みますか。	1.飲まない		2. 飲む 週()日、1回()杯		
22. 昨年の中越沖地震後、お酒を飲む量がどれくらい増えましたか。	1. 変わらない		2. 増えた 一回あたり()杯くらい増えた		
23. 現在、あなたの健康はいかがですか。	1. 不健康	2. あまりすぐれない	3. 普通		4. よい
24. 昨年の中越沖地震後、体調に変化はありますか。	1. かわらない		2. わるくなった		3. よくなった
25. 昨年の中越沖地震後に体重の変化はありましたか。	1. 増えた ()Kgくらい		2. 減った ()Kgくらい		3. かわらない

26. 昨年の <u>中越沖地震</u> 後に、新たに医者にかかりましたか。その場合、主な病名は何ですか。	1. かかっていない	2.かかった 病名:()		
27. 質問 26 以外で、現在、医者にかかっている主な病気は何ですか。	1. かかっていない	2.かかっている 病名:()		
28. 昨年の <u>中越沖地震</u> による、原子力発電所からの微量の放射能流出は、人体に影響を与えるものではありませんが、現在、からだへの不安はありますか。	1. まったくない	2. ほとんどない	3. ある	4. かなりある
29. <u>現在</u> 、中越沖地震の発生により行政や会社の原子力発電所に関する情報提供に満足していますか。	1. 不満足	2.あまり	3. 多少	4. 満足

次のことについて、昨年の中越沖地震前後に関し、あてはまる数字に○を付けてください。	地震前 1ヶ月平均	最近 1ヶ月
1. あなたは、日常の問題や悩みを相談できる人は何人いますか。	()人	()人
2. あなたは、何人の家族と一緒に住んでいますか（自分含む）。	()人	()人
3. どれくらい別居している家族や親戚と会いましたか。	()回	()回
4. どれくらいの友人と会いましたか。	()回	()回
5. どれくらい町内会のお茶会、サークル、お稽古などの社会活動に参加しましたか。	()回	()回

最近 1 ヶ月で、次のことについて、あてはまる数字に○を付けてください。

1. わたしは、グループや、地域社会の一員である。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
2. わたしは、ひとりしていると孤独を感じる。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
3. わたしは、まわりから受け入れられていない。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
4. わたしを必要としてくれる人がいる。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
5. わたしは、地域で認められている。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
6. だれもわたしのことを理解してくれない。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
7. わたしは、何か問題があった時に、相談できる友人・知人がいる。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる
8. わたしは、何か問題があったときに、家族と相談できる。	1.まったく 感じない	2.あまり 感じない	3.ときどき 感じる	4.いつも 感じる

最近2週間で、次のことは、どれくらいありましたか。あてはまる数字に○を付けてください。

1. 理由もなく疲れ切ったように感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
2. 神経過敏に感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
3. どうしても落ち着けないくらいに、神経過敏に感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
4. 絶望的だと感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
5. そわそわ、落ち着かなく感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
6. じっと座ってられないほど、落ち着かなく感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
7. ゆううつに感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
8. 気分が沈み込んで、何か起こっても気が晴れないように感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
9. 何をするのも骨折りだと感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも
10. 自分は価値のない人間だと感じましたか。	1.全くない	2.少しだけ	3.ときどき	4.たいてい	5.いつも

下記の項目はいずれも、強いストレスを伴うような出来事に巻き込まれた方々に、後になって生じることのあるものです。

中越沖地震の経験に関して、この1週間で、それぞれの項目の内容について、どの程度強く悩まされましたか。あてはまる欄に○をつけてください。(なお、答に迷われた場合は、不明とせず、もっとも近いものを選んでください。)

1. どんなきっかけでも、そのことを思い出すと、そのときの気もちが ぶり返してくる。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
2.睡眠の途中で目が覚めてしまう。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
3. 他のことをしていても、そのことが頭から離れない。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
4.イライラして、怒りっぽくなっている。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
5. そのことについて考えたり思い出すときは、なんとか気を落ち着かせる ようにしている。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
6. 考えるつもりはないのに、そのことを考えてしまうことがある。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
7. そのことは、実際には起きなかったとか、現実のことではなかったよう な気がする。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
8. そのことを思い出させるものには近よらない。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
9. そのときの場面が、いきなり頭にうかんでくる。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
10. 神経が敏感になっていて、ちょっとしたことでどきっとしてしまう。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に

11. そのことは考えないようにしている。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
12. そのことについては、まだいろいろな気もちがあるが、それには触れないようにしている。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
13. そのことについての感情は、マヒたようである。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
14. 気がつくと、まるでそのときにもどってしまったかのように、ふるまったり感じたりすることがある。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
15. 寝つきが悪い。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
16. そのことについて、感情が強くこみあげてくることがある。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
17. そのことを何とか忘れようとしている。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
18. ものごとに集中できない。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
19. そのことを思い出すと、身体が反応して、汗ばんだり、息苦しくなったり、むかむかしたり、ドキドキすることがある。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
20. そのことについての夢を見る。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
21. 警戒して用心深くている気がする。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に
22. そのことについては話さないようにしている。	1.全くなし	2.少し	3.中くらい	4.かなり	5.非常に

以下の項目について「希望する」場合は、柏崎市とこころのケアセンターで情報を共有することになります。情報を共有することについていずれかを選んでください。この情報により不利益を被ることは一切ありません。また、調査の目的以外に使用されることはありません。

同意する

同意しない

同意した方は以下もお答え下さい。

調査結果の概要の送付を希望しますか。

希望する

希望しない

個別結果の概要の送付を希望しますか。

希望する

希望しない

個別相談を希望しますか。

希望する

希望しない

結果の送付は個別に送付します。ご自分の住所とお名前をお書き下さい。個別相談をご希望の方は、電話番号もお書き下さい。

名前

住所

電話番号

ご自由にご意見などをお書き下さい。

同意しない方へは、調査結果の概要と個別結果の概要送付、ならびに個別相談はありません。

質問は以上でございます。ご協力、どうもありがとうございました。

刈羽村 「新潟県中越沖地震 被災者こころと身体 の健康調査」 調査の速報についてのお知らせ

刈羽村役場住民福祉課
こころのケアセンター
(新潟県精神保健福祉協会)

ご協力いただきまして、まことにありがとうございました。

大きな災害後の人々の健康状態を知ることは大切であると言われております。平成20年6月に、刈羽村にお住まいの1,533世帯4,358人のうち、15歳以上の方へアンケート調査を郵送し、2,270名(回収率：52.1%)の方からご協力をいただきました。

調査内容

アンケートでは、中越沖地震による生活面での影響、身体 の健康、こころの健康などについてお尋ねしました。

調査結果

調査に協力してくださった方は、男性と女性がほぼ同数、年齢では50歳代から70歳代の方が多く、職業では会社員の方が多くを占めていました。また、図では示していませんが、アンケートに回答してくださった方の約10人に1人が、アンケート調査時、仮設住居にお住まいでした。

中越大震災の家屋の被災状況は、半壊以上の被災をされた方が19.5%でしたが、中越沖地震では46.6%の方が半壊以上の被害を受けていました。37.1%の方が、これらの地震によってかなりのよくない経済的变化を感じていたようでした。

身体 の健康については、約7割の方は体調がよいと答えていましたが、およそ4人に1人は、体調が悪くなったと感じていました。

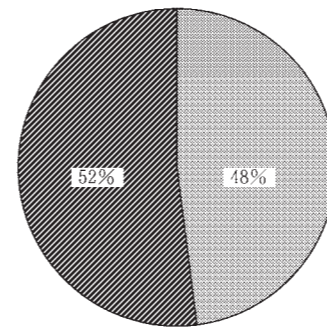
こころの健康については、回答者の38.2%の方がストレスを感じており、約1割の方が、さらにうつ病や非常に不安が高まっていると思われる状態でした。このような方は、タバコやお酒の量が増えたり、体重が変化したりする人が多い傾向にありました。

まとめ

全体的に多くの方は身体面で健康でしたが、こころの健康については、平常時の調査と比べると、精神的な問題をもった人の割合は若干多かったようでした。このようなこころの健康には、震災での被害が大きかったことや、身体的な健康の問題が関係していました。更に詳細な分析が必要ですが、経済的な心配、タバコやお酒の増加などはマイナスに、人とのつながりはプラスに影響しているようでした。災害でストレスを感じることは、ごく自然なことですので、心配なことがあれば一人で抱え込まずに、周りの人に相談することも大切です。

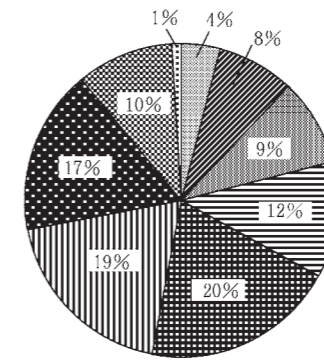
※これからも、健康な生活を送るにあたり、こころや身体 の健康について心配事や相談がございましたら、以下までご連絡ください。

性別 (%)



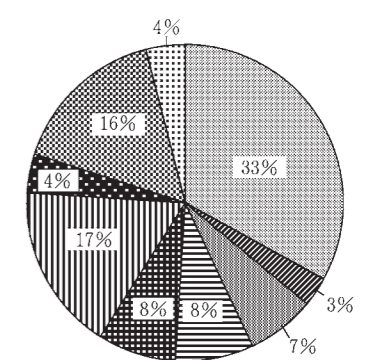
性別 (%)

年齢構成 (%)



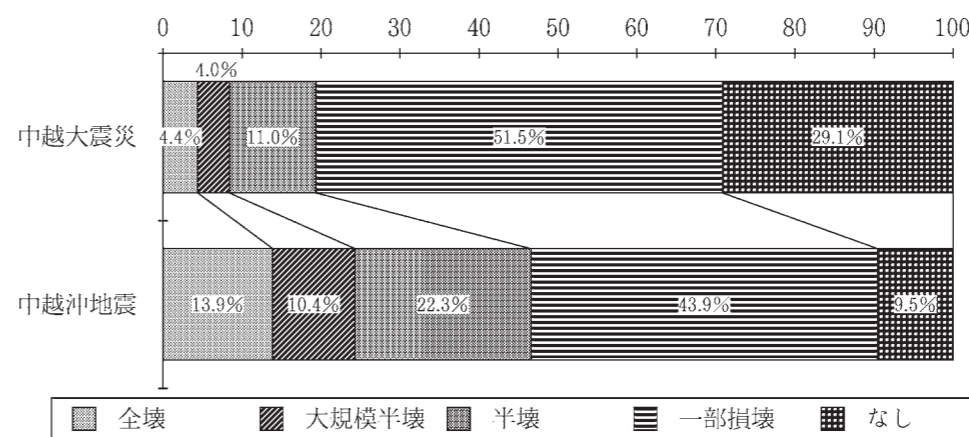
年齢構成 (%)

回答者の職業 (%)

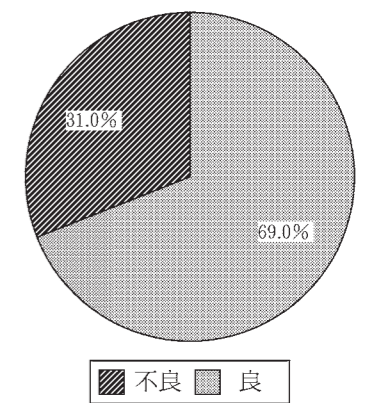


回答者の職業 (%)

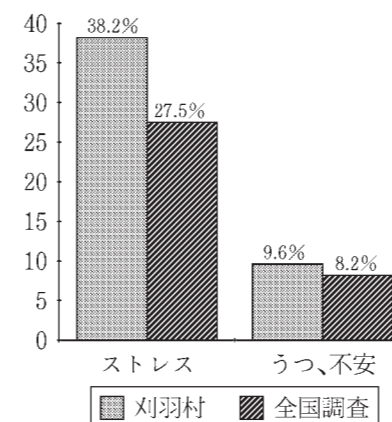
被災状況 (%)



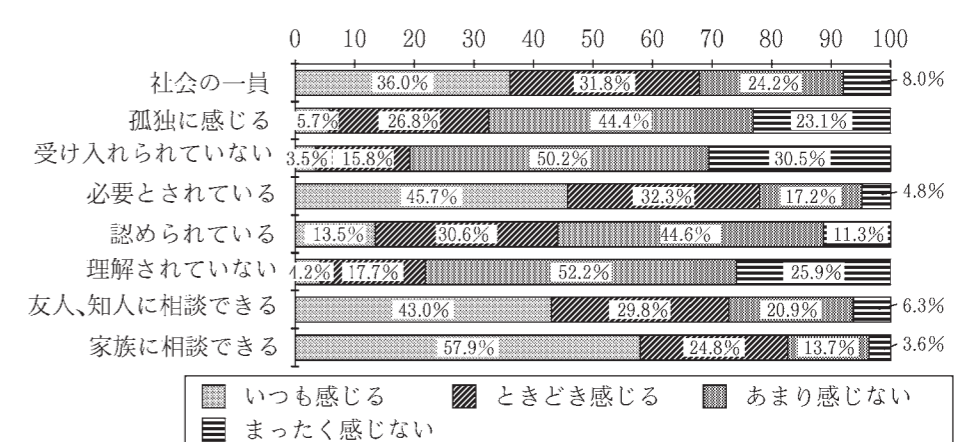
健康状況 (%)



こころの健康について (%)



人とのつながり (%)



平成 20 年度健康調査の結果のお知らせ

様

拝啓

この度の調査ではお忙しい中、多大なご協力を賜りまして、誠に有り難うございました。

その時の調査データの一部を、「こころと身体健康診断」として、希望の有りました方にお返しいたします。これはその時のこころと身体の状態を調べたもので、調査時点から今までの間に、こころや身体の状態が変わっていることもありますし、またこの状態がこれからもずっと続くということではありません。

結果は 3 段階〈A…問題なし B…要観察 C…要注意または受診〉(無回答は na)で判定しています。これは「病 気」そのものを直接に見つけるものではありませんが、皆様のこころの状態に応じて、生活のお役に立てただければ幸いです。ご自身の健康状態や生活を振り返り、気になることがある方は、村の住民福祉課や医療機関に相談してください。

敬具

1. 身体健康状態

被災後の生活環境の変化や繰り返し引っ越しなどは、身体の変調の原因になります。毎年、基本健診を受けましょう。定期的に医療機関にかかっている方は、生活を整え自己管理を継続しましょう。気になる症状のある方は、早めに医療機関を受診しましょう。

2. 飲酒・喫煙

被災後にお酒の量が増えたり、飲み始める時間が早くなった方、また、煙草を吸う本数が増えた方は、体調や気分、睡眠状況を振り返り、気になる症状がある方は、早めに医療機関を受診しましょう。

3. こころ健康状態

普段の生活への支障があったり、不安や不眠があることは、こころ健康状態があまりよくない指標です。そのようなときは、自分なりのストレス解消法を見つけたり、専門家に相談して不安や不眠を和らげる薬を処方してもらうのもよいでしょう。

4. 災害によるこころの症状

大きな災害は、こころ健康に長期にわたって影響を与えることがあります。災害のことを考えたくないのに頭に浮かんでしまったり、神経過敏になってしまったりして、日常生活に支障が出てくるようなときは、専門家に相談しましょう。

5. 社会的な支援状況

被災後はさまざまな問題が起こりがちです。一人で抱えこまないで家族や友だち、専門家に相談することで解決の糸口が見つかり、気持ちが楽になることがあります。

「地域の集まり」に積極的に参加したり、外出する機会を増やすことをおすすめします。

柏崎地域こころのケアセンター	〒945-0064 柏崎市中央町 1-14 田中中央ビル 301 TEL 0257-28-6070 FAX 0257-35-6789
柏崎市福祉保健部元気支援課	〒945-0061 柏崎市栄町 18 番 26 号 TEL 0257-20-4210 FAX 0257-22-1077
出雲崎町保健福祉課	〒949-4392 三島郡出雲崎町大字川西 140 番地 TEL 0258-78-2293 FAX 0258-78-4483
刈羽村福祉保健課	〒945-0397 刈羽郡刈羽村大字割町新田 215 番地 1 TEL 0257-45-3916 FAX0257-45-2818